## 本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

◎ **お車を安全･快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。**
◎ **「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。**

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
| 安全のために守っていただきたいこと。 | |
| ⚠ 警告 | 守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。 |
| ⚠ 注意 | 守らないと傷害につながるおそれがあります。 |
| お車のために守っていただきたいこと。 | |
| アドバイス | 守らないと装備品や車両の破損につながるおそれがあります。 |
| お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。 | |
| 知識 | 知っておくとお車の性能を十分にお使いいただけるとともに、いろいろな装備を上手に使うことができます。 |

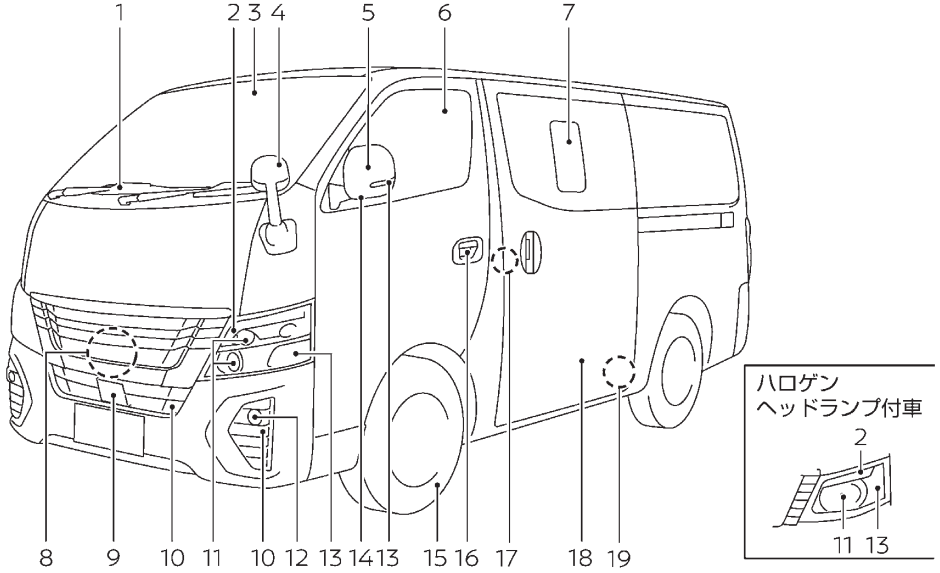
- 参照して読んでいただきたいページなどを、➔マークで表示しています。
- 日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
- 点検･整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー（営業部員）にお申しつけください。

- 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
- 自然環境保護に配慮してください。
- 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

■ イラスト目次 P.2
■ 必ずお読みください P.13
■ 走行する前に P.31
■ 走行するとき P.93
■ 室内装備の使いかた P.207
■ 車との上手なつきあいかた P.257
■ 万一のとき P.273
■ サービスデータ P.323
■ さくいん P.335

# イラスト目次（外観）




1
2 3 4
5
6
7
8
9
10
11
10
12
13
14
13
15
16
17
18
19
ハロゲン
ヘッドランプ付車
2
11 13

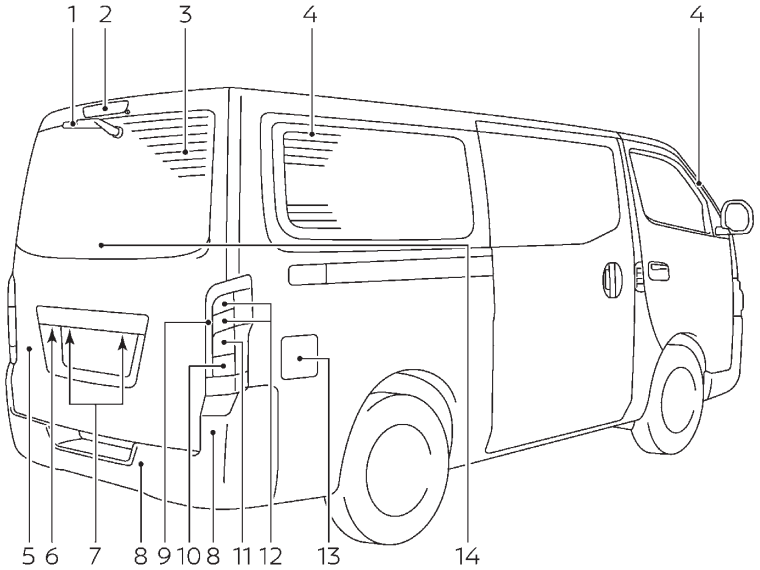
# イラスト目次（外観）


1. フロントワイパー（P.142）
2. 車幅灯（P.136、P.328）
3. マルチセンシングフロントカメラ（P.140）
4. フロントアンダーミラー★（P.72）
5. ドアミラー（P.70）
6. パワーウインドー（P.56）
7. スライドサイドウインドー★（P.58）
8. フロントビューカメラ★（P.231）
9. フロントレーダー（P.189）
10. ソナー（P.199）
11. ヘッドランプ（P.136、P.328）
12. フォグランプ★（P.140、P.328）
13. 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（P.141、P.328）
14. サイドビューカメラ★（P.231）
15. タイヤ（P.266、P.329）
16. ドア（P.41）
17. チャイルドセーフティドアロック（P.44）
18. スライドドア（P.43）
    ワンタッチオートスライドドア★（P.45）
19. 尿素水補給口（ディーゼル車）（P.59）




☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

# イラスト目次（外観）



# イラスト目次（外観）

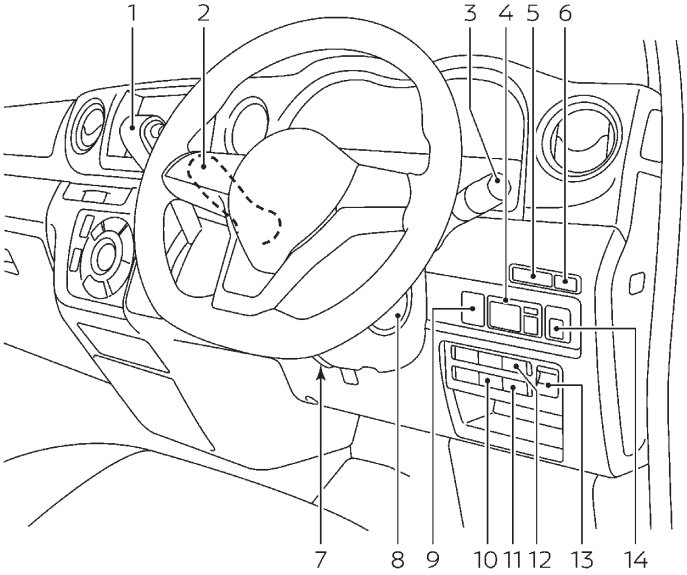

1. リヤワイパー（P.143）
2. ハイマウントストップランプ（P.328）
3. リヤウインドーデフォッガー（P.144）
4. アンテナ（P.224）
5. バックドア（P.48）
6. リヤビューカメラ★（P.231）
7. 番号灯（P.136、P.328）
8. ソナー（P.199）
9. 尾灯（P.136、P.328）
10. 後退灯（P.328）
11. 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（P.141、P.328）
12. 制動灯（P.328）
13. 燃料補給口（P.58）
14. インテリジェント ルームミラーカメラ★（P.265）




☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

# イラスト目次（ハンドルまわり）



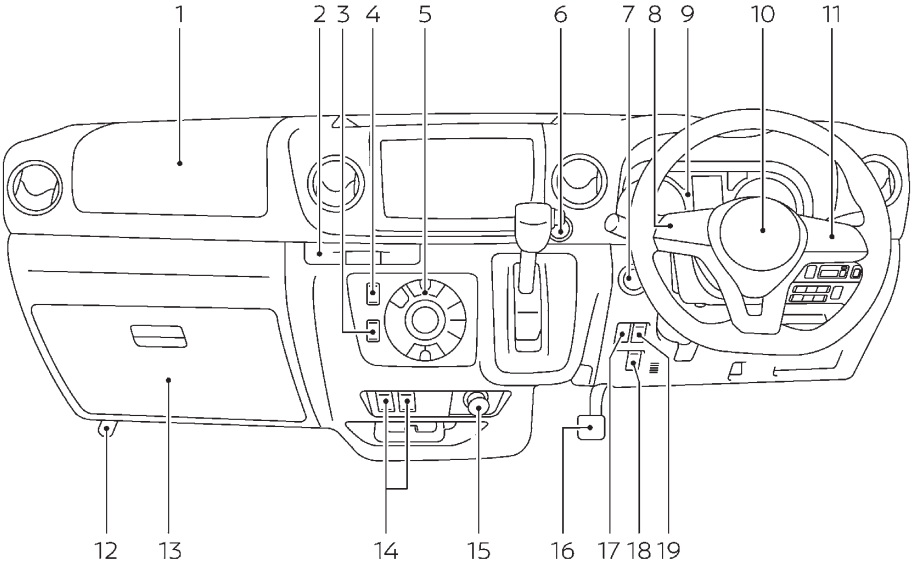


# イラスト目次（ハンドルまわり）

1. セレクトレバー（P.150）
2. ワイパー・ウォッシャースイッチ（P.142）
3. ライトスイッチ（P.136）
   フォグランプスイッチ★（P.140）
   方向指示器スイッチ（P.141）
4. ドアミラースイッチ（P.70）
5. イルミネーションコントロールスイッチ（P.96）
6. トリップ切り替えスイッチ（P.95）
7. ハンドル位置調節レバー（P.63）
8. キースイッチ（リモートコントロールエントリーシステム付車）（P.145）
9. ワンタッチオートスライドドア運転席スイッチ★（P.45）
10. DPF手動再生スイッチ（ディーゼル車）（P.158）
11. VDC OFFスイッチ（P.168）
12. インテリジェント エマージェンシーブレーキスイッチ★（P.186）
13. フューエルフィラーリッドオープナースイッチ（P.58）
14. ヘッドランプレベライザースイッチ★（P.141）

# イラスト目次（運転席まわり）





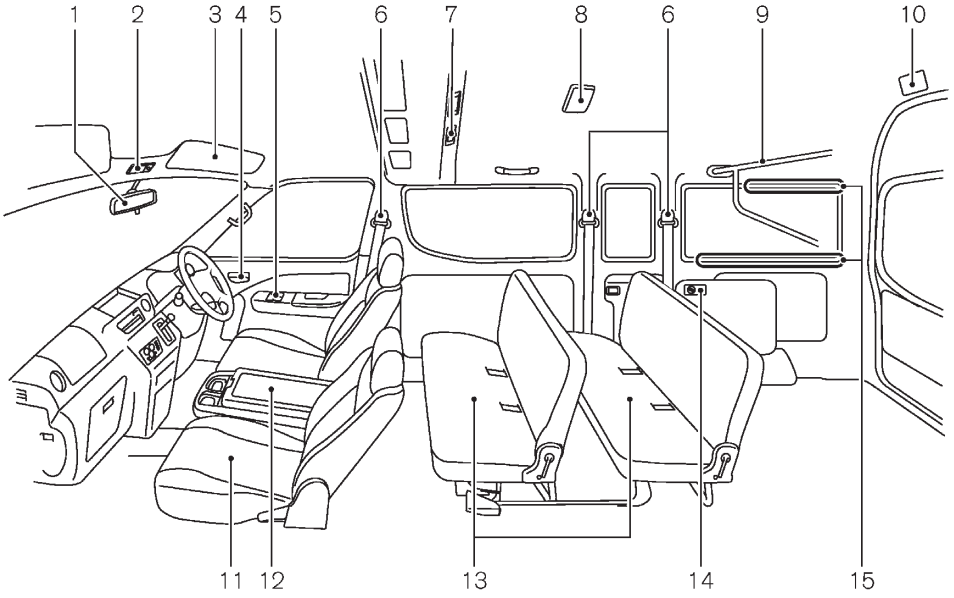
# イラスト目次（運転席まわり）

1. 助手席SRSエアバッグシステム（➔P.89）
2. カップホルダー（➔P.244）
3. リヤクーラースイッチ★（➔P.222）
4. リヤヒータースイッチ★（➔P.223）
5. エアコン（➔P.209）
6. 非常点滅表示灯スイッチ（➔P.141）
7. エンジンスイッチ（インテリジェントキー付車）（➔P.147）
8. ステアリングスイッチ（左）★（➔P.97、➔P.225）
9. メーター（➔P.94）
10. 運転席SRSエアバッグシステム（➔P.89）
11. ステアリングスイッチ（右）★（➔P.225）
12. 発炎筒（➔P.294）
13. グローブボックス（➔P.246）
14. ヒーターシートスイッチ★（➔P.64）
15. 電源ソケット（➔P.246）
16. パーキングブレーキペダル（➔P.149）
17. ヒートアップスイッチ（ディーゼル車）（➔P.214）
18. オートドアメインスイッチ★（➔P.45）
19. 4WDスイッチ★（➔P.156）



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

# イラスト目次（室内）



# イラスト目次（室内）


1. ディスプレイ付自動防眩ルームミラー★（P.72）
   インテリジェント ルームミラー★（P.73）
2. マップランプ★（P.243）
3. サンバイザー（P.243）
4. ロックノブ（P.43）
5. パワーウインドースイッチ（P.56）
6. シートベルト（P.78）
7. リヤクーラースイッチ★（P.222）
8. ルームランプ★（P.244）
9. パーテーションパイプ（バン）（P.248）
10. ラゲッジランプ★（P.244）
11. 前席シート（P.63）
12. マルチセンターコンソール★（P.247）
    センターシート背面コンソール（前席センターシート付車）（P.248）
13. 後席シート（バン）（P.65）
    後席シート（ワゴン、マイクロバス）（P.68）
14. リヤヒータースイッチ★（P.223）
15. ラゲッジユーティリティナット（バン）（P.253）




☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

MEMO

お車を安全にお使いいただくため、必ず守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
ご使用前には各章と合わせて必ずお読みください。

### お出かけまえには


| | |
|---|---|
| 日常点検は必ず実施 | P.15 |
| タイヤの空気圧を点検する | P.15 |
| バッテリーの液量を点検する | P.15 |
| 車にあった燃料を補給 | P.15 |
| 車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしない | P.15 |
| 正しい運転姿勢に調節 | P.15 |
| シートベルトは正しく着用 | P.15 |
| 運転席足元には物を置かない | P.15 |
| 車に合わないフロアカーペットは使わない | P.16 |
| 燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない | P.16 |
| インストルメントパネルの上に物を置かない | P.16 |
| 荷物を積みすぎない | P.16 |
| アクセサリーの取り付けに注意 | P.16 |
| バルクヘッドカーペットに足や手で長時間触れない | P.17 |


### お子さまを乗せるときは


| | |
|---|---|
| お子さまは後席に | P.18 |
| お子さまにもシートベルトを着用 | P.18 |
| チャイルドシートは後席に | P.18 |
| ドア、ウインドーなどは大人が操作 | P.18 |
| 窓から手や顔を出さない | P.18 |
| 車内にお子さまだけを残さない | P.19 |


### 走行するときは


| | |
|---|---|
| 車のためにならし運転を | P.20 |
| 走行中は電話をしない | P.20 |
| 走行中はエンジンを止めない、キーを抜かない | P.20 |
| 長い下り坂ではエンジンブレーキを併用 | P.20 |
| 雨天時の走行は速度を落とす | P.20 |
| 浸水・冠水してしまったときは | P.20 |
| タイヤを傷つける運転をしない | P.20 |
| 水たまり走行後はブレーキの効きを確認 | P.20 |
| 滑りやすい路面を走行するときは慎重に | P.20 |
| 横風が強いときは | P.20 |
| ペダルに足をのせたままにしない | P.20 |
| 走行中に異常があったら | P.21 |
| 車を後退させるときは周囲に注意 | P.21 |
| 車を発進させるときは周囲に注意 | P.21 |


### 駐・停車するときは


| | |
|---|---|
| 燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない | P.22 |
| 車から離れるときは必ずエンジンを止め施錠する | P.22 |
| 仮眠や長時間駐車するときは必ずエンジンを止める | P.22 |
| ハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けない | P.22 |


### オートマチック車を運転するときは


| | |
|---|---|
| クリープ現象に注意 | P.23 |
| キックダウンは適切に | P.23 |
| ペダルの位置を確認 | P.23 |

セレクトレバーの操作は正しく確実に P.23
セレクトレバー位置は目で確認 P.23
走行中はNにしない P.23
無用な空吹かしはしない P.23
駐車するときはPにする P.23
シフトロックシステム P.23

**こんなことにも注意**

違法改造はしない P.25
炎天下で駐車するときは P.25
ガスライターにも注意 P.25
工具や布などの置き忘れに注意 P.25
ラジエーターが熱いときはキャップを外さない P.25
冷却水に添加剤などを入れない P.25
タバコの吸いがらの火は消して P.25
無線送信機の取り付けについて P.25
診断機接続用のコネクターにはご注意を P.25

**こんなときは異常ではありません**

ブレーキペダルを踏むと音がする P.26
ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる P.26

**DPFの取り扱い（ディーゼル車）**

DPFとは P.27
発進や加速時の排気管からの白煙について P.27
年間を通じて走行距離が少なく、低速走行を主体に運転するとき P.27

**尿素SCRシステムの取り扱い（ディーゼル車）**

尿素SCRシステムとは P.28

**燃料噴射量学習機能（ディーゼル車）**

燃料噴射量学習機能とは P.29

**イベントデータレコーダ**

車両データの記録・蓄積について P.30
データの扱いについて P.30

## 日常点検は必ず実施

- 車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
  車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
  ➔メンテナンスノートをお読みください。
- いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。
  （音、振動、におい、水・油漏れなど）

## タイヤの空気圧を点検する

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
  ➔タイヤ空気圧の点検 (P.267)

## バッテリーの液量を点検する

- バッテリーの液量が下限（LOWER LEVEL）以下になったまま使用、または充電すると、バッテリーが爆発するおそれがあります。日常点検でバッテリーの液量を点検してください。
  ➔メンテナンスノートをお読みください。

## 車にあった燃料を補給

- 指定以外の燃料は補給しないでください。
- ガソリン車に軽油や有鉛ガソリン、また、ディーゼル車にガソリンや灯油を使用すると車に悪影響を与えます。
- 粗悪な燃料も車に悪影響を与えるので補給しないでください。

| エンジン型式 | 指定燃料 |
|---|---|
| QR20DE（ターボ無車）<br>QR25DE（ターボ無車） | 無鉛レギュラーガソリン |
| 4N16（ターボ付車） | 超低硫黄軽油（S10ppm以下） |

- 4N16エンジン搭載車には、必ず超低硫黄軽油（S10ppm以下）を使用してください。

## 車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしない

- 車庫や屋内など換気が悪いところでは、排気ガスが充満しやすいため、エンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受けてください。排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。

## 正しい運転姿勢に調節

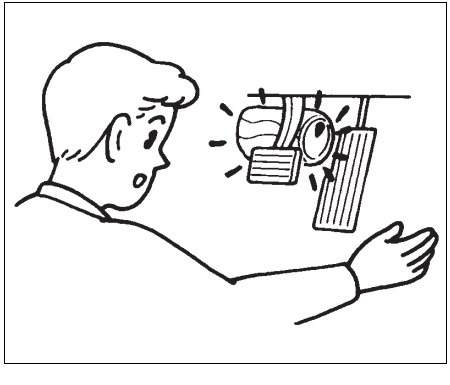
- 走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。
  ➔正しい運転姿勢 (P.62)

## シートベルトは正しく着用

- 走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。
- シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分に発揮できません。また、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。
  ➔シートベルトの正しい着用 (P.78)

## 運転席足元には物を置かない

- 足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。
- ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まると、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

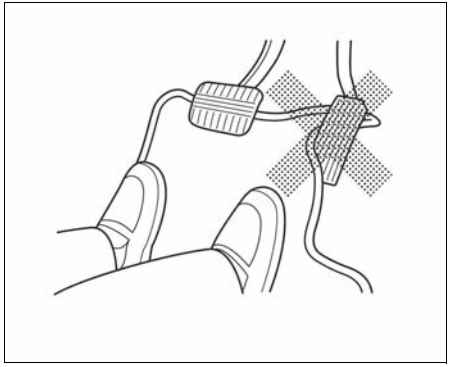




☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

## 車に合わないフロアカーペットは使わない

●この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



フロアカーペット★ (P.254)

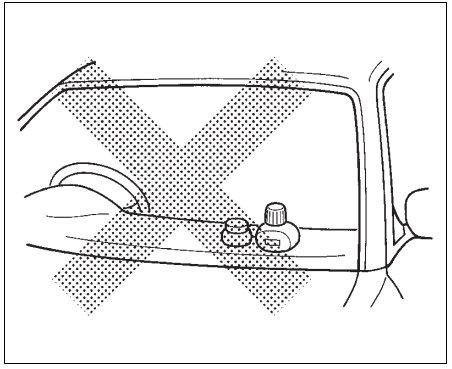
## 燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

●ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。

## インストルメントパネルの上に物を置かない

●アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。SRSエアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 荷物を積みすぎない

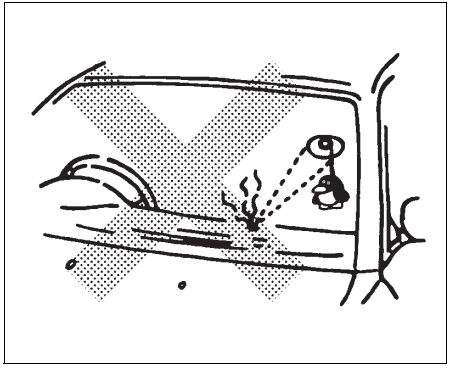
●助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ワゴンは、ラゲッジルーム（荷室）に荷物を置くときは、背もたれの高さを越えないようにしてください。

●バンは、車両および車検証に記載されている積載量以上の荷物を積まないでください。

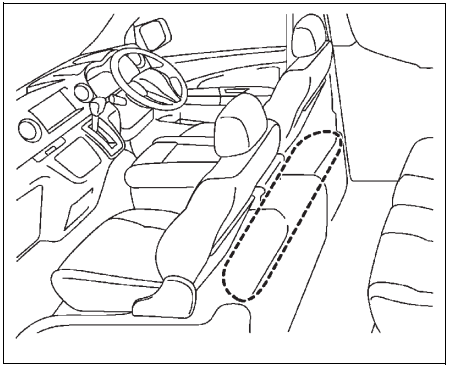
## アクセサリーの取り付けに注意

●ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## バルクヘッドカーペットに足や手で長時間触れない

●エンジンルームの熱気により、バルクヘッドカーペットが熱くなることがあります。直接足や手で長時間触れていると低温やけどをするおそれがあります。



# お子さまを乗せるときは



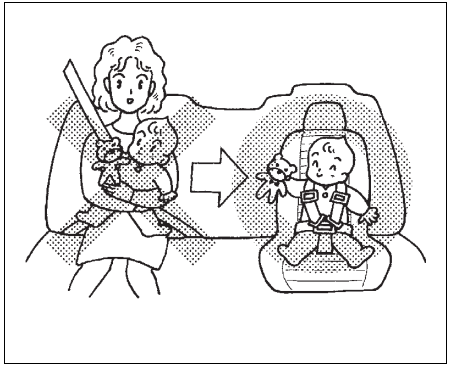
## お子さまは後席に

●助手席に乗せるのは避けてください。お子さまの動作が気になるだけでなく、スイッチ、レバー類のいたずらなどにより安全運転の妨げになるおそれがあります。また、助手席SRSエアバッグの格納部に身体を近づけないでください。万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

## お子さまにもシートベルトを着用

●お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず重大な傷害を受けるおそれがあります。
➔シートベルトの着用のしかた (P.78)

●シートベルトが首や顔に当たる、または腰骨にかからないような小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
➔チャイルドシート (P.82)

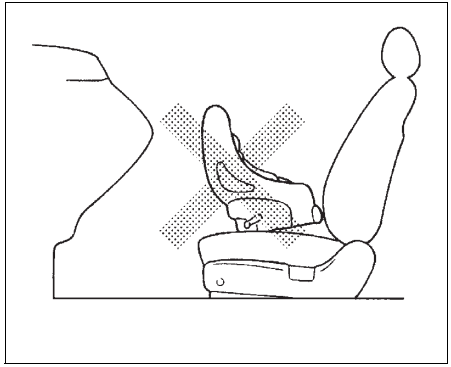


## チャイルドシートは後席に

●チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。
固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

●助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

●チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、荷室などに収納してください。室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。
➔チャイルドシート (P.82)



## ドア、ウインドーなどは大人が操作

●ドア、ウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。
開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

●チャイルドセーフティドアロック（➔P.44）やパワーウインドーロックスイッチ（➔P.57）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

## 窓から手や顔を出さない

●お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

# お子さまを乗せるときは

## 車内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまを一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 車のためにならし運転を

●エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

## 走行中は電話をしない

●運転しながらのハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 走行中はエンジンを止めない、キーを抜かない

●エンジンが止まると、極度にハンドル操作力が重くなります。また、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、極度にブレーキの効きが悪かったり、ハンドル操作力が重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 長い下り坂ではエンジンブレーキを併用

●ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。（エンジンブレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）

●坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れます。

➔マニュアルモードの使いかた (P.151)

## 雨天時の走行は速度を落とす

●路面が濡れると滑りやすくなります。通常より注意して安全運転を心がけてください。

●わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。

●冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。

## 浸水・冠水してしまったときは

●浸水・冠水被害に遭われた場合は、車両故障につながるおそれがあるため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

## タイヤを傷つける運転をしない

●道路の縁石などにタイヤの側面を接触させたり、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけるおそれがあります。

## 水たまり走行後はブレーキの効きを確認

●水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。

●効きが悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。

## 滑りやすい路面を走行するときは慎重に

●濡れた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。

●急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 横風が強いときは

●横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落としてください。

●トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。

## ペダルに足をのせたままにしない

●ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

## 走行中に異常があったら

- 警告灯（➔P.125）が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
  そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、あわてずにハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくなり危険です。
- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、日産販売会社に連絡してください。

## 車を後退させるときは周囲に注意

- バックミラーやバックビューモニター★、インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★では確認できない視界があります。車から降りて後方の人や障害物を確認してください。

## 車を発進させるときは周囲に注意

- この車は構造上通常の乗用車に比べ、車両の前方および左斜前方が確認しにくいので発進時などは周囲に十分注意をはらってください。
  ➔フロントアンダーミラー★ (P.72)

## 燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない

●枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。

## 車から離れるときは必ずエンジンを止め施錠する

●無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながったりするおそれがあります。車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止めてから施錠してください。

●お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしたり、貴重品を置いたままにしないでください。

●坂道駐車はパーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーを**P**に入れてください。さらにタイヤに輪止め★をすると効果があります。

## 仮眠や長時間駐車するときは必ずエンジンを止める

●無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

●以下の状況ではエンジンをかけたままにしないでください。一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

— 雪が積もった場所や降雪時
— 壁などに囲まれた換気の悪い場所
— 他車の排気口が近くにあるとき

## ハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けない

●車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

# オートマチック車を運転するときは

オートマチック車はその特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

詳しくは、➔P.153の「オートマチック車の運転のしかた」も合わせてお読みください。

## クリープ現象に注意

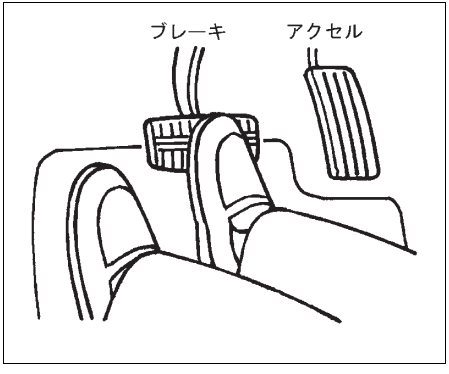
- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーをP、N以外に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。（これをクリープ現象といいます。）
- 停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。特にエンジン始動直後やエアコン作動時など、エンジン回転数が上がっているときは、動く力が強くなりますので、しっかりと踏んでください。

## キックダウンは適切に

- セレクトレバーがDで走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、エンジン回転数が上がって、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速します。（これをキックダウンといいます。）
- 滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ペダルの位置を確認

- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。エンジンをかける前に必ずペダルの位置を確認してください。
- アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。




## セレクトレバーの操作は正しく確実に

- 発進時はブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。
- 後退したあとは、すぐセレクトレバーをRからNに戻す習慣をつけてください。➔セレクトレバーの使いかた (P.150)

## セレクトレバー位置は目で確認

- エンジンをかけるときはP、前進するときはD、後退するときはRにあることを目で確認してください。
- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、セレクトレバーをRに入れると、後退位置を知らせるブザーが車内で鳴ります。（車外の人に注意するものではありません。）

## 走行中はNにしない

- 走行中にセレクトレバーをNにすると、エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

## 無用な空吹かしはしない

- 万一、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 駐車するときはPにする

- エンジンがかかったまま、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## シフトロックシステム

よく理解して正しく操作してください。

- キースイッチ（電源ポジション）がONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、Pからセレクトレバーを動かすことができません。
- セレクトレバーをPに入れないと、キースイッチ（電源ポジション）がLOCKになりません。

● セレクトレバーのボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。
ブレーキペダルを踏んでから、セレクトレバーのボタンを押してセレクトレバーを動かしてください。

## 違法改造はしない

- 車の性能や機能に適さない部品を装着しないでください。また、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。本来の性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。
- 次のような場合には日産販売会社にご相談ください。
  - **タイヤ、ロードホイールの交換**
    指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。
  - **電装品などの取り付け**
    適切でない電装品などを取り付けないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼしたり、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。
    また、バッテリー端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。バッテリーがあがる可能性があります。
    （詳しくは、日産販売会社へご相談ください。）
  - **ハンドルの取り外しや交換**
    ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

## 炎天下で駐車するときは

- 炎天下で駐車するときは、車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

## ガスライターにも注意

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

## 工具や布などの置き忘れに注意

- 点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

## ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

- ラジエーターやリザーバータンクが熱いときはキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し危険です。
- 冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。

## 冷却水に添加剤などを入れない

- 冷却水には、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤を入れないでください。冷却装置に悪影響を及ぼし、車両故障につながるおそれがあります。
- 冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

## タバコの吸いがらの火は消して

- タバコやマッチなどの火は確実に消し、灰皿のふたは必ず閉めてください。
- 灰皿の中には吸いがらを入れすぎないでください。また、燃えやすい物を入れないでください。

## 無線送信機の取り付けについて

- お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響を及ぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を日産販売会社にてご提供します。

## 診断機接続用のコネクターにはご注意を

- 診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けないでください。バッテリーがあがったり、警告灯が点灯するなど、思わぬトラブルをまねくおそれがあります。



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

## ブレーキペダルを踏むと音がする

●朝一番および長時間駐車後の走り始め、または降雨後や洗車後など湿気が多いときにブレーキペダルを踏むと、“キー”という音がする場合があります。この音はブレーキパッドが水分を吸収し、表面の摩擦力が一時的に変化したためで異常ではありません。

●これらの音がときどきするのは異常ではありませんが、頻繁に音がする場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

## ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる

●ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。
ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

# DPFの取り扱い（ディーゼル車）

## DPFとは

●DPF（Diesel Particulate Filter）は排気ガスに含まれるPM（Particulate Matter）を捕集し、自動的にPMを燃焼（DPF再生）処理する装置です。DPFの性能を保つため、必ず次のことをお守りください。
- 燃料は必ず超低硫黄軽油（S10ppm以下）を使用してください。
- エンジンオイルは必ず指定のDPF専用のオイルを使用してください。
  指定以外のエンジンオイルを使用するとDPFの故障や燃費の悪化の原因となります。
  ➔エンジンオイルの点検のしかたについては、メンテナンスノートをお読みください。
- DPF、マフラー、排気管は改造しないでください。正常な性能を発揮できず、DPFが故障する原因となります。
- DPFをけったり、たたいたりしないでください。DPFはマフラー内に触媒を内蔵している装置です。強い振動をあたえるとDPFが破損するおそれがあります。

## 発進や加速時の排気管からの白煙について

●DPFの特性上、次の状態になることがありますが、異常ではありません。
- 長時間のアイドリング運転後の発進や加速時に排気管から白煙が出ることがあります。
- 寒冷時や始動直後の発進時に排気管から白煙が出ることがあります。

## 年間を通じて走行距離が少なく、低速走行を主体に運転するとき

●DPFは通常は、捕集したPMを自動的に燃焼（DPF再生）処理しますが、走行条件により処理が完了しないとき、DPF内にPMがたい積することがあります。
DPF警告灯(➔P.129)が点灯およびDPF手動再生スイッチの作動表示灯が点滅したときは、DPF手動再生スイッチを操作してください。

➔DPF（ディーゼル車） (P.158)

# 尿素SCRシステムの取り扱い（ディーゼル車）

## 尿素SCRシステムとは

●尿素SCRシステムは、高品位の尿素水（AdBlue®）を使用して、ディーゼルエンジンの排気ガスに含まれるNOx（窒素酸化物）を低減する装置です。
尿素水（AdBlue®）は走行に伴い消費されるため、走行状態に応じて補給が必要です。
AdBlue®はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

➔尿素水補給口（ディーゼル車） (P.59)

➔尿素SCRシステム（ディーゼル車）[AdBlue®関連システム] (P.161)

# 燃料噴射量学習機能（ディーゼル車）

## 燃料噴射量学習機能とは

● 排気ガスの濃度およびエンジン音を低く抑えておくために、燃料噴射量の学習を自動的に行います。学習中、エンジン音がわずかに変化し、エアコンがOFFになりますが異常ではありません。

## 車両データの記録・蓄積について

●この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。
以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときなどの車両データを記録・蓄積しています。

📖 知識

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声は記録しません。
- 氏名、性別、年齢などの個人情報は記録しません。

### SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したとき、もしくは一定以上の衝突が発生した場合に下記車両データを記録・蓄積します。

●エアバッグシステムの作動に関する情報
●エアバッグシステムの故障診断情報
●アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
●車速、エンジン回転数などの車両情報

## データの扱いについて

●日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

— 車両の使用者の同意がある場合
— 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
— 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

## 各部の開閉のしかた


- キー P.32
- リモートコントロールエントリーシステム★ P.32
- インテリジェントキー★ P.35
- ドアについて P.41
- 前席ドア P.41
- スライドドア P.43
- バックドア P.48
- キー封じ込み防止機能★ P.53
- エンジンカバー P.53
- パワーウインドー P.56
- スライドサイドウインドー★ P.58
- 燃料補給口 P.58
- 尿素水補給口（ディーゼル車） P.59


## ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた


- 正しい運転姿勢 P.62
- ハンドル P.63
- 前席シート P.63
- ヒーターシート★ P.64
- 後席シート（バン） P.65
- 後席シート（ワゴン、マイクロバス） P.68
- 最大積載量（バン） P.70
- ドアミラー P.70
- フロントアンダーミラー★ P.72
- ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー★ P.72
- インテリジェント ルームミラー★ P.73


## シートベルトの着用のしかた


- シートベルトの正しい着用 P.78
- シートベルトの着用のしかた P.79
- 前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト P.81


## チャイルドシート


- チャイルドシートについて P.82
- チャイルドシートの選びかた P.82
- 使用できるチャイルドシートについて P.83
- 幼児拘束装置メーカーに関する詳細情報 P.85
- シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた P.88


## SRSエアバッグ


- SRSエアバッグの作動 P.89
- SRSエアバッグが作動するとき・しないとき P.91

## キー

**⚠ 警告**

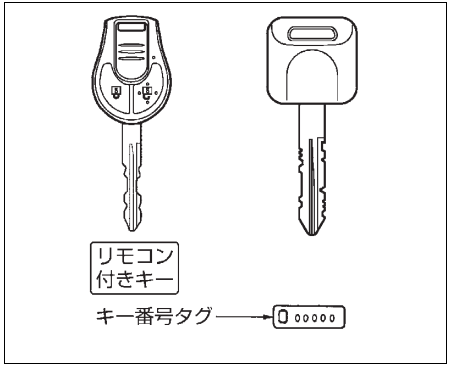
- 航空機内ではリモコン（インテリジェントキー）のスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

**知識**

- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キー番号を打刻したタグは、大切に保管してください。キー番号を日産販売会社に連絡すると購入できます。

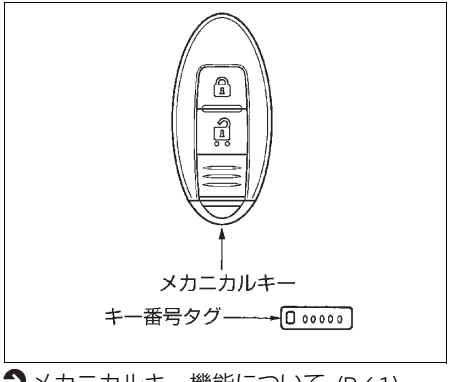
### リモートコントロールエントリーシステム付車

●キーは2本ついています。




### インテリジェントキー付車

●インテリジェントキー（メカニカルキー内蔵）が2個ついています。




➔メカニカルキー機能について (P.41)

### エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、キーに送信機を内蔵し、あらかじめ登録されているキー以外でのエンジンの始動を禁止するシステムです。

●エンジンイモビライザーが働いているときは、セキュリティーインジケーター（➔P.124）が点滅します。

**アドバイス**

- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときセキュリティーインジケーターが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

**知識**

- キーごとに登録された信号は異なります。
- エンジンが始動できない場合は、一度キースイッチ（電源ポジション）をOFFにして、5秒以上経過してから再始動してください。
- 上記の操作を行ってもエンジンが始動できない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

### リモートコントロールエントリーシステム★

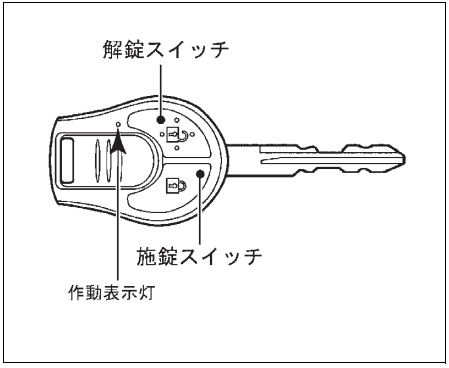
離れたところ（約1m）から全ドアの施錠・解錠ができます。

## 使いかた

●車に近づき、リモコンのスイッチを押します。

●施錠・解錠時に非常点滅表示灯が点滅します。
（施錠時：1回、解錠時：2回）

●施錠したあとは、必ず施錠されていることを確認してください。




| スイッチ | 作動 |
|---|---|
| 施錠スイッチ | 全ドアを施錠します。 |
| 解錠スイッチ | 全ドアを解錠します。 |

### ■ オートロック機能

●解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったとき、またはキースイッチにキーを差し込まなかったときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

## 作動しないとき

●次のような場合は作動しません。
— キーをキースイッチに差し込んでいるとき。
— ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。（解錠のみできます。）
— 車から離れすぎているとき。
— リモコンの電池が切れているとき。

### アドバイス

- 周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。
- 極端に気温が低いとき、電池の性能が低下するため機能が作動しない場合があります。
- リモコンは精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
  — 長時間高温になる場所に置かない。
  — 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
  — 水にぬらさない。

### 知識

- リモコンは同じ車両で最大5個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- リモコンを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。点灯しない場合は、電池の消耗が考えられます。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。（➔P.33）

**キー連動室内照明システム**

- ドアを解錠すると、室内照明（➔P.243）が約15秒間点灯します。

## 電池交換のしかた

### ⚠ 警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。
  リモコンには、ボタン電池が使用されています。誤って電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。 新しい電池および取り外した電池は、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

**⚠ 警告**

- 電池を飲み込んだり、体内に入れてしまった場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

**⚠ 注意**

- ふたがしっかりと閉まらない場合は、リモコンの使用を中止してください。

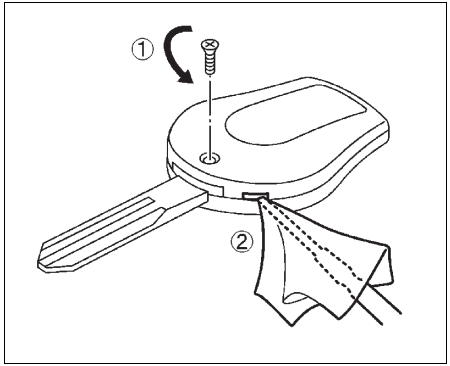
  リモコンをお子さまの手の届かない場所に保管し、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

**アドバイス**

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。

使用電池：リチウム電池CR1620

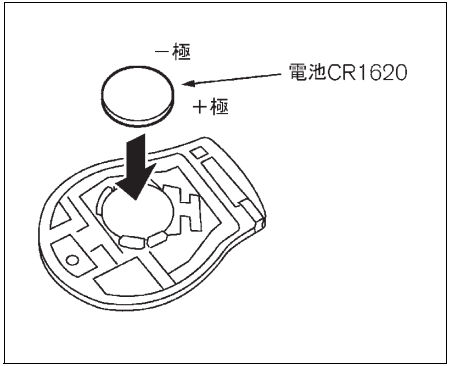
1. お手持ちのプラスの精密ドライバーでネジを外します。
2. スリットにマイナスの精密ドライバーを差し込み、ひねって上下に分解します。




**アドバイス**

- 本体に傷をつけるおそれがあるため、ドライバーに布などをあてて外してください。ドライバーを奥に差し込みすぎると内部の基板を傷つけるおそれがあります。

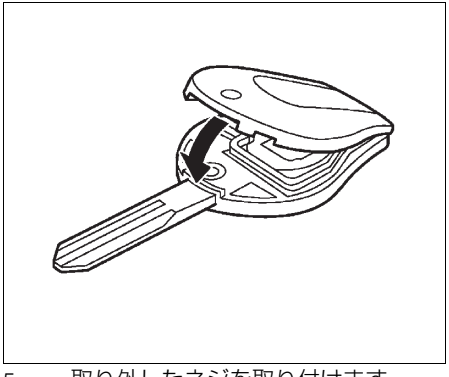
3. 古い電池を取り外し、新しい電池の+極を下側にしてはめ込みます。




**アドバイス**

- 電池の+極と-極は必ず正しい向きにしてはめ込んでください。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換の際は、必ず同じタイプの電池と交換してください。

4. 組み付けるときはふたの先端を合わせてから上下を組み付けます。



5. 取り外したネジを取り付けます。

**アドバイス**

- 電池交換後は、リモートコントロールエントリーシステムの機能が正常に作動するか必ず確認してください。

## インテリジェントキー★

インテリジェントキー機能とは、インテリジェントキーを携帯することにより、キーを取り出すことなくドアの施錠・解錠やエンジンの始動が可能になる大変便利なシステムです。従来通り、リモートコントロールエントリー機能も使えます。

**⚠ 注意**

インテリジェントキーは運転者が必ず携帯してください。

- エンジンの始動やドアの施錠・解錠など、車を操作するためにはなくてはならないものです。大切に保管してください。

**アドバイス**

- インテリジェントキーは微弱な電波を使用しています。

  次のような使用環境では機能に障害が起こるため、インテリジェントキー機能やリモートコントロールエントリー機能が正常に作動しない場合があります。

  ➔インテリジェントキーが正常に作動しないとき (P.149)

  — 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波やノイズを発生する設備があるとき。

  — 無線機や携帯電話などの無線通信機器を一緒に携帯しているとき。

  — インテリジェントキーが金属性のものに接したり、覆われたりしているとき。

  — 近くで電波式リモートコントロールエントリーを使用しているとき。

  — インテリジェントキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき。

  — コインパーキングに駐車したとき。（車両検出用の電波の影響があるため）

  — 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき。

  — 極端に気温が低いとき。（電池の性能が低下するため）

- インテリジェントキーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。

  — 電池を交換するとき以外は分解しない。（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。）

  — 日本国内のみで使用する。

- インテリジェントキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。（➔P.37）

- インテリジェントキーの電池が切れたとき、応急処置としてエンジンの始動やドアの施錠・解錠を行うことができます。

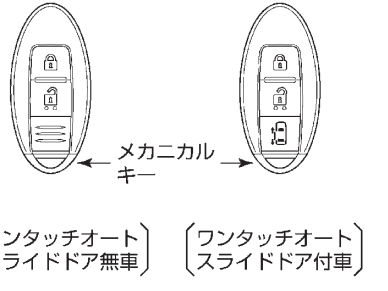
  ➔インテリジェントキーが正常に作動しないとき (P.149)

- インテリジェントキーをテレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。電池を著しく消耗することがあります。

### アドバイス

- 本車両は電気的にハンドルロック（ステアリングロック）を制御しているため、電源ポジションがLOCKのときにバッテリーがあがると、ハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えなくなります。バッテリーあがりには特に注意してください。
- 万一バッテリーがあがったときは、すみやかにバッテリーを充電してください。（P.276）

## キーについて

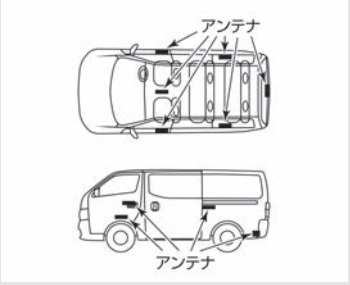



インテリジェントキーには以下の機能があります。

- インテリジェントキー機能について (P.38)
- リモートコントロールエントリー機能について (P.40)
- メカニカルキー機能について (P.41)

### ⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用している方は、アンテナから約22cm以内の範囲に装着部位が近づかないようにしてください。ドア開閉時、各リクエストスイッチ操作時、エンジン始動時などにインテリジェントキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。




- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用している方は、インテリジェントキーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があるため、医療電気製造業者などへ影響を確認してからご使用ください。
- 詳しくは、日産販売会社にお問い合わせください。

### アドバイス

- インテリジェントキーは送信機を内蔵している精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
  - ― 長時間高温になる場所に置かない。
  - ― 分解しない。
  - ― 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
  - ― 水にぬらさない。
  - ― 超音波洗浄器などにかけない。
  - ― 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けない。
  - ― テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない。
- インテリジェントキーはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるとき衝撃により破損するおそれがあります。またドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車内に封じ込めるおそれがあります。
- インストルメントパネル上面、ドアポケット付近、グローブボックス内、フロア上では、キーが正常に作動しなかったり、車外から施錠ができ、キーを車室内に封じ込めたりするおそれがあります。

**知識**

- インテリジェントキーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キー番号を打刻したタグは大切に保管してください。キー番号を日産販売会社に連絡すると購入できます。
- インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗、または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。（P.37）

## 電池の交換のしかた

**警告**

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。

  インテリジェントキーには、ボタン電池が使用されています。誤って電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。新しい電池および取り外した電池は、お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 電池を飲み込んだり、体内に入れてしまった場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

**注意**

- ふたがしっかりと閉まらない場合は、インテリジェントキーの使用を中止してください。

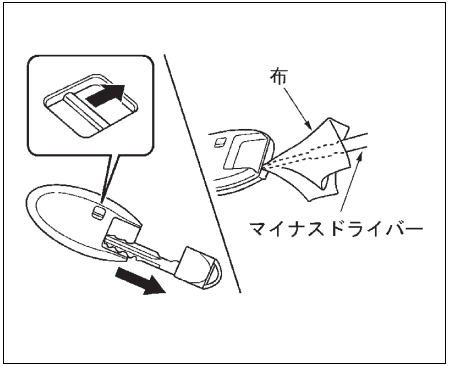
  インテリジェントキーをお子さまの手の届かない場所に保管し、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

**アドバイス**

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。

使用電池：リチウム電池CR2025

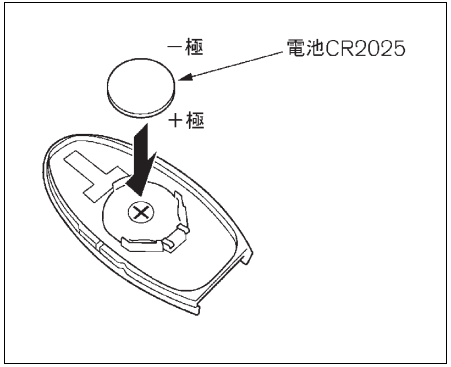
1. インテリジェントキー裏側のロックを外しながら、メカニカルキーを引き抜きます。
2. スリットにマイナスの精密ドライバーを差し込み、ひねって上下に分解します。




**アドバイス**

- 本体に傷をつけるおそれがあるため、ドライバーに布などをあてて外してください。ドライバーを奥に差し込みすぎると内部の基板を傷つけるおそれがあります。

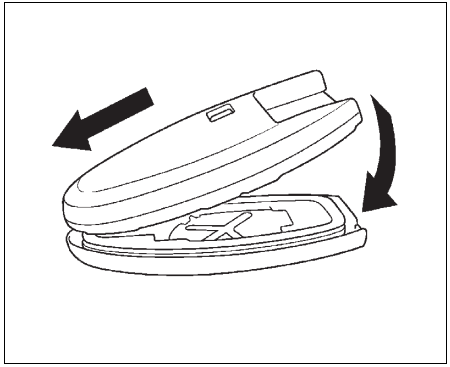
3. 古い電池を取り外し、新しい電池の+極を下側にしてはめ込みます。




**アドバイス**

- 電池の+極と-極は必ず正しい向きにしてはめ込んでください。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換の際は、必ず同じタイプの電池と交換してください。

4. 組み付けるときはふたの先端を合わせてから上下を組み付けます。



**アドバイス**

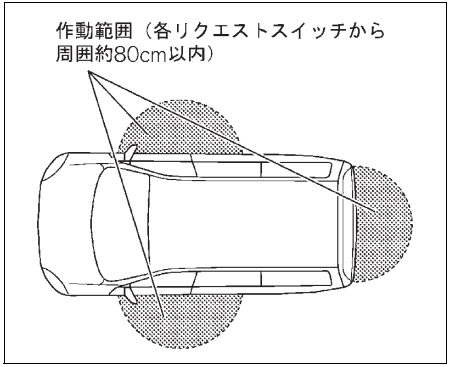
- 電池交換後は、インテリジェントキーシステムの機能が正常に作動するか必ず確認してください。

## インテリジェントキー機能について

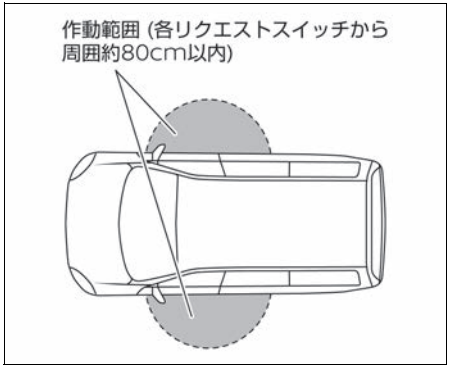
車内および車外の作動範囲内でインテリジェントキーを携帯しているときに操作できます。

## ドア施錠・解錠の作動範囲

- 作動範囲は、各リクエストスイッチから周囲約80cm以内です。
  - 前席ドア (P.41)
  - バックドア (P.48)




標準車両




架装専用車両（ワイド幅）

**アドバイス**

- 車両（ドアガラスやドアハンドル、リヤバンパーなど）に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。

### アドバイス

- 作動範囲は各リクエストスイッチを中心に約80cmの球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。
- インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

### 知識

**キー連動室内照明システム**

- ドアを解錠すると、室内照明（P.243）が約15秒間点灯します。

**アンサーバック機能**

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
- アンサーバック機能を停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

**ウェルカムライト（フェアウェル機能付）★**

- 車幅灯・尾灯・番号灯がドアの施錠時に約10秒間、解錠時に約30秒間点灯します。
- ウェルカムライト（フェアウェル機能付）を停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

**オートロック機能**

- リクエストスイッチ（またはインテリジェントキーのドア解錠スイッチ）を押して、解錠後約30秒以内に以下のいずれの操作も行わなかった場合は、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。

  （施錠されるまでの間に、再度インテリジェントキーの解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

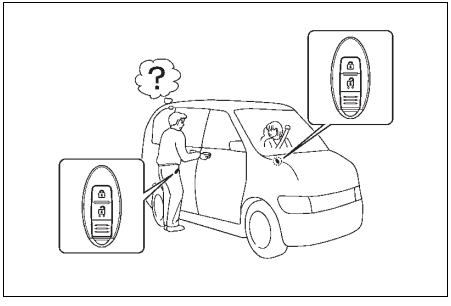
  — ドアを開ける。

  — エンジンスイッチを押す。
- インテリジェントキーが作動範囲内にあれば、インテリジェントキーを携帯している人以外でもリクエストスイッチを押して施錠、解錠ができます。
- 自車のインテリジェントキーが車内にあるときは、キー封じ込み防止のため、リクエストスイッチによるドアの施錠はできません。

  施錠したいときは、以下のことを行ってください。

  — 車内にあるインテリジェントキーを取り出し、リクエストスイッチを押す。

  — リモートコントロールエントリー機能（P.40）、またはメカニカルキー機能（P.41）で施錠する。

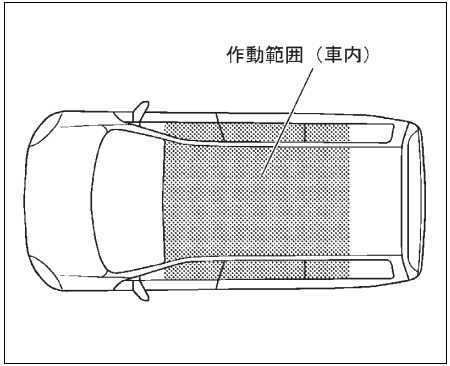


**■ 作動しないとき**

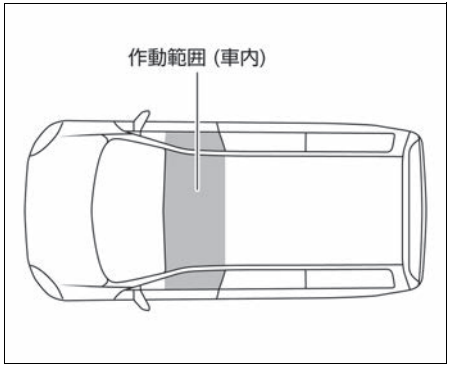
- 次のような場合、インテリジェントキー機能によるドアの施錠・解錠ができません。
  — 電源ポジションがAcc、ONのとき。
  — ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。
  — インテリジェントキーが施錠・解錠作動範囲内にないとき
  — 携帯しているインテリジェントキーが車内にあるとき。（解錠のみできます。）
  — インテリジェントキーの電池が切れているとき。（P.37）

**エンジン始動の作動範囲**

標準車両の作動範囲は、車両室内です。（ラゲッジルーム内は除きます。）




架装専用車両（ワイド幅）の作動範囲は、車両室内の前席部分です。




**アドバイス**

- インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

**知識**

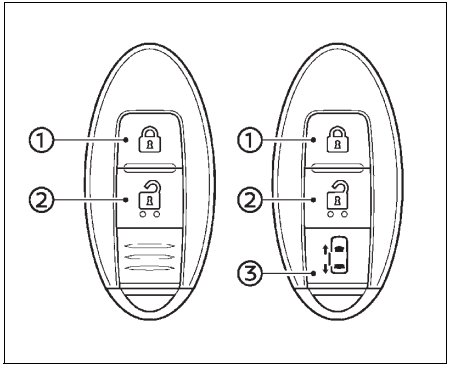
- ラゲッジルーム内は作動範囲ではありませんが、エンジンの始動が可能になることがあります。
- 車内でもインストルメントパネル上、グローブボックス内、助手席足元、ドアポケット内などにインテリジェントキーがあるときは、エンジンの始動ができないことがあります。
- 車外でもドアやドアガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがあります。

## リモートコントロールエントリー機能について

離れたところ（約1m）から全ドアの施錠・解錠ができます。

### ■ 使いかた

- 車に近づき、インテリジェントキーのスイッチを押します。
- リモートコントロールエントリー機能で施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。




| スイッチ | 作動 |
|---|---|
| ①施錠スイッチ | 全ドアを施錠します。 |
| ②解錠スイッチ | 全ドアを解錠します。 |
| ③ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ★ | 約1秒間押し続けるとワンタッチオートスライドドア（➔P.45）が開閉します。※ |

※オート作動中にスイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き、全開または、全閉して停止します。

**知識**

- ドアの施錠・解錠時には、キー連動室内照明システム、アンサーバック機能、オートロック機能が作動します。

知識

- 施錠スイッチを押したときに車外警報ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ったときは、ドアが施錠されていません。以下を確認し、再度施錠してください。
  - ― いずれかのドアが半ドアになっていないか。
  - ― ドアを閉める前に施錠スイッチを押していないか。

### ■ 作動しないとき

●次のような場合は、インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しません。
- ― 電源ポジションがAcc、ONのとき。
- ― ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。（解錠のみできます。）
- ― 車から離れすぎているとき。
- ― インテリジェントキーの電池が切れているとき。

アドバイス

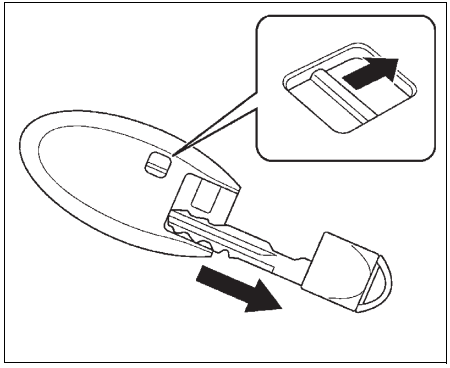
- 周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。

## メカニカルキー機能について

インテリジェントキーの電池が切れたときや、車両のバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。

### ■ メカニカルキーの取り外しかた

●インテリジェントキー裏側のロックを外しながらメカニカルキーを引き抜きます。



●元に戻すときは、ロックが戻るまで確実に差し込みます。

注意

- インテリジェントキーは必ずメカニカルキーを内蔵した状態で携帯してください。

## ドアについて

警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を十分確認してください。後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉めてください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずエンジンを止め施錠してください。

知識

- ドアハンドルを引きながら解錠しようとすると、ドアが解錠できないことがあります。一度ドアハンドルを戻すと自動的に解錠し、再度ドアハンドルを引くとドアを開けることができます。

## 前席ドア

知識

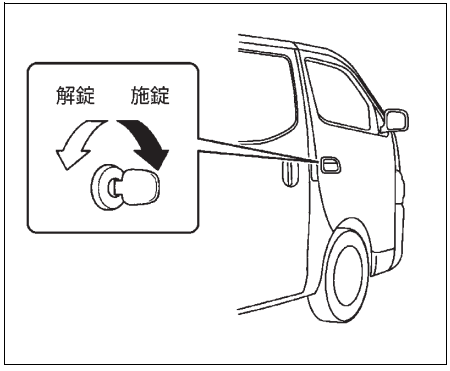
**キー連動室内照明システム**

- 運転席ドアを解錠すると、室内照明（P.243）が約15秒間点灯します。

## キー（メカニカルキー）による施錠・解錠

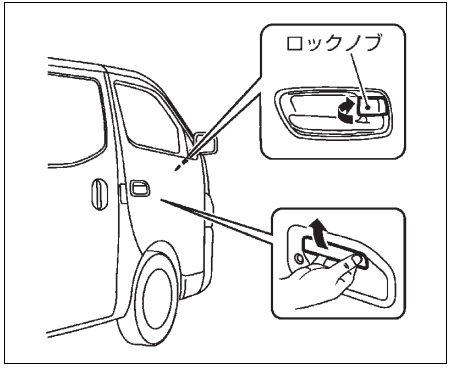
車両前方に回すと施錠し、車両後方に回すと解錠します。

●運転席ドアを施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠・解錠します。




## キー（インテリジェントキー）を使わない施錠

●車内のロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。




### アドバイス

● キー（インテリジェントキー）封じ込み防止のため、キー（インテリジェントキー）を携帯していることを確認してから施錠してください。

### 知識

● 以下の場合は、運転席ロックノブ、またはドアロックスイッチで施錠ができません。

— キースイッチにキーが差し込まれているとき。（リモートコントロールエントリーシステム付車）

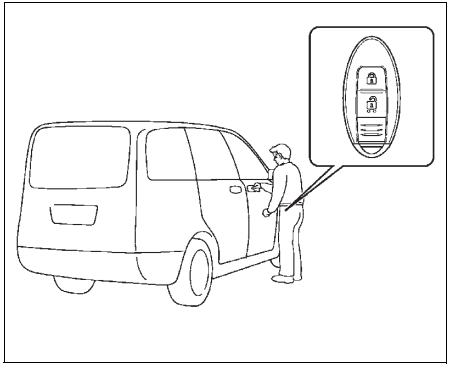
— インテリジェントキーが車内にあるとき。（インテリジェントキー付車）

## リモコン（インテリジェントキー）による施錠・解錠

●車に近づき、リモコン（インテリジェントキー）のスイッチを押します。
リモートコントロールエントリーシステム付車…P.32
インテリジェントキー付車…P.40

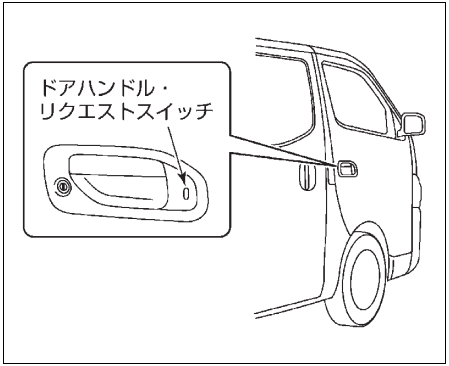
## インテリジェントキー機能による施錠・解錠★

キーを取り出すことなく施錠や解錠ができます。



●インテリジェントキーを携帯しているとき、運転席ドア、または助手席ドアの施錠・解錠作動範囲内でドアハンドル・リクエストスイッチを押すと全ドアが施錠、または解錠します。

●施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。

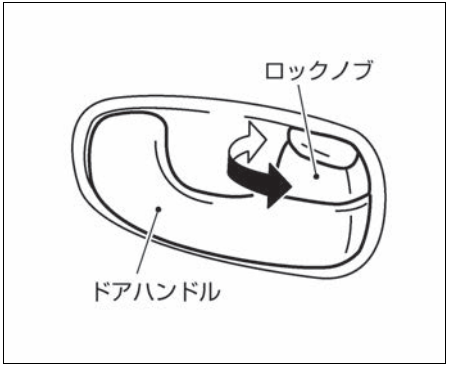



知識

- インテリジェントキーを検知しているドアハンドル・リクエストスイッチでのみ施錠・解錠を行うことができます。
- ドアの施錠・解錠時にはアンサーバック機能、オートロック機能が作動します。

### ロックノブによる施錠・解錠

- 車内のロックノブを押し込むと施錠し、手前に引くと解錠します。
- 運転席のロックノブで施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠・解錠します。
- ドアを開けるときは、解錠後ドアハンドルを引きます。



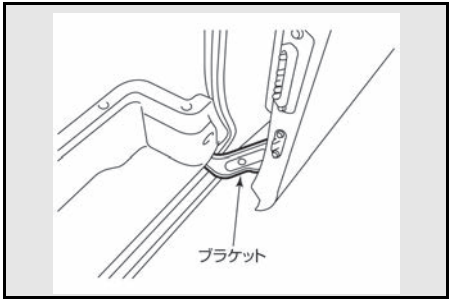

知識

- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。

## スライドドア

注意

- 必ず次のことをお守りください。重大な傷害や事故につながるおそれがあります。
  - ― 必ずドアハンドルを持って開閉する。
  - ― 傾斜地でスライドドアを開けるときは、ロックするまで確実に開ける。
  - ― スライドドアを強く開けない。
  - ― ブラケットに手や足などをかけない。

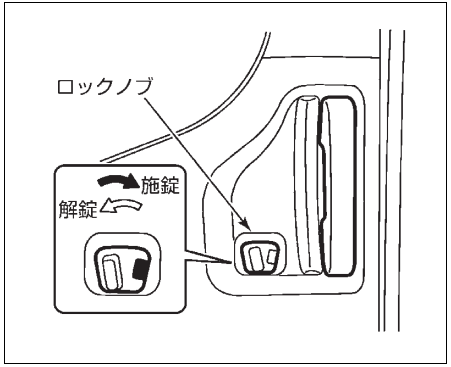



### リモコン（インテリジェントキー）による施錠・解錠

- 車に近づき、リモコン（インテリジェントキー）のスイッチを押します。
  リモートコントロールエントリーシステム付車…P.32
  インテリジェントキー付車…P.40

### ロックノブによる施錠・解錠

- 車内のロックノブを車両前方に押すと施錠し、車両後方に押すと解錠します。

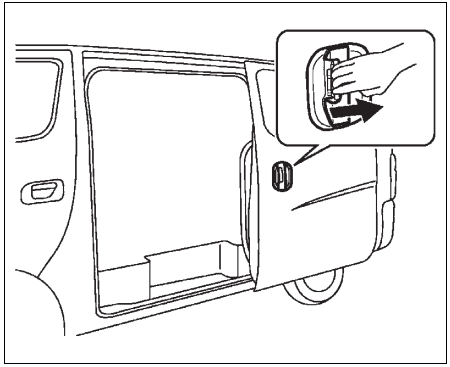



📖 知識

- キー封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。

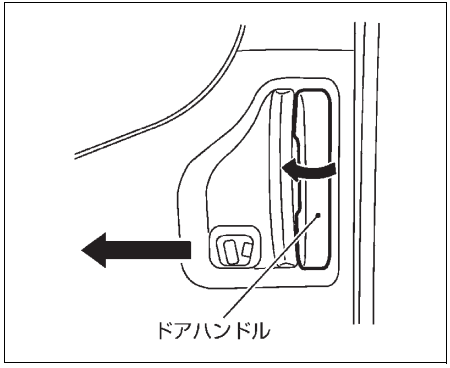
## 車外からの開閉

●解錠後、ドアハンドルを引きながらスライドドアを開閉します。



## 車内からの開閉

●解錠後、ドアハンドルを引きながらスライドドアを開閉します。



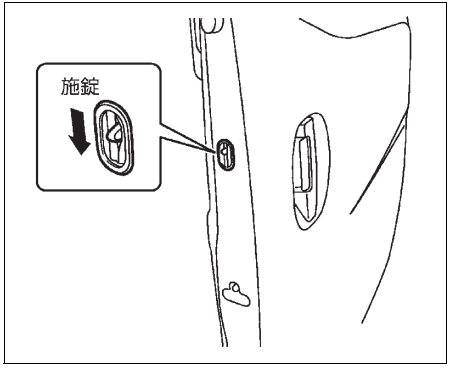

## チャイルドセーフティドアロック

車内のロックノブの位置に関係なく、スライドドアを車内から開けられなくなります。

●お子さまを乗せるときに使います。

### ■ 施錠のしかた

●スライドドアにあるロックレバーをLOCK側にしてドアを閉めます。




●ロックを解除するときは、ロックレバーを元に戻します。

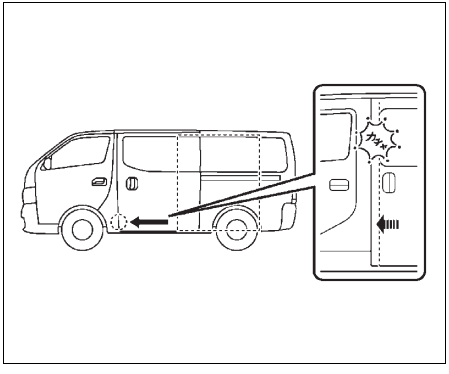
### ■ ドアを開けるとき

●ロック作動中にドアを開けるときは、車内のロックノブを解錠し、車外からドアハンドルを引きます。

## オートクロージャー★

自動的にスライドドアを全閉させる機能です。

閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。



**⚠ 注意**

- スライドドアや車体側に手を触れていると、手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- スライドドアを閉めるときは、スライドドアのふちやその周辺に手をかけず、ドアハンドルを持って閉めてください。

**アドバイス**

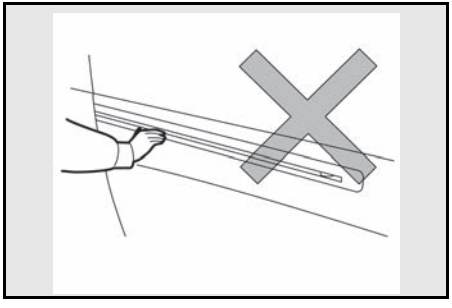
- ドアハンドルを開方向に引いたままスライドドアを閉めると、オートクロージャーは作動しません。
- バッテリーが弱っている場合には、オートクロージャーが作動しないことがあります。
- オートクロージャーの故障によりスライドドアが閉まりきらないときは、スライドドアを一旦開け、再度手で閉めてください。
- オートクロージャーの故障によりスライドドアが開かなくなった場合には、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

## ワンタッチオートスライドドア★

解錠した状態からスイッチを押すだけで、スライドドアを自動的に開閉させる機能です。

**⚠ 注意**

- 確実に停車している状態で開閉操作をしてください。
- 開閉操作をするときは、車外および車内のスライドドア周囲の安全を十分確認してから行ってください。周囲の人の身体がスライドドアや車体側に触れたままオート作動させると、手や腕などを挟まれたり、頭や腕を引き込まれて思わぬケガをするおそれがあります。
- 車が大きく傾いている状態ではオート作動させないでください。
- オート作動中にドアを押したり引いたりしないでください。反転して挟まれるおそれがあります。
- スライドドアレール部には手を入れないでください。レール部のケーブルに触れると、スライドドアがオート作動するおそれがあります。



**アドバイス**

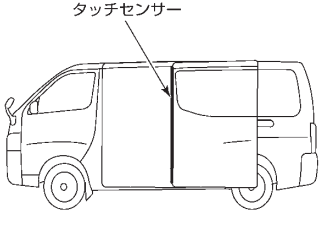
- エンジン停止時に何回も作動させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。
- オート作動中はエンジンを始動させないでください。正常に作動しなくなることがあります。
- 車を発進させるときは、オートスライドドアが全閉していることを確認してください。
- 次の場合は、オートドアメインスイッチをOFFにしてください。
  - スライドドアが故障したとき
  - スライドドアを長時間開けたままにするとき
  - 洗車や整備を行うとき
  - 手動で使用するとき



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

### アドバイス

- 全開時には、スライドドアの外側、または内側のドアハンドルに不用意に手をかけたり、ワンタッチスイッチに触れないでください。ドアハンドル、またはスイッチを操作すると自動でドアが閉まり始めます。
- オート開操作すると、ドアは全開位置でロックされますが、エンジン停止しているときは全開約30分後に節電のため、ロックは解除されチェッカーによる全開保持状態になります。その状態からドアを閉め方向に引いたり、急な下り坂でチェッカーを乗り越えた場合は、徐々に閉まるシステムになっています。
- スライドドア前端部のタッチセンサーを傷つけないようにしてください。センサーが切断されると、オートスライド機能は作動しなくなります。




- バッテリーあがりやバッテリーの脱着を行ったあと、スライドドアが開いている状態で再びバッテリーをつないだときは、必ず一旦手動でドアを全閉してからオート作動を行ってください。全閉位置以外からスイッチ操作を行うと、ドアのオート開閉機能が正常に作動しないことがあります。
- スライドドアのレール部に、ホースなどで水をかけないように注意してください。特に寒冷地の場合、スライドドアのワイヤーに氷が付くと、オートスライドドアシステムを破損するおそれがあります。

### 知識

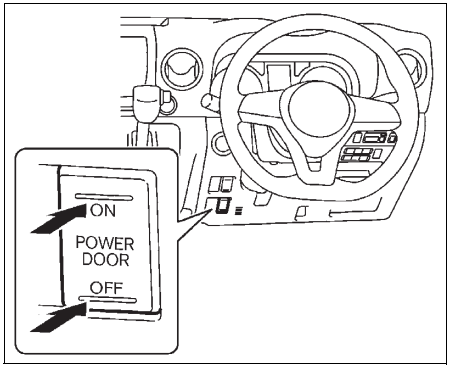
- 閉作動時、半ドア位置までドアがスライドすると、オートクロージャー機能で全閉します。（P.44）
- オートドアメインスイッチがONのとき、スライドドアを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。（停車、またはスライドドアを閉めると鳴り止みます。）
- オート作動の開始時とオート閉作動中は、ブザーが鳴ります。

### ■ オートドアメインスイッチ

オートスライド（自動開閉）機能のON/OFFができます。通常はONにしておきます。

●オートスライド機能を使うときは、ON側を押します。

●使わないときは、OFF側を押します。




### 知識

- オートドアメインスイッチをOFFにしてもオートクロージャー（P.44）は作動します。
- オートドアメインスイッチがONのとき、スライドドアを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。
- バッテリー電圧が極端に下がっている（11V以下）と作動しません。

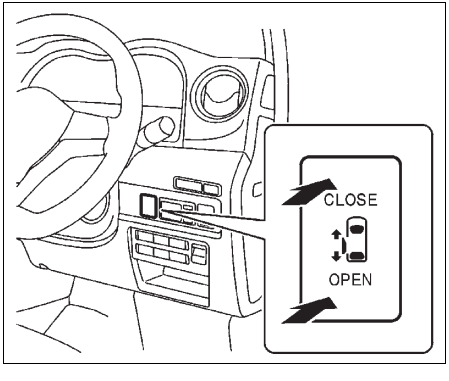
●オート作動は、オートドアメインスイッチがON、車速が約3km/h以下のときに作動させることができます。ただし、電源ポジションがONのときは、以下の条件のうちいずれか1つ以上を満たす必要があります。

— セレクトレバーがPに入っている
— フットブレーキを踏んでいる
— パーキングブレーキをかけている

### ■ ワンタッチオートスライドドア運転席スイッチによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作 します。

- スライドドア全閉時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き全開、または全閉して停止します。

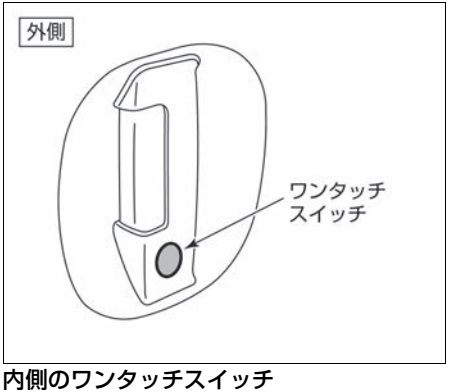



### ■ ワンタッチスイッチによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

**外側のワンタッチスイッチ**

- スライドドア全閉時にワンタッチスイッチを押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にワンタッチスイッチを押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にワンタッチスイッチを押すと、作動している方向とは反対の方向に動き全開、または全閉して停止します。




**内側のワンタッチスイッチ**

- ドア全閉時にはワンタッチスイッチでのオート開作動はできません。
- スライドドア全開時にワンタッチスイッチを押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にワンタッチスイッチを押すと、作動している方向とは反対の方向に動き全開、または全閉して停止します。




**アドバイス**

- ドア全閉時にオート開作動させたい場合は、ドアハンドルで操作してください。

ドアハンドルによる開閉のしかた (P.48)

### ■ インテリジェントキーによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にインテリジェントキーのワンタッチオートスライドドア開閉スイッチを約1秒間押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にワンタッチオートスライドドア開閉スイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にワンタッチオートスライドドア開閉スイッチを押すと、作動して

いる方向と反対の方向に動き全開、または全閉して停止します。

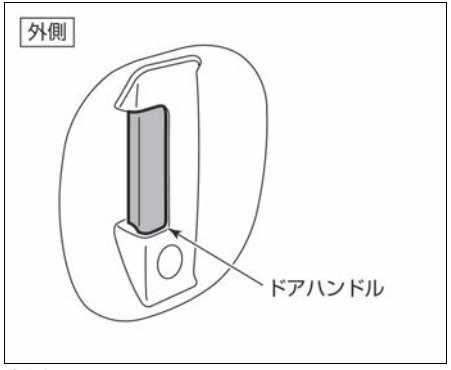
リモートコントロールエントリー機能について (P.40)

### ■ ドアハンドルによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

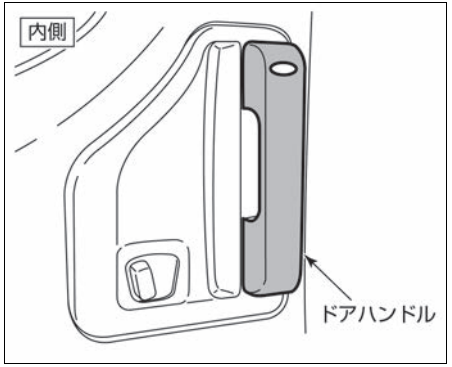
**外側のドアハンドル**

- スライドドア全閉時にドアハンドルを引くと、自動的に開きます。
- スライドドア閉作動中にドアハンドルを引くと、ドアが反転し全開で停止します。（ドア開作動中にはドアハンドルを引いても反転しません。）
- ドア全開時にはドアハンドルでのオート閉作動はできません。




**内側のドアハンドル**

- スライドドア全閉時にドアハンドルを開方向に操作すると、自動的に開きます。
- スライドドア閉作動中にドアハンドルを引くと、ドアが反転し全開で停止します。（ドア開作動中にはドアハンドルを引いても反転しません。）
- ドア全開時にはドアハンドルでのオート閉作動はできません。




**アドバイス**

- ドア全開時にオート閉作動させたい場合は、ワンタッチスイッチ（外側・内側）で操作してください。

ワンタッチスイッチによる開閉のしかた (P.47)

**知識**

- チャイルドセーフティドアロックをLOCK側にしているとき、スライドドア内側のドアハンドルでは開けることができません。

### ■ 挟み込み防止機構

- スライドドアがオート作動中に、挟み込み、引っかかりなどを感知すると、ドアが反対方向に動き全開、または全閉して停止します。
- スライドドアがオート閉作動中にドア前端部のタッチセンサーに触れると、ドアが反対方向に動き、全開位置で停止します。

**⚠ 注意**

- 挟まれる物や挟まれかたによっては、挟み込み防止機構が作動しない場合があります。手などを挟まないように十分注意してください。

**アドバイス**

- スライドドア前端部のタッチセンサーを傷つけないでください。
- タッチセンサーが切断されると、オートスライド機能は作動しなくなります。
- タッチセンサーが切断されたときは、安全のためすみやかに日産販売会社に連絡してください。
- 全開位置付近で挟み込みを感知すると、ドアは反転せずに停止することがあります。

## バックドア

**⚠ 警告**

- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

**⚠ 警告**

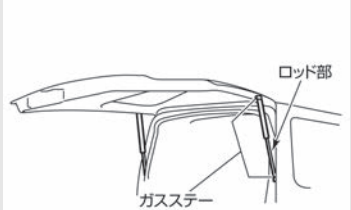
- 走行前に、バックドアが確実に閉まっていることを必ず確認してください。バックドアを開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

**⚠ 注意**

- バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミ等の重量物を取り除いてください。重量物が付着したままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- バックドアは必ず全開してください。途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときに開けると、風にあおられ急に閉まることがありますので特に注意してください。
- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。

**バックドアガスステーについて**

- バックドアのガスステーはバックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や動作不良を防ぐために、次のことをお守りください。
  - ガスステーに手やひもをかけたり、横方向に力をかけたりしない。
  - ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない。
- ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしないでください。手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。




**アドバイス**

- 手をそえないと全開にならない場合は、ガスステーの保持力が低下しているおそれがあります。お近くの日産販売会社にて、早めの点検を受けてください。

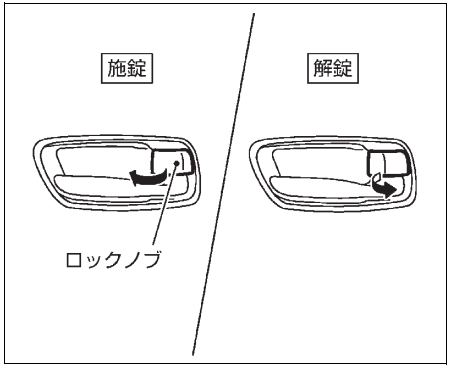
## リモコン（インテリジェントキー）による施錠・解錠

●車に近づき、リモコン（インテリジェントキー）のスイッチを押します。
リモートコントロールエントリーシステム付車…➔P.32
インテリジェントキー付車…➔P.40

## ロックノブによる施錠・解錠

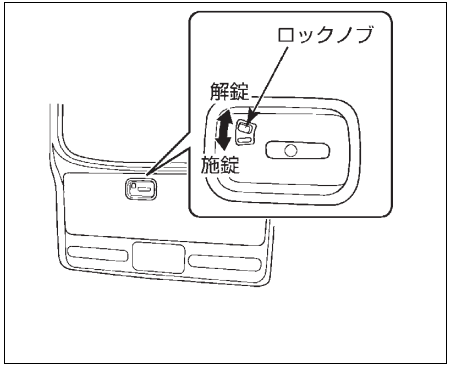
### ■ 運転席からの操作

●運転席のロックノブで施錠・解錠すると、バックドアが同時に施錠・解錠します。



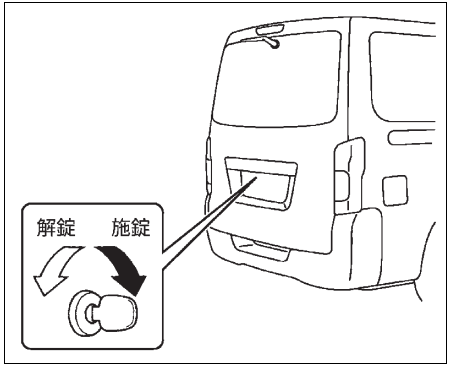

### ■ バックドアからの操作

●バックドア室内側のロックノブを押し下げると施錠し、押し上げると解錠します。



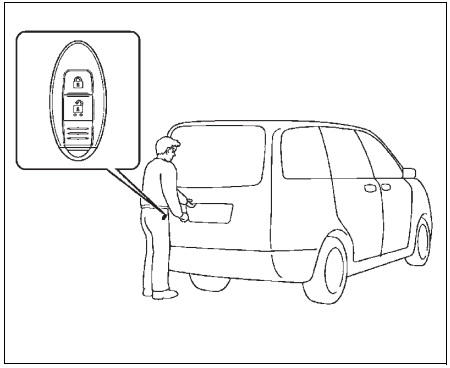

## キーによる施錠・解錠★

●キーをキー穴に差し込み、右に回すと施錠し、左に回すと解錠します。



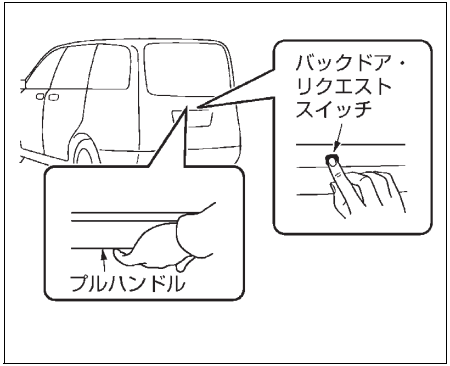

## インテリジェントキー機能による施錠・解錠★

キーを取り出すことなく施錠や解錠ができます。



●インテリジェントキーを携帯しているとき、作動範囲内でバックドア・リクエストスイッチを押すとバックドア（ドアも同時に）が施錠、または解錠します。

●施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。

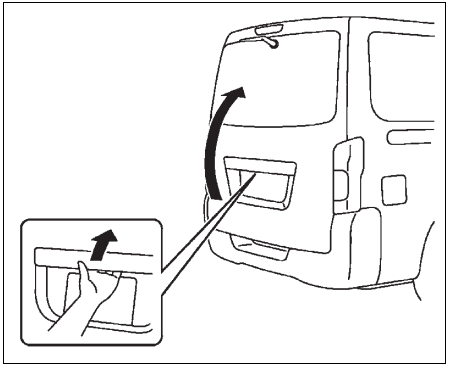



📖 知識

- 解錠後、プルハンドルを引き上げるとバックドアが開きます。
- 施錠するときは、バックドアを閉めてからバックドア・リクエストスイッチを押します。
- 施錠・解錠時にはアンサーバック機能、オートロック機能が作動します。

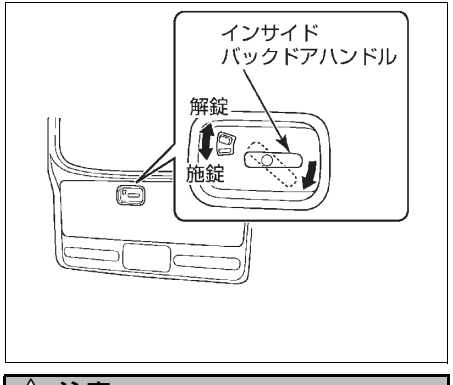
## 車外からの開けかた

●解錠後、プルハンドルを引き上げドアを持ち上げます。



## 車内からの開けかた

●解錠後、インサイドバックドアハンドルを回しドアを押し上げます。

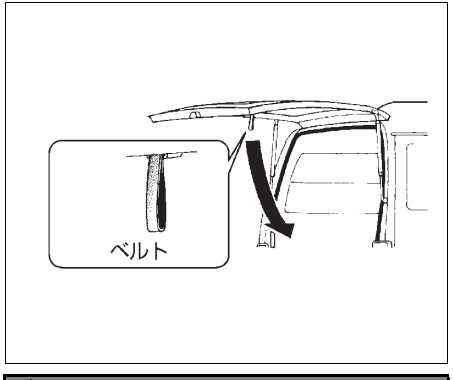



**⚠ 注意**

- 走行中は操作しないでください。

## 閉めかた

●ベルトを引いてバックドアを降ろし、確実にロックするまで押し付けます。

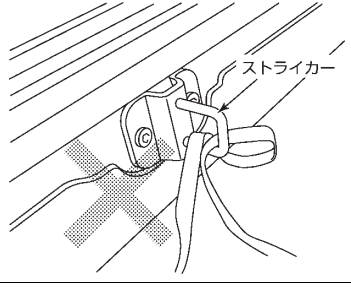



**⚠ 警告**

- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めると、手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけないでください。必ず外から押して閉めてください。
- バックドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを必ず確認してください。走行中にバックドアが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

**アドバイス**

- バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物をかみ込まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。

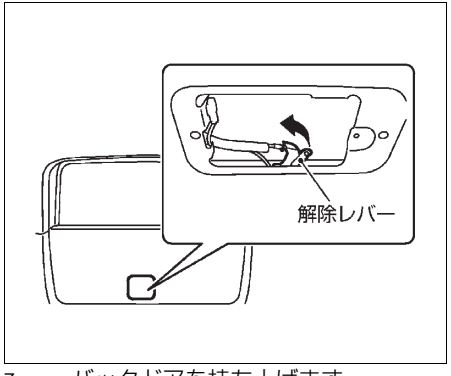



## バックドアが開けられなくなったとき

バッテリーあがりなどにより、バックドアが開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

**オートクロージャー無車**

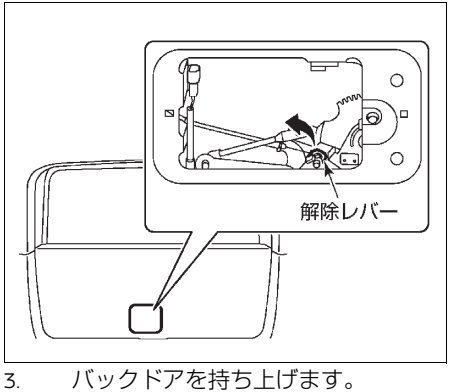
1. お手持ちの工具で左右のネジを外し、バックドア車内側にあるカバーを取り外します。
2. 解除レバーを矢印の方向に動かし、解錠します。



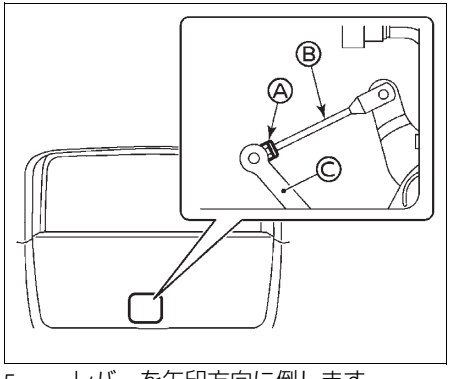

3. バックドアを持ち上げます。

**オートクロージャー付車**

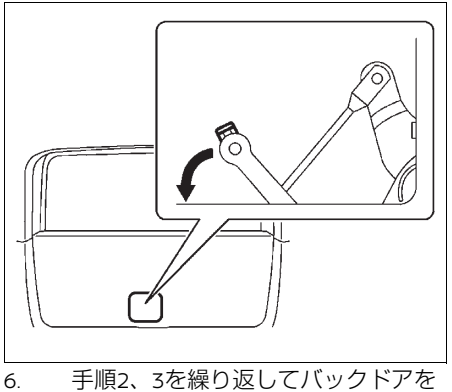
1. お手持ちの工具で左右のネジを外し、バックドア車内側にあるカバーを取り外します。
2. 解除レバーを矢印の方向に動かし、解錠します。




3. バックドアを持ち上げます。
4. 手順3.で開かないときはホルダーⒶを外し、レバーⒸからロッドⒷを外します。




5. レバーを矢印方向に倒します。



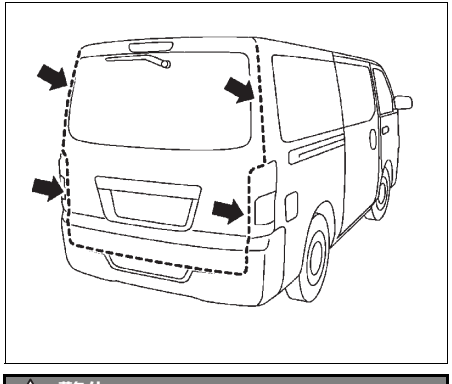
6. 手順2、3を繰り返してバックドアを開けます。

**アドバイス**

- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。
- オートクロージャー★の故障によりバックドアが開けられなくなり、 上記の方法でも解錠できないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

## オートクロージャー★

自動的にバックドアを全閉させる機能です。閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。



**⚠ 警告**

- バックドアや車体側に手を触れていたり、ドアグリップを握ったままバックドアを閉めると手を挟まれてケガをするおそれがあります。

**⚠ 警告**

- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけないでください。必ず外から押して閉めてください。

**アドバイス**

- 次のような場合はオートクロージャーが作動しません。ドア開き警告が表示しているときはバックドアを一旦開け、再度閉め直してください。
  - ― プルハンドルを引きながらバックドアを閉めたとき。
  - ― バックドアを開けてすぐに閉めたとき。
  - ― プルハンドルを引いたあと、バックドアを開けなかったとき。
- バッテリーが弱っているとオートクロージャーが作動しないことがあります。その場合は、手で強く閉めるかエンジンをかけてから閉め直してください。
- オートクロージャーの故障によりバックドアが閉まりきらないときは、バックドアを一旦開け、再度手で閉めてください。荷物の積みすぎなどによりオートクロージャーで閉め切れない状態を繰り返すと、オートクロージャーが作動しなくなります。そのときは日産販売会社で点検を受けてください。

## キー封じ込み防止機能★

インテリジェントキーを車内に入れたまま施錠することを防ぐ機能です。

**アドバイス**

- 次のような場所に置いているときは、キー封じ込み防止機能が作動しないことがあります。
  - ― インストルメントパネル上
  - ― グローブボックス内
  - ― ドアポケット内
  - ― 金属製のバッグの中
  - ― 金属製のものの近く
  - ― 助手席足元付近
- 周囲の電波環境によってはキー封じ込み防止機能が作動しないことがあります。
- インテリジェントキーが車外にあっても、車両（ドアやドアガラス、リヤバンパーなど）に近づけすぎた場合、キー封じ込み防止機能が作動することがあります。

- インテリジェントキーが車内にあるとき
  - ― 運転席ドアを開けた状態での運転席のロックノブによる施錠ができません。（施錠後、すぐに全ドアが解錠されます。）
- ドアを開けた状態で運転席のロックノブにより全ドアを施錠し、インテリジェントキーを車内に入れてしまったとき
  - ― 全ドアを閉めると、車外警報ブザーが“ピピピピ...”と鳴り、全ドアが解錠されます。

## エンジンカバー

エンジンオイル量などの点検時に開けます。

### 開けかた

**⚠ 注意**

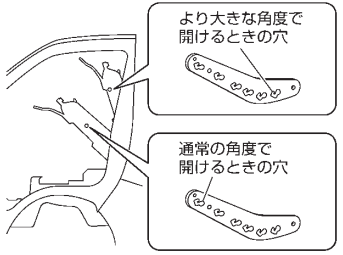
- コンソール部にあるカップホルダーに飲物などを置いたまま、エンジンカバーを開けないでください。熱い飲物がこぼれると、やけどをするおそれがあります。
- エンジン停止直後は排気系部品、ラジエーターなどの高温部には触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- シートストラップがエンジンカバーに確実に固定されていることを確認してください。
- エンジンカバーを開けた状態でシートの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。
- 開閉するときは取っ手を持ち、指を挟まないようにしてください。取っ手以外のところに指をかけると、挟まれ重大な傷害につながるおそれがあります。
- エンジンがかかっているときエンジンルームに手、衣服、工具などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。

### アドバイス

- コンソール上面に物を載せたまま、エンジンカバーを開けないでください。載せているものが落下するおそれがあります。
- マルチセンターコンソール（➔P.247）付車は、格納式後席用テーブルを格納してからエンジンカバーを開けてください。格納式後席用テーブルを破損するおそれがあります。

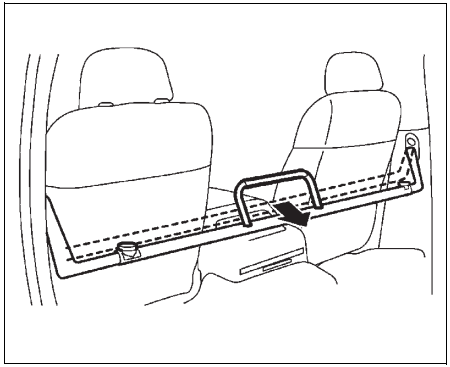
### 知識

- シートストラップにより、開度を調整できます。整備などでエンジンカバーをより大きな角度で開けたいときは、エンジンカバーのフックをシートストラップの根元の穴に固定します。

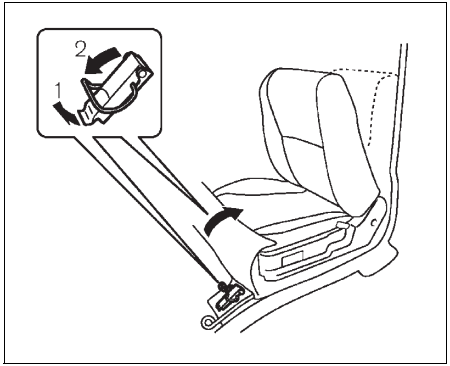



## ■ バン、パラメディック（救急車）

1. パーテーションパイプ★（➔P.248）を後ろ向きに付け替えるか、取り外します。

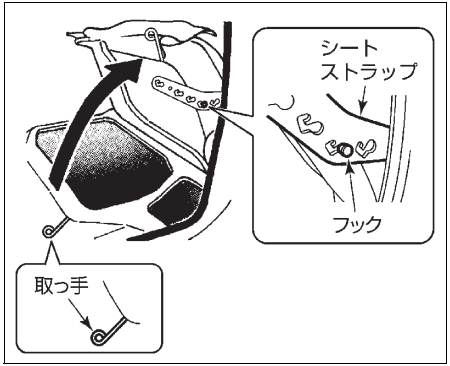


2. 助手席シートを一番前までスライドさせます。（助手席シートスライド付車）
   ➔前後位置調節（スライド）★(P.63)
3. ヘッドレストを外します。（上下調整式ヘッドレスト付車）
   ➔ヘッドレストの使いかた★(P.63)
4. 助手席および前席センターシート★の背もたれを前に倒します。
5. カーペットをめくり、前方のロック（2箇所）を外します。



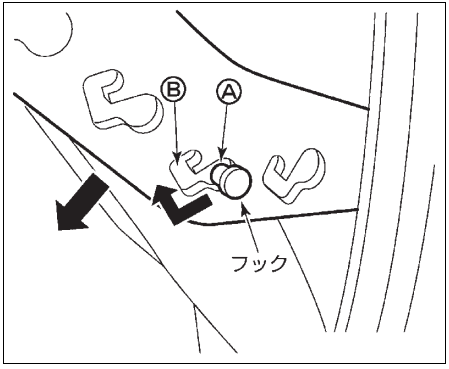

※車種により、シート形状が異なります。

6. エンジンカバーの取っ手を持ち上げ、シートストラップをエンジンカバーのフックに引っかけます。



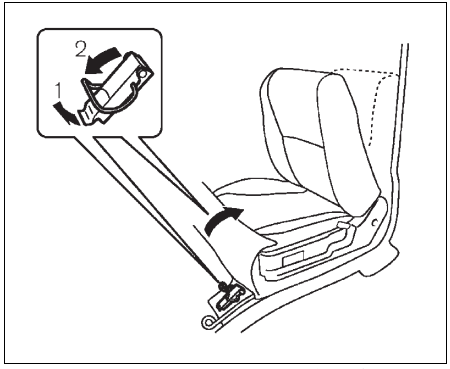

7. シートストラップを下げながら、エンジンカバーからゆっくり手を離すと、フックがⒶの位置からⒷの位置

に移動し、エンジンカバーが固定されます。



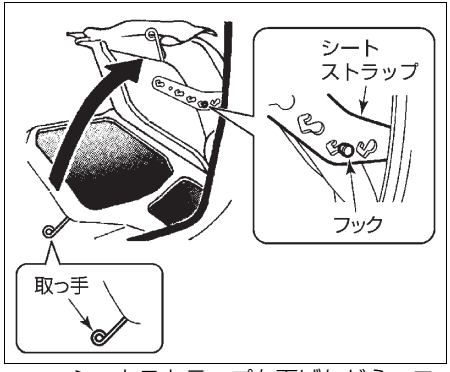

■ ワゴン、マイクロバス

1. 助手席シートを一番後ろまでスライドさせます。
   ➔前後位置調節（スライド）★ (P.63)
2. ヘッドレストを外します。（上下調整式ヘッドレスト付車）
   ➔ヘッドレストの使いかた★ (P.63)
3. 助手席の背もたれを天井に当たらない位置まで後ろに倒します。
4. カーペットをめくり、前方のロック（2箇所）を外します。

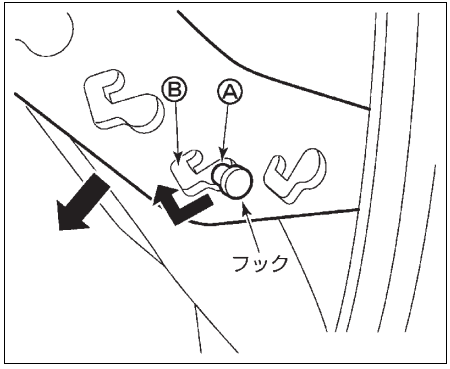



※車種により、シート形状が異なります。

5. エンジンカバーの取っ手を持ち上げ、シートストラップをエンジンカバーのフックに引っかけます。




6. シートストラップを下げながら、エンジンカバーからゆっくり手を離すと、フックがⒶの位置からⒷの位置に移動し、エンジンカバーが固定されます。




### 閉めかた

1. エンジンカバーを少し持ち上げて、シートストラップからフックを外します。
2. 取っ手を持ってゆっくりと閉めます。
3. シート前方のロック（2箇所）をかけます。
4. 助手席シートの背もたれを起こします。
5. ヘッドレストを取り付けます。（上下調整式ヘッドレスト付車）

**⚠ 注意**

- エンジンカバーを閉めるときは、手などを挟まないようにゆっくり降ろしてください。

## パワーウインドー

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき操作できます。

**⚠ 警告**

- 乗員の操作を含めすべての窓ガラス開閉操作は運転者に責任があるため、以下のことを必ずお守りください。
  - 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
  - 窓ガラスを開閉するときは、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - お子さまにはパワーウインドーを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、パワーウインドーロックスイッチを押し込んでください。
  - 窓ガラスを開閉するときはお子さまに声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近にないことを確認してから操作を行ってください。
  - 車から離れるときはキースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、キーとお子さまを車内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。

**📖 知識**

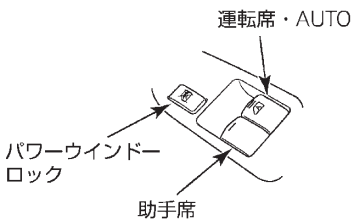
- 運転席のパワーウインドーロックスイッチが押し込まれているときは、助手席窓ガラスの操作ができません。

**キーOFF後作動機構**

- 運転席の窓ガラスはキースイッチ（電源ポジション）をAcc、またはOFFにしたあとでも、約15分間は開閉することができます。ただし、その約15分間に運転席ドアを開けて閉める（ドアが開いているときは閉める）と、窓ガラスの開閉はできなくなります。

### 運転席での開閉

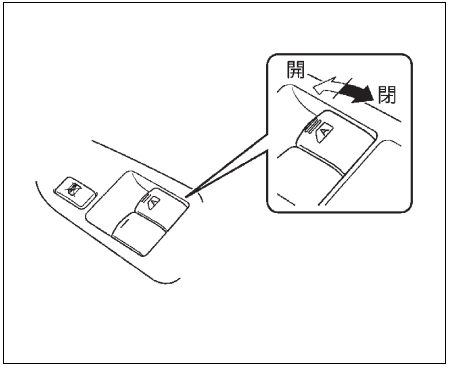
運転席ドア部のスイッチで、前席の窓ガラスの開閉ができます。




**■ 運転席の窓ガラスの開閉**

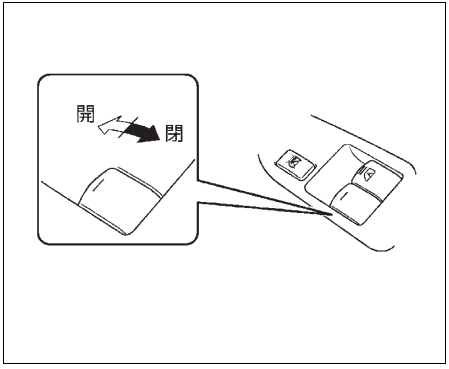
運転席・AUTOスイッチで開閉します。

- スイッチを軽く押している間、開きます。強く押すと自動で全開します。
- スイッチを軽く引き上げている間、閉まります。強く引き上げると自動で全閉します。
- 自動で開閉中に途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。



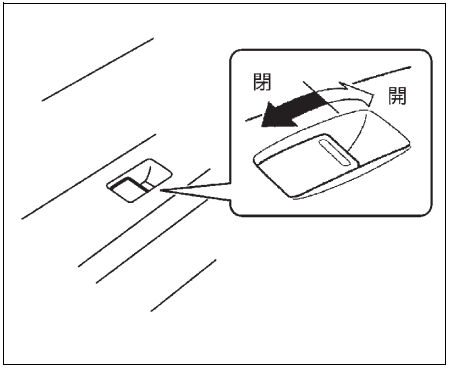

### ■ 助手席の窓ガラスの開閉

- 助手席スイッチで開閉します。
- スイッチを押している間、開きます。
- スイッチを引き上げている間、閉まります。




## 助手席での開閉

- スイッチを押している間、開きます。
- スイッチを引き上げている間、閉まります。




**知識**

- 運転席のパワーウインドーロックスイッチが押し込まれているときは操作できません。

## 挟み込み防止機構

- 運転席の窓ガラスを自動で閉めているときやキーOFF後作動機構で閉めているときに、車体と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると作動することがあります。

**⚠ 注意**

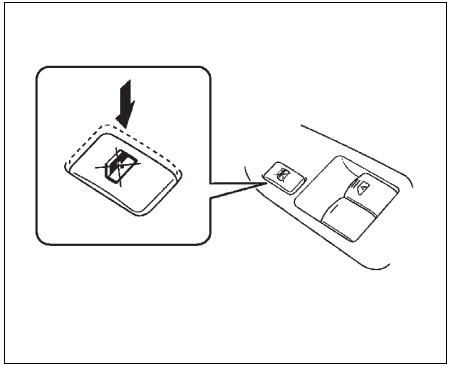
- 窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないよう注意してください。

**アドバイス**

- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

## パワーウインドーのロックのしかた

- パワーウインドーロックスイッチを押し込むと、助手席の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すと開閉できます。



| スイッチ位置 | 作 動 |
|---|---|
| ON | ロックされます。 |
| OFF | ロックが解除されます。 |

## 正常に作動しないとき

バッテリーを外したり、開閉操作を連続して行うと、運転席窓ガラスの自動閉操作、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないことがあります。

以下の操作を行い、初期設定してください。

※ドアを閉めて操作します。

1. エンジンをかけます。
2. 運転席・AUTOスイッチを押し、窓ガラスを全開にします。（すでに全開しているときは、操作する必要はありません。）
3. 運転席・AUTOスイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
4. 正常に作動することを確認します。

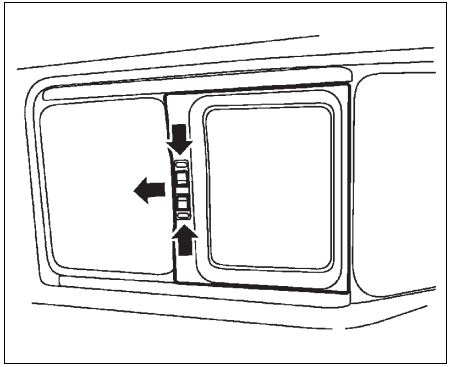
●正常に作動しないときは、再度上記の操作を行ってください。

**アドバイス**

- 上記の操作で作動できない場合は、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

## スライドサイドウインドー★

1. ノブをつまみながら車両後方へスライドさせ、ノブから手を離します。
2. 車両後方に“カチッ”と音がするまでスライドさせロックします。



**注意**

- 開閉するときは指を挟まないように注意してください。
- 窓の枠に手や指をかけないでください。窓ガラスに挟まれて重大な傷害につながるおそれがあります。

**知識**

- 開閉位置は4段階に調節することができます。

## 燃料補給口

燃料補給口は運転席側の車両後方にあります。

**警告**

- 燃料補給時は、以下のことを必ずお守りください。
  - — エンジンを止める。
  - — 車のドアや窓を閉める。
  - — タバコなどの火気を近づけない。
  - — 気化した燃料を吸わない。
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。放電による火花でやけどをしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行ってください。作業中に車内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

## 燃料の補給

●燃料タンクの容量は、約65ℓです。

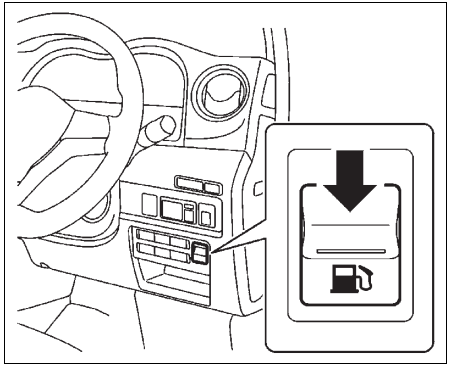
| エンジン型式 | 指定燃料 |
|---|---|
| QR20DE（ターボ無車）<br>QR25DE（ターボ無車） | 無鉛レギュラーガソリン |
| 4N16（ターボ付車） | 超低硫黄軽油（S10ppm以下） |

**アドバイス**

- 指定以外の燃料は補給しないでください。
- 4N16エンジン搭載車は、必ず超低硫黄軽油（S10ppm以下）を使用してください。

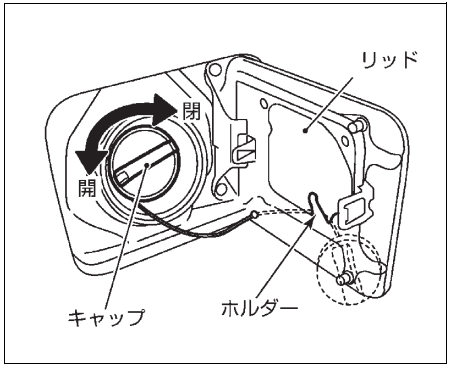
### 開けかた

1. フューエルフィラーリッドオープナースイッチを下側に押し、リッドを開けます。



2. キャップを左にゆっくり回して開けます。

●補給時、キャップのひもはリッド裏側のホルダーに引っかけます。




### 閉めかた

1. キャップを“カチッ、カチッ”と、2回以上音がするまで右に回して閉めます。
2. リッドを押し付けてロックします。

**⚠ 警告**

- キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しないでください。

## 尿素水補給口（ディーゼル車）

尿素水補給口は助手席側スライドドアのステップ部の車両後方にあります。

## 尿素水（AdBlue®）の補給

- アドバンスドドライブアシストディスプレイに尿素水残量警告が表示されたときは、タンクが空になる前に尿素水（AdBlue®）を補給してください。
- 警告表示については尿素水残量警告（➔P.163）をお読みください。
- 尿素水タンクの容量は約11.4ℓです。指定銘柄：AdBlue®（ISO 22241-1に適合した尿素水）
- 補給の際に誤ってこぼしてしまうと、部品や塗装などの損傷につながるおそれがあります。尿素水（AdBlue®）を補給する場合は、日産販売会社で補給することをおすすめします。

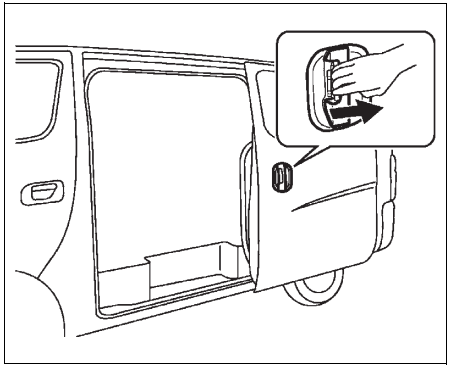
- もし、お客さま自身で補給する場合は、あふれないように注意してください。
- 補給ノズルで補給する場合には、自動停止が働いた時点で給水を止めてください。

**⚠ 注意**

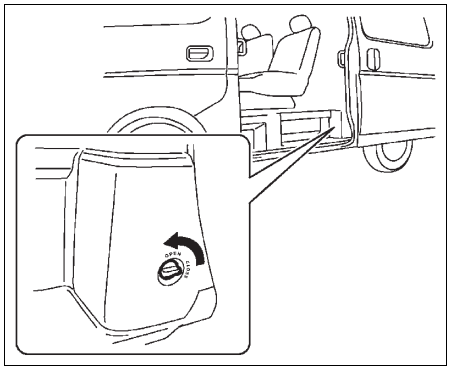
- 尿素水（AdBlue®）の残量がなくなると、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから3分後にエンジンの再始動ができなくなります。

## 開けかた

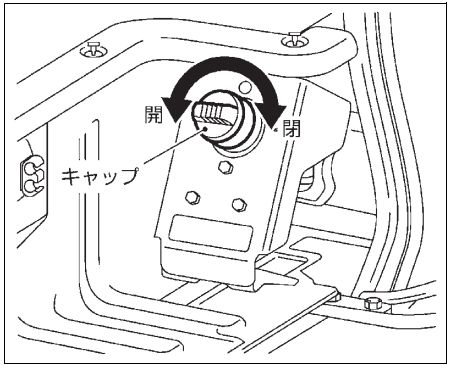
1. 助手席側のスライドドアを開けます。



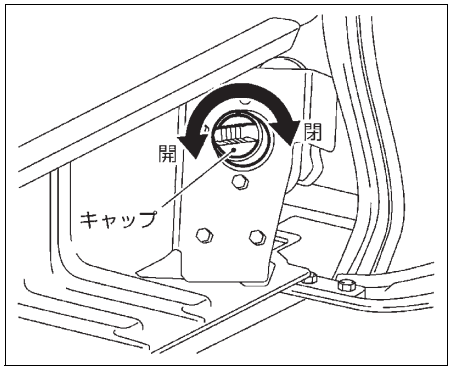
2. カバー付車は、カバーのダイヤルを「OPEN」の位置に合わせ、カバーを外します。



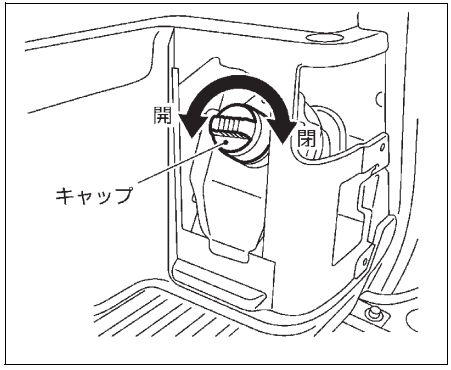
3. キャップを左にゆっくり回して開けます。




カバー無車




ステップボード付車




カバー付車

**⚠ 注意**

- 尿素水（AdBlue®）をこぼしたときはすみやかにふき取ってください。

### 閉めかた

1. キャップを右に回して閉めます。
2. カバーを元に戻します。

**⚠ 警告**

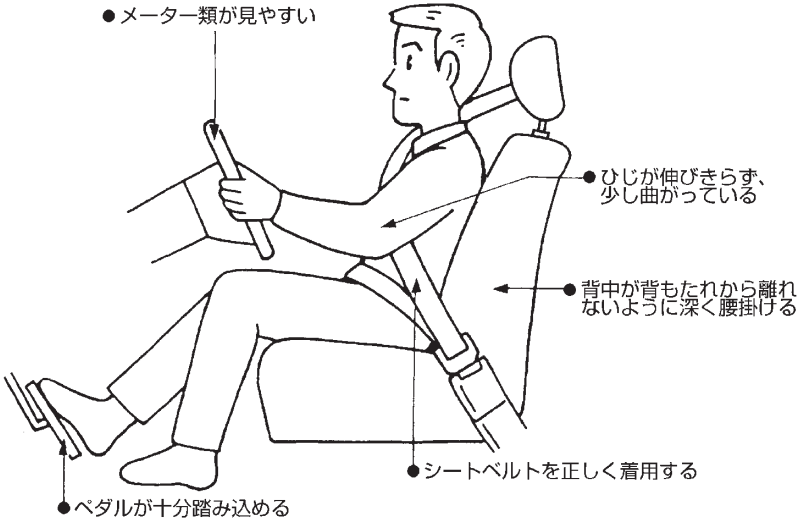
- 日産純正品以外のキャップは使用しないでください。

**⚠ 注意**

- キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に尿素水（AdBlue®）が漏れるおそれがあります。

## 正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調節してください。




### ⚠ 警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節をすると前方不注意となり危険です。
- 調節したあとは確実に固定されていることを確認してください。ハンドルやシートが固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

### ⚠ 注意

- 調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれを調節するときは、背もたれを支えながら調節してください。顔や身体に当たり思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

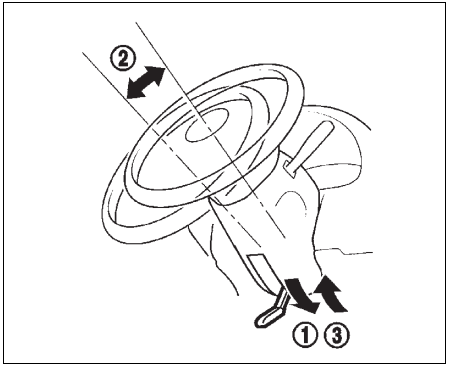
# ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた

**⚠ 注意**

- 室内を清掃するときやシートの下に落とした物を拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分に注意してください。シートレールやシートフレームに当たりケガをするおそれがあります。

## ハンドル

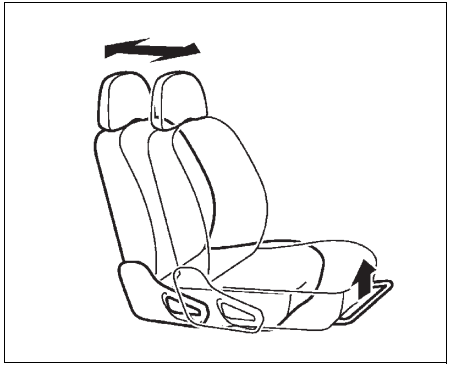
1. レバーを押し下げます。
2. ハンドルの高さを調節し、適切な位置で止めます。
3. レバーを引き上げ固定します。




## 前席シート

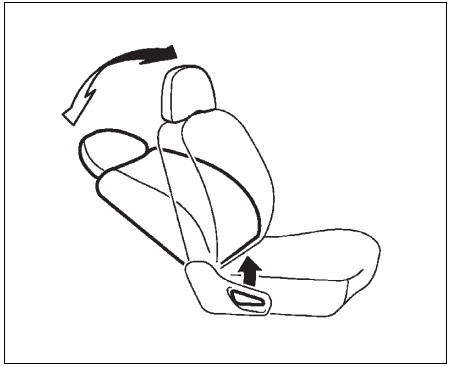
### 前後位置調節（スライド）★

1. レバーを引いたまま、シートを前後に動かします。
2. レバーから手を離したところで固定します。



### 背もたれの角度調節（リクライニング）

1. レバーを引いたまま、背もたれを傾けます。
2. レバーから手を離したところで固定します。

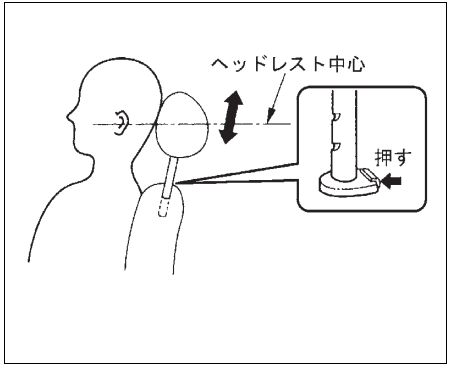


### ヘッドレストの使いかた★

**■ 上下調節のしかた**

ヘッドレストの中心が、耳の高さになるように調節します。

- 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
- 下げるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。




■ 脱着のしかた

●取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。

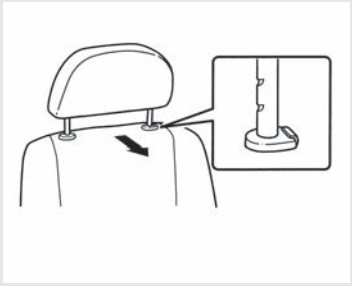
●取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

**⚠ 警告**

- ヘッドレストは外したまま走行しないでください。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

- 取り付けるときは、前後の向きを間違えないでください。

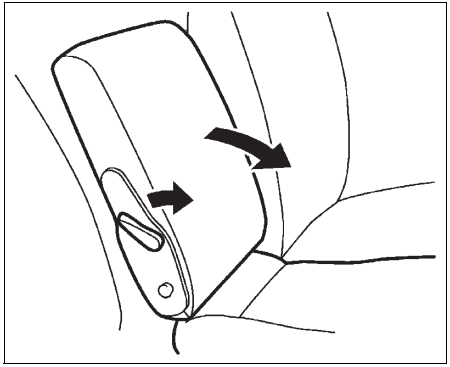


- 取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認してください。万一のとき、ヘッドレストが効果を十分発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

## 前席センターシート★

●背もたれを倒すときは、レバーを車両前方へ押しながら倒し、押し付けてロックさせます。

●背もたれを起こすときは、レバーを"カチッ"と音がするまで押し下げてから起こします。



**📖 知識**

- 背もたれを倒すと、センターシート背面コンソールとして使うことができます。

➔センターシート背面コンソール（前席センターシート付車）(P.248)

## ヒーターシート★

### ヒーターシートの使いかた

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。フロントシートを温めます。

**⚠ 注意**

- 長時間の連続使用は低温やけどの原因となります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意して使ってください。

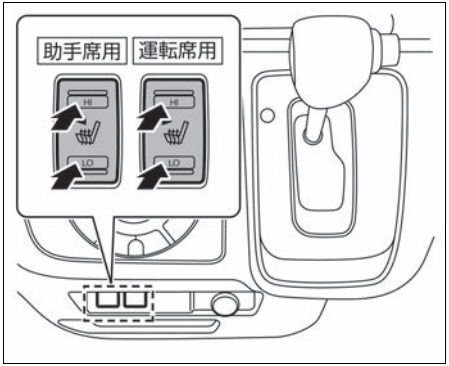
**⚠ 注意**

- シートに毛皮や座布団を載せないでください。また、日産純正以外のシートカバーを使わないでください。過熱するおそれがあります。
- 固くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートをつきさしたりしないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。

**アドバイス**

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態で使ってください。また、アイドリング状態での連続使用は避けてください。

●スイッチのHI側、またはLO側を押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
●OFFにするには、スイッチを中立位置にします。
（スイッチの表示灯が消灯）




## 後席シート（バン）

**⚠ 警告**

- 後席を使用するときは、必ずピローとパーテーションパイプを取り付けて使用し、パーテーションパイプより後方に背もたれを傾けたまま走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

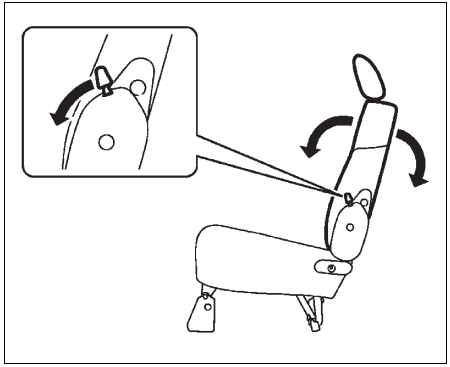
**アドバイス**

- 後席を使用するときは、シートと荷室の間に、必ずパーテーションパイプを取り付けてください。パーテーションパイプを取り外したまま走行すると違法改造になります。

➔パーテーションパイプ（バン）(P.248)

### 背もたれの角度調節（リクライニング）★

1. レバーを引いたまま、背もたれを傾けます。
2. レバーから手を離したところで固定します。



### ピローの使いかた★

ピローは、ロックする位置まで上げた状態で使います。

**⚠ 注意**

- ピローはロック位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用してください。

ピローの脱着のしかたは、前席シートのヘッドレスト（➔P.63）と同じです。

## シートの折りたたみかた★

荷室を広くすることができます。

**⚠ 警告**

- 荷室に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートの操作は、停車した状態で行ってください。思わぬ重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートを元に戻したときは、シートの脚が確実に固定されたことを確認してください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

- シートを折りたたむときは、手や足を挟まないように注意してください。

**アドバイス**

- 乗車人数により最大積載量が変わります。最大積載量は自動車検査証で確認してください。

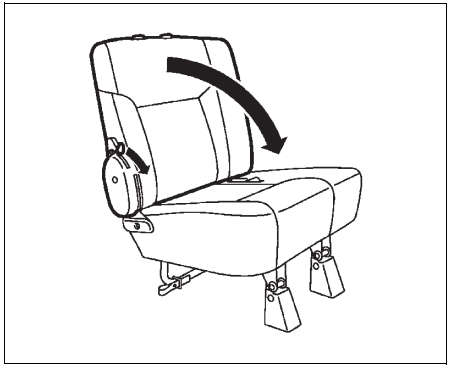
  ➔最大積載量（バン） (P.70)
- パーテーションパイプの前後の位置は、荷物の量によって使い分けてください。

  ➔パーテーションパイプ（バン） (P.248)

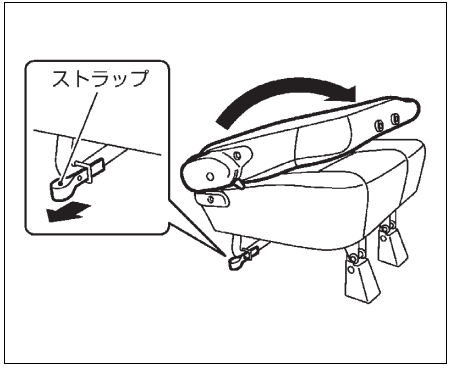
### ■ 2/3/5人乗り

左右別々に折りたたむことができます。

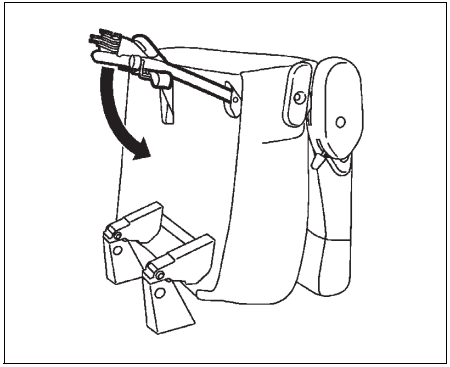
1. ピローを取り外し、レバーを引きながら背もたれを倒します。



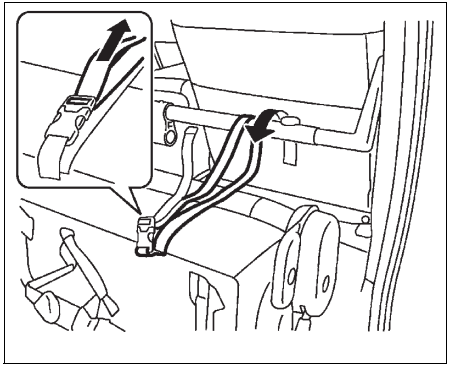
2. ストラップを引きながら、シートクッションを前に起こします。




3. シートの脚を折りたたみます。



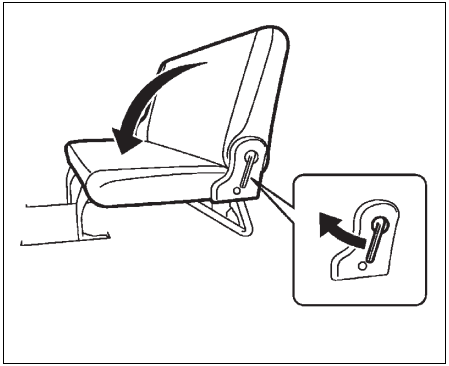
4. シートクッションの裏側にあるポケットからベルトを取り出してパーテーションパイプに通してからロックし、ベルトを調節して固定します。



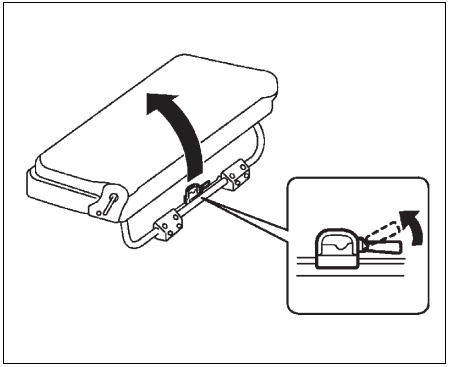
※元に戻すときは、操作した逆の手順で戻します。

### ■ 3/6人乗り

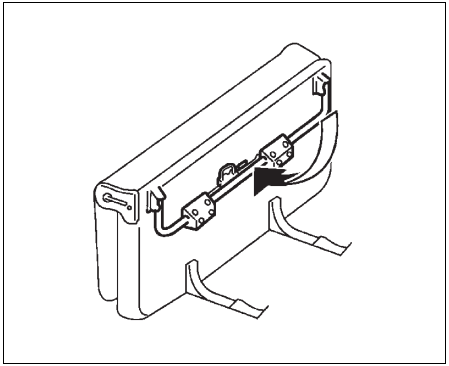
1. レバーを引きながら、背もたれを倒します。



2. 2列席下のレバーを引き上げ、シートクッションを前に起こします。



3. シートの脚を折りたたみます。

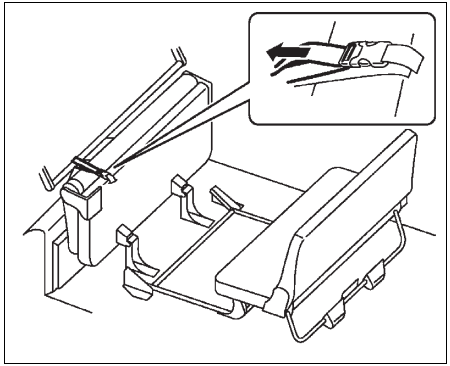


※元に戻すときは、操作した逆の手順で戻します。

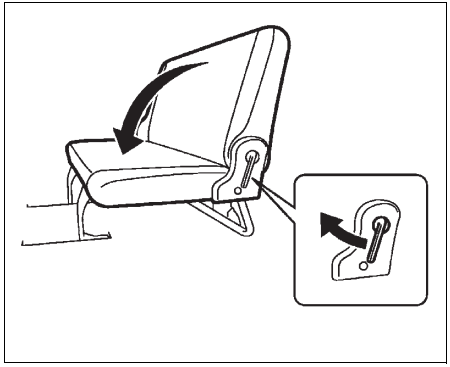
### ■ 3/6/9人乗り

**荷室を最大限に使うとき**

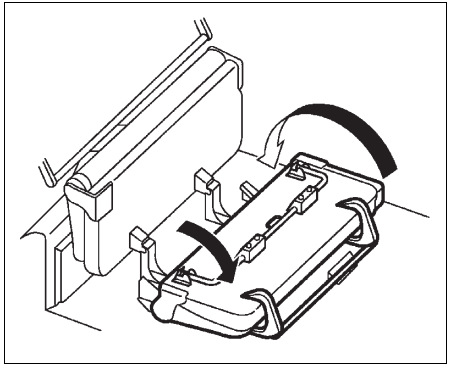
1. 2列席を折りたたみます。
   ➔3/6人乗りの手順をお読みください。
2. 2列席シートクッションの裏側にあるポケットからベルトを取り出し、パーテーションパイプに通して固定します。



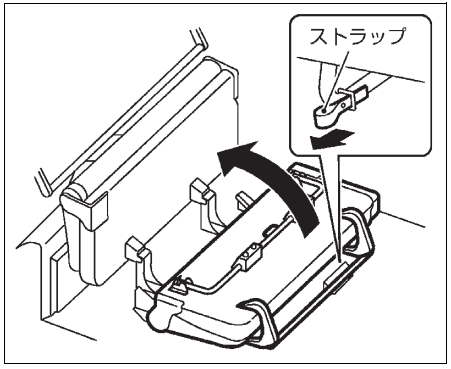
3. 3列席のレバーを引きながら、背もたれを倒します。



4. 3列席下のレバーを引き上げ、シートクッションを前に回転させ、シートの脚を折りたたみます。



5. ストラップを引きながら、シートクッションを前に起こします。

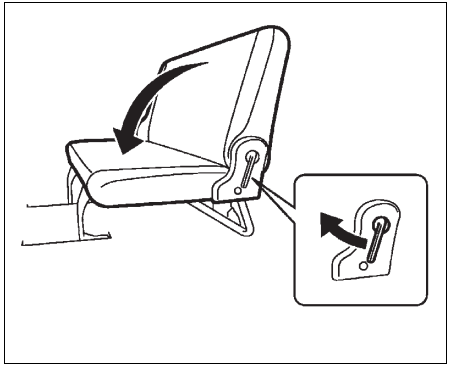



6. 2列席と同じ手順で、3列席シートクッションの裏側のポケットからベルトを取り出し、パーテーションパイプに固定します。

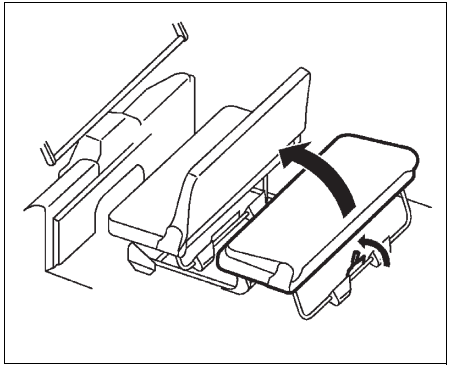
※元に戻すときは、操作した逆の手順で戻します。

**3列席のみ折りたたむとき**

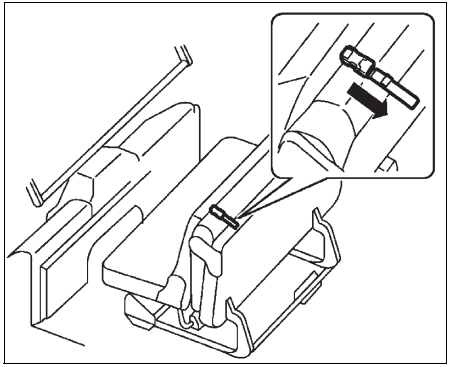
1. 3列席のレバーを引きながら、背もたれを倒します。



2. 3列席下のレバーを引き上げ、シートクッションを前に起こします。



3. シートの脚を折りたたみ、3列席シートクッションの裏側のポケットからベルトを取り出して、2列席シートバック裏面のフックに固定します。

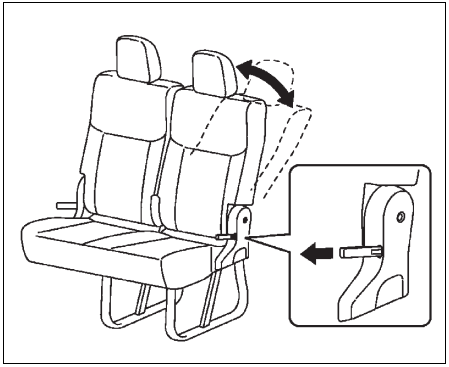


※元に戻すときは、操作した逆の手順で戻します。

## 後席シート（ワゴン、マイクロバス）

### 背もたれの角度調節（リクライニング）

1. ストラップを引いたまま、背もたれを傾けます。
2. ストラップから手を離したところで固定します。



### ヘッドレストの使いかた

ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。

**⚠ 注意**

- ヘッドレストはロック位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用してください。格納状態では機能が十分に発揮できません。

ヘッドレストの脱着のしかたは、前席シートのヘッドレスト（➔P.63）と同じです。

## 最大積載量（バン）

### 各乗車人員に対する最大積載量（kg）

| 定員 | | | 2WD | 4WD |
|---|---|---|---|---|
| 3 | スーパーロングボディ、5ドア（4N16）以外 | | 1,250 | 1,000 |
| | スーパーロングボディ、5ドア（4N16） | | 1,200 | 1,000 |
| 3/6（標準幅車） | 低床 | スーパーロングボディ、5ドア（4N16）以外 | 1,200/950 | 1,000/850 |
| | | スーパーロングボディ、5ドア（4N16） | 1,150/900 | 1,000/850 |
| | 平床 | | 1,000/750 | - |
| 3/6（ワイド幅車） | | | 1,000/850 | 1,000/850 |
| 3/6/9 | | | 1,150/900/750 | 1,000/750/600 |
| 2/3/5 | | | 1,000/950/850 | 1,000/950/850 |
| 2 | | | - | 1,000 |

※1人当たり55kgで換算した数値

**⚠ 注意**

- 乗車人数やオプション装備などにより最大積載量が変わる場合があります。過積載にならないように注意してください。

## ドアミラー

**⚠ 警告**

- 鏡面の調節は走行前に行ってください。走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

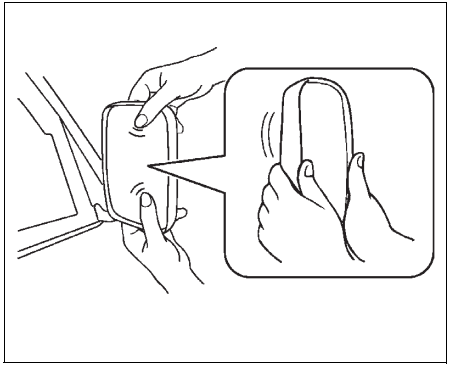
**アドバイス**

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

### 角度調節のしかた

■ 手動式★

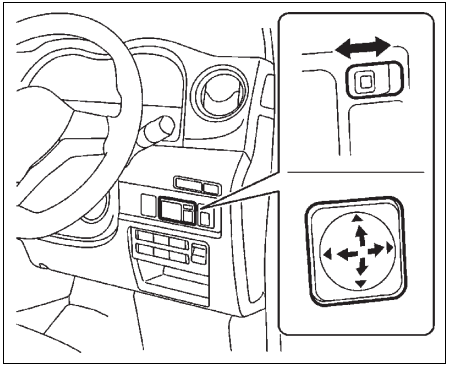
●ミラーの外枠を持ち、ミラー本体を傾けて調節します。



### ■ 電動式★

キースイッチ（電源ポジション）がAcc、またはONのとき操作できます。

1. 左右切り替えスイッチを調節する側に動かします。
2. 角度調節スイッチを上下・左右に押して、後方が十分確認できる位置に調節します。



**知識**

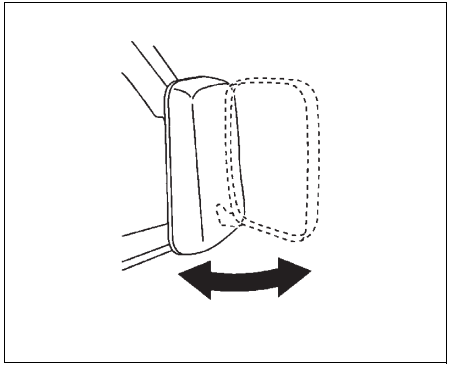
**ヒーター付ドアミラー★**

- キースイッチ（電源ポジション）がONのときにリヤウインドーデフォッガースイッチ（➔P.144）を押すと、バックドアガラスのくもりを取るのと同時にドアミラーの霜やくもりを取ります。

## 格納するとき

### ■ 手動式★

- ミラー本体の外端を後方に押すと倒れます。



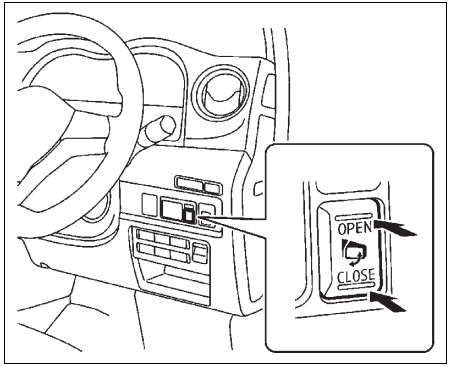
**⚠ 注意**

- 格納するときは手を挟まないように注意してください。
- ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。

### ■ 電動式★

キースイッチ（電源ポジション）がAcc、またはONのとき操作できます。

- スイッチの下側を押すと、左右のミラー本体が格納されます。
- スイッチの上側を押すと、元に戻ります。




## ドアロック連動格納機能★について

ドアの施錠に連動させ、ミラーを格納することができます。

- リモコンまたは、ドアハンドルのスイッチ★で施錠すると、左右のミラーが格納されます。
- キースイッチ（電源ポジション）をAccにすると、左右のミラーが開きます。

**知識**

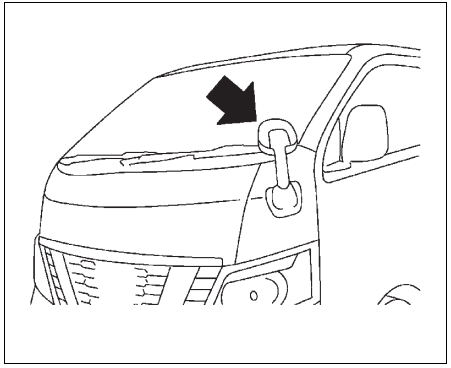
- ドアミラー格納スイッチを押してミラーを格納したときは、ドアロック連動格納機能は作動しません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ドアミラー」を選択すると、ドアロック連動自動格納機能のON・OFFを切り替えることができます。

**知識**

設定の詳細については、➔車両設定(P.114)をお読みください。

## フロントアンダーミラー★

車両前方すぐ下、および車両左側すぐ下の状況確認に使います。



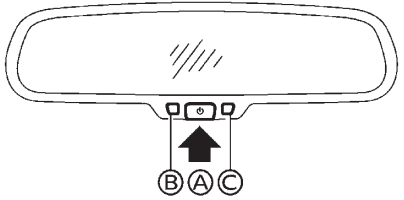
**アドバイス**

- 角度の調節はできません。ぶつかるなどして角度が変わった場合は、イラストと同じ向きに戻してください。

## ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー★

自動防眩式ルームミラーは、後続車両のヘッドランプの明るさに応じて反射率を自動的に調整します。キースイッチをONにすると自動的に作動します。

- ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。
- システムが作動状態になるとインジケーターⒷが点灯し、後続車両のヘッドランプによるまぶしさを軽減します。スイッチⒶを押すと、ルームミラーは標準作動状態になり、インジケーターが消灯します。スイッチⒶを再び押すと、自動防眩システムが作動します。
- セレクトレバーを**R**に入れると、ミラーには車両後方が映し出されます。
  ➔バックビューモニター★ (P.227)




**⚠ 注意**

- ミラーの調節は走行前に行ってください。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

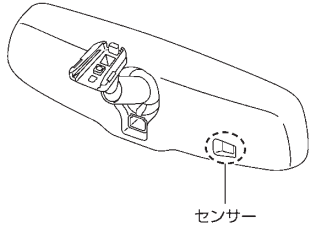
- ルームミラーに物をかけたり、ガラスクリーナーを使用したりしないでください。センサーⒸの感度が低下し、作動不良の原因となる場合があります。

**アドバイス**

- ミラーを90度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。

**知識**

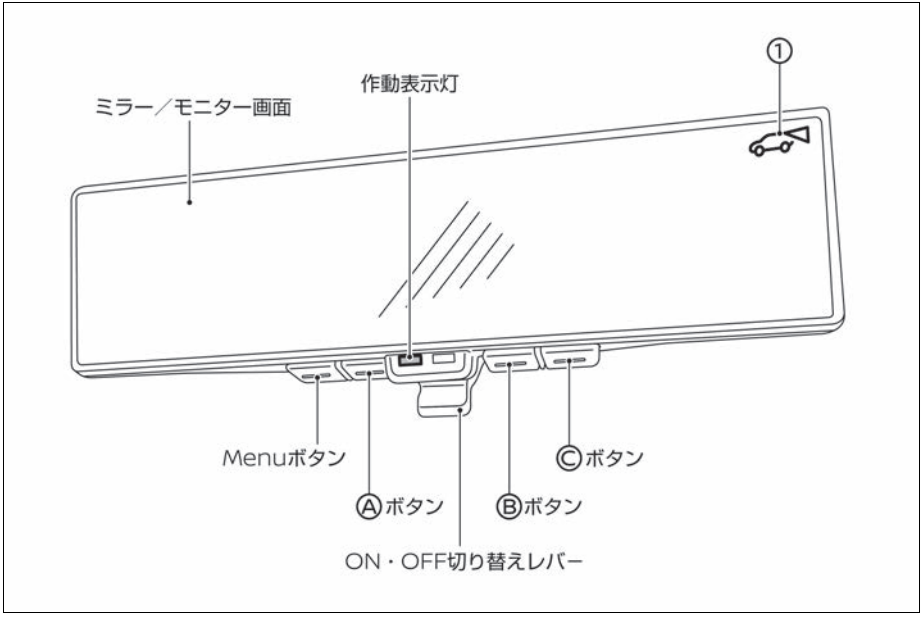
- バックビューモニターを表示中は、防眩システムの作動、非作動の切り替えはできません。
- 自動防眩システムを非作動状態にしてエンジンを停止しても、再度エンジンを始動すると自動防眩システムは作動状態になります。
- ミラー裏側にあるセンサーをドライブレコーダーなどでふさがないでください。防眩機能が作動しない場合があります。



## インテリジェント ルームミラー★

乗員、ヘッドレスト、積載物などでさえぎられがちなルームミラーの後方視界をクリアに保ちます。車室内の状況に関わらず、車両後方にあるカメラの画像をルームミラーに映し出します。ON・OFF切り替えレバーでミラー状態とモニター表示状態を切り替えることができます。
インテリジェント アラウンドビューモニターを表示させることができます。

### インテリジェント ルームミラーの使いかた




**⚠ 注意**

- 走行前に、ルームミラーの調節を必ず行ってください。ルームミラーモード（ミラー状態）にして正しい姿勢で運転席に座り、後方がよく見える位置に調節してください。調節をしないで運転を始めると、インテリジェント ルームミラーモード（モニター表示状態）にしたときにミラーの反射でモニターが見えにくくなる場合があります。
- インテリジェント ルームミラーモードのときに作動表示灯が消灯したら、すみやかにルームミラーモードに切り替えてください。再度インテリジェント ルームミラーモードにしても点灯しない場合、システムの異常が考えられます。日産販売会社にご相談ください。

**📖 知識**

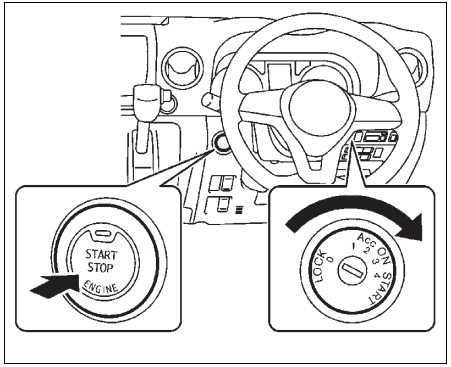
ルームミラーモード

- ミラーとして使用します。

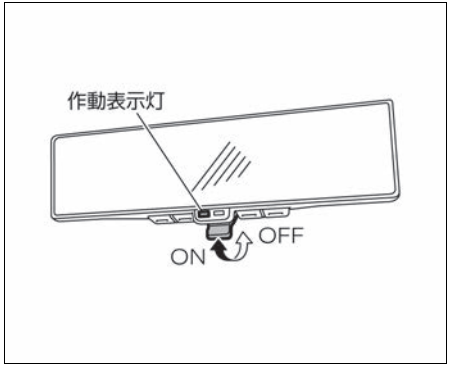
インテリジェント ルームミラーモード

- モニターとして使用します。
  （インテリジェント ルームミラーモードのときは作動表示灯が点灯し、①が表示されます。）

1. キースイッチ（電源ポジション）をONにします。




2. インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引きます。
（作動表示灯が点灯）




3. インテリジェント ルームミラーモードに切り替わり、モニターに車両後方の画像が表示されます。
インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、モニター画面がOFFになり、ルームミラーモードとして使用できます。

**知識**

- 周囲の明るさにより見づらかったり、まぶしく感じたときはインテリジェント ルームミラーモードをOFFにし、ルームミラーモードでご使用ください。
- キースイッチ（電源ポジション）がONのときにⒶボタンを押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面が表示されます。

➔インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★ (P.231)

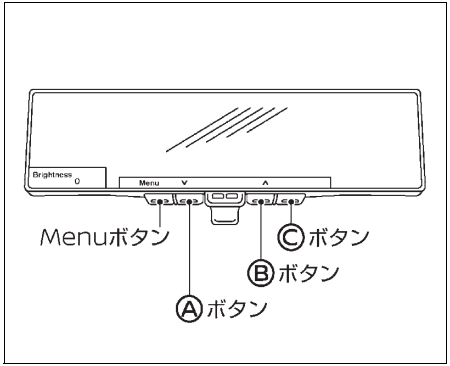
## インテリジェント ルームミラーの画像調節

インテリジェント ルームミラーモードで、インテリジェント アラウンドビューモニター画面を表示していないときにモニター画像の各種調節ができます。
Menuボタンを押すと調節できる項目が表示されます。Ⓐ・Ⓑボタンで選択し、Ⓒボタンで調節する項目を決定します。

### ■ Brightness（明るさ）

モニター画像の明るさを調節します。（周囲の明るさにより、画面の明るさが調節できなくなる場合があります。）

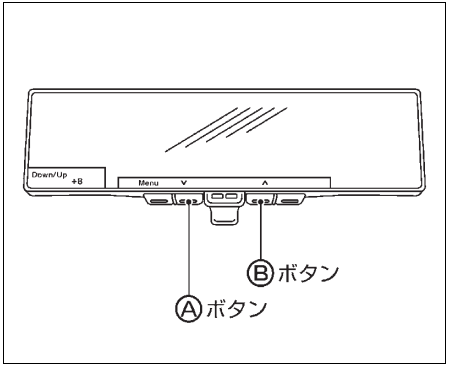
- Ⓐボタンを押すと、画面が暗くなります。
- Ⓑボタンを押すと、画面が明るくなります。
- 調節幅：-8（暗い）～+8（明るい）




### ■ Down/Up（下／上）

モニター画像の上下位置を調節します。

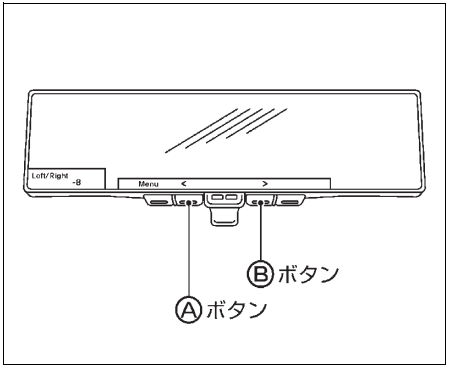
- Ⓐボタンを押すと、画像が下に移動します。
- Ⓑボタンを押すと、画像が上に移動します。
- 調節幅：-8（下方向）～+8（上方向）




### ■ Left/Right（左／右）

モニター画像の左右位置を調節します。

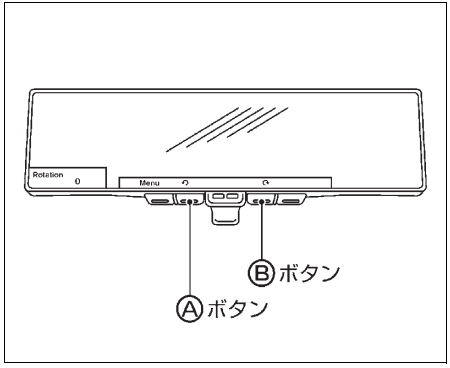
- Ⓐボタンを押すと、画像が左に移動します。
- Ⓑボタンを押すと、画像が右に移動します。
- 調節幅：-8（左）～+8（右）




### ■ Rotation（回転）

モニター画像位置の回転調節をします。

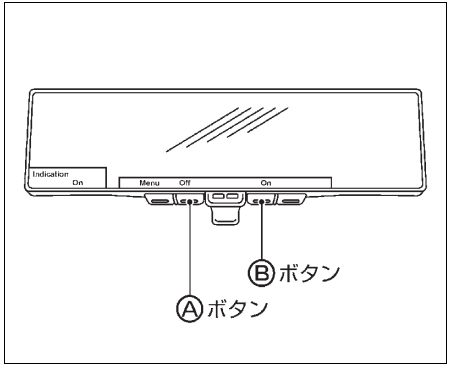
- Ⓐボタンを押すと、画像が左に回転します。
- Ⓑボタンを押すと、画像が右に回転します。
- 調節幅：-8（左回り）～+8（右回り）




### ■ Indication（インジケーター）

モニター文字表示の表示・非表示を設定します。

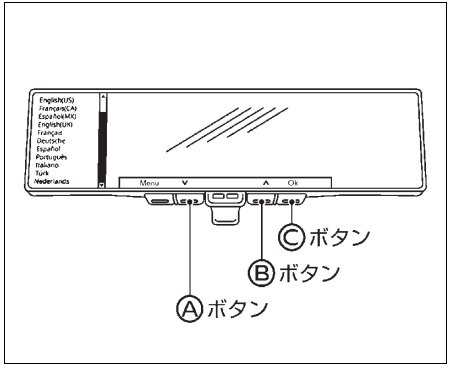
- Ⓐボタンを押すと、モニター文字表示が非表示になります。
- Ⓑボタンを押すと、モニター文字表示が表示されます。




### ■ Language（言語）

表示させる言語を切り替えます。

- Ⓐ・Ⓑボタンで選択し、Ⓒボタンで決定します。



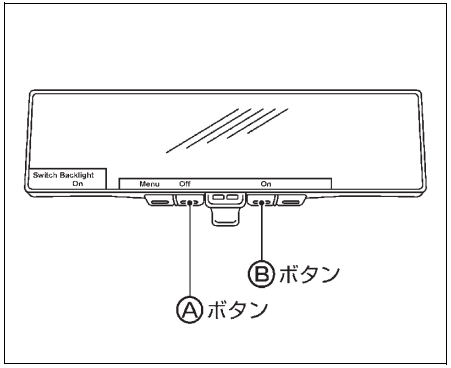

### ■ Switch Backlight（スイッチ照明）

スイッチの照明のON・OFFを設定します。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

●Ⓐボタンを押すと、スイッチの照明がOFFになります。

●Ⓑボタンを押すと、スイッチの照明がONになります。




**■ License（ライセンス）**

ライセンス情報が表示されます。

## インテリジェント ルームミラー使用時の注意事項

本製品には、次のソフトウェアが含まれています。

① パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア

② パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア

③ オープンソースソフトウェア

上記に分類されるソフトウェアには、下記WEBサイトに記載されているライセンス情報が適用される様々なソフトウェアを含むオープンソースソフトウェア（OSS）が含まれています。

http://car.panasonic.jp/oss/n03pkdl6

**⚠ 警告**

- あらかじめ死角範囲を確認してください。インテリジェント ルームミラーには死角があります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- ミラー本体やカメラ、配線を分解したり改造したりしないでください。異臭がする、煙が出るなどした場合は、ただちに使用を中止し日産販売会社にご相談ください。
- 走行中に操作しないでください走行中に操作を行うと、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ミラー本体、カメラ、配線類にはタバコなどの火気を近づけないでください。破損や車両火災の原因となります。

**⚠ 注意**

- モニターを凝視しないでください。
  - ― 前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - ― 同乗者が凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- 太陽や後方車両のヘッドランプなどの強い光源がカメラに入ると、インテリジェント ルームミラーのモニターに光のスジが入ったり、明るい光源がモニター上に広がったりする場合があります。その際には、必要に応じてルームミラーモードに戻してご使用ください。

**アドバイス**

- エンジンが停止している間にインテリジェント ルームミラーを長時間使用するとバッテリーがあがるおそれがあります。
- 無線機のアンテナをインテリジェント ルームミラー近くに取り付けないでください。無線機の電波により、インテリジェント ルームミラーの映像に乱れが出ることがあります。
- ボタンを強く押しすぎたり、レバーを強く操作したりすると故障の原因となります。また、ミラー本体が落下するおそれがあります。
- ミラーを上下20度、左右30度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。
- ミラー本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 車両後方についているカメラやカメラカバーに無理な力をかけないでください。カメラが外れたり、故障するおそれがあります。

### アドバイス

- 外部光による影響でモニターが見えにくいときは、ルームミラーモード（ミラー状態）にして使用してください。
- LED光源を使用した照明の一部が映った場合、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 外部環境の乱反射により、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 素早い動きにはモニター表示が追従できない場合がありますが、故障ではありません。
- ルームミラーとは後方の見えかたが異なります。インテリジェント ルームミラーの機能を過信せず、直接後方を確認するなど、責任のある運転を心がけてください。
- モニターの明るさを明るく調節しすぎると、運転中に目が疲れることがあります。明るさを適切に調節してください。
- 雨天時はリヤワイパーを併用してください。リヤワイパーを併用してもカメラ映像が不鮮明の場合、リヤワイパーゴムの劣化を確認してください。
- リヤワイパー使用中は、カメラ前をリヤワイパーが通過した際に、画面がちらつくように見える場合がありますが、故障ではありません。
- カメラ映像が不鮮明な場合は、インテリジェント ルームミラーカメラ前面のバックドアガラスを清掃してください。清掃してもカメラ映像が不鮮明な場合は、ガラス面に油膜が付いているおそれがあります。油膜取りを使用して清掃してください。

  ➔イラスト目次（外観） (P.4)

  ➔インテリジェント ルームミラーのお手入れ★ (P.265)
- バックドアガラスがくもった場合は、リヤウインドーデフォッガーを使用し、バックドアガラスのくもりを取ってください。くもりが完全に取れるまでルームミラーモードで使用してください。

  ➔窓ガラスのくもりの取りかた (P.217)
- インテリジェント ルームミラーのモニターが熱を帯び、高温になることがありますが、故障ではありません。
- 遠いものや暗いときは色が認識しにくいことがありますが、故障ではありません。
- インテリジェント ルームミラーのお手入れについては（➔P.265）をお読みください。
- 体調などによりインテリジェント ルームミラーモードの映像に焦点が合うまでに時間を要する場合があります。
- インテリジェント ルームミラーの前方をふさがないでください。モニターの明るさ調整やカメラ映像の切り替えができないことがあります。
- インテリジェント ルームミラーモードのとき、インテリジェント ルームミラーが高温になると明るさが低下したり、映像が表示されない場合があります。
- インテリジェント ルームミラーモードのとき、インテリジェント ルームミラーが低温になるとカメラ映像が遅れることがあります。

# シートベルトの着用のしかた

## シートベルトの正しい着用

●走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
●シートベルトは正しい姿勢で正しく着用しないと、シートベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガなどをするおそれがあります。
●次の使用方法、警告に従って正しく着用してください。




**⚠ 警告**

● 走行する前に全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

● シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。着用するときは以下のことを必ずお守りください。

— 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。

— ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使わないでください。

— ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。

— 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腹部に強い圧迫を受けることがあります。

— 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩にかけてください。肩に十分かかっていないと、上半身を拘束しないことがあります。

— シートベルトをクリップなどで故意にたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。

● シートの背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

# シートベルトの着用のしかた

**⚠ 警告**

- バックルや巻き取り装置の中に異物を入れないでください。シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは、確実に肩を通し、腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。

➔チャイルドシート (P.82)

- 一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり傷がついた場合は、日産販売会社に点検を依頼してください。
- シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

**📖 知識**

- 運転者がシートベルトを着用していないと、警告灯（➔P.125）や警報（➔P.132）が作動します。

## シートベルトの着用のしかた

### ELR（緊急固定）付3点式シートベルト

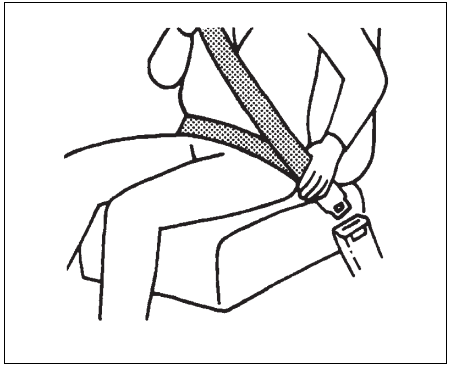
バンは、前席、2列席★、3列席★の左右、パラメディック（救急車）は前席、ワゴンとマイクロバスは全席に付いています。

通常は身体の動きに合わせて伸縮しますが、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

1. タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。

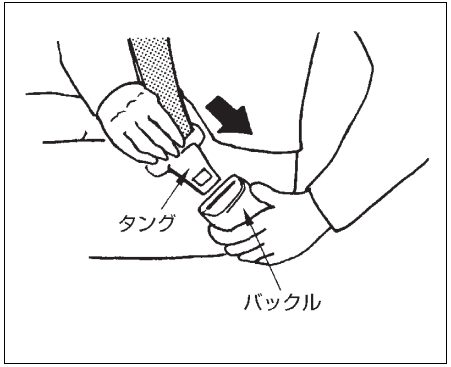
- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてから緩め、再度ゆっくり引き出してください。

2. ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみがないように密着させます。

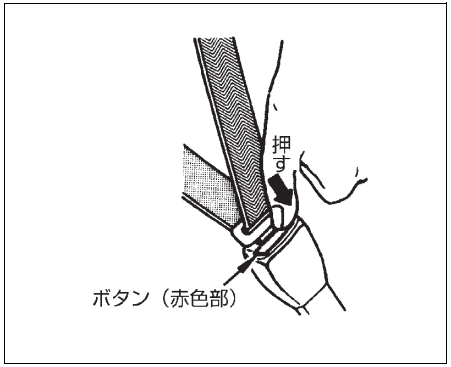


3. ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。

# シートベルトの着用のしかた




●外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。




**アドバイス**

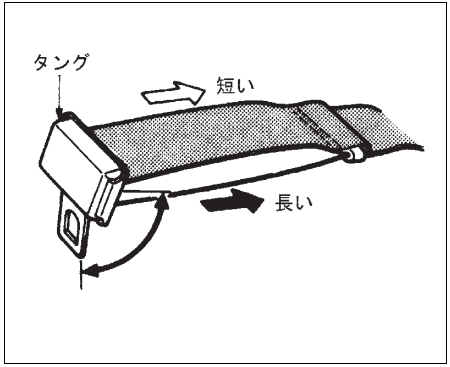
- ベルトを外すとき、タングが急に戻ることがありますので、タングから手を離さないでください。

## 2点式シートベルト★

バン中央席に付いています。

### ■ 長さ調節

●タングを立て、ベルトを必要な長さに調節します。
上側を引くとベルトが短くなり、下側を引くと長くなります。




**警告**

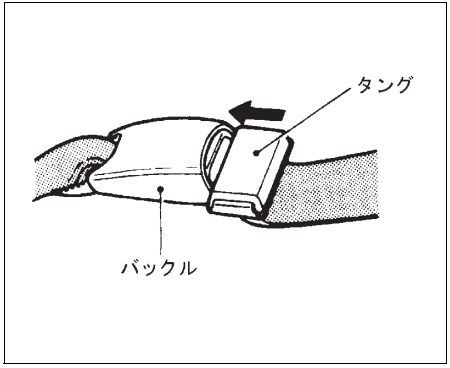
- ベルトが腰骨の部分に密着するように、ベルトの長さを調節してください。ベルトをたるませたり腹部にかけると、万一のときシートベルトの効果が得られず、重大な傷害につながるおそれがあります。

**知識**

- 最初長めに調節し、タングをバックルに差し込んだあと、長さ調節をすると腰骨に密着させやすくなります。

### ■ 着用のしかた

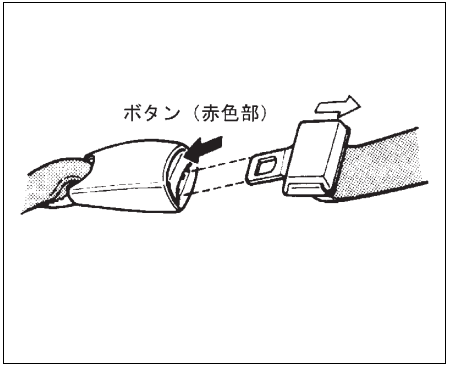
●ベルトのねじれがないようにして、タングのバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。

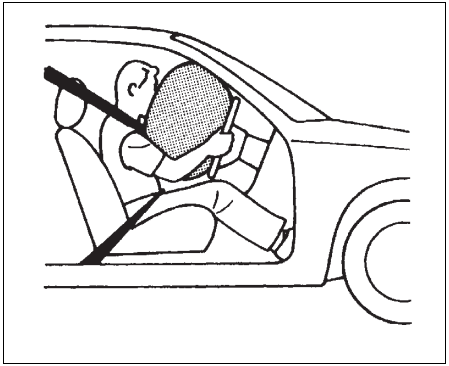



### ■ 外しかた

●バックルのボタンを押して外します。

# シートベルトの着用のしかた



**知識**

- 中央席用のシートベルトは、タングとバックルに「CENTER」と表示されているものをご使用ください。

## 前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト

正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが付いています。

- 運転席・助手席SRSエアバッグシステムと同時に作動します。
  ➔ SRSエアバッグが作動するとき・しないとき (P.91)

**⚠ 警告**

- 使用方法は通常のシートベルトと同じです。正しく着用しないと、プリテンショナーおよびロードリミッターの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

- キースイッチ（電源ポジション）をON後約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーは作動しません。SRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

## プリテンショナーシートベルト付車の取り扱いについて

**⚠ 警告**

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

**⚠ 注意**

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社にご相談ください。

**アドバイス**

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

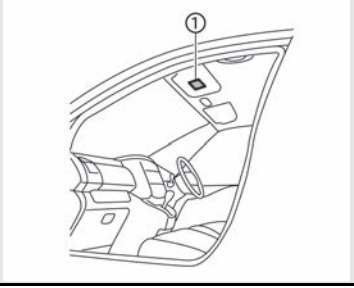
## チャイルドシートについて

お子さまの年齢や体格に合わせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格に合わせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

### ⚠ 警告

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡、または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

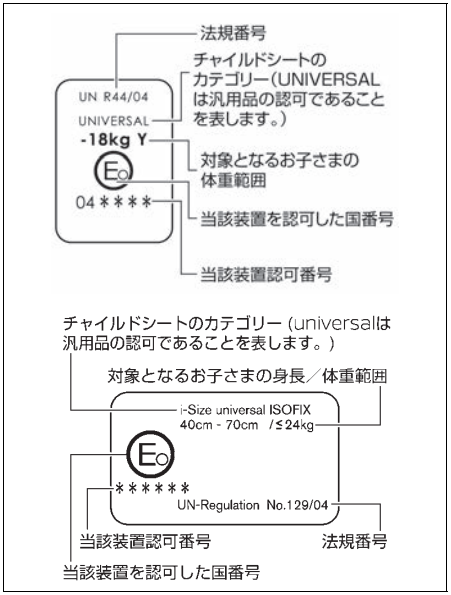



①エアバッグ警告ラベル




### 知識

- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。
- UN R44またはR129はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44またはR129の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。




## チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートを取り付けることができます。

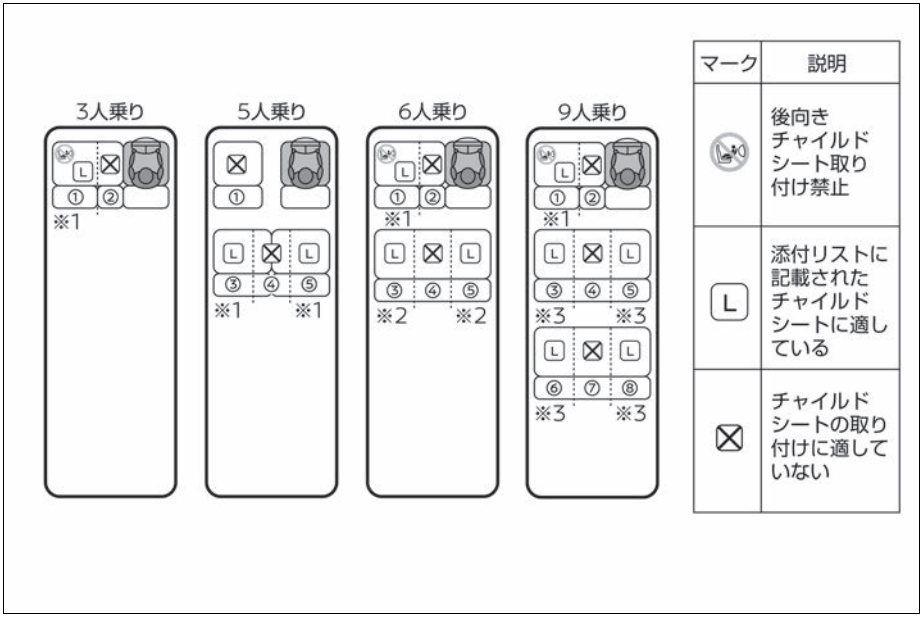
**■シートベルト固定タイプのチャイルドシート**

シートベルトを使用してチャイルドシートを固定します。

➔シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた (P.88)

## 使用できるチャイルドシートについて

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。




※1：チャイルドシートを装着する際は、背もたれを最も前傾させたロック位置から、4ノッチ後傾したロック位置に調整してください。

※2：チャイルドシートを装着する際は、背もたれを最も前傾させたロック位置から、9ノッチ後傾したロック位置に調整してください。

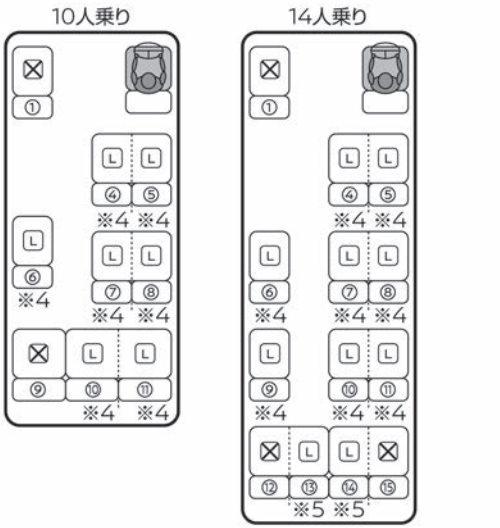
※3：チャイルドシートを装着する際は、背もたれを最も前傾させたロック位置から、6ノッチ後傾したロック位置に調整してください。

●チャイルドシートがヘッドレストやピローに干渉し、安定して取り付けられない場合一番上に調整してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

# チャイルドシート

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。




| マーク | 説明 |
|---|---|
| | 後向きチャイルドシート取り付け禁止 |
| L | 添付リストに記載されたチャイルドシートに適している |
| ⊠ | チャイルドシートの取り付けに適していない |

※4：チャイルドシートを装着する際は、背もたれを最も前傾させたロック位置から、2ノッチ後傾したロック位置に調整してください。

※5：チャイルドシートを装着する際は、背もたれを最も前傾させたロック位置に調整してください。

●チャイルドシートがヘッドレストに干渉し、安定して取り付けられない場合一番上に調整してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

## 幼児拘束装置メーカーに関する詳細情報

| 座席位置 | 前席 | | 2列席 | | | 3列席 | | | 4列席 | | | 5列席 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ |
| 汎用ベルト式に適する着席位置（○/×） | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| i-Size着席位置（○/×） | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 横向き固定具に適する着席位置（L1/ L2） | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – |
| 適する最大の後ろ向き固定具（R1/ R2X/ R2/ R3） | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – |
| 適する最大の前向き固定具（F2X /F2/ F3） | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – |
| 適する最大のブースター固定具（B2/B3） | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – |



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

# チャイルドシート

**■推奨チャイルドシート**

日産自動車が推奨するチャイルドシートです。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

●5人乗り

| 年齢<br>(目安) | 体重<br>(目安) | 身長<br>(目安) | 推奨チャイルドシート | 座席位置 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 0 - 18か月 | < 13 kg | < 100 cm | - | - | - | - | - | - |
| 9か月 -4歳 | 9 - 18 kg | 76 -100 cm | - | - | - | - | - | - |
| 4 - 6歳 | 15 - 25kg | 100 - 125 cm | 日産ジュニアシートevo（前向き） | × | - | ○<br>※ | × | ○<br>※ |
| 6 - 12歳 | 22 - 36kg | 125 - 150 cm | 日産ジュニアシートevo（前向き） | × | - | ○<br>※ | × | ○<br>※ |

※： ベルト取付のみ

チャイルドシートがヘッドレストやピローに干渉し安定して取り付けられない場合は、一番上に調整してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

●3人乗り、6人乗り、9人乗り

| 年齢<br>(目安) | 体重<br>(目安) | 身長<br>(目安) | 推奨チャイルドシート | 座席位置 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| 0 - 18か月 | < 13 kg | < 100 cm | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 9か月 -4歳 | 9 - 18 kg | 76 -100 cm | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 4 - 6歳 | 15 - 25kg | 100 - 125 cm | 日産ジュニアシートevo（前向き） | ○<br>※ | × | ○<br>※ | × | ○<br>※ | ○<br>※ | × | ○<br>※ |
| 6 - 12歳 | 22 - 36kg | 125 - 150 cm | 日産ジュニアシートevo（前向き） | ○<br>※ | × | ○<br>※ | × | ○<br>※ | ○<br>※ | × | ○<br>※ |

※： ベルト取付のみ

チャイルドシートがヘッドレストやピローに干渉し安定して取り付けられない場合は、一番上に調整してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

# チャイルドシート

●10人乗り

| 年齢（目安） | 体重（目安） | 身長（目安） | 推奨チャイルドシート | 座席位置 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ |
| 0 - 18か月 | < 13 kg | < 100 cm | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 9か月 -4歳 | 9 - 18 kg | 76 -100 cm | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 4 - 6歳 | 15 - 25kg | 100 - 125 cm | 日産ジュニアシートevo（前向き） | × | - | - | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | × | ○※ | ○※ |
| 6 - 12歳 | 22 - 36kg | 125 - 150 cm | 日産ジュニアシートevo（前向き） | × | - | - | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | × | ○※ | ○※ |

※： ベルト取付のみ

チャイルドシートがヘッドレストに干渉し安定して取り付けられない場合は、一番上に調整してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

●14人乗り

| 年齢（目安） | 体重（目安） | 身長（目安） | 推奨チャイルドシート | 座席位置 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ |
| 0 - 18か月 | < 13 kg | < 100 cm | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 9か月 - 4歳 | 9 - 18 kg | 76 -100 cm | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 4 - 6歳 | 15 - 25kg | 100 - 125 cm | 日産ジュニアシートevo（前向き） | × | - | - | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | × | ○※ | ○※ | × |
| 6 - 12歳 | 22 - 36kg | 125 - 150 cm | 日産ジュニアシートevo（前向き） | × | - | - | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | ○※ | × | ○※ | ○※ | × |

※： ベルト取付のみ

チャイルドシートがヘッドレストに干渉し安定して取り付けられない場合は、一番上に調整してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

## シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

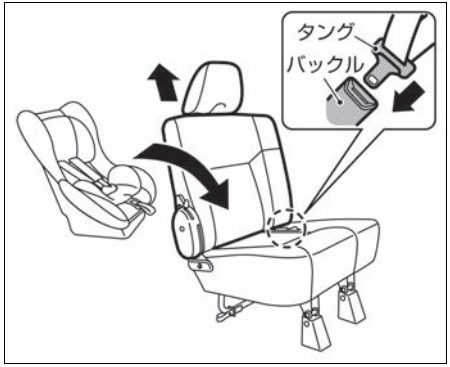
**⚠ 警告**

- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

1. ヘッドレストまたはピローを外し（ヘッドレストまたはピローとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）、チャイルドシートを座席に置きます。

➔ヘッドレストの使いかた★ (P.63)

- シートベルトをチャイルドシートに通し、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。




2. チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って固定します。

- チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。

## SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、シートベルトと併用することで安全性を高めます。シートベルトは必ず着用してください。

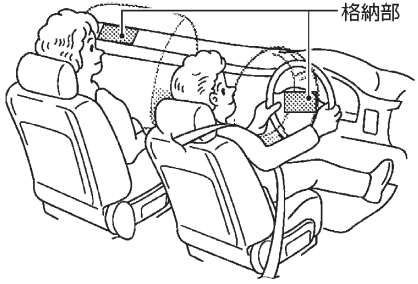
※SRSとは、Supplemental Restraint Systemの略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき作動可能です。

## 運転席・助手席SRSエアバッグシステム

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

- 運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。
- 助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。乗員がいなくても運転席と同時に作動します。




**⚠ 警告**

- SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。SRSエアバッグの効果を発揮させるため、必ずシートベルトを正しい姿勢で正しく着用してください。
- 乗車するときは必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ― ハンドルまわり、車両前部、インストルメントパネルまわり、センターコンソールまわりなどのSRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷やひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
  - ― SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
  - ― 電気テスターを使ってSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
  - ― エアロパーツなどを取り付けたり、サスペンションを改造したりするときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

**運転席SRSエアバッグシステム**

- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ― ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなどSRSエアバッグ格納部に手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。また、内がけでのハンドル操作はしないでください。

⚠ 警告

― 不適正なハンドルに交換したり、センターパッド部（SRSエアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。

― 前面ガラスにアクセサリーなどを付けないでください。




**助手席SRSエアバッグシステム**

● 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

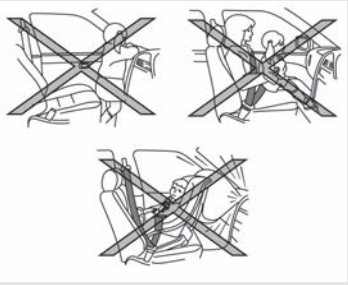
― インストルメントパネル（SRSエアバッグ格納部）に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたりひざの上に抱いたりせず、後席に乗せてください。

― チャイルドシートは後席シートに取り付けてください。やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
➔チャイルドシート (P.82)



― チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認してください。固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

― インストルメントパネル上面にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。



● キースイッチ（電源ポジション）をONにしたあと約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。

● SRSエアバッグは膨らんだあと高温になるため、30分以内は触らないでください。やけどをするおそれがあります。

● SRSエアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。

● SRSエアバッグが膨らむとき、作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。ただし、SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。

**⚠ 警告**

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄にするときは必ず日産販売会社にご相談ください。SRSエアバッグの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

**アドバイス**

- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

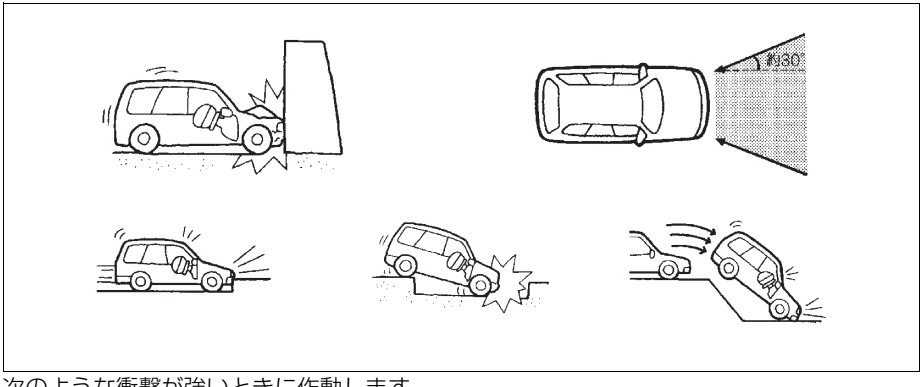
**知識**

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃で前面ガラスが割れることがあります。
- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

## SRSエアバッグが作動するとき・しないとき

正面衝突時や側面衝突時において、乗員がシートベルトを正しく着用していても重大な傷害を受けるおそれのあるような衝撃を受けた場合に作動します。しかし衝撃が車体で吸収、または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くならない場合には、必ずしも作動するとは限りません。

### 作動するとき



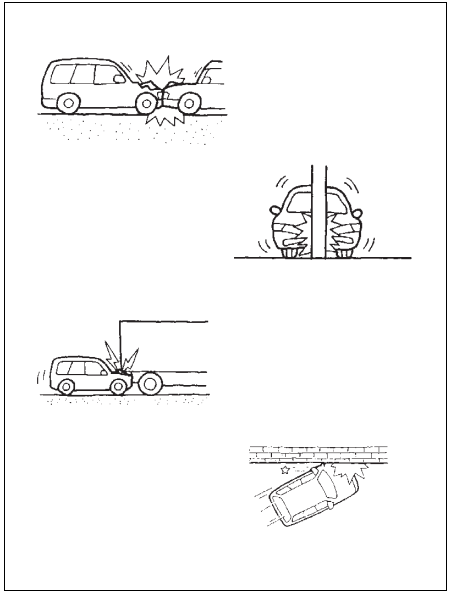

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき。
- 車両前方左右、約30度以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき。

次のような、車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくても乗員への衝撃は強いとき）

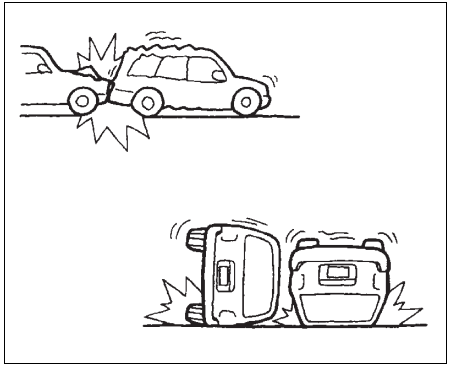
- 高速で縁石などに衝突したとき。
- 深い穴や溝に落ち込んだとき。
- ジャンプして地面にぶつかったとき。

## 作動しにくいとき



- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき。
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき。
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき。
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき。

## 作動しないとき



- 横方向や後ろから衝突されたとき。
- 横転、転覆したとき。

## メーター・表示灯・警告灯の見かた


| | |
|---|---|
| メーター | P.94 |
| ドライブコンピューター | P.97 |
| インテリジェントキー表示・警告★ | P.120 |
| 表示灯 | P.123 |
| 警告灯 | P.125 |
| エンジンオイル交換告知機能（ディーゼル車） | P.130 |
| 警報装置 | P.132 |
| インテリジェントキー機能の警報について★ | P.133 |


## スイッチの使いかた

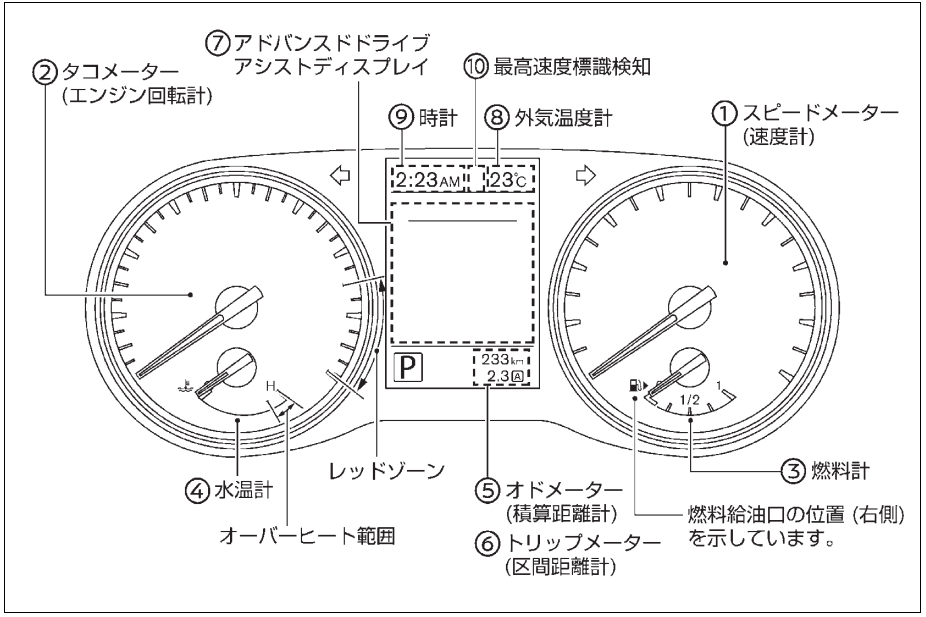

| | |
|---|---|
| ライトスイッチ | P.136 |
| フォグランプの点灯・消灯★ | P.140 |
| 方向指示器スイッチ | P.141 |
| 非常点滅表示灯スイッチ | P.141 |
| ヘッドランプレベライザースイッチ★ | P.141 |
| ワイパーの使いかた | P.142 |
| ウォッシャーの使いかた | P.143 |
| リヤウインドーデフォッガースイッチ | P.144 |
| ホーンスイッチ | P.144 |


## 運転のしかた


| | |
|---|---|
| エンジンのかけかた（リモートコントロールエントリーシステム付車） | P.145 |
| エンジンのかけかた（インテリジェントキー付車） | P.147 |
| パーキングブレーキ | P.149 |
| セレクトレバーの使いかた | P.150 |
| オートマチック車の運転のしかた | P.153 |
| 4WD（4輪駆動）車の扱いかた | P.156 |
| 2WD-4WDの切り替え★ | P.156 |
| ターボ車の扱いかた（ディーゼル車） | P.157 |
| DPF（ディーゼル車） | P.158 |
| 尿素SCRシステム（ディーゼル車）[AdBlue®関連システム] | P.161 |
| ABS | P.166 |
| VDC（ビークルダイナミクスコントロール） | P.167 |
| ヒルスタートアシスト | P.169 |
| インテリジェント クルーズコントロール★ | P.169 |
| インテリジェント エマージェンシーブレーキ | P.182 |
| 踏み間違い衝突防止アシスト★ | P.189 |
| LDW（車線逸脱警報） | P.199 |
| インテリジェント DA（ふらつき警報） | P.201 |
| 標識検知機能 | P.202 |
| 先行車発進お知らせ | P.205 |

## メーター

メーター内の装備や意匠は、車種、グレードなどの違いにより異なります。




**知識**

- キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてからしばらくして指針が振れることがありますが故障ではありません。

### ①スピードメーター（速度計）

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、走行速度を表示します。

### ②タコメーター（エンジン回転計）

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、1分間あたりのエンジン回転数を表示します。

（車種により目盛りが異なります。）

**注意**

- レッドゾーン（赤色表示部）に入らないように運転してください。レッドゾーンではエンジンが過回転となり故障の原因になります。

### ③燃料計

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、燃料の残量を表示します。

●燃料タンクの容量は約65ℓです。

**知識**

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、燃料の表示が変動することがあります。

### ④水温計

エンジン冷却水の温度を表示します。

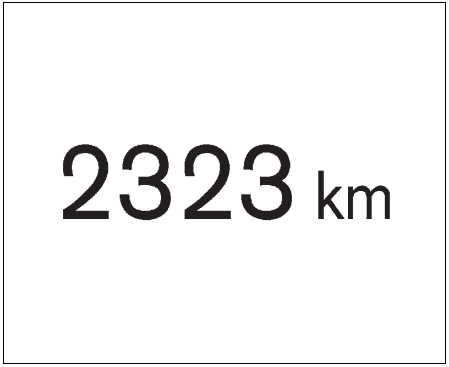
**警告**

- オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

➔オーバーヒートしたときは (P.313)

### ⑤オドメーター（積算距離計）

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、総走行距離をkmで表示します。

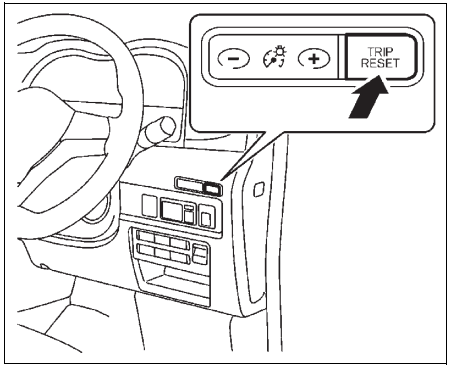



### ⑥トリップメーター（区間距離計）

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、Aと B で2種類の区間走行距離をkmで表示します。




- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、トリップ切り替えスイッチを押すごとにトリップメーターのAとBが切り替わります。
- リセットするときは、0にしたいほうを表示させ、トリップ切り替えスイッチを約1秒以上押します。




**知識**

- バッテリーを外したときは、AとBの記憶が消去され0に戻ります。

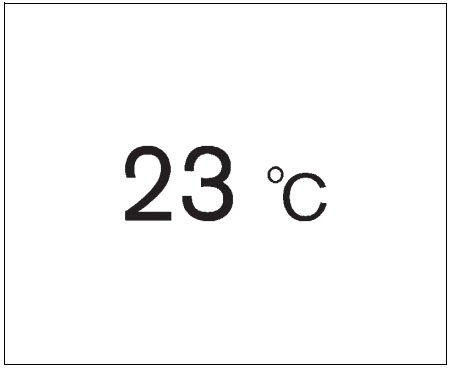
### ⑦アドバンスドドライブアシストディスプレイ

以下の情報を表示します。

- イルミネーションコントロールレベル表示（➔P.96）
- ドライブコンピューター（➔P.97）
- インテリジェントキー表示・警告★（➔P.120）
- ソナー表示★（➔P.122）
- 尿素SCRシステム（ディーゼル車）（➔P.161）
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ（➔P.182）
- 踏み間違い衝突防止アシスト★（➔P.189）
- LDW（車線逸脱警報）（➔P.199）
- インテリジェント DA（ふらつき警報）（➔P.201）
- 標識検知機能（➔P.202）

### ⑧外気温度計

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、外気温を表示します。




**知識**

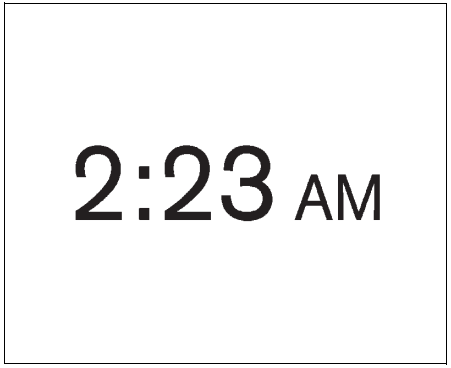
- 外気温の表示は、外気温によって表示が一部異なります。

📖 知識

- 次の場合には、正しく外気温が表示されないことがあります。
  - ― 外気温が-30℃以下、または60℃以上のとき
  - ― 停車、または低速走行（約20km/h以下）しているとき

### ⑨時計

キースイッチがONのとき、時計を表示します。




※設定により表示は異なります。

●ドライブコンピューターの「設定」画面で時刻を調整します。
時計の調整については、（➔P.111）をお読みください。

📖 知識

- バッテリーを外すと記憶が消去されます。バッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。

### ⑩最高速度標識検知

フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより最高速度標識を検知し表示します。



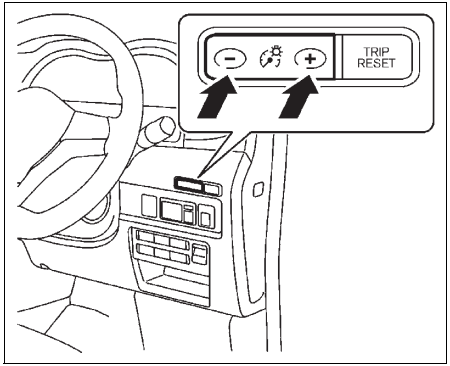

詳しくは、標識検知機能（➔P.202）をお読みください。

## イルミネーションコントロール

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、メーター照明の明るさを調節できます。

●スイッチを押して調節します。
＋：明るくなる
－：暗くなる

●明るさのレベル表示は、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示されます。

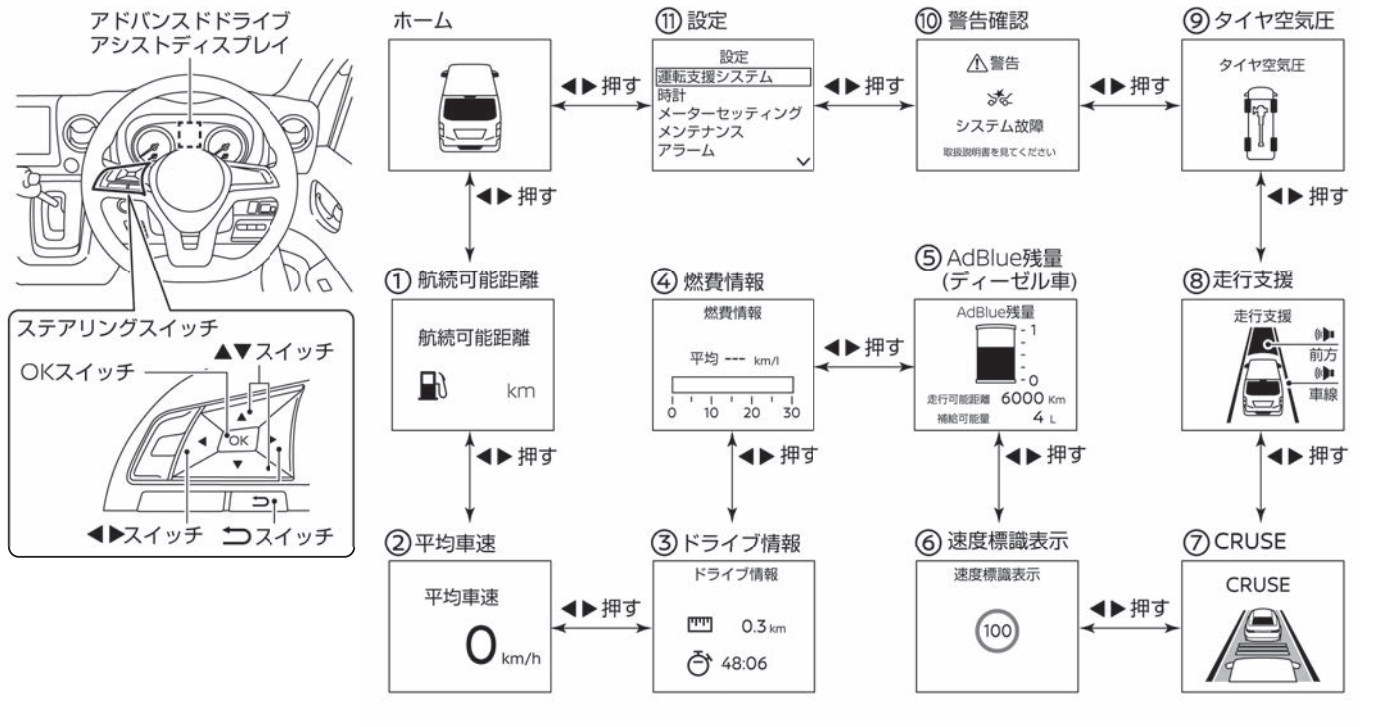



📖 知識

- バッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

## ドライブコンピューター

### 切り替えかた




●キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ステアリングスイッチでモードの選択や設定の変更、調整などができます。
※車種により表示できる項目が異なります。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

📖 知識

- ホーム、①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨はメーターセッティング（➔P.112）で表示する項目を選択できます。
- ⑩は警告メッセージが0件のとき、「メッセージはありません」と表示します。
- ⑪はその他に、単位、言語、工場出荷設定を表示します。

## 表示について

📖 知識

- 表示される数値は、走行状況などにより実際の数値と異なる場合があります。

### ①航続可能距離

- 現在の燃料残量と平均燃費から航続可能な距離を表示します。
- 燃料残量警告（➔P.102）が表示されると、航続可能距離の距離表示が点滅します。
- 燃料残量警告表示後も燃料を補給しないと「----」と表示します。

📖 知識

- 数値は約30秒ごとに算出しています。

### ②平均車速

- リセットしてからの平均車速を表示します。
- リセットするときはこの画面を表示中に、ステアリングスイッチのOKスイッチを押します。リセット画面が表示されるので、リセットしたい項目をステアリングスイッチの▲▼スイッチで選択し、再度ステアリングスイッチのOKスイッチを押すとリセットされます。

📖 知識

- バッテリー接続後やリセット後は「---」と表示します。
- 数値は約30秒ごとに更新します。

### ③ドライブ情報

- リセットしてからの走行時間、走行距離を表示します。
- リセットするときはこの画面を表示中に、ステアリングスイッチのOKスイッチを押します。リセット画面が表示されるので、リセットしたい項目をステアリングスイッチの▲▼スイッチで選択し、再度ステアリングスイッチのOKスイッチを押すとリセットされます。

### ④燃費情報

- リセットしてからの平均燃費および走行中の瞬間燃費を表示します。
- 平均燃費をリセットするときはこの画面を表示中に、ステアリングスイッチのOKスイッチを押します。リセット画面が表示されるので、リセットしたい項目をステアリングスイッチの▲▼スイッチで選択し、再度ステアリングスイッチのOKスイッチを押すとリセットされます。

📖 知識

- 平均燃費は、バッテリー接続後やリセット後は「---」と表示します。
- 平均燃費は約30秒ごとに更新します。

### ⑤AdBlue残量（ディーゼル車）

- 尿素水（AdBlue®）の残量、走行可能距離および補給可能量を表示します。
- 尿素水タンクの容量は約11.4ℓです。
- 走行可能距離は、現在の尿素水（AdBlue®）残量と消費率から走行可能な距離を表示します。
  ただし、尿素SCRシステム故障警告（➔P.164）が表示されているときは、尿素水（AdBlue®）の残量に関係なく警告上の走行可能距離を表示します。
- 補給可能量は、尿素水タンクを満タンにするのに必要な尿素水（AdBlue®）の補給量を表示します。

➔尿素水残量表示 (P.162)

### ⑥速度標識表示

- フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより最高速度標識を検知し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

●アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「速度標識表示」を選択すると、機能のON・OFFを切り替えることができます。

詳しくは、標識検知機能（➔P.202）をお読みください。

### ⑦CRUSE★

●インテリジェントクルーズコントロール★の表示を設定できます。

### ⑧走行支援

●走行支援システムの作動状態を表示します。
●設定画面の運転支援システムから、各システムのON・OFFを設定できます。詳しくは、運転支援システム（➔P.108）をお読みください。
●詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。
➔インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.182)
➔踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.189)
➔LDW（車線逸脱警報） (P.199)
➔インテリジェントDA（ふらつき警報） (P.201)
➔標識検知機能 (P.202)
➔先行車発進お知らせ (P.205)

### ⑨タイヤ空気圧★

●タイヤ空気圧警報システム★の表示を設定できます。

## ⑩警告確認

警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1.<br>キーが<br>見つかりません | 6.<br>油圧低下<br>車両を安全なところに<br>止めてください | 11.<br>システム故障<br>取扱説明書を見てください | 16.<br>速度標識表示<br>100 | 21. ⚠警告<br>AdBlue 残量低下<br>直ちに補給してください<br>あと800 kmで<br>再始動できなくなります | 26.<br>作動範囲外のため<br>現在使用できません |
| 2. | 7.<br>キーシステム故障<br>取扱説明書を見てください | 12.<br>車線認識カメラ・<br>その周辺が高温のため<br>使用できません | 17.<br>ソナー故障<br>取扱説明書を見てください | 22. ⚠警告<br>再始動ができません<br>直ちにAdBlueを<br>補給してください | 27. 走行支援<br>前方<br>車線 |
| 3.<br>パーキングブレーキを<br>解除してください | 8.<br>キーIDが<br>正しくありません | 13.<br>フロントレーダー及び<br>その周辺が汚れています<br>拭いてください | 18.<br>DAA<br>システム故障<br>取扱説明書を見てください | 23. ⚠警告<br>AdBlue システム故障<br>販売店で点検ください<br>あと800 kmで<br>再始動できなくなります | 28. ⚠警告<br>システム故障のため、<br>一部の運転支援を<br>使用できません |
| 4.<br>航続可能距離<br>9999 km | 9.<br>キーが<br>差し込まれたままです | 14.<br>前方進入禁止有り | 19.<br>休憩しませんか？ | 24. ⚠警告<br>AdBlueシステム故障<br>再始動できません、<br>販売店で点検ください | 29. ⚠警告<br>車線認識カメラ・<br>その周辺が高温のため<br>使用できません |
| 5.<br>踏み間違い<br>衝突防止アシストが<br>作動しました。 | 10.<br>ヘッドランプ<br>システム異常<br>取扱説明書を見てください | 15.<br>止まれ<br>この先、一旦停止 | 20.<br>ウォッシャー液を<br>補給してください | 25.<br>滑りやすい路面のため<br>現在使用できません | 30. ⚠警告<br>カメラ認識できないため、<br>現在使用できません |




### ■ 1.インテリジェントキー持ち出し警告★

●電源ポジションがONのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されると表示します。

**➡ 対処方法**

- インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか確認してください。
- 電源ポジションをOFF、またはLOCKにしてください。

**📖 知識**

- 次の場合に表示が消えます。
  - ― インテリジェントキーが車内に戻ってきたとき

### ■ 2.ドア開き警告

●ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。

**➡ 対処方法**

- ドアを確実に閉めてください。

**⚠ 注意**

- 走行前に表示が消えていることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ■ 3.パーキングブレーキ戻し忘れ警告

●パーキングブレーキ（➡P.149）を戻し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、表示します。

**➡ 対処方法**

- すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

**アドバイス**

- 低速走行時には表示されない場合があります。走行するときは必ずパーキングブレーキを解除してください。

### ■ 4.燃料残量警告

●燃料が少なくなると表示します。残っている燃料で航続可能な距離を表示します。

**➡ 対処方法**

- すみやかに指定の燃料を補給してください。

**知識**

- 燃料の残量がガソリン車では約10ℓ以下、ディーゼル車は約8ℓ以下で表示します。
- 車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告が表示されるタイミングが変わる場合があります。

### ■ 5.踏み間違い衝突防止アシスト作動警告★

●踏み間違い衝突防止アシストが作動すると、表示します。
（低速衝突軽減ブレーキ機能（➡P.190）が作動したときは表示しません。）

**➡ 対処方法**

- 進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などを検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く踏み込まれたとシステムが判断したときに作動します。

➡踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.189)

### ■ 6.油圧警告

●エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると表示します。

**➡ 対処方法**

- 表示したときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、日産販売会社に連絡してください。

**⚠ 注意**

- 表示したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。

### ■ 7.キーシステム警告★

●ハンドルロック（ステアリングロック）やインテリジェントキーのシステムに異常があると表示します。

**➡ 対処方法**

- 表示したときは日産販売会社に連絡してください。エンジンがかからないことや電源ポジションがLOCKから動かないことがあります。

➡インテリジェントキー★ (P.35)

### ■ 8.キーID警告★

●未登録のインテリジェントキーを携帯しているとき、電源ポジションをLOCKから切り替えようとすると表示します。

**➡ 対処方法**

- 登録済みのインテリジェントキーを使用してください。

### ■ 9.キー抜き忘れ警告★

●エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けると表示します。

**➡ 対処方法**

- 降車時は、キースイッチからキーを抜いてください。

### ■ 10.ヘッドランプ警告★

●LEDヘッドランプに異常があると表示します。

**➡ 対処方法**

- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

### ■ 11.システム故障警告

●LDW（車線逸脱警報）、インテリジェント クルーズコントロール★、インテリジェント DA（ふらつき警報）、標識検知機能が故障すると表示します。

**➡ 対処方法**

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- エンジン再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

➔LDW（車線逸脱警報） (P.199)
➔インテリジェント クルーズコントロール★ (P.169)
➔インテリジェント DA（ふらつき警報） (P.201)
➔標識検知機能 (P.202)

### ■ 12.カメラ高温警告A

●炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になり、LDW（車線逸脱警報）、標識検知機能が停止すると表示します。

**➡ 対処方法**

- 停止したシステムを再び作動させる場合は、マルチセンシングフロントカメラの周辺温度が下がってから、再びONにしてください。

➔LDW（車線逸脱警報） (P.199)
➔標識検知機能 (P.202)

### ■ 13.フロントレーダーシステム停止警告A

●車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、インテリジェント エマージェンシーブレーキが停止すると表示します。
●次のような道路形状、または建造物がある場合は、レーダーが先行車を正確に検知できず、作動が停止します。
— 長い橋を走行しているとき
— 砂地や雪原を走行しているとき
— 長い壁の近くを走行しているとき

**➡ 対処方法**

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、エンジンを再始動してください。
- 停止したときの状態が改善、または変更されると、システムは作動を再開します。（再開するまでに時間がかかることがあります）

➔インテリジェント クルーズコントロール★ (P.169)

### ■ 14.進入禁止標識検知表示

●一方通行路へ進入する可能性がある場合に表示します。
●表示・非表示の設定ができます。

➔標識検知機能 (P.202)

### ■ 15.一時停止標識検知表示

●前方の一時停止標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。
●表示・非表示の設定ができます。

➔標識検知機能 (P.202)

### ■ 16.最高速度標識検知表示

●前方の最高速度標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイおよびドライブコンピューターに表示します。
●表示・非表示の設定ができます。

➔標識検知機能 (P.202)

### ■ 17.ソナーシステム異常警告★

●ソナーが故障したときに表示します。

**➡ 対処方法**

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- エンジン再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

➔踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.189)

➔ソナー機能について (P.236)

### ■ 18.インテリジェント DA（ふらつき警報）システム異常警告

●インテリジェント DA（ふらつき警報）に異常があると表示します。

**➡ 対処方法**

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

➔インテリジェント DA（ふらつき警報） (P.201)

### ■ 19.インテリジェント DA（ふらつき警報）表示

●運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに表示します。

●表示・非表示の設定ができます。

➔インテリジェントDA（ふらつき警報） (P.201)

### ■ 20.ウォッシャー液面警告

●ウォッシャー液が少なくなると表示します。

**➡ 対処方法**

- 早めにウォッシャー液を補給してください。

➔ウォッシャー液の補給 (P.266)

### ■ 21.尿素水残量警告（ディーゼル車）

●尿素水（AdBlue®）が少なくなると表示します。残っている尿素水（AdBlue®）で走行可能な距離を表示します。

➔尿素水残量警告 (P.163)

**➡ 対処方法**

- すみやかに尿素水（AdBlue®）を補給してください。

➔補給のしかた (P.166)

### ■ 22.再始動不可警告（尿素水補給）（ディーゼル車）

●尿素水（AdBlue®）の残量がなくなると表示します。

➔尿素水残量警告 (P.163)

**➡ 対処方法**

- 表示した場合は、エンジンを切らずに、すみやかに日産販売会社に連絡してください。

➔補給のしかた (P.166)

**⚠ 注意**

- 表示したあとにキースイッチ（電源ポジション）をOFFにすると、3分後にエンジンの再始動ができなくなります。

### ■ 23.尿素SCRシステム故障警告（ディーゼル車）

●尿素SCRシステムに異常があると表示します。エンジンの再始動ができなくなるまでに走行可能な距離を表示します。

➔尿素SCRシステム故障警告 (P.164)

**➡ 対処方法**

- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

### ■ 24.再始動不可警告（尿素SCRシステム故障）（ディーゼル車）

●尿素SCRシステム故障警告の走行可能距離が0kmになると表示します。

尿素SCRシステム故障警告 (P.164)

**➡ 対処方法**

- 表示した場合は、エンジンを切らずに、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

**⚠ 注意**

- 表示したあとにキースイッチ（電源ポジション）をOFFにすると、3分後にエンジンの再始動ができなくなります。

**＜警告の確認のしかた＞**

●キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ステアリングスイッチの◀▶スイッチで、警告を選択すると、異常を検知している警告が確認できます。




●警告が複数ある場合は、選択スイッチ▲▼を押して表示を切り替えます。

**📖 知識**

- 警告メッセージが0件のとき、「メッセージはありません」と表示します。

### ■ 25.スリップ警告

●インテリジェント クルーズコントロール★の作動が停止すると表示します。

●ABSまたはVDCが作動したときに表示します。

**➡ 対処方法**

- 停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチで再びONにしてください。

### ■ 26.作動範囲外警告

●インテリジェント クルーズコントロール★の作動が停止すると表示します。

●VDCをOFFにしたときに表示します。

**➡ 対処方法**

- 停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチで再びONにしてください。

### ■ 27.走行支援ステータス表示

走行支援システムの作動状態を表示します。

**➡ 対処方法**

- 設定画面の運転支援システムから各システムのON/OFFを設定できます。

LDW（車線逸脱警報） (P.199)

インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.182)

### ■ 28.インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム警告

インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム、踏み間違い防止アシスト★が故障すると表示します。

**➡ 対処方法**

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。

- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.182)

踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.189)

### ■ 29.カメラ高温警告B

カメラおよびカメラ周辺の温度が高いときに表示します。

**➡ 対処方法**

- 車室内の温度が下がるとシステムは自動的に作動を再開します。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.182)

### ■ 30.インテリジェント エマージェンシーブレーキシステムカメラ汚れ警告

- 雨、雪、霧または、カメラの前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったときに表示します。
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず真っ暗な状態が継続したときに表示します。

**➡ 対処方法**

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除き、エンジンを再始動してください。
- 状況が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。

### ■ 31.インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム視界不良警告

- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いときに表示します。
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているときに表示します。

**➡ 対処方法**

- 悪天候時にはインテリジェント エマージェンシーブレーキシステムは作動しません。
- 状況が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。

### ■ 32.フロントレーダーシステム停止警告B

車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、インテリジェント エマージェンシーブレーキが停止すると表示します。

**➡ 対処方法**

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、エンジンを再始動してください。
- 停止したときの状態が改善、または変更されると、システムは作動を再開します。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.182)

### ■ 33.VDC OFF警告

VDCをOFFにしたときに表示します。

**➡ 対処方法**

VDCをOFFにしたときに停止する機能については、（P.168）をお読みください。

### ■ 34.インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム電波障害警告

放送局など周辺の電波源により影響を受けているときに表示します。

**➡ 対処方法**

- 周辺の電波源による影響を受けているときはインテリジェント エマージェンシーブレーキは作動しません。
- 状態が改善されると、システムは作動を再開します。

### ■ 35.インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム作動制限警告

●インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったときに表示します。
●けん引されているときに表示します。

➔インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき (P.187)

**➡ 対処方法**

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- けん引されているときはインテリジェント エマージェンシーブレーキシステムは作動しません。
- 状況が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。

### ■ 36.タイヤ空気圧不足警告★

●タイヤ空気圧が低下すると表示します。
●同時にタイヤ空気圧警告灯（➔P.129）が点灯します。

**➡ 対処方法**

- 安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。
- パンクではなく、タイヤ空気圧が低下しているときには、タイヤが冷えた状態で指定の空気圧に調整してください。
- タイヤがパンクしたときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- 空気圧を正しく調整したあと、必ずタイヤ空気圧警報システム★のリセット操作をしてください。リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯とメーター内ディスプレイの警告表示が消灯します。

  ➔タイヤ空気圧警報システム★ (P.269)
- 温度による空気圧の変化や、自然に空気圧が減少したときにも点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。

### ■ 37.タイヤ空気圧警報システムリセット表示★

タイヤ空気圧警報システム★のリセットを受け付けたときに表示します。

➔タイヤ空気圧警報システムのリセットのしかた (P.270)

### ■ 38.DPF再生不可警告（ディーゼル車）

DPFの手動再生が禁止されている場合に表示します。

**➡ 対処方法**

エンジンを切らずに、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

### ■ 39.DPF再生警告A（ディーゼル車）

DPFの手動再生が必要で、再生条件が成立していないときに表示します。

**➡ 対処方法**

以下の状態を確認してください。

- シフトポジションがPにあること
- 車両が停止状態であること
- アクセルペダルを踏んでいないこと
- DPF再生禁止となる故障を検出していないこと

### ■ 40.DPF再生警告B（ディーゼル車）

DPFの手動再生が必要で、再生条件が成立しているときに表示します。

**➡ 対処方法**

DPF手動再生スイッチを押すか、ステアリングスイッチを操作してOKを押し、手動再生を実施してください。

➔PM燃焼（DPF再生）処理のしかた (P.158)

### ■ 41.DPF再生開始表示（ディーゼル車）

DPFの手動再生を開始するときに表示します。

### ■ 42.DPF再生中表示（ディーゼル車）

DPFの手動再生中に表示します。

### ■ 43.オートライト設定ガイダンス表示 A

停車して、シフトポジションがP以外でパーキングブレーキが作動していないとき、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯している状態でライトスイッチを ≡D⊂ /OFFの位置に回して保持したときに表示します。

**➡ 対処方法**

- シフトポジションをPにする、またはパーキングブレーキを作動させ、ライトスイッチを ≡D⊂ /OFFの位置に回して保持してください。

### ■ 44.オートライト設定ガイダンス表示 B

停車して、シフトポジションがPのとき、またはパーキングブレーキが作動しているとき、以下のいずれかの状態でライトスイッチを ≡D⊂ /OFFの位置に回して保持しなかったときに表示します。

- ライトスイッチがAUTO位置（夜間でヘッドランプ点灯、または昼間で全ライト消灯状態）
- 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯している状態

**➡ 対処方法**

- ライトスイッチを ≡D⊂ /OFFの位置に回して保持してください。

### ■ 45.オートライト設定ガイダンス表示 C

停車して、シフトポジションがP以外でパーキングブレーキが作動していないとき、夜間でヘッドランプ点灯、または昼間で全ライト消灯状態でライトスイッチを ≡D⊂ /OFFの位置に回して保持しなかったときに表示します。

**➡ 対処方法**

- ライトスイッチを ≡D⊂ /OFFの位置に回して保持してください。

### ■ 46.先行車発進お知らせ表示

自車と先行車が停止したあと、先行車が発進しても自車が停止し続けた場合に表示します。

**➡ 対処方法**

先行車との車間距離や周囲の状況を目視で直接確認してから発進してください

## ⑪設定

運転支援システム、時計、メーターセッティング、メンテナンス、アラーム、単位、言語、工場出荷設定を設定することができます。

**📖 知識**

- 以下の場合は、設定することができません。
  - ― 走行しているとき
  - ― インテリジェントキー表示の一部や、その他警告表示の一部を表示しているとき

### ■ 運転支援システム

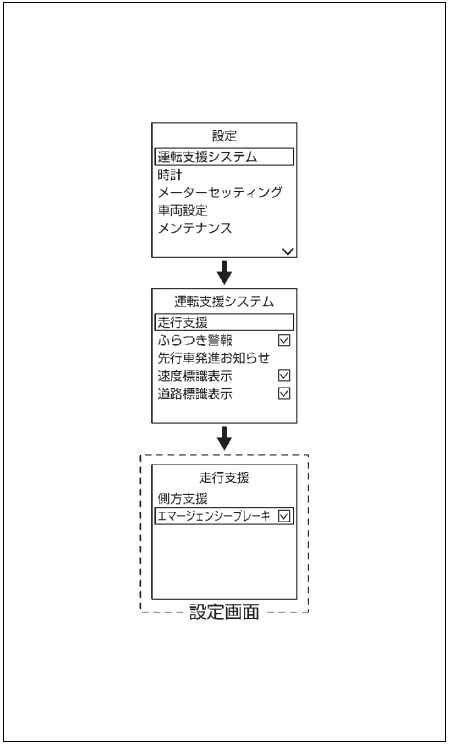
各運転支援システムの設定ができます。

- 走行支援
  - ― LDW（車線逸脱警報）（➔P.199）、インテリジェント エマージェンシーブレーキ（➔P.182）／踏み間違い衝突防止アシスト★（➔P.189）のON、OFFを設定します。
- ふらつき警報
  - ― インテリジェント DA（ふらつき警報）（➔P.201）のON、OFFを設定します。
- 先行車発進お知らせ
  - ― 先行車発進お知らせの設定を、OFF、標準、早めから選択します。
    ➔先行車発進お知らせ (P.205)
- 速度標識表示／道路標識表示
  - ― 走行中に検知した進入禁止標識、一時停止標識、および最高速度標識の情報をアドバンスドドライブアシストディスプレイに表示し、運転者にお知らせする機能です。
    ➔標識検知機能 (P.202)
- 駐車支援★
  - ― ソナー（➔P.236）をON、OFF、前方のみから設定します。前方のみに設定すると、リヤソナーはOFFになります。

— 障害物を検知したときにアドバンスドドライブアシストディスプレイに表示する、ソナー割込み表示のON、OFFを設定します。
— ソナーの音量を、高、中、低から設定します。
— ソナー検知距離を遠、中、近から選択します。障害物までの最長距離が110%（遠）、100%（中）、90%（近）で変更できます。
中を選択したときの障害物までの最長距離は、（P.236）をご参照ください。
ソナー表示（P.122）

**設定のしかた**

●ステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定して各設定画面にします。




例：インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定の場合

**知識**

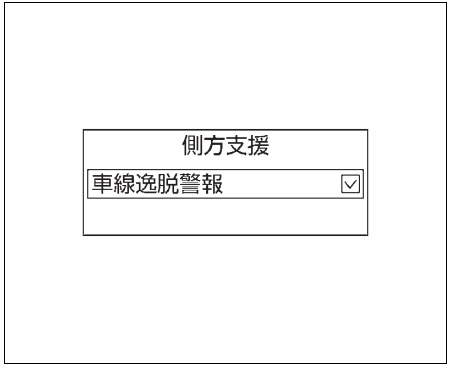
● ひとつ前の画面に戻るときは、↩スイッチを押します。

**＜走行支援の設定＞**

●走行支援の設定画面でステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定して各設定画面にします。

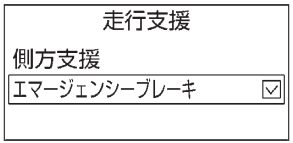
**側方支援**

●側方支援の設定画面でステアリングスイッチのOKスイッチを押してON/OFFを切り替えます。



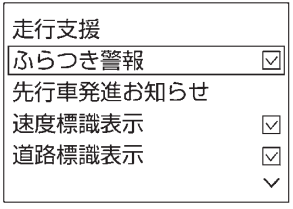

**エマージェンシーブレーキ**

●走行支援の設定画面でステアリングスイッチの▲▼スイッチで「エマージェンシーブレーキ」を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチを押して切り替えます。



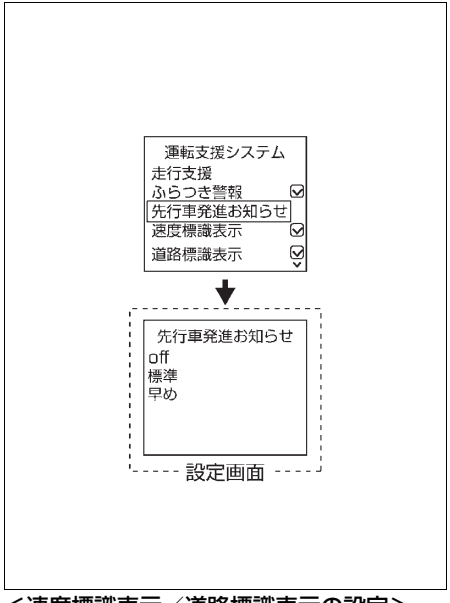

**＜インテリジェント DA（ふらつき警報）の設定＞**

● 運転支援システムの設定画面でステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで「ふらつき警報」を選び、ステアリングスイッチの OK スイッチを押して切り替えます。



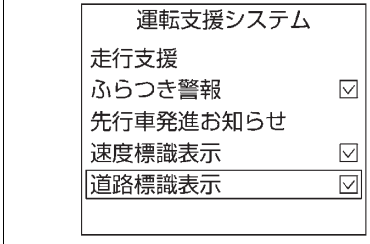

**＜先行車発進お知らせ＞**

● 運転支援システムの設定画面でステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで「先行車発進お知らせ」を選び、ステアリングスイッチの OK スイッチで決定します。



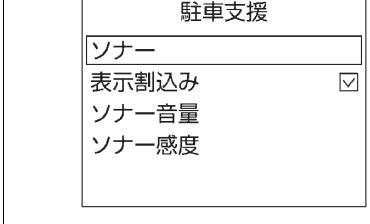

**＜速度標識表示／道路標識表示の設定＞**

● 運転支援システムの設定画面でステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで「速度標識表示／道路標識表示」を選び、ステアリングスイッチの OK スイッチを押して切り替えます。




**＜駐車支援の設定＞★**

● 駐車支援の設定画面でステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチの OK スイッチで決定して各設定画面にします。




**ソナー**

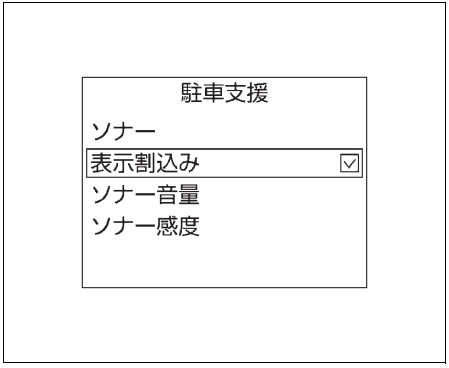
● ソナーの設定画面でステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで項目を選び、ステア

リングスイッチのOKスイッチで決定します。



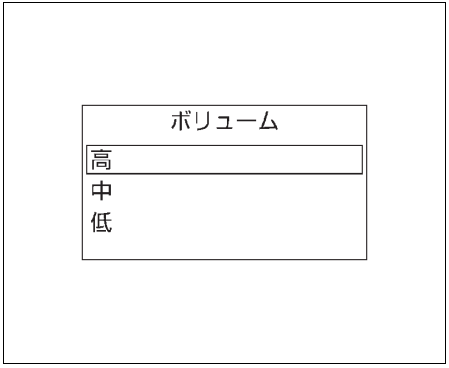

**表示割込み**

●駐車支援の設定画面でステアリングスイッチの▲▼スイッチで「表示割込み」を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。



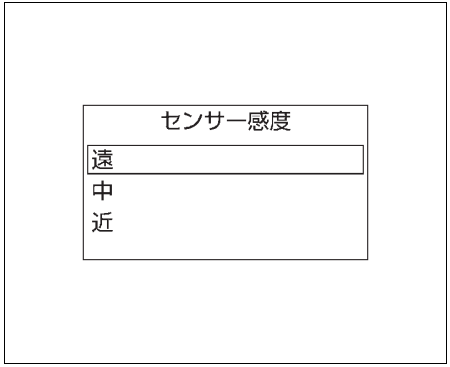

**ソナー音量**

●ソナー音量（ボリューム）の設定画面でステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。




**ソナー感度**

●ソナー感度（センサー感度）の設定画面でステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。




**■ 時計**

時計の調整や12H、24H表示の切り替えを設定できます。

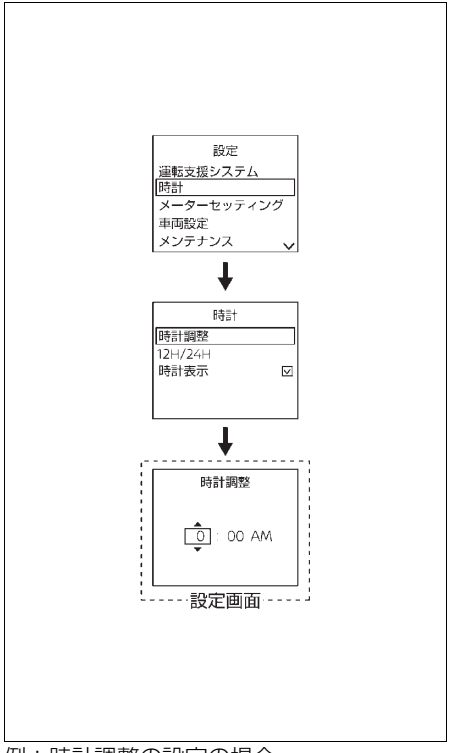
●時計調整
　— 時計調整画面を表示します。

●12H/24H
　— 12H、24Hを切り替えます。

●時計表示
　— 時計表示のON/OFFを設定します。

**設定のしかた**

●ステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定して各設定画面にします。




例：時計調整の設定の場合

**知識**

● ひとつ前の画面に戻るときは、↩スイッチを押します。

**＜時計調整＞**

●ステアリングスイッチの▲▼スイッチで時間を切り替え、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。

**＜12H/24Hの設定＞**

●ステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。

**＜時計表示の設定＞**

●時計表示の設定画面でステアリングスイッチのOKスイッチを押して切り替えます。

## ■ メーターセッティング

メインメニューの選択やメーターの演出機能を設定できます。

●メインメニュー選択
— 車両情報としてメインメニューに表示する項目を設定します。

●エコドライブレポート
— エコドライブレポートのON、OFFを設定します。

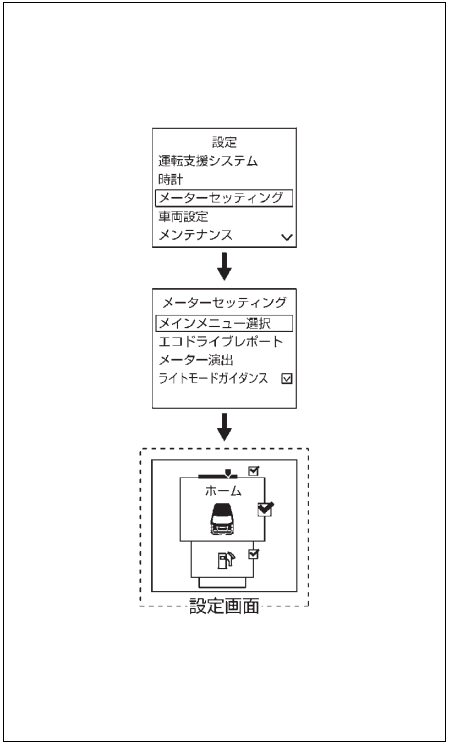
●ライトモードガイダンス
— ライトスイッチ操作を補助するためのガイダンス表示を設定します。

●メーター演出
— スイープ演出のON、OFFを設定します。
エンジンをかけたとき、指針がスイープ動作（スピードメーターおよびタコメーターの指針が一度最大値付近を指し戻る）するかしないかを設定することができます。
— ディスプレイ演出のON、OFFを設定します。
キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときにディスプレイに表示されるオープニングムービー（車両の回転動作）を表示するかしないかを設定することができます。

●DPF再生
— DPFの再生を実行することができます。詳細については、➔PM燃焼（DPF再生）処理のしかた (P.158)をお読みください。

**設定のしかた**

●ステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定して各設定画面にします。



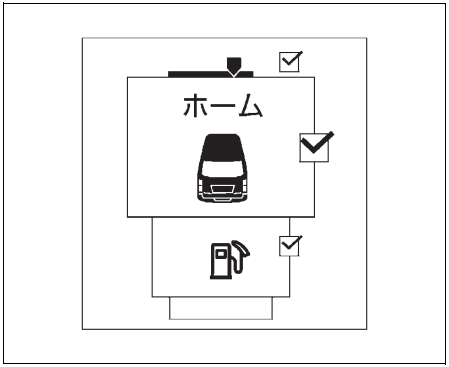

例：メインメニュー選択の設定の場合

**知識**

- ひとつ前の画面に戻るときは、↩スイッチを押します。

**＜メインメニューの設定＞**

- ステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。




**＜エコドライブレポートの設定＞**

- エコドライブレポートの設定画面で▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。

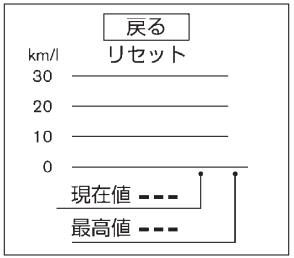
**表示**




**燃費履歴**

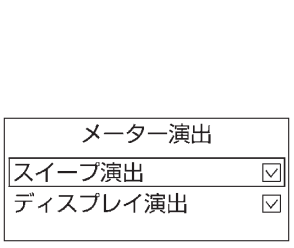
**＜エコドライブレポートのリセット＞**

- エコドライブレポートをリセットできます。
- ステアリングスイッチの▲▼スイッチで「リセット」を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。




**<メーター演出の設定>**

●メーター演出の設定画面でステアリングスイッチの OK スイッチを押して切り替えます。




**■ 車両設定**

オートライトの感度調整やコンフォートフラッシャーなどの機能を設定できます。

●ライト/照明
— オートライトの感度設定、室内灯の自動点灯機能のON/OFFを設定します。

●方向指示器
— コンフォートフラッシャーのON/OFFを設定します。

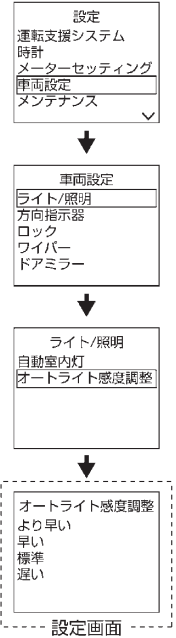
●ロック★
— ドアハンドルのスイッチでの施錠・開錠機能のON/OFFを設定します。

●ワイパー
— 車速連動機能、リバース連動リヤワイパーのON/OFFを設定します。

●ドアミラー★
— ドアロック連動格納機能のON/OFFを設定します。

**設定のしかた**

●ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチの OK スイッチで決定して各設定画面にします。




例：オートライト感度調整の設定の場合

**知識**

● ひとつ前の画面に戻るときは、 ⮌ スイッチを押します。

### ■ メンテナンス

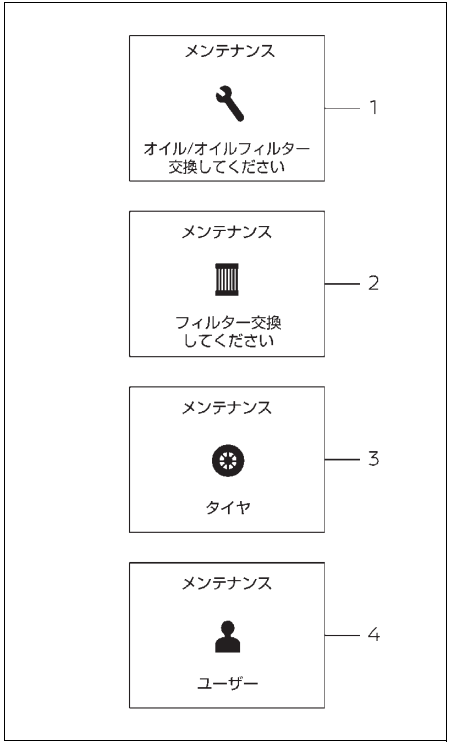
次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。設定値を超えるとメンテナンスする距離がきたことを表示で知らせます。

ディーゼル車は、オイル交換残り距離表示も確認することができます。

●オイルコントロール（ディーゼル車）
　― 走行状態に応じて、適切なエンジンオイルの交換時期をお知らせする機能です。

●オイル／フィルター（ガソリン車）
　オイルフィルター（ディーゼル車）
　タイヤ
　ユーザー
　― 各種交換時期の設定ができます。

**＜設定項目＞**




1. オイル／フィルター（ガソリン車）
2. オイルフィルター（ディーゼル車）
3. タイヤ
4. ユーザー

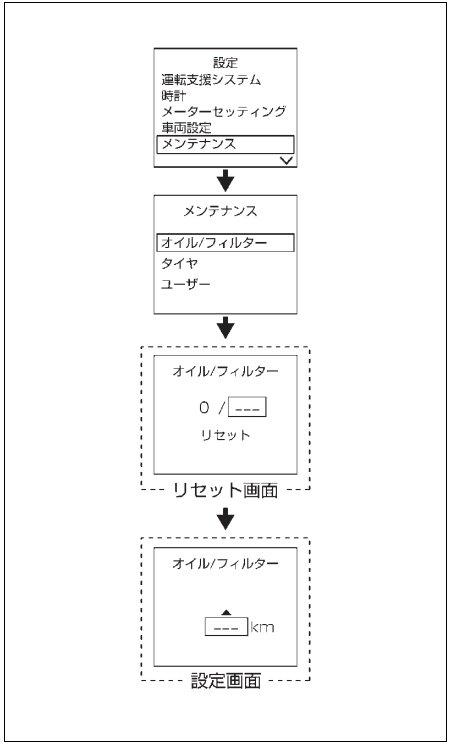
●ディーゼル車のエンジンオイル交換時期は設定できません。
エンジンオイル交換告知機能（ディーゼル車）（➔P.130）をお読みください。

**知識**

- 走行距離を元にお知らせしているもので、実際の車両状態を示したものではありません。目安としてお使いください。
- 「ユーザー」には、お好みの部品の交換時期を設定してください。

**＜設定のしかた＞**

●ステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチの OK スイッチで決定して各設定画面にします。




例：エンジンオイル／オイルフィルターの設定（ガソリン車）の場合

**知識**

- ひとつ前の画面に戻るときは、↩スイッチを押します。

**＜距離の設定＞**

- 最大30,000kmまで設定できます。
- 設定距離は500km単位で切り替わります。
- ステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。
- 設定しないときは、「---」にします。

**＜距離のリセット＞**

- 走行した距離をリセットできます。
- ステアリングスイッチの▲▼スイッチで「リセット」を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。

## ■ アラーム

走行時間、凍結注意の表示を設定できます。



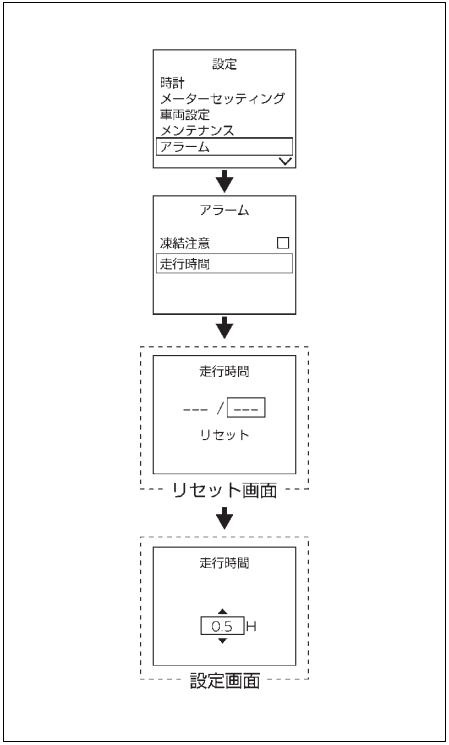




1. 走行時間
   設定した時間まで連続走行したことを知らせます。
2. 凍結注意
   外気温が3℃以下になったことを知らせます。

**設定のしかた**

- ステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定して各設定画面にします。



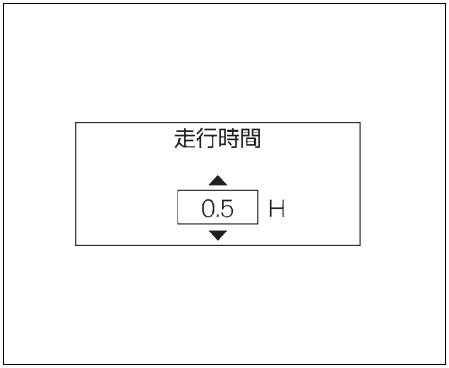

例：走行時間の設定の場合

**知識**

- ひとつ前の画面に戻るときは、⮌スイッチを押します。

**＜走行時間の設定＞**

- 最大6時間まで設定できます。
- 設定時間は0.5h（30分）単位で切り替わります。
- 走行時間設定画面でステアリングスイッチの▲▼スイッチで時間を切り替え、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。
- 設定しないときは、「---」にします。




**＜走行時間のリセット＞**

- 走行した時間をリセットできます。
- ステアリングスイッチの▲▼スイッチで「リセット」を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。

**＜凍結注意表示の設定＞**

- 凍結注意の設定画面でステアリングスイッチのOKスイッチを押して切り替えます。



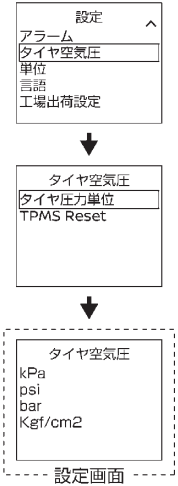

## ■ タイヤ空気圧★

タイヤ空気圧の単位設定、タイヤ空気圧警報システム★のリセットができます。

- タイヤ圧力単位
  - ― タイヤ空気圧の表示単位をkPa、psi、bar、Kgf/cm2に切り替えます。
- TPMS Reset
  - ― タイヤ空気圧警報システムをリセットします。詳細は➔タイヤ空気圧警報システムのリセットのしかた (P.270)をお読みください。

**設定のしかた**

ステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定します。




例：タイヤ圧力単位の設定の場合

**知識**

- ひとつ前の画面に戻るときは、↩スイッチを押します。

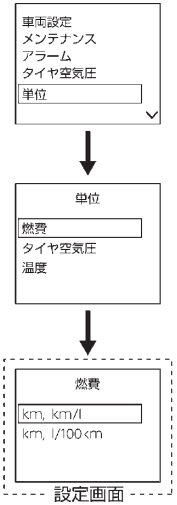
## ■ 単位

燃費および温度の表示単位を設定できます。

- ●燃費
  - ― 燃費の表示単位をkm、km/ℓ、またはkm、ℓ/100kmに切り替えます。
- ●タイヤ空気圧
  - ― タイヤ空気圧の表示単位をkPa、psi、bar、Kgf/cm2に切り替えます。
- ●温度
  - ― 温度の単位を℃または℉に切り替えます。

**設定のしかた**

ステアリングスイッチの▲▼スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチのOKスイッチで決定して各設定画面にします。




例：燃費表示単位の設定の場合

**知識**

- ひとつ前の画面に戻るときは、↩スイッチを押します。

＜各項目の設定＞

| 項目 | 選択項目 | 設定 |
|---|---|---|
| 燃費 | km、km/l | 設定画面でステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチの OK スイッチで決定して各設定画面にします。 |
| | km、l/100km | |
| タイヤ空気圧 | kPa | |
| | psi | |
| | bar | |
| | Kgf/cm2 | |
| 温度 | °C | |
| | °F | |

### ■ 言語／工場出荷設定

言語の設定、工場出荷設定をすることができます。

- 言語
  - ― 表示言語を、日本語、またはUS Englishに切り替えます。
- 工場出荷設定
  - ― ドライブコンピューターの設定を初期化します。

＜各項目の設定＞

| 項目 | 選択項目 | | 設定 |
|---|---|---|---|
| 言語 | 日本語 | | 設定画面でステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで項目を選び、ステアリングスイッチの OK スイッチで決定して各設定画面にします。 |
| | US English | | |
| 工場出荷設定 | リセット | はい（初期化） | |
| | | いいえ | |

## インテリジェントキー表示・警告★

●警告を表示したときは、同時に警報ブザーが鳴ります。
➔インテリジェントキー機能の警報について★ (P.133)



### 1.エンジン始動操作表示

●ブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押し、エンジンを始動することを表示します。

**➡ 対処方法**

- ブレーキペダルを踏みながら、エンジンスイッチを押してください。

**📖 知識**

- 次の場合に表示が消えます。
  - ― エンジンを始動したとき。
  - ― 表示から約15秒経過したとき。
  - ― リモートコントロールエントリー機能、またはリクエストスイッチでドアを施錠したとき。
  - ― セレクトレバーがP以外になったとき。

### 2.ハンドルロック（ステアリングロック）未解除表示

●ハンドルロック（ステアリングロック）を解除できないときに表示します。

**➡ 対処方法**

- ハンドルを軽く左右に回しながらエンジンスイッチを押してください。

**📖 知識**

- 次の場合に表示が消えます。
  - ― ハンドルロック（ステアリングロック）を解除したとき。
  - ― 表示から約15秒経過したとき。

### 3.インテリジェントキー非作動時エンジン始動表示

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境により、インテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。

**➡ 対処方法**

- ブレーキペダルを踏みながら、インテリジェントキーの裏面をエンジンスイッチに接触させてください。（➔P.149）

### 4.インテリジェントキー電池切れ表示

●インテリジェントキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。

**➡ 対処方法**

- 新しい電池に交換してください。（➔P.37）

**📖 知識**

- 次の場合に表示が消えます。
  - ― 表示から約30秒経過したとき。
  - ― 電源ポジションをON以外にしたとき。

### 5.インテリジェントキー持ち出し警告

●電源ポジションがAccのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されると表示します。

**➡ 対処方法**

- インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか確認してください。
- 電源ポジションをOFF、またはLOCKにしてください。

**📖 知識**

- 次の場合に表示が消えます。
  - ― インテリジェントキーが車内に戻ってきたとき。

●インテリジェントキーを携帯していないときに表示します。

**➡ 対処方法**

- インテリジェントキーを携帯してください。

●携帯しているインテリジェントキーの電池が切れているときに表示します。

**➡ 対処方法**

- 新しい電池に交換してください。（➔P.37）

●登録されていないインテリジェントキーを携帯しているときに表示します。

**➡ 対処方法**

- 自車のインテリジェントキーであることを確認してください。

**📖 知識**

- 表示から約5秒経過すると表示が消えます。

### 6.P戻し忘れ警告

- セレクトレバーがP以外のとき、電源ポジションをONからOFFにすると表示します。
- セレクトレバーがP以外にあることをお知らせします。

**➡ 対処方法**

- セレクトレバーをPにしてください。

**📖 知識**

- 次の場合に表示が消えます。
  - セレクトレバーをPにしたとき。
  - 電源ポジションをONにしたとき。

### 7.インテリジェントキーシステム警告

キーシステム警告（➔P.102）をお読みください。

### 8.電源ポジションOFF忘れ警告

- 電源ポジションがAccでP戻し忘れ警告の表示中に、セレクトレバーを操作してPにしたときに表示します。
- 上記を操作後、エンジンスイッチを押して電源ポジションをONにしたときに表示します。

**➡ 対処方法**

- 電源ポジションをOFFにしてください。

**📖 知識**

- 次の場合に表示が消えます。
  - 電源ポジションをOFFにしたとき。
  - エンジンを始動したとき。
  - セレクトレバーをP以外にしたとき。

### 9.ヘッドランプ消し忘れ警告

- キースイッチ（電源ポジション）がON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、次の場合にブザーが鳴ります。
  - ライトスイッチが ≩O の位置にあるとき
  - ライトスイッチを ≡D/OFFの位置に回して、メーター内のテールランプ表示灯が点灯しているとき

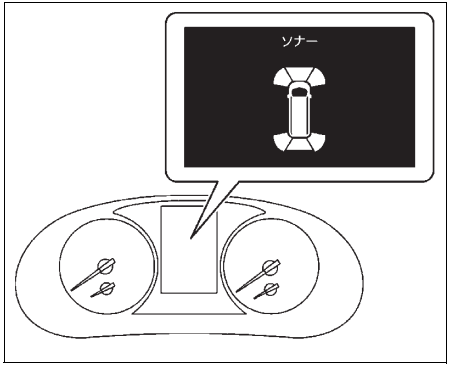
**➡ 対処方法**

- ライトスイッチをAUTOの位置にする、または ≡D/OFFの位置に回して1.5秒以上保持し、メーター内のテールランプ表示灯を消灯してください。

➔ライトスイッチ (P.136)

➔ヘッドランプ消し忘れ警報 (P.132)

### 10.ソナー表示★




- 車両が障害物に近づくと、アドバンスドドライブアシストディスプレイのソナー表示色が緑→黄→赤の順に切り替わり、警報音が鳴ります。
  - セレクトレバーをRにしたとき
  - セレクトレバーがDまたはマニュアルモードで障害物を検知したとき（10km/h 以下）

●ソナー表示中にステアリングスイッチの OK スイッチを押すと、一時的にソナー機能を停止できます。
ただし次の場合は、一時停止が解除されます。
— セレクトレバーを R 以外にしてから再度 R にしたとき
— 12km/h以上で走行したとき

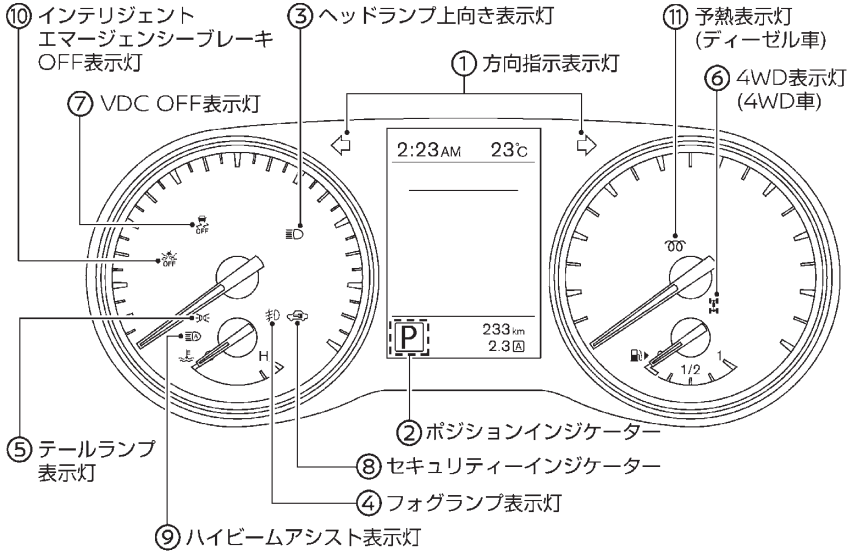
●ソナー表示の見かたについては、（➔P.236）をお読みください。
ソナーの取り扱いについては（➔P.199）をお読みください。

**知識**

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」を選択すると、ソナー機能の各種設定が行えます。設定の詳細については、運転支援システム（➔P.108）をお読みください。
  ドライブコンピューター（➔P.97）
- ソナーが障害物を検知すると、ソナー画面が割り込み表示します。割り込み表示はOFFにすることができます。
  設定（➔P.108）

## 表示灯

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。




### ①⇦⇨方向指示表示灯

方向指示器、または非常点滅表示灯を作動させると点滅します。

**知識**

- 方向指示器のランプの電球が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。

➔電球（バルブ）を交換するときは (P.317)

➔方向指示器スイッチ (P.141)

➔非常点滅表示灯スイッチ (P.141)

### ②P ポジションインジケーター

セレクトレバーの位置を表示します。

知識

- マニュアルモードのときに、セレクトレバーを操作しても希望するギヤに変速できない場合があります。そのときはポジションインジケーターが点滅し、ブザーが鳴ります。

  マニュアルモードの使いかた (P.151)

### ③ ヘッドランプ上向き表示灯

ヘッドランプの上向きを点灯させると点灯します。

上向き（ハイビーム）への切り替えかた (P.138)

### ④ フォグランプ表示灯★

フォグランプを点灯させると点灯します。

フォグランプの点灯・消灯★ (P.140)

### ⑤ テールランプ表示灯

車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。

ライトの点灯・消灯 (P.136)

### ⑥ 4WD表示灯（4WD車）

- エンジン回転中、4WDに切り替わると点灯します。

2WD-4WDの切り替え★ (P.156)

### ⑦ VDC OFF表示灯

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- VDCがOFFになると点灯します。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール） (P.167)

### ⑧ セキュリティーインジケーター

キースイッチ（電源ポジション）がON以外のときに点滅します。

アドバイス

- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置） (P.32)

### ⑨ ハイビームアシスト表示灯

ハイビームアシストをONにすると点灯します。

ハイビームアシストの使いかた (P.139)

### ⑩ インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯

- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると点灯します。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキスイッチをOFFにすると点灯します。（パラメディック（救急車））
- VDCをOFFにすると点灯します。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.182)

踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.189)

### ⑪ 予熱表示灯（ディーゼル車）

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、グロープラグの予熱が完了すると消灯します。

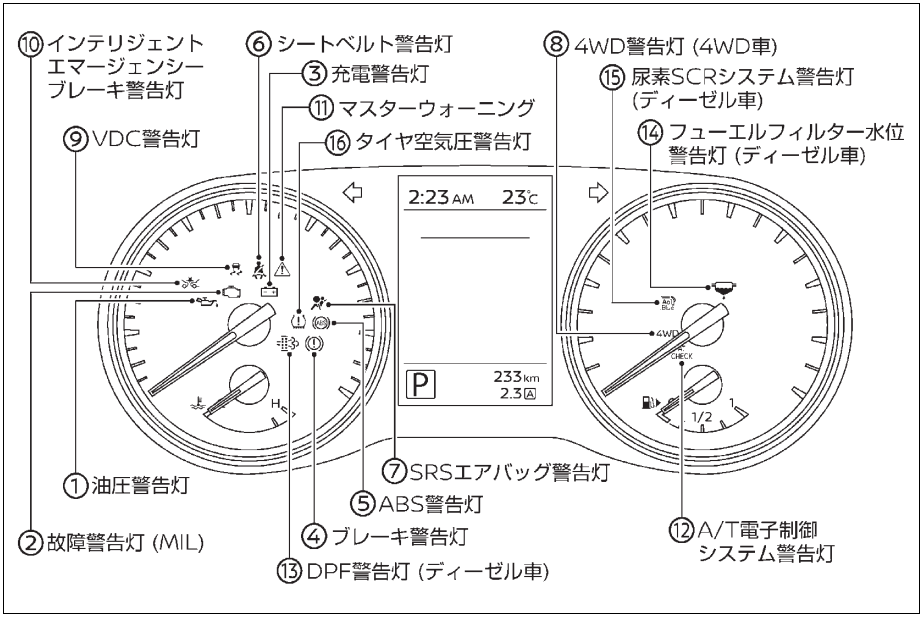
エンジンのかけかた（リモートコントロールエントリーシステム付車） (P.145)

エンジンのかけかた（インテリジェントキー付車） (P.147)

## 警告灯

警告灯が点灯、または点滅したときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。




### ①油圧警告灯

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

**➡ 対処方法**

- 点灯したときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、日産販売会社に連絡してください。

**⚠ 注意**

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。

### ②故障警告灯（MIL）

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯、または点滅します。
- エンジン回転中、尿素SCRシステム（ディーゼル車）に異常があると点灯します。

**➡ 対処方法**

- 点灯、または点滅したときは、ただちに日産販売会社に連絡してください。



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

### ③ 充電警告灯

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

●エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。

**➡ 対処方法**

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。

**⚠ 注意**

- 点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ④ ブレーキ警告灯

正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。（パーキングブレーキをかけているときは消灯しません。）

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、次のような場合は点灯し続けます。

●パーキングブレーキをかけているとき。

**➡ 対処方法**

- 走行中はパーキングブレーキを解除してください。

**⚠ 注意**

- パーキングブレーキの解除のし忘れに注意してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.132）が鳴ります。

●ブレーキ液が不足しているとき。

**➡ 対処方法**

- パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

●ブレーキシステムに異常があるとき。

**➡ 対処方法**

- エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

**⚠ 警告**

- パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ⑤ ABS警告灯

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると数秒間点灯後、消灯します。

●キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。

**➡ 対処方法**

- キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないとき、またはエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

**アドバイス**

- 点灯したときはABSは作動しませんが、ABSのない普通のブレーキ性能は確保されています。この場合は、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

ABS（P.166）

### ⑥ シートベルト警告灯

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。

**➡ 対処方法**

- 点灯したときはシートベルトを着用してください。

**⚠ 警告**

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

**📖 知識**

- 点灯したまま走行すると、シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）（➔P.132）が鳴ります。

### ⑦ SRSエアバッグ警告灯

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると約7秒間点灯後、消灯します。

- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯します。

**➡ 対処方法**

- キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないとき、または約7秒間たっても点灯を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

**⚠ 警告**

- キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないときや、点灯を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

➔SRSエアバッグ (P.89)

➔前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト (P.81)

### ⑧4WD 4WD警告灯(4WD車)

- エンジン回転中、4WDシステムに異常があると点灯します。点灯すると車速が50km/h以上出ないように制限されます。
- 4WD状態で走行中、前後輪の回転数の差が大きい状態が続き、駆動系部品の油温が異常に高くなると点滅します。点滅状態が続くと車速が50km/h以上出ないように制限される場合があります。

**➡ 対処方法**

- **点灯したとき**

  4WDシステムに異常が発生しています。4WDスイッチ（➔P.156）を2WDに切り替え、高速走行をせず、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

- **点滅したとき**

  すみやかに安全な場所に停車しアイドリング状態にするか、2WDに切り替えて走行してください。しばらくして点滅しなくなると、通常通り走行できます。

**アドバイス**

- 走行中に点灯しても、その後消灯し、再度点灯しなければ正常です。
- 消灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

➔2WD-4WDの切り替え★ (P.156)

### ⑨ VDC警告灯

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- VDC作動中に点滅します。
- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、VDCのシステムに異常があると点灯します。

**➡ 対処方法**

- 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

**アドバイス**

- 点灯したときはVDCの作動は停止しますが、VDCのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

➔VDC（ビークルダイナミクスコントロール） (P.167)

### ⑩ インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると数秒間点灯後、消灯します。
次の場合に点灯します。

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ、または踏み間違い衝突防止アシスト★のシステムに異常が発生しているとき
- フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき
- 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき
- フロントガラスの結露やくもりなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき
- 周辺の電波源の影響を受けているとき
- レーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などの付着により、レーダーセンサーが前方を認識できなくなったとき

**➡ 対処方法**

- フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。
- フロントガラスに結露やくもりなどがある場合は結露やくもりを除去し、警告灯が消灯したことを確認してください。
- 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。

➔インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.182)

➔踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.189)

次の場合に点滅します。

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ、または踏み間違い衝突防止アシスト★が作動したとき

**➡ 対処方法**

- エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

  各システムについては、インテリジェント エマージェンシーブレーキ（➔P.182）、踏み間違い衝突防止アシスト★（➔P.189）をお読みください。

- レーダーセンサーが汚れているときは、安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止してレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから再始動し、警告灯が消灯したことを確認してください。

  ➔レーダーセンサーの取り扱い (P.189)

### ⑪ ⚠ マスターウォーニング

- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されると点灯します。

**➡ 対処方法**

- 点灯したときはアドバンスドドライブアシストディスプレイの警告表示を確認して、適切な処置をしてください。

**知識**

- 警告された要因が処置されると消灯します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示を切り替えても、警告された要因を処置しないとマスターウォーニングは消灯しません。

➔ドライブコンピューター (P.97)

### ⑫ AT CHECK A/T電子制御システム警告灯

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると約2秒間点灯後、消灯します。

●オートマチックトランスミッションシステムに異常があると点灯します。

**➡ 対処方法**

- 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

### ⑬ DPF警告灯（ディーゼル車）

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

●エンジン回転中、DPFにPM（粒子状物質）が一定量たい積すると点灯します。

**➡ 対処方法**

- 燃えやすい物が近くにない安全な場所に停車し、DPF手動再生スイッチを押してPM燃焼（DPF再生）処理を行ってください。

**アドバイス**

- 点灯しても約100kmは走行可能ですが、できるだけ早めにPM燃焼処理を行ってください。
- 車速が50km/hで運転し続けた場合、約30分でDPF警告灯が消灯する場合がありますが、状況により消灯までの時間が異なりますので、すみやかに安全な場所に停車しPM燃焼処理を行ってください。

●DPF警告灯が点灯したまま走行し続けると、DPF警告灯が点灯から点滅に変わります。

**➡ 対処方法**

- 日産販売会社で点検を受けてください。

➔DPF（ディーゼル車） (P.158)

### ⑭ フューエルフィルター水位警告灯（ディーゼル車）

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

●エンジン回転中、フューエルフィルター内に水がたまると点灯します。

**➡ 対処方法**

- エンジン回転中に点灯した場合は、日産販売会社にご相談ください。

**⚠ 注意**

- 点灯したまま走行しないでください。フューエルポンプが焼きつくおそれがあります。

### ⑮ 尿素SCRシステム警告灯（ディーゼル車）

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると数秒間点灯後、消灯します。

●次の場合に点灯します。

— エンジン回転中、尿素水（AdBlue®）の残量が減り、走行可能距離が800km以下になったとき

— 尿素SCRシステムに異常があるとき

●走行可能距離が0kmになると、点灯から点滅に変わります。

**➡ 対処方法**

- 点灯または点滅したときは、次のように対処してください。
  - — 尿素水残量警告の表示と同時に点灯したときは、すみやかに尿素水（AdBlue®）を補給してください。
  - — 再始動不可警告（尿素水補給）の表示と同時に点滅したときは、エンジンを切らずに、すみやかに日産販売会社に連絡してください。
  - — 尿素SCRシステム故障警告の表示と同時に点灯または点滅したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

**⚠ 注意**

- 点滅しているときにキースイッチ（電源ポジション）をOFFにすると、3分後にエンジンの再始動ができなくなります。

➔尿素水補給口（ディーゼル車） (P.59)
➔尿素SCRシステム（ディーゼル車）[AdBlue®関連システム] (P.161)

### ⑯ タイヤ空気圧警告灯★

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

- タイヤ空気圧警報システム★に異常があると、約1分間点滅したあと点灯します。
- タイヤ空気圧が低下すると点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されます。
- バースト（破裂）や急激な空気圧低下をした場合は、メーター内の警告表示がすぐに作動しない場合があります。

### ➡ 対処方法

- 走行中に警告灯が点灯した場合は、急ハンドル・急ブレーキを避け、車速を下げて安全な場所に退避し、できるだけすみやかに停車してタイヤを確認してください。
- タイヤ空気圧警報システム★に異常があったときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- パンクではなく、タイヤ空気圧が低下しているときは、指定の空気圧に調整してください。
- タイヤがパンクしたときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- タイヤ空気圧の調整後は、必ずシステムのリセット操作をしてください。リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯とアドバンスドドライブアシストディスプレイの警告表示が消灯します。
- 電源ポジションをONにしても警告灯が点灯しない場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

➔ タイヤ空気圧の点検 (P.267)

➔ タイヤ空気圧警報システム★ (P.269)

### ⚠ 警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 📖 知識

- 温度による空気圧の変化や自然に空気圧が減少したときにも点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。
- 高速走行時はタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。

## エンジンオイル交換告知機能（ディーゼル車）

走行状態に応じて、適切なエンジンオイルの交換時期をお知らせする機能です。

### ⚠ 注意

- 前回のエンジンオイル交換から20,000kmもしくは1年が経過したときは、オイル交換警告表示が表示されなくてもエンジンオイルを交換してください。
- エンジンオイルレベルゲージの×マークを超えた場合は、オイル性能が低下していますので、必ずエンジンオイルを交換してください。
- エンジンオイルを交換したら、必ずオイル交換告知機能をリセットしてください。

➔ リセットのしかた (P.131)

### アドバイス

- エンジンオイル量は定期的に点検してください。
- 次のような場合は、エンジンオイルの交換時期が早くなります。
  - 低速での走行が多いとき。
  - エンジンの始動と停止を頻繁に行ったとき。
  - 1回の走行時間が短く、発進と停止を繰り返し行ったとき。
- 点検時期やエンジンオイル交換時期については、メンテナンスノート（別冊）およびエンジンオイルとフィルターの交換（➔P.158）をお読みください。

### 📖 知識

- エンジンオイル交換時期の設定変更はできません。

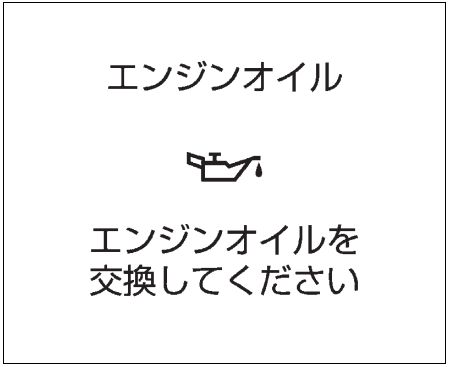
### オイル交換残り距離表示

エンジンオイル交換時期が近づいたときに、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると、約5秒間表示します。




### オイル交換警告表示

エンジンオイル交換時期になったときに、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると、約8秒間表示します。



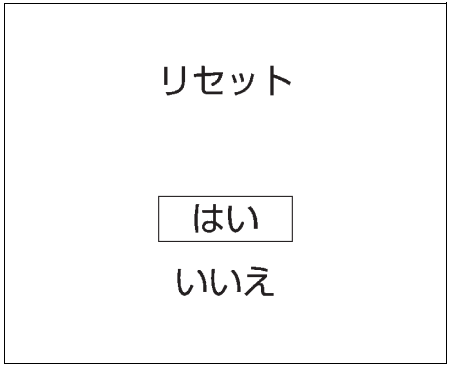

**➡ 対処方法**

- この画面が表示されたら、エンジンオイルを交換してください。

### リセットのしかた

リセットするときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「メンテナンス」⇒「オイルコントロール」（ディーゼル車）、または「オイル/フィルター」（ガソリン車）を選択します。 この画面を表示中に、ステアリングスイッチの OK スイッチを押します。リセット画面が表示されるので、「はい」を選択し、再度ステアリングスイッチの OK スイッチを押すとリセットされます。



**⚠ 注意**

- エンジンオイル交換後は、エンジンオイル交換告知機能をリセットしてください。エンジンオイル交換告知機能をリセットしない状態で走行し続けると、実際のオイル交換時期とは異なる残り目安表示が表示されたり、オイル交換警告表示が表示されたままになります。
- リセットをするときは、安全な場所に停車し、エンジンをかけた状態で操作してください。

## 警報装置

インテリジェントキー機能の警報については、（➔P.133）をお読みください。

## ブレーキパッド摩耗警報

ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗すると、走行中にブレーキ付近から金属音（キーキー音）が発生します。

●金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

**⚠ 注意**

- 金属音が発生したまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

## ヘッドランプ消し忘れ警報

キースイッチ（電源ポジション）をAcc、OFF、またはLOCKにして運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがAUTO以外の位置にあるとブザーが鳴ります。

**📖 知識**

- ブザーの鳴る間隔は、キー抜き忘れ警報★と異なります。

➔ライトスイッチ (P.136)

## キー抜き忘れ警報★

エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。

**📖 知識**

- ブザーの鳴る間隔は、ヘッドランプ消し忘れ警報と異なります。
- キースイッチがONのときは鳴りません。

## リバースブザー

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、セレクトレバーを**R**にすると、車内でブザーが鳴ります。

**📖 知識**

- ブザーを鳴らして、セレクトレバーが**R**に入っていることを運転者に知らせます。車外の人に対する警報ではありません。

## パーキングブレーキ戻し忘れ警報

パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、ブザーが鳴ります。

●すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

**⚠ 警告**

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

➔パーキングブレーキ (P.149)

## シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）

運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約90秒間ブザーが鳴ります。

**⚠ 警告**

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

**📖 知識**

- 走行前にメーター内のシートベルト警告灯（➔P.126）が消灯していることを確認してください。

## 尿素水（AdBlue®）残量警告ブザー（ディーゼル車）

尿素水（AdBlue®）の残量がなくなり、走行可能距離が0kmになると、ブザーが鳴ります。その後、10分ごとに再度ブザーが鳴ります。

- 再始動不可警告（尿素水補給）が表示され、ブザーが鳴ったときは、エンジンを切らずに、すみやかに日産販売会社に連絡してください。

**⚠ 注意**

- ブザーが鳴ったあとにキースイッチ（電源ポジション）をOFFにすると、3分後にエンジンの再始動ができなくなります。

➔尿素水残量警告 (P.163)

## 尿素SCRシステム警報（ディーゼル車）

尿素SCRシステムに異常があるときに、走行可能距離が0kmになると、ブザーが鳴ります。その後、10分ごとに再度ブザーが鳴ります。

- 再始動不可警告（尿素SCRシステム故障）が表示され、ブザーが鳴ったときは、エンジンを切らずに、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

**⚠ 注意**

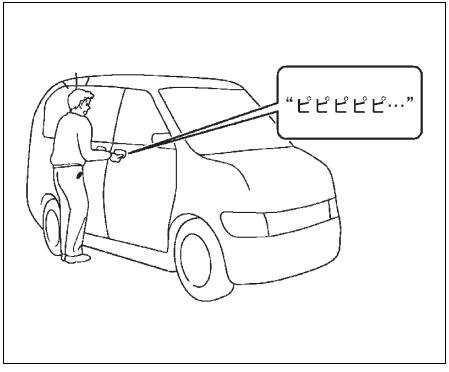
- ブザーが鳴ったあとにキースイッチ（電源ポジション）をOFFにすると、3分後にエンジンの再始動ができなくなります。

➔尿素SCRシステム故障警告 (P.164)

## インテリジェントキー機能の警報について★

インテリジェントキー機能では、誤操作などによる予期せぬ車両の動き出しや、車両盗難などを防ぐため、車内外で警報ブザーを鳴らします。

- 警報ブザーが鳴ったときは、必ず車両およびインテリジェントキーの確認を行ってください。




**📖 知識**

- 警報と同時に警告灯が点灯したり、アドバンスドドライブアシストディスプレイにインテリジェントキー表示・警告（➔P.120）を表示する場合があります。

### ドア開閉時の警報

**■ ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピッピッピッ”と鳴ったとき**

**■ ドアを閉めたときに、車内警報ブザーが“ピピッピピッピピッ”と鳴ったとき**

- 電源ポジションがAcc、またはONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
  ⇒インテリジェントキーを車内に戻してください。
  ⇒電源ポジションをOFF、またはLOCKにしてください。

**アドバイス**

- インテリジェントキーがインストルメントパネル上、グローブボックス内、助手席足元、ドアポケット内、ラゲッジルーム内などにあると警報ブザーが作動することがあります。

### ■ ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが"ピー"と鳴り続けたとき

●セレクトレバーがP以外に入っているときに、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
⇒セレクトレバーをPにしてからインテリジェントキーを持ち出してください。

**知識**

- 車外警報ブザーはセレクトレバーをPに戻すと停止します。

### ■ 運転席ドアを開けたときに、車内警報ブザーが"ピピピピッ、ピピピピッ..."と鳴ったとき

●電源ポジションがLOCKになっていますか？
⇒電源ポジションをLOCKにしてください。

**知識**

- 車内警報ブザーは下記のいずれかの操作を行うと停止します。
  - ― 電源ポジションをLOCKにする。
  - ― 運転席ドアを閉める。

### ■ 運転席ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが"ピピピピ･･･"と鳴ったとき

●無意識にリクエストスイッチを押していませんか？
⇒リクエストスイッチに触れないようにして ドアを閉めてください。

## ドアの施錠時の警報

### ■ リクエストスイッチを押したときに、車外警報ブザーが"ピピピピ..."と鳴ったとき

●電源ポジションが、OFFまたはLOCKになっていますか？
⇒電源ポジションをOFF、またはLOCKにしてください。

●インテリジェントキーを車内、またはラゲッジルーム内に置き忘れていませんか？
⇒インテリジェントキーを取り出してください。

●いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
⇒ドアを閉め直してください。

●ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
⇒ドアを閉めてからリクエストスイッチを押してください。

**知識**

- 警報ブザーが鳴ったときは、施錠されていません。原因を確認し、再度施錠してください。
- 次の場合にインテリジェントキーの施錠スイッチを押しても警報ブザーが作動します。
  - ― いずれかのドアが半ドアのとき。
  - ― ドアを閉める前に施錠スイッチを押したとき。

## エンジンスイッチを押したときの警報

### ■ 車内警報ブザーが"ピピピピピッ"と鳴ったとき

●セレクトレバーがPになっていますか？
⇒セレクトレバーをPにしてください。

### ■ 車内警報ブザーが"ピピッピピッピッ"と鳴ったとき

●インテリジェントキーを携帯していますか？
⇒インテリジェントキーを携帯してください。
⇒携帯している場合は、電池を交換（P.37）してください。

## セレクトレバーをPにしたときの警報

### ■ 車内警報ブザーが"ピピピピピッ"と鳴ったとき

●電源ポジションがOFFになっていますか？
⇒ 電源ポジションをOFFにしてください。

## 警報ブザー音別一覧表

| 警報ブザー音 | 何をしたときに鳴ったか？ | 確認すること |
|---|---|---|
| 車外警報ブザー | | |
| **ピピピピ…** | リクエストスイッチを押したとき | 電源ポジションがAcc、またはONのままになっていませんか？ |
| | | インテリジェントキーを車内、またはラゲッジルーム内に置き忘れていませんか？ |
| | | いずれかのドアが半ドアになっていませんか？ |
| | | ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？ |
| | インテリジェントキーの施錠スイッチを押したとき | ドアを閉める前に施錠スイッチを押していませんか？ |
| | | いずれかのドアが半ドアになっていませんか？ |
| **ピッピッピッ** | ドアを閉めたとき | 電源ポジションがAcc、またはONのままインテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？ |
| **ピー** | ドアを閉めたとき | セレクトレバーが**P**になっていますか？ |

| 警報ブザー音 | 何をしたときに鳴ったか？ | 確認すること |
|---|---|---|
| 車内警報ブザー | | |
| **ピピピピッ、ピピピピッ…** | 運転席ドアを開けたとき | 電源ポジションがAccのままになっていませんか？ |
| **ピピッピピッピピッ** | ドアを閉めたとき | 電源ポジションがAcc、またはONのままインテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？ |
| | エンジンスイッチを押したとき | インテリジェントキーを携帯していますか？（※） |
| **ピピピピピピッ** | エンジンスイッチを押したとき | セレクトレバーが**P**になっていますか？ |
| | セレクトレバーを**P**にしたとき | 電源ポジションがAccのままになっていませんか？ |

※：インテリジェントキーを携帯していても警報ブザーが鳴るときは、インテリジェントキーの電池を交換してください。（P.37）

## ライトスイッチ

### アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

### 知識

- 通常時はAUTOの位置で使用してください。

**ヘッドランプ消し忘れ警報**

- キースイッチ（電源ポジション）がON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、次の場合にブザー（P.132）が鳴ります。
  - ― ライトスイッチが ≣D の位置にあるとき
  - ― ライトスイッチを ≣D/OFFの位置に回して、メーター内のテールランプ表示灯（P.124）が点灯しているとき

**バッテリーセーバー**

- ランプを点灯したままエンジンを止め、リモコン、またはリクエストスイッチ（インテリジェントキー付車のみ）で施錠するとバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。
- 次回、次の操作を行うとランプが再点灯します。
  - ― 運転席ドアを開ける
  - ― キースイッチ（電源ポジション）をONにする
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。

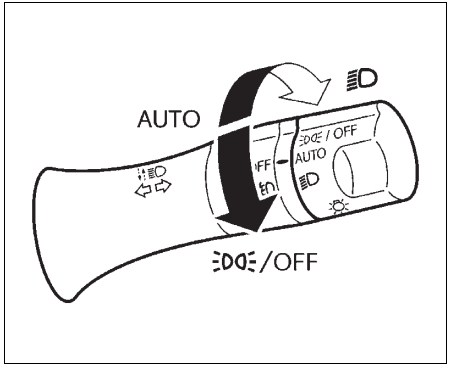
ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる (P.26)

**オートレベライザー（LEDヘッドランプ付車）**

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると自動的に照射方向を調整するシステムです。

## ライトの点灯・消灯

スイッチを回すと、次のように点灯、消灯します。




| スイッチ位置 | 点灯するランプ |
|---|---|
| ≣D/OFF（≣D/OFFの位置に回しても手を離すと自動でAUTOの位置に戻ります。） | **[ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯しているとき]**<br>停車時に≣D/OFFの位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ヘッドランプが自動点灯します。<br>**[ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯しているとき]**<br>≣D/OFF位置に回して保持すると、ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。<br>**[車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき]**<br>停車して、ヘッドランプ消灯時にシフトポジションがPのときまたはパーキングブレーキが作動しているとき≣D/OFFの位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。<br>走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ランプが自動点灯します。 |
| AUTO | ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯します。 |
| ≣D | ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。 |

●車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているときはメーター内のテールランプ表示灯（P.124）が点灯します。

### ≡D/OFFの使いかた

**[ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯しているとき（周囲が暗いとき、ワイパーが作動しているとき）]**

●停車時に ≡D/OFFの位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。

● ≡D/OFFの位置に回してすぐに手を放した場合は、ヘッドランプを消灯できません。

●走行中にライトスイッチを ≡D/OFFの位置に回して保持してもヘッドランプを消灯できません。

**[ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯しているとき（周囲が明るいとき、キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき）]**

● ≡D/OFFの位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

● ≡D/OFFの位置に回してすぐに手を放した場合は、車幅灯、尾灯、番号灯を点灯できません。

**[車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき]**

●停車して、シフトポジションがPのとき、またはパーキングブレーキが作動しているとき、 ≡D/OFFの位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。

≡D/OFFの位置に回してすぐに手を放した場合は、全ランプを消灯できません。

●走行を開始すると周囲の明るさ、ワイパー作動に応じて、ヘッドランプが自動点灯します。

**知識**

● 次の操作をすると、AUTO（自動点灯・消灯）に戻ります。

— シフトポジションがP以外であり、パーキングブレーキが作動していないとき、再度ライトスイッチを ≡D/OFFの位置に回す

— 停車して、シフトポジションがPのとき、またはパーキングブレーキが作動している場合は、全ランプを消灯させた後、再度ライトスイッチを ≡D/OFFの位置に回す

— ∃Oの位置にしてからAUTO（自動点灯・消灯）の位置にする

### AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた

●キースイッチ（電源ポジション）がOFFのときは消灯します。

●キースイッチ（電源ポジション）がONのときは次のように作動します。

**周囲が明るいとき**

●停車中、走行中ともにヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯は消灯します。

**周囲が暗いとき**

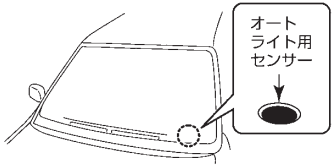
●停車中、走行中ともにヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯します。

**フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能**

●歩行者事故が多く発生している夕暮れ時や雨天でのワイパー使用時にもランプを自動点灯します。

**アドバイス**

● センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「オートライト感度調整」を選択すると、インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の感度を調整することができます。設定の詳細については、車両設定 (P.114)をお読みください。

## の使いかた

●ライトスイッチを の位置に合わせるとヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

## 自動点灯ランプの消灯のしかた（車両停車時）

自動点灯したヘッドランプは走行中に消灯できない仕様となっています。

**ヘッドランプの消灯方法**

●停車中、ライトスイッチを /OFFの位置に回して保持すると、ヘッドランプが消灯します。

**すべてのランプの消灯方法**

●停車中にライトスイッチを /OFFの位置に回して保持して、ヘッドランプを消灯させた後、シフトポジションをPにするか、パーキングブレーキをかけた状態で、再度ライトスイッチを /OFFの位置に回して保持するとすべてのランプが消灯します。

## 上向き（ハイビーム）への切り替えかた

**ライトスイッチが の位置のとき**

●ライトスイッチを車両前方に押すと、上向き（ハイビーム）に切り替わります。下向き（ロービーム）に戻したいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。

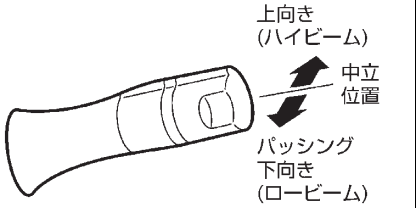
●パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。上向き（ハイビーム）の状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。

**ライトスイッチがAUTOの位置のとき**

●ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に2回押すと上向き（ハイビーム）に切り替わります。（1回押すとハイビームアシスト（P.139）がONになります。）

●下向き（ロービーム）に戻したいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。

●パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。上向き（ハイビーム）の状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。




アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

知識

- ハイビームに切り替えているときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯（P.124）が点灯します。
- ハイビームアシストがONのとき、ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

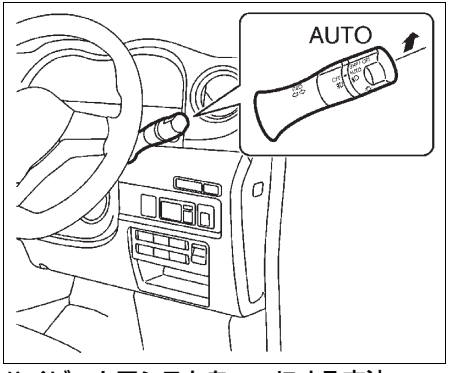
## ハイビームアシストの使いかた

先行車または対向車や周囲の明るさなどに応じ、上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）が切り替わります。

約25km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約15km/h以下になると下向き（ロービーム）に切り替わります。

**ハイビームアシストをONにする方法**

●ライトスイッチがAUTOの位置でレバーを車両前方に押すと、ハイビームアシストがONになります。
（メーター内のハイビームアシスト表示灯（➔P.124）が点灯）

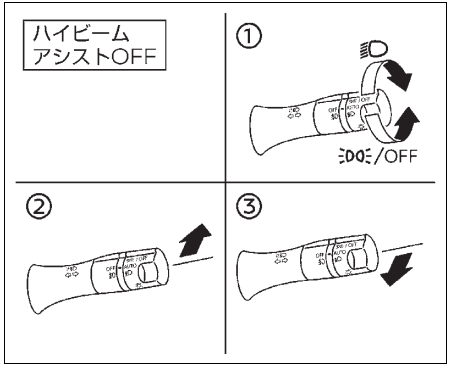



**ハイビームアシストをOFFにする方法**

次のいずれかの操作をすると、ハイビームアシストがOFFになります。

●上向き（ハイビーム）のとき
— ライトスイッチをAUTOの位置以外にする。...①
— ライトスイッチを車両前方に押す。（上向き（ハイビーム）に切り替わります）...②
— ライトスイッチを車両後方に引く（下向き（ロービーム）に切り替わります）...③

●下向き（ロービーム）のとき
— ライトスイッチをAUTOの位置以外にする。...①
— ライトスイッチを車両前方に押す。（上向き（ハイビーム）に切り替わります）...②




**⚠ 警告**

- システムを過信せず常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
- 次のようなときは、ハイビームアシストが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
  - 悪天候のとき（雨、霧、雪、強風など）
  - 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
  - カメラ前方のフロントガラスがくもっていたり、汚れなどが付着したりしているとき
  - カメラの向きがずれているとき
  - 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
  - 対向車または先行車が無灯火のとき
  - 対向車のヘッドランプが汚れていたり、光軸がずれているとき
  - 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき
  - 歩行者など光を発しないもののとき
  - 明るさの急激な変化が連続しているとき
  - 段差や起伏のある道路を走行しているとき
  - カーブが多い道路を走行しているとき
  - ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
  - トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
  - 対向車のヘッドランプが破損または汚れているとき



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

**⚠ 警告**

— パンクやけん引などで車両が傾いているとき

- 次のような原因で、上向きと下向きの切り替わるタイミングが変化することがあります。
  - — 対向車または先行車のランプの明るさ
  - — 対向車または先行車の向きや動き
  - — 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
  - — 対向車または先行車が二輪車
  - — 道路状況（カーブや勾配、路面状況など）
  - — 乗車している人数や荷物の量

**アドバイス**

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーターにハイビームアシスト表示灯（➔P.124）が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

**知識**

- ハイビームアシストがONで下向き（ロービーム）のとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。

  （ハイビームアシストはONを維持）

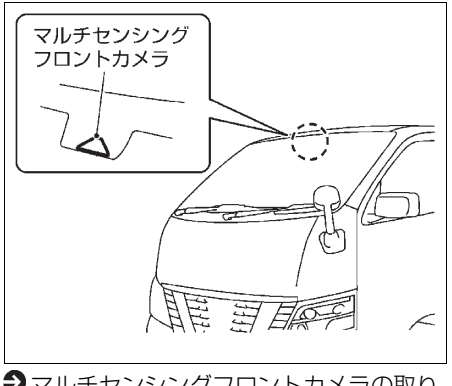
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

## マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に周囲の状況を感知するためのカメラがあります。

ハイビームアシストを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリーやステッカーなどを取り付けないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。



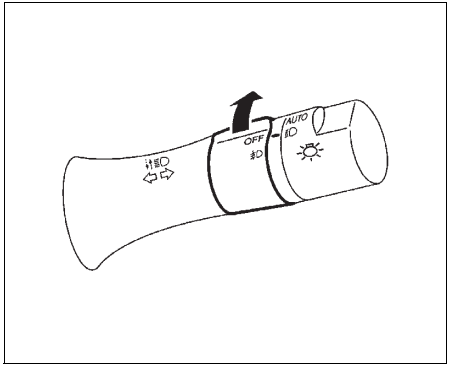

➔マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.188)

## フォグランプの点灯・消灯★

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使えます。

霧などで視界が悪いときに使います。

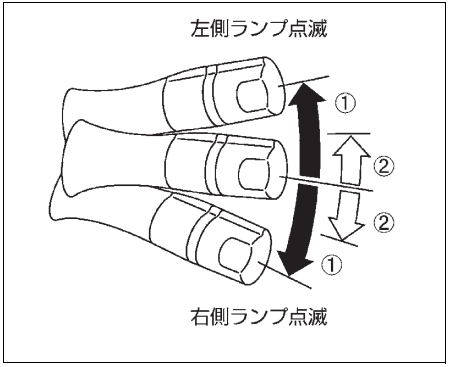
- スイッチを回して を ━ の位置に合わせて使用します。
- フォグランプが点灯しているときは、メーター内のフォグランプ表示灯（➔P.124）が点灯します。



## 方向指示器スイッチ

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。

- スイッチを①の位置まで上、または下に動かすと、方向指示器のランプが点滅します。
  （メーター内の表示灯が点滅）
- 車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで上、または下に軽く押さえます。
  スイッチを押さえている間は点滅し、手を離すと消灯します。
  また、スイッチを②の位置まで上または下に押さえたあと、すぐに手を離したときは3回点滅し消灯します。（コンフォートフラッシャー機能）
  設定の詳細については、➔車両設定(P.114)をお読みください。




### アドバイス

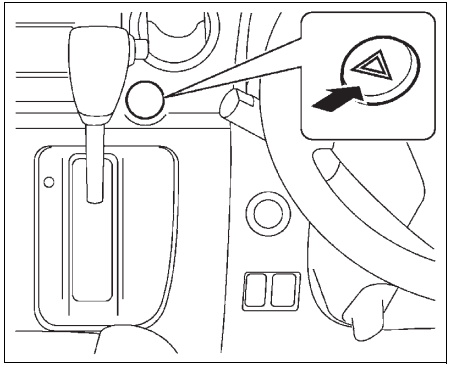
- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。
  ➔電球（バルブ）を交換するときは(P.317)

➔方向指示表示灯 (P.123)

## 非常点滅表示灯スイッチ

故障などでやむをえず路上駐車するときや、非常時に使います。

- スイッチを押すと、すべての方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯（➔P.123）が点滅します。
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。



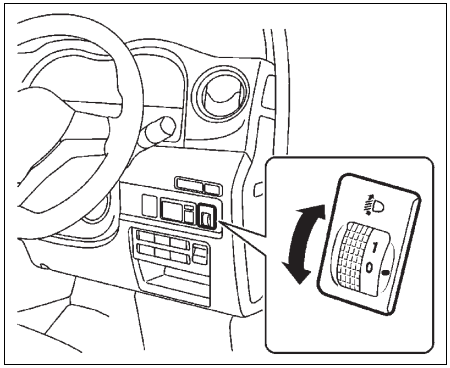
### アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

## ヘッドランプレベライザースイッチ★

ハロゲンヘッドランプ付車は、ヘッドランプが下向き点灯時に照らす向きを調節します。

- 通常、スイッチは0の位置にします。
- スイッチを回し、数字が大きくなるほど、照らす向きが下側になります。



## スイッチ位置の目安

■ バン（ロングボディ）

| 乗員 | 積載状況 | スイッチ位置 | |
|---|---|---|---|
| | | ※1 | ※2 |
| 運転席のみ | 積載なし | 0 | 0 |
| | 満載 | 2 | 3 |

※1：※2以外全車

※2：2/3/5人乗り、3/6/9人乗り、4WD車

■ バン（スーパーロングボディ）

| 乗員 | 積載状況 | スイッチ位置 |
|---|---|---|
| 運転席のみ | 積載なし | 0 |
| | 満載 | 2 |

■ ワゴン、マイクロバス

| 乗員 | 積載状況 | スイッチ位置 |
|---|---|---|
| 運転席のみ | 積載なし | 0 |
| | 満載 | 1 |

## ワイパーの使いかた

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。

**アドバイス**

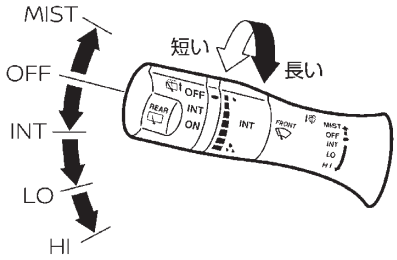
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分間程度）待ってから、再度スイッチをONにしてください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。

## フロントワイパー

●スイッチを下げる（MISTは上げる）と、次のようにワイパーが作動します。

●止めるときは、OFFの位置に戻します。

●間けつ作動の間隔を調節するときは、スイッチを回します。




| スイッチ位置 | 作動 |
|---|---|
| MIST | 1回作動 |
| OFF | 停止 |
| INT | 間けつ作動 |
| LO | 低速連続作動 |
| HI | 高速連続作動 |

**知識**

- MISTの位置では、スイッチを押し上げている間ワイパーは作動し、手を離すと自動的にOFF位置に戻り停止します。
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。

知識

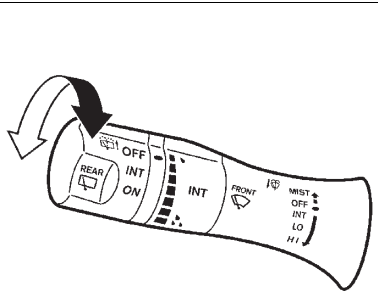
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」⇒「車速連動」を選択すると、車速感知機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定 (P.114)をお読みください。
- ライトスイッチがAUTOの位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくライトが点灯します。

  AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた (P.137)

## リヤワイパー

●スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると次のように作動します。

| スイッチ位置 | 作動 |
|---|---|
| OFF | 停止 |
| INT | 間けつ作動 |
| ON | 連続作動 |




知識

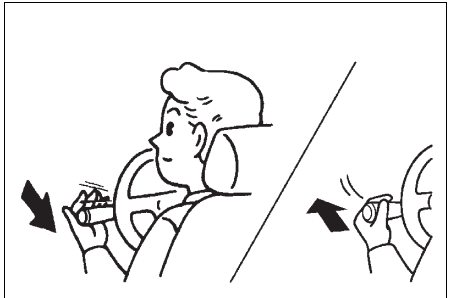
**リバース連動機能**

- フロントワイパー作動中にシフトポジションをRに切り替えると、リヤワイパーが作動します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」⇒「リバース連動」を選択すると、リバース連動機能のON・OFFを切り替えることができます。

  設定の詳細については、車両設定 (P.114)をお読みください。

## ウォッシャーの使いかた

●フロント側はスイッチを手前に引くと、リヤ側は車両前方に軽く押すとウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。



警告

- 寒冷時は、ウインドーガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使ってウインドーガラスを温めてください。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。

  冷却水の濃度点検 (P.259)

アドバイス

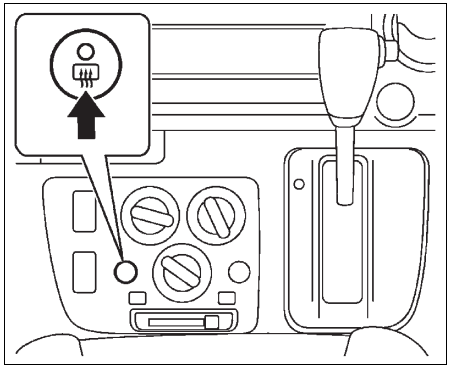
- ウォッシャー液が出ないときは、そのままで30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

## リヤウインドーデフォッガースイッチ

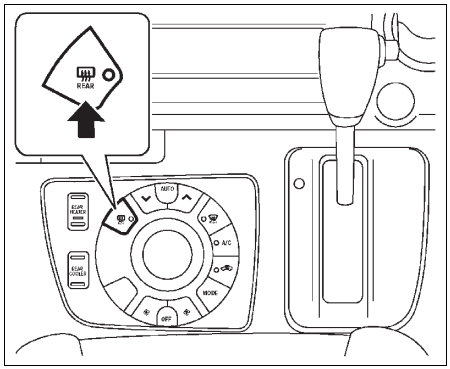
キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。

バックドアガラス内側のくもりを取るときに使います。

- スイッチを押すと約15分間作動します。（スイッチの表示灯が点灯）
- 作動中に止めるときは、スイッチをもう一度押します。（スイッチの表示灯が消灯）



マニュアルエアコン



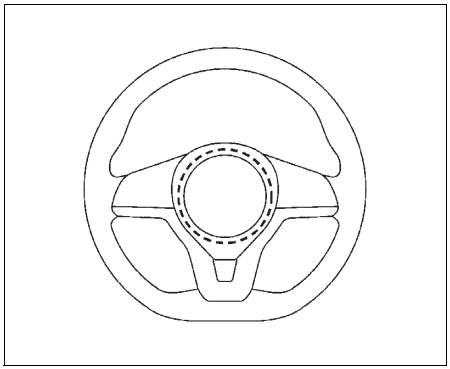

オートエアコン

### アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいためバッテリーあがりの原因になります。
- ヒーター付ドアミラー（P.70）付車は、リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

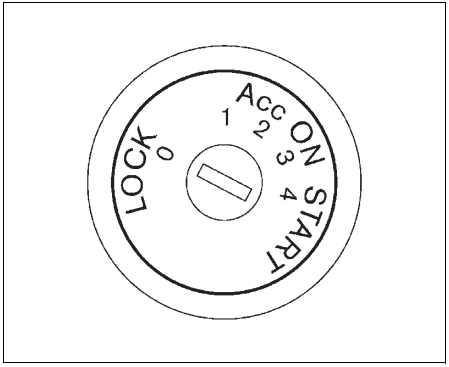
## ホーンスイッチ

- ハンドルのラッパマークがあるパッド面を押すと、ホーンが鳴ります。



## エンジンのかけかた（リモートコントロールエントリーシステム付車）

### キースイッチ




■ 各キースイッチ位置の働き

| キースイッチ位置 | | 働き |
|---|---|---|
| LOCK | (0) | キーを抜き差しできる位置（ハンドルがロックされる位置） |
| (OFF) | (1) | 電源が切れる位置 |
| Acc | (2) | エンジン停止時、オーディオ、電動ミラーなどが使える位置 |
| ON | (3) | エンジン回転中の位置 |
| START | (4) | エンジンを始動する位置 手を離せば自動的にON位置に戻ります |

**アドバイス**

- エンジンを止めたまま、オーディオなどを長時間つけておいたり、キースイッチをAcc、またはONにしたままで放置したりしないでください。バッテリーがあがり、エンジンの始動ができなくなります。

■ キースイッチの使いかた

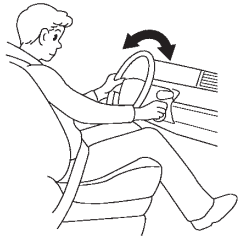
- キーをキースイッチに差し込み回します。
- キーを抜くときは、次のように操作します。
- セレクトレバーを**P**にしてからLOCKまで回します。

**アドバイス**

- セレクトレバーを**P**に入れないでキーを回すと（1）の位置で止まります。その場合は、セレクトレバーを**P**にしたあと、キーをON方向に少し回し、再度LOCKまで回してください。

**知識**

- キーが回りにくいときは、ハンドルロック（ステアリングロック）がかかっている場合があります。ハンドルロック（ステアリングロック）を解除するときはハンドルを左右に軽く回しながらキーを回してください。
➔ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは (P.279)



- エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けるとキー抜き忘れ警報（➔P.132）が鳴ります。

### エンジンのかけかた

**警告**

- 換気の悪い車庫や屋内では、暖機運転をしないでください。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。

**⚠ 警告**

- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行ってください。スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

- エンジンの始動は、必ず運転席に座って行ってください。車外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**アドバイス**

- エンジンをかけるとき、キースイッチをSTARTの位置でガソリン車は10秒以上、ディーゼル車は15秒以上保持しないでください。バッテリーあがりやスターターが故障する原因になります。
- エンジンがかからないときは、キースイッチをAcc、またはOFFに戻し、ガソリン車は10秒以上、ディーゼル車は20秒以上待ってから再始動してください。

**知識**

- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、"カチッ"と音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- ディーゼル車の予熱表示灯の点灯時間は、エンジンの冷却水温によって変わります。水温が高いほど、点灯時間は短くなります。

**エンジンが暖まっているときの始動**

**＜ガソリン車＞**

高速走行後や登坂走行後などエンジンがかかりにくいときは、アクセルペダルを少し（踏み込み量の約1/5）踏み込んだ状態でエンジンを始動し、エンジンがかかったら、アクセルペダルをエンジン回転数の上昇に合わせて徐々に戻します。

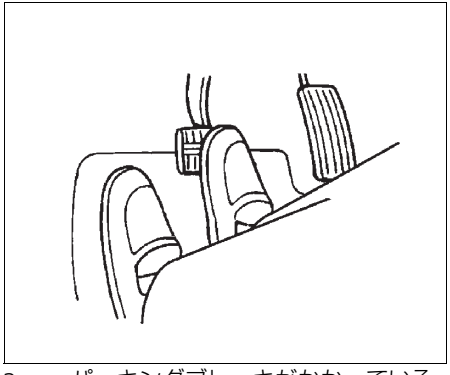
**＜ディーゼル車＞**

通常の始動要領で始動します。

### ■ エンジンの始動のしかた

1. アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認します。

●正しい運転姿勢（➔P.62）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクトレバーがPにあることを確認します。

●セレクトレバーがNでも始動できますが、安全のため必ずPで始動してください。

4. ディーゼル車はキースイッチをONにし、メーター内の予熱表示灯（➔P.124）が消灯するまで待ちます。
5. ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。
6. アクセルペダルを踏まずに、キースイッチをSTARTまで回し、エンジンを始動します。

●エンジンがかかったら、キースイッチから手を離します。

### 知識

- ディーゼル車の予熱表示灯の点灯時間は、外気温が低いほど長くなります。

**エンジンがかかりにくいときは**

ブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでキースイッチをスタートの位置まで約5秒間回し続けてください。その後、再度手順1.～6.の操作をしてください。

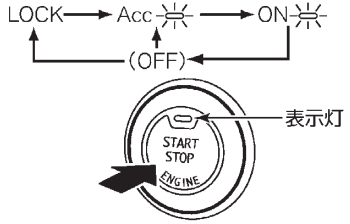
## エンジンのかけかた（インテリジェントキー付車）

### エンジンスイッチ

#### ■ 電源ポジションの切り替えかた

インテリジェントキーを携帯しているとき、ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと電源ポジションが切り替わります。

- 電源ポジションがOFFのとき、いずれかのドアを開けるか、または閉めるとハンドルがロックされます。
  ➔ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは (P.279)




| 電源ポジション | 働き |
|---|---|
| LOCK | ハンドルロック（ステアリングロック）が作動する位置 |
| Acc | オーディオ、ドアミラーなどが使える位置 |
| ON | すべての電装品が使える位置 |
| （OFF）※消灯 | 電源が切れる位置 |

### アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、以下の条件がそろった状態で約60分経過すると自動的に電源がOFFになります。
  - 電源ポジションがAccのとき。
  - 全ドアが閉まっているとき。
  - セレクトレバーがPのとき。

- エンジンを止めたままオーディオなどを長時間つけておいたり、電源ポジションをAcc、またはONにしたまま長時間放置しないでください。バッテリーがあがり、エンジンの始動やハンドルロック（ステアリングロック）の解除ができなくなります。

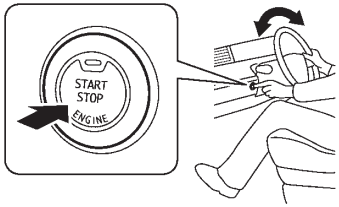
### 知識

- インテリジェントキーの電池が切れているときは、電源ポジションを切り替えることができません。対処方法については、以下のページをお読みください。

  ➔インテリジェントキーが正常に作動しないとき (P.149)

  ➔電池の交換のしかた (P.37)

- エンジンスイッチを押したときに電源ポジションがLOCKから切り替わらないときは、ハンドルを左右に軽く回しながらエンジンスイッチをもう一度押してください。



## エンジンの始動・停止のしかた

### ■ エンジンの始動のしかた

運転するときは、インテリジェントキーを運転者が必ず携帯してください。
インテリジェントキーが作動範囲内にあるとき、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができます。

➔エンジン始動の作動範囲 (P.39)

**⚠ 警告**

- 換気の悪い車庫や屋内では、暖機運転をしないでください。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行ってください。スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

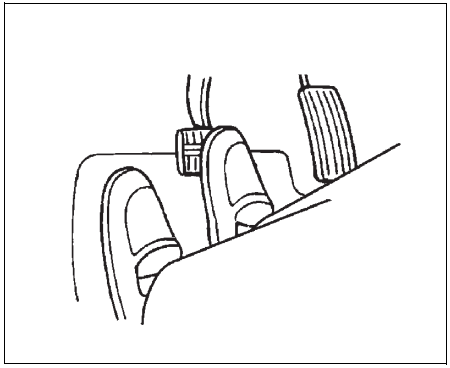
- エンジンの始動は、必ず運転席に座って行ってください。車外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**📖 知識**

- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、"カチッ" と音が聞こえることがありますが異常ではありません。

1. アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認します。

●正しい運転姿勢（➔P.62）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクトレバーが**P**にあることを確認します。

●セレクトレバーが**N**でも始動できますが、安全のため必ず**P**で始動してください。

4. ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。
5. アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。
（一度押しただけでエンジンがかかります。）

●ディーゼル車は、エンジンスイッチを押すと予熱表示灯（➔P.124）が点灯し、消灯後に自動的にエンジンが始動します。（外気温が極端に低いときは、一旦ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押して電源ポジションをONにし、予熱表示灯が消灯するまで待ってください。消灯後、再度手順4.からの操作を行ってください。）

●エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを5秒以上押し続けてください。

**アドバイス**

- 緊急時以外は走行中にエンジンスイッチの操作を行わないでください。（走行中にエンジンスイッチを3連打以上、または2秒間押し続けるとエンジンが停止します。）

**📖 知識**

- エンジンの始動を連続して行うと保護機能が作動し、エンジンがかからなくなることがあります。その場合は、3分以上待ってから再度エンジンスイッチを押して始動してください。
- ディーゼル車の予熱表示灯の点灯時間は、外気温が低いほど長くなります。

**知識**

- エンジン始動前のブレーキペダル操作などにより、ブレーキペダルが硬くなっている場合があります。この場合、ブレーキペダルを軽く踏んだ状態ではペダル踏み込み操作が検知されず、エンジンが始動しません。ブレーキペダルを通常よりも強く踏み込んでください。

**エンジンがかかりにくいときは**

- ブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでエンジンスイッチを約5秒間押し続けてください。その後、再度手順1.～5.の操作をしてください。

### ■ エンジンの停止のしかた

1. 停車後、セレクトレバーを**P**にします。
2. エンジンスイッチを押します。

●電源ポジションがOFFになり、エンジンが停止します。

**⚠ 注意**

- 車から離れるときは以下のことをお守りください。
  - ― セレクトレバーを**P**に入れる。
  - ― 電源ポジションをLOCKにする。

**アドバイス**

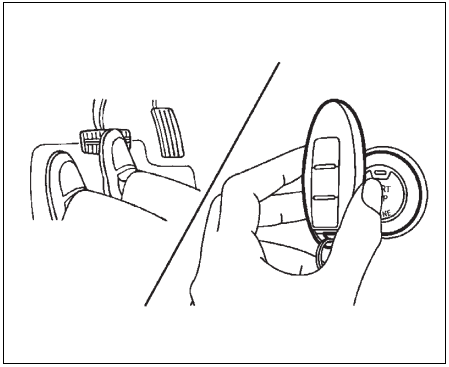
- セレクトレバーを**P**に戻す前にエンジンスイッチを押すとLOCKになりません。（**P**戻し忘れ警告（➔P.122）が表示）

  エンジンを停止するときは、必ずセレクトレバーを**P**にしてからエンジンスイッチを押してください。

## インテリジェントキーが正常に作動しないとき

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境によりインテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないときには、以下の手順でエンジンを始動してください。

1. セレクトレバーが**P**にあることを確認し、ブレーキペダルを踏みます。
2. インテリジェントキーの裏面を、エンジンスイッチに接触させます。（ブザーが“ピピッ”と鳴ります。）



3. ブザーが鳴ってから約10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。

●ブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押すと、電源が切り替わります。

**アドバイス**

- 上記の操作で始動できない場合は、早めに日産販売会社へ連絡してください。

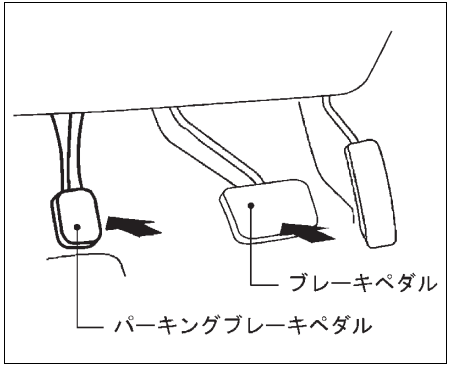
●エンジンを止めるときは、通常のときと同じように、セレクトレバーを**P**にしてからエンジンスイッチを押してください。

**知識**

- ドアの施錠・解錠は、メカニカルキーを使って行ってください。（➔P.41）
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。（➔P.37）

## パーキングブレーキ

●パーキングブレーキをかけるときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。




●解除するときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

**⚠ 警告**

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**アドバイス**

- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- パーキングブレーキをかけたあとに、パーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。

**知識**

- パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。
- パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（➔P.132）が鳴ります。

## セレクトレバーの使いかた

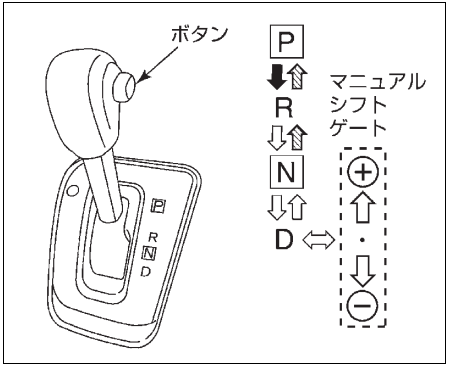
### 各セレクトレバー位置の働き

| セレクトレバー位置 | 働き |
|---|---|
| P パーキング | **駐車およびエンジンを始動するときの位置**<br>キースイッチ（電源ポジション）をOFF、またはLOCKに切り替えることができます。<br>（P以外ではキースイッチ〔電源ポジション〕をLOCKにできません。） |
| R リバース | **後退するときの位置**<br>車内でブザーが鳴り運転者に知らせます。<br>（車外の人に注意するものではありません。） |
| N ニュートラル | **動力が伝わらない状態の位置**<br>（Nでもエンジンの始動ができますが、安全のためPで始動してください。） |
| D ドライブ | **通常走行するときの位置**<br>速度に応じてギヤが1速～7速に自動変速します。<br>また走行状況によってアダプティブシフトコントロール（➔P.151）が働き、より適切に変速します。 |
| マニュアルシフトゲート | **マニュアルモード走行するときの位置**<br>走行中に手動でシフトポジションを切り替えることができます。 |

### セレクトレバーの操作

●セレクトレバー位置は目で確認し、メーター内のポジションインジケーターも合わせて確認してください。
➔ポジションインジケーター (P.123)

●キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、すべてのセレクトレバー位置に操作することができます。




| セレクトレバー操作 | |
|---|---|
| ➡ | ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。 |
| ⇨ | ボタンを押さずにそのまま操作します。 |
| ⇛ | ボタンを押して操作します。 |

**⚠ 警告**

- 次のような操作は、トランスミッションを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
  - ― 車が完全に停止する前にPに入れる。
  - ― 車を前進させているときにRに入れる。
  - ― 車を後退させているときにD、マニュアルモードに入れる。
- セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行ってください。スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**アドバイス**

- ⇨印の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反してP、Rに入れてしまうおそれがあります。
- Pから操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

- セレクトレバーをRに入れるとブザーが鳴ります。
- 万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときは、セレクトレバーが動かないときは(➔P.290)をお読みください。

## アダプティブシフトコントロールについて

急な上り下りや、カーブが連続するような道路状況でも快適で安全な走りを実現できるよう適切なギヤチェンジを行います。

**上り坂やカーブでの制御**

変速回数の少ないなめらかな走行ができるように、坂の勾配やカーブに応じて低速ギヤを保持します。

**下り坂での制御**

エンジンブレーキを併用させることで、フットブレーキを使う回数を低減させるように坂の勾配に応じて低速ギヤに切り替えます。

変速回数の少ないなめらかな走行ができるように、坂の勾配やカーブに応じて低速ギヤを保持します。

**スポーティな走行での制御**

アクセルペダルを踏み込んだときにもたつきのないスムーズな加速が得られるように、加減速を繰り返すような連続するカーブでは低速ギヤを保持します。

**アドバイス**

- トランスミッションが、走行開始直後で暖まっていないときや、低速で高負荷な走行を繰り返し過熱しているときは制御が作動しない場合があります。その場合には必要に応じてセレクトレバーをマニュアルモードに入れ、シフトダウンしてください。

## マニュアルモードの使いかた

セレクトレバーをマニュアルシフトゲートに入れるとマニュアルモードになります。（ポジションインジケーターに、シフトポジションを表示します。）

📖 知識

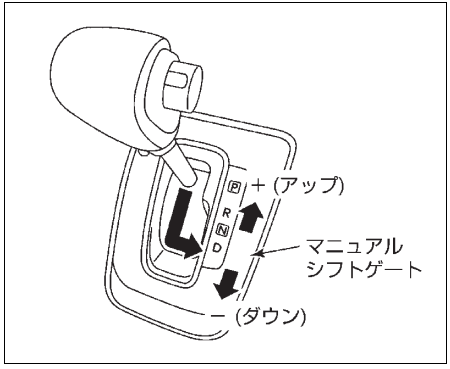
- 安全や走行性能を確保するために、セレクトレバーを操作しても希望するギヤに変速しなかったり、シフトポジションが切り替わる場合があります。
- 車両が停止すると、1速へシフトダウンします。

### ■ 各シフトポジションの働き

| シフトポジション | 働き |
|---|---|
| 1 | 1速に固定されます。より強いエンジンブレーキが必要なときに使います。 |
| 2 | 2速に固定されます。強いエンジンブレーキが必要なときに使います。 |
| 3 | 3速に固定されます。エンジンブレーキが必要なときに使います。 |
| 4 | 4速に固定されます。下り坂で軽いエンジンブレーキをかけたいときなどに使います。 |
| 5 | 5速に固定されます。 |
| 6 | 6速に固定されます。 |
| 7 | 7速に固定されます。 |

### ■ 切り替えかた

- セレクトレバーをマニュアルシフトゲートに入れ、前後に操作します。
  - ー シフトポジションアップ:
    セレクトレバーを+（アップ）側に動かします。
  - ー シフトポジションダウン:
    セレクトレバーを-（ダウン）側に動かします。




📖 知識

- セレクトレバーを操作しても希望するギヤに変速できない場合があります。そのときはポジションインジケーターが点滅し、ブザーが鳴ります。

➔ ポジションインジケーター (P.123)

### ■ 解除のしかた

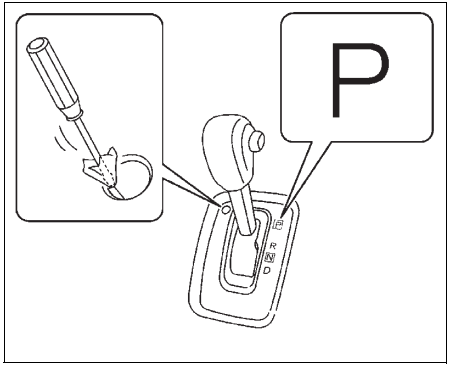
セレクトレバーをマニュアルシフトゲートからDに戻します。

## シフトロック解除ボタンの使いかた

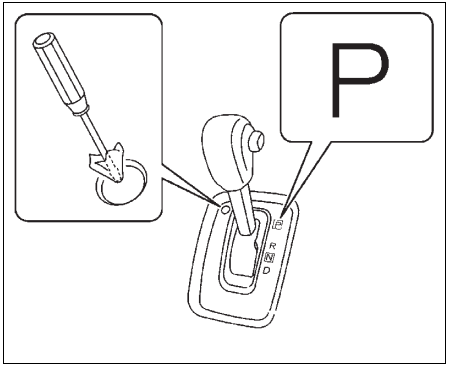
万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときに使います。

1. 安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. お手持ちの精密ドライバーなどでふたを外します。

- 傷つきを防ぐため、ドライバーに布などをあてて外してください。




3. お手持ちの精密ドライバーなどでシフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。




**アドバイス**

- セレクトレバーを**P**から動かせないときは、シフトロックシステム（P.23）などの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

## 各シフトポジションの限界速度

シフトポジションを切り替えるときは、エンジンを回転させすぎないために、下表の速度を超えないようにしてください。

| シフトポジション | エンジン型式 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | QR20DE | QR25DE（2WD） | QR25DE（4WD） | 4N16 |
| 1 | 40 | 44 | 40 | 24 |
| 2 | 65 | 75 | 64 | 40 |
| 3 | 100 | 116 | 101 | 64 |
| 4 | 143 | 167 | 145 | 86 |
| 5 | 180 | 180 | 180 | 122 |
| 6 | 180 | 180 | 180 | 138 |
| 7 | 180 | 180 | 180 | 180 |

**⚠ 注意**

- 限界速度を超えると、エンジンを破損するおそれがあります。

## オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作が無くギヤチェンジを自動で行います。ただし、オートマチック車特有の取り扱いかたがありますので、運転の基本操作を理解し正しく操作してください。

### 発進のしかた

**■ 通常の発進**

1. ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを動かします。
- 前進するときは**D**（またはマニュアルモード）に入れます。
- 後退するときは**R**に入れます。
- セレクトレバー位置を、目で確認してください。

**⚠ 警告**

- 発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだままのセレクトレバー操作をしないでください。急発進して、重大な事故につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

- セレクトレバーがP、N以外にあると、クリープ現象で車が動き出します。エンジン始動直後やエアコン作動時は、特に動き出す力が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

2. パーキングブレーキを解除します。
3. ブレーキペダルを徐々に緩めたあと、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

### ■ 急な上り坂での発進

1. セレクトレバーの位置を、目で確認します。
2. パーキングブレーキをかけたままで、ブレーキペダルを徐々に緩めます。
3. アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動き出す感触を確認します。
4. パーキングブレーキを解除し、発進します。

## 走行のしかた

**⚠ 注意**

- 走行中はセレクトレバーをNにしないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

### ■ 通常の走行

- セレクトレバーをD、またはマニュアルモードに入れて走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作で加速、減速を行います。
  アクセルペダルの踏みかげんと走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに変速されます。

### ■ 急加速したいとき

- 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。キックダウンし急加速します。

### ■ 上り坂の走行

- 速度が下がってきたら、セレクトレバーはDのままでアクセルペダルを踏み込みます。
  坂の勾配に応じて、自動的に低速ギヤに切り替わり、低速ギヤを保持します。
- アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、キックダウンすることがあります。

### ■ 下り坂の走行

エンジンブレーキを併用して走行します。

- セレクトレバーがDのときにブレーキペダルを踏むと坂の勾配に応じてシフトダウンし、エンジンブレーキが効きやすい状態にします。
  また、坂の勾配に応じてマニュアルモードに入れます。強いエンジンブレーキが必要な場合は、マニュアルモードの2速または1速にします。
  勾配のゆるい下り坂では、マニュアルモードの4速または3速にすると、軽いエンジンブレーキが得られます。

**⚠ 警告**

- 下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。セレクトレバーがDのときは、低速ギヤを保持してエンジンブレーキが効きやすい状態に制御しますが、スピードが出すぎるときは坂の勾配に応じてマニュアルモードを併用してください。ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。
- 低速ギヤを保持しない場合は、坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れてください。走行開始直後でトランスミッションの油温が暖まっていないときや、アクセルペダルを深く踏み込んだ高負荷な状態で長く走り続けると低速ギヤを保持しない場合があります。その場合には、坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れてください。
- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせないでください。タイヤがスリップするおそれがあり危険です。

**⚠ 警告**

- 走行中はセレクトレバーを**N**に切り替えないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

**アドバイス**

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 上り坂でセレクトレバーを**D**またはマニュアルモードに入れたまま故意に車両を後退させたり、下り坂で**R**のまま故意に車両を前進させたりしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 冠水路など深い水たまりは無理に走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。
- ブレーキペダルとアクセルペダルを同時に踏まないでください。トランスミッションが故障するおそれがあります。
- 極端に低車速で走行すると、車速がわずかに変化する場合がありますが、システム特有の動きで異常ではありません。

## 停車のしかた

- セレクトレバーは**D**のままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 停車時間が長くなるときは、セレクトレバーを**N**に入れます。

**⚠ 警告**

- 停車中の空吹かしはしないでください。万一、セレクトレバーが**P**、**N**以外にあると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、セレクトレバーの位置を、目で確認してください。

**⚠ 注意**

- エアコン使用時はエンジン回転数が変動するため、クリープ現象が断続的に強くなることがあります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。

**アドバイス**

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスミッションが故障する原因となります。

## 駐車のしかた

1. 車を完全に停止させます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
3. セレクトレバーを**P**に入れ、目で確認します。

- セレクトレバーを**P**に入れると駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

4. エンジンを止めます。

**⚠ 注意**

- 車から離れるときは、必ずセレクトレバーを**P**に入れ、エンジンを止めてください。エンジンがかかったままで、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## その他に気をつけること

**⚠ 警告**

- 坂道などでセレクトレバーを**D**、マニュアルモードに入れたまま惰性での後退をしたり、**R**に入れたまま惰性での前進をしないでください。エンジンが止まり、極度にハンドルの操作力が重くなったりブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ■ 車を少し移動させるとき

- 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダル、アクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

### ■ 車を後退させるとき

●後退時は身体をひねった状態となり、ペダルの操作を間違うおそれがあります。ブレーキペダルが確実に踏める姿勢をとるようにしてください。

●少し後退したときなどは、セレクトレバーをRに入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNに戻す習慣をつけてください。

## 4WD（4輪駆動）車の扱いかた

4WD車は、滑りやすい路面などで優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。
4WD車特有の取り扱いかたを十分理解し、正しい運転をしてください。

**⚠ 警告**

- 4WD車は万能ではないため、走行するときは次のことを必ず守る。
  - ― 渡河などの水中走行はしない。
  - ― 砂地、ぬかるみなど、後輪が空転しやすいところでの連続走行はしない。
  - ― 脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させない。

## 走行するときは

●オフロード（不整地）走行やラリー走行用ではありません。

●運転操作は一般車と同様です。ハンドル、アクセル、ブレーキなどの操作は慎重に行い、安全運転を心がけてください。

**⚠ 注意**

- 乾燥した舗装路・高速道路では必ず2WDで走行してください。
- 4WD状態で乾燥した舗装路を走行したり、限界速度を超えて走行したりしないでください。駆動系に無理がかかりオイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となりますので、絶対に避けてください。また、タイヤが早く摩耗したり燃費が悪くなったりすることがあります。

  ➔ 2WD-4WDの切り替え★ (P.156)
- 4WD状態でハンドルをいっぱいに切っての旋回はしないでください。ハンドルをいっぱいに切って旋回するとタイトコーナーブレーキング現象（ブレーキをかけた状態と同じ現象）が起き運転しにくくなります。特に乾燥した舗装路ではハンドルの操作力が大きくなります。これは前・後輪の回転差により起こる現象で異常ではありませんが危険ですので避けてください。

**📖 知識**

- タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。
- 砂地などのオフロード走行や脱輪時の無理な操作などにより、前後輪間の回転数差が大きい（車輪が空転する）状態が続くと、駆動系部品の油温が上昇し4WD警告灯（➔ P.127）が点滅します。

  この場合、駆動系部品の保護のため、すみやかに安全な場所に停車してアイドリング状態にするか、2WDに切り替えて走行してください。しばらくして点滅しなくなると、通常通り走行できます。
- 4WD車は、2WD車に対し、制動距離が短くなるわけではありません。

## タイヤについて

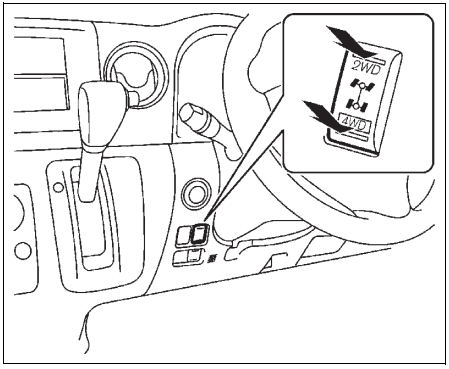
●タイヤの交換は4輪とも同時に行い必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを装着してください。

●摩耗差が大きいものやサイズが異なるタイヤを装着すると車の駆動機構を破損するおそれがあります。
冬用タイヤも必ず4輪同じものを装着してください。
タイヤ交換は日産販売会社にご相談ください。

## 2WD-4WDの切り替え★

エンジン回転中、2WDと4WDを切り替えることができます。
（2WD↔4WDの切り替えは80km/h以下で操作してください。）

●4WDスイッチの下側を押すと4WDになります。
（メーター内の表示灯が点灯）
●4WDスイッチの上側を押すと2WDになります。
（メーター内の表示灯が消灯）




| スイッチ位置 | 4WD表示灯 | 機能 |
|---|---|---|
| 2WD（中立） | 消灯 | 一般道路、高速道路など通常走行の位置 |
| 4WD | 点灯 | 積雪路、じゃり道、急坂路など滑りやすい路面の走行に使う位置 |

**⚠ 注意**

- 乾燥した舗装路・高速道路では必ず2WDに切り替えてください。
- 2WD↔4WDの切り替えは、直進状態で行ってください。

- 4WDから2WDへの切り替え操作をしても4WD表示灯が消灯しないときは、周囲の安全を確認したあと加減速、または後退をして2WDに切り替えてください。
- 2WD状態でタイヤが空転しているときは4WDに切り替えないでください。4WDに切り替えたとき、急に発進することがあり危険です。
- 雪のない舗装路をチェーンを付けたまま走行すると、車の機構に無理がかかり故障の原因になります。やむをえず走行するときは必ず2WDに切り替えてください。

**アドバイス**

- 4WD状態で走行するときは、最高速度が80km/hを超えないようにしてください。
- 4WD状態でタイヤの摩耗差が大きいものやサイズが異なるタイヤ、空気圧が適正に調整されていないタイヤを装着していたり、乾燥した舗装路・高速道路で高速走行すると、駆動系部品の油温が異常に上昇し、破損につながるおそれがあるため、車速が50km/h以上出ないように制限される場合があります。

車速制限がかかった場合は、積雪路などの滑りやすい路面の場合を除き、2WDに切り替えて走行してください。積雪路など滑りやすい路面の場合は、安全な場所に移動してから2WDに切り替えてください。
➔ 4WD（4輪駆動）車の扱いかた (P.156)

油温が下がると車速制限は解除されますが、駆動系部品の破損などの確認のため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

- 2WD↔4WDの切り替えはいつでも可能ですが、直進走行中が最もスムーズに行えます。加速中・旋回中・停車時などで切り替わりにくい場合は、直進状態でアクセルペダルを少し戻すか、踏み込むと切り替わりやすくなります。
- 2WD↔4WDの切り替え時に軽いショックや音が発生することがありますが、故障ではありません。

➔ 4WD表示灯（4WD車） (P.124)

## ターボ車の扱いかた（ディーゼル車）

ターボ装置は精密に作られています。故障を防ぎ性能を十分に引き出すために、以下の点をお守りください。

### エンジン始動直後の運転のしかた

エンジンが冷えているときは、空吹かしや急加速はしないでください。

## エンジンの止めかた

高速走行、登坂走行直後は、すぐにエンジンを止めずに、アイドリング運転してから止めてください。

**知識**

- アイドリングとは、アクセルペダルを踏まないでエンジンを回転させている状態です。

## エンジンオイルとフィルターの交換

指定のオイルを使用し、エンジンオイル交換告知機能（➔P.130）に従ってエンジンオイルおよびオイルフィルターを同時に交換してください。

ただし、オイル交換告知機能が表示されなくても、20,000km走行、または1年を上限としエンジンオイルおよびオイルフィルターを交換してください。

**アドバイス**

- エンジンオイルは、日産純正モーターオイルをおすすめします。エンジンオイル、オイルフィルターを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。
- 指定のオイルを使用し、交換時期をお守りいただかないと、ターボ軸受部の固着や異音発生などの故障の原因となります。

➔サービスデータ (P.324)

## DPF（ディーゼル車）

➔DPFの取り扱い（ディーゼル車）(P.27)も合わせてお読みください。

- 通常は、DPF（Diesel Particulate Filter）で捕集したPM（Particulate Matter）を自動的に燃焼（DPF再生）処理しますが、走行条件により処理が完了しないときに、DPF内にPMがたい積することがあります。DPF警告灯（➔P.129）が点灯するとともにDPF手動再生スイッチの作動表示灯が点滅またはアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告（➔P.160）を表示したときは、次の操作を行ってください。

### PM燃焼（DPF再生）処理のしかた

**警告**

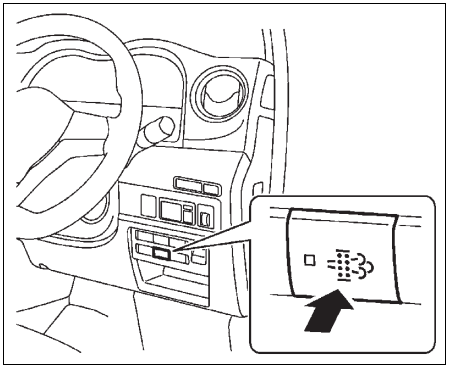
- PM燃焼（DPF再生）処理は、風通しの良い屋外の広い場所で行ってください。排気ガスを吸い一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。
- PM燃焼（DPF再生）処理中は高温の排気ガスが排出されます。周囲に人がいないことや燃えやすい物がないことを確認してください。燃えやすい物や人が近くにいると、火災や傷害などにつながるおそれがあり危険です。

**知識**

- PM燃焼（DPF再生）処理中に、排気管から白煙が出ることがありますが異常ではありません。また、白煙は排気ガスとは異なるにおいがしますが異常ではありません。
- PM燃焼（DPF再生）処理は、エンジン回転数が約2,000回転に上がり、約30分間で終了しますが、場合により終了するまでの時間が変わることがあります。
- PM燃焼（DPF再生）処理は、エンジンを暖機してから行ってください。エンジンが冷えているときは、DPF警告灯が点灯していてもDPF手動再生スイッチの作動表示灯が点滅せず、PM燃焼（DPF再生）処理が開始できません。
- エンジンを十分に暖機してもDPF手動再生スイッチの作動表示灯が点滅しないときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

1. エンジンをかけたまま、セレクトレバーを**P**にしてパーキングブレーキをかけ、アクセルペダルとブレーキペダルから足を離します。
2. DPF手動再生スイッチを押すまたはアドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「メーターセッティング」⇒「DPF再生」⇒「はい」を押すと、エンジンの回転数

が上がり、PM燃焼（DPF再生）処理が始まります。
警告が表示された場合（再生条件が成立している場合）は、ステアリングスイッチで「OK」を押し、「DPF再生 手動再生をスタートしますか？約30分で完了します。」⇒「はい」を押すと、PM燃焼（DPF再生）処理が始まります。
（スイッチの作動表示灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイにDPF再生開始のメッセージを表示します）



※PM燃焼（DPF再生）処理が終了すると、DPF警告灯とDPF手動再生スイッチの作動表示灯が消灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイのメッセージ表示も消えます。

**⚠ 注意**

- 次のような場合はシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
  - ― マフラーから多量の黒煙が排出されるとき。
  - ― 3回以上連続してPM燃焼（DPF再生）処理を行っても、DPF警告灯が消灯せずDPF手動再生スイッチの作動表示灯が点滅し続けるとき。

**知識**

- DPF手動再生スイッチの作動表示灯が点滅しているときに、DPF手動再生スイッチを押しても作動表示灯が点滅から点灯に変わらない場合があります。そのときは一度エンジンを停止してから、約30秒後に再度エンジンを始動し、DPF手動再生スイッチを押してください。
- DPF警告灯が点灯したまま走行し続けると、DPF手動再生スイッチの作動表示灯の点滅速度が速くなります。その場合は、PM燃焼（DPF再生）処理を行ってもDPF警告灯が消灯せず、DPF手動再生スイッチの作動表示灯が再度点滅した状態になることがあります。そのときはもう一度PM燃焼（DPF再生）処理を行ってください。

## DPF警告表示

| アドバンスドドライブアシストディスプレイ表示 | DPF警告灯 | 故障警告灯（MIL） | 表示する条件・説明 | 対処方法 |
|---|---|---|---|---|
|  <br>DPF再生が必要です<br>安全な場所に停車して<br>DPF再生を実行してください<br>OK DPF再生開始します |  <br>点灯 | — | DPFの手動再生が必要で、再生条件が成立しているときに表示します。 | DPF手動再生スイッチを押すか、ステアリングスイッチを操作してOKを押し、手動再生を実施してください。<br>➔PM燃焼（DPF再生）処理のしかた (P.158) |
|  <br>DPF再生が必要です<br>安全な場所に停車して<br>DPF再生を実行してください |  <br>点灯 | — | DPFの手動再生が必要で、再生条件が成立していないときに表示します。 | 以下の状態を確認してください。<br>● シフトポジションがPにあること<br>● 車両が停止状態であること<br>● アクセルペダルを踏んでいないこと<br>● DPF再生禁止となる故障を検出していないこと |
|  <br>DPF再生ができません<br>販売店で点検を受けてください<br>エンジンが始動できなくなる恐れがあります |  <br>点滅 |  <br>点灯 | DPFの手動再生が禁止されている場合に表示します。 | 表示した場合は、エンジンを切らずに、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 |

### PM燃焼（DPF再生）処理の中断のしかた

●次の操作のいずれかをするとPM燃焼（DPF再生）処理を中断します。
— アクセルペダルを踏む。
— ブレーキペダルを踏む。
— DPF手動再生スイッチを押す。

**知識**

● PM燃焼（DPF再生）処理を中断したときや、PMのたい積量、エンジンの状態などにより、DPF警告灯が消灯せず、DPF手動再生スイッチの作動表示灯が再度点滅した状態になる場合があります。そのときはもう一度、PM燃焼（DPF再生）処理を行ってください。

● 3回以上連続してPM燃焼（DPF再生）処理を行っても、DPF警告灯が消灯せずDPF手動再生スイッチの作動表示灯が点滅し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

## 尿素SCRシステム（ディーゼル車）[AdBlue®関連システム]

尿素SCRシステムは、尿素水（AdBlue®）の関連システムです。

➔尿素SCRシステムの取り扱い（ディーゼル車） (P.28)も合わせてお読みください。

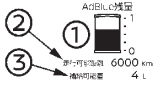
## 尿素水（AdBlue®）の消費量について

尿素水（AdBlue®）の消費量は、積載量や走行状況、標高や気温などにより異なります。

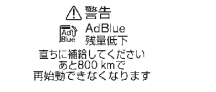
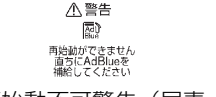
お客さまの走行条件や走行環境によって、消費量が約300～1,200km/ℓになります。 以下の条件では、より多くの尿素水（AdBlue®）が消費されます。

- アクセルを強く踏んだ場合
- 積載量が多い場合
- 上り坂を走行する場合
- 低外気温時

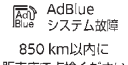
## 尿素水残量表示

| アドバンスドドライブアシストディスプレイ表示 | 尿素SCRシステム警告灯 | 表示する条件・説明 | 対処方法 |
|---|---|---|---|
|  | – | ● ドライブコンピューターの表示項目で「AdBlue残量」を選択した場合に表示します。<br>① 尿素水（AdBlue®）の残量を表示します。<br>② 現在の尿素水（AdBlue®）残量と消費率から走行可能な距離を表示します。ただし、尿素SCRシステム故障警告（➔P.164）が表示されているときは、尿素水（AdBlue®）の残量に関係なく警告上の走行可能距離を表示します。<br>③ 尿素水タンクを満タンにするのに必要な尿素水（AdBlue®）の補給量を表示します。 | – |
|  | – | ● 尿素水（AdBlue®）が減り、走行可能距離が1,200kmを下回ったときに表示します。 | ● 表示した場合は、早めに尿素水（AdBlue®）を補給することをおすすめします。<br>➔補給のしかた (P.166)<br>● 画面表示中にステアリングスイッチの◀▶スイッチを押すと、画面表示を終了します。<br>再度走行可能距離を確認するときは、ドライブコンピューターの表示項目で「AdBlue残量」を選択します。 |

## 尿素水残量警告

| アドバンスドドライブアシストディスプレイ表示 | 尿素SCRシステム警告灯 | 表示する条件・説明 | 対処方法 |
|---|---|---|---|
|  <br>尿素水残量警告 | <br>点灯 | ● 尿素水（AdBlue®）が減り、走行可能距離が800kmを下回ったときにメーター内の尿素SCRシステム警告灯（➔P.129）が点灯し、警告を表示します。<br>● 走行可能距離が次の距離を下回ったときに再度警告を表示します。<br>— 800km～200km：100kmごと<br>— 200km～50km：50kmごと<br>● 走行可能距離が100kmを下回ったときに尿素水残量警告の距離表示が点滅します。 | ● 表示した場合は、すみやかに尿素水（AdBlue®）を補給してください。<br>➔補給のしかた（P.166）<br>● 警告表示中にステアリングスイッチの◀▶スイッチを押すと、警告表示を終了しますが、警告灯は点灯し続けます。<br>再度走行可能距離を表示するときは、尿素水（AdBlue®）残量・走行可能距離の表示方法（➔P.166）をお読みください。 |
|  <br>再始動不可警告（尿素水補給） | <br>点滅 | ● 尿素水（AdBlue®）がなくなり、走行可能距離が0kmになると、メーター内の尿素SCRシステム警告灯（➔P.129）が点滅し、警告を表示します。<br>● 走行可能距離が0kmになったとき、その後は10分ごとに警報音（ブザー）（➔P.133）と画面表示によって警告します。 | ● 表示した場合は、エンジンを切らずに、すみやかに日産販売会社に連絡してください。<br>➔補給のしかた（P.166）<br>● 表示したあとは、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから3分後にエンジンの再始動ができなくなります。 |

## 尿素SCRシステム故障警告

| アドバンスドドライブアシストディスプレイ表示 | 尿素SCRシステム警告灯 | 故障警告灯（MIL） | 表示する条件・説明 | 対処方法 |
|---|---|---|---|---|
|  <br>尿素SCRシステム故障警告 |  <br>点灯 |  <br>点灯 | ● 尿素SCRシステムに異常があると、メーター内の尿素SCRシステム警告灯（➔P.129）および故障警告灯（MIL）（➔P.125）が点灯し、警告を表示します。 | ● 表示した場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 |
|  <br>尿素SCRシステム故障警告 |  <br>点灯 |  <br>点灯 | ● 尿素SCRシステムに異常があると、メーター内の尿素SCRシステム警告灯（➔P.129）および故障警告灯（MIL）（➔P.125）が点灯し、警告を表示します。<br>● 走行可能距離が次の距離を下回ったときに再度警告を表示します。<br>— 800km～200km：100kmごと<br>— 200km～50km：50kmごと<br>● 走行可能距離が100kmを下回ったときに尿素SCRシステム故障警告の距離表示が点滅します。 | ● 表示した場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。<br>● 警告表示中にステアリングスイッチの◀▶スイッチを押すと、警告表示を終了しますが、警告灯は点灯し続けます。<br>再度走行可能距離を表示するときは、尿素水（AdBlue®）残量・走行可能距離の表示方法（➔P.166）をお読みください。 |

| アドバンスドドライブアシストディスプレイ表示 | 尿素SCRシステム警告灯 | 故障警告灯（MIL） | 表示する条件・説明 | 対処方法 |
|---|---|---|---|---|
| ⚠警告<br>AdBlue<br>AdBlueシステム故障<br>再始動できません<br>販売店で点検ください<br>再始動不可警告（尿素SCRシステム故障） | AdBlue<br>点滅 |  <br>点灯 | ● 尿素SCRシステムに異常があり、走行可能距離が0kmになると、メーター内の尿素SCRシステム警告灯（P.129）が点滅、故障警告灯（MIL）（P.125）が点灯し、警告を表示します。<br>● 走行可能距離が0kmになったとき、その後は10分ごとに警報音（ブザー）（P.133）と画面表示によって警告します。 | ● 表示した場合は、エンジンを切らずに、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。<br>● 表示したあとは、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから3分後にエンジンの再始動ができなくなります。 |

## 尿素水（AdBlue®）残量・走行可能距離の表示方法

- ドライブコンピューターの表示項目で「AdBlue残量」を選択すると、尿素水（AdBlue®）残量および走行可能距離が表示されます。
  ➔切り替えかた (P.97)
- 次の場合、走行可能距離はアドバンスドドライブアシストディスプレイの警告確認画面でも表示することができます。
  - 尿素水（AdBlue®）が減り、走行可能距離が800kmを下回ったとき
  - 尿素SCRシステムに異常があるとき

  ➔警告確認 (P.100)

## 緊急時にお客さまが尿素水（AdBlue®）を補給する場合

尿素水（AdBlue®）の残量がなくなってエンジンが始動できなくなってしまったときは、5ℓを目安に尿素水（AdBlue®）を補給することで、エンジンを始動することができます。

**⚠ 注意**

- いっぱいまで補給する場合は、日産販売会社で補給することをおすすめします。お客さまが補給されると、尿素水（AdBlue®）がこぼれ、部品や塗装などの損傷につながるおそれがあります。

## 補給のしかた

1. パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにします。
2. キースイッチ（電源ポジション）をOFFにして、エンジンを停止します。
3. 尿素水タンクのキャップを左にゆっくり回して開けます。
4. 尿素水（AdBlue®）を補給します。
5. 尿素水タンクのキャップを右に回して閉めます。
6. キースイッチ（電源ポジション）をONにして、尿素水残量警告が消えるまで約1分間待ちます。

尿素水補給口については、（➔P.59）をお読みください。

**⚠ 注意**

- AdBlue®以外は補給しないでください。
- 尿素水（AdBlue®）をこぼした場合、付着させたまま放置すると、結晶化して部品や塗装を損傷させるおそれがあります。こぼしたときは、水を含ませた布ですみやかにふき取ってください。
- 尿素水（AdBlue®）の補給は、平坦な場所で行ってください。

- 再始動不可警告（尿素水補給）が表示されたあとに尿素水（AdBlue®）を補給したときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにして、警告が消えることを確認してからエンジンを始動してください。

  ➔尿素水残量警告 (P.163)

# ABS

## ABSとは

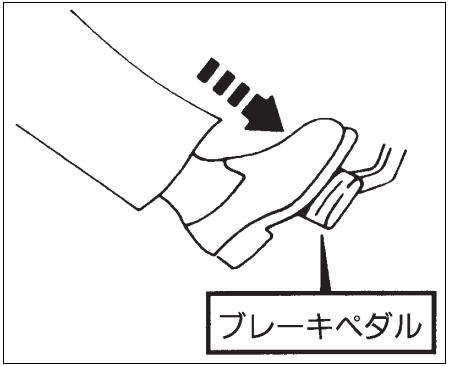
急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロック（車輪の回転が止まる）を防止して、車両の安定性を向上させると共にハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

## ABS付車の取り扱いについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。

万一の危険な状況では次のようにしてください。

1. 危険だと感じたら、ためらわず思いきりブレーキペダルを踏み込んでください。




2. ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
3. 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。

**⚠ 警告**

- ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車と同様に、コーナーの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。
- ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しやすくするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控えめにし、車間距離を十分にとって運転してください。
- ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着してください。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**📖 知識**

- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームよりモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- 車両を確実に停止させるために、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが、約10km/h以下では作動しません。

## VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

走行中、滑りやすい路面や障害物の緊急回避などのときには、車両が横滑りや尻振りを起こすことがあります。

VDCは横滑りや尻振りを起こしそうになると横滑り状態をセンサーが判別し、ブレーキ制御とエンジン出力制御により走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

- VDCが実際に作動しているとき、メーター内のVDC警告灯が点滅します。
- VDCシステム内のトラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯が点滅します。
- VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。

➔ VDC警告灯（P.127）

**⚠ 注意**

- この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やコーナーの手前では特にスピードを落とし安全運転を心がけてください。
- 下記部品を純正品以外に交換したり、改造したときにVDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。

### ⚠ 注意

— サスペンション関係部品（ショックアブソーバー、ストラット、スプリング、ブッシュ類など）

— タイヤ、ホイール（指定サイズ以外）

— ブレーキ関係部品（パッド、ローター、キャリパー、シュー、ドラム、ドラムユニットなど）

— エンジン関係部品（マフラー、ECM〔エンジンコントロールモジュール〕など）

— 車体補強関係部品（ロールバー、タワーバーなど）

- サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行すると、VDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
- 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動くものの上に車があるとき、VDC警告灯が点灯することがあります。この場合はターンテーブルなど動くものの上から降りてからエンジンをかけ直してください。
- 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行するとVDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがありますので、そのような路面を走行しないでください。
- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

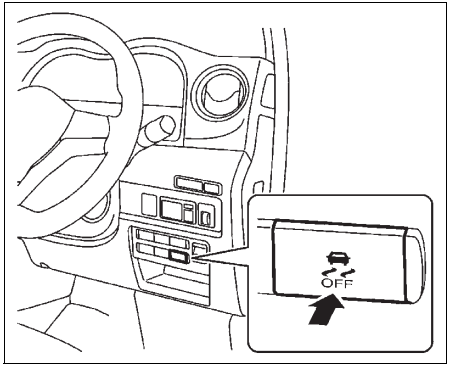
### 知識

- VDCには「ブレーキLSD」機能があります。これは、滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保するLSD（リミテッドスリップデフ）機能です。作動時は、ブレーキの作動により音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

## VDC OFFスイッチの使いかた

VDCの作動を停止したいときに使います。

- VDC OFFスイッチを長押しすると、VDCの働きを停止します。（メーター内の表示灯が点灯）
- もう一度スイッチを短く押すか、エンジンを再始動するとVDCは作動を回復し、表示灯が消灯します。




### アドバイス

- VDCが作動すると発進時や加速時に車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- ぬかるみや新雪から脱出するときなどは、スリップ状態を感知し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転数が上がらないことがあります。回転数を上げたいときはVDC OFFスイッチを長押ししてシステムをOFFにしてください。
- VDC OFFスイッチを長押しすると、ABS機能およびブレーキLSD機能を除くVDCのすべての機能（トラクションコントロールを含む）と、次の機能が停止します。

  — インテリジェントクルーズコントロール（➔P.169）

### アドバイス

― インテリジェント エマージェンシーブレーキ（P.182）

― 踏み間違い衝突防止アシスト★（P.189）

### 知識

- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがありますが、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

## ヒルスタートアシスト

急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退を一定時間保持し、発進を容易にするシステムです。

- セレクトレバーが**P**、**N**以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。

### ⚠ 注意

- この装置は上り坂での発進を補助するものですが、機能を過信しないでください。凍結した坂や泥状の上り坂での発進は特に安全運転を心がけてください。
- 坂道で駐停車するためにヒルスタートアシストを使わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

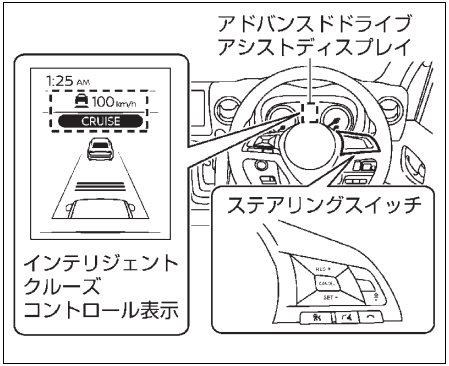
### 知識

- VDC警告灯（P.127）が点灯したときは作動しません。
- ヒルスタートアシスト作動時に、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、わずかな振動、作動音が発生することがありますが、異常ではありません。

## インテリジェント クルーズコントロール★

インテリジェント クルーズコントロールは、先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として、車速に応じた車間距離を保ちながら走行するシステムです。

### システムに関連する表示とスイッチ




### ⚠ 注意

- **高速道路や自動車専用道路で使用する。**

  インテリジェント クルーズコントロールは、高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。
- **インテリジェント クルーズコントロールにより停止までブレーキ制御を行いますが、停止状態を保持する機能はありません。**

## ⚠ 注意

オートマチック車は自車が停止したとシステムが判断すると、ブザー音とともにブレーキ制御が解除され、クリープ現象によりゆっくりと車両が動き出します。停止状態を保持するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。（先行車との車間距離が短いときや下り坂で追従走行しているときなど、状況により停止できない場合もあります。）

- **インテリジェント クルーズコントロールの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がける。**

  脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨・霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

- **インテリジェント クルーズコントロールの減速能力には限界がありますので、自車の前へ他車が割り込んだときや先行車が急ブレーキをかけたとき、下り坂で追従走行しているときなどは、十分に減速できず先行車に接近することがあります。**

  この場合は、ブザー音および表示による警報で注意を促します。

- **次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェント クルーズコントロールを使わない。**

  — 交通量の多い道や急カーブのある道
  道路状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。

  — 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
  タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。

  — 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
  先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。

  — センサー部に雨滴、雪などが付着しているとき
  先行車との距離が正確に検出できない場合があります。

  — 急な下り坂
  先行車を検出していない場合はインテリジェント クルーズコントロールの制御によるブレーキ操作を行わないため、セットした車速を超えてしまうおそれがあります。また、先行車を検出していて追従走行している場合には、ブレーキが過熱してしまうおそれがあります。

  — 急な上り坂、下り坂が繰り返される道
  先行車を正確に検出できず、先行車に近づきすぎて思わぬ事故につながるおそれがあります。

  — 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況のとき
  交通状況にあった速度で走行できないため、事故につながるおそれがあります。

- **停止中の車両や自車速より極端に遅い車両に対しては、インテリジェント クルーズコントロールによる制御も接近警報も行いません。**

  料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や極端に速度の遅い車両などには十分注意してください。

- **急な割り込み車両や、歩行者などの車両以外のものに対しては、制御または接近警報を行いません。**

- **次の場合には、先行車を正確に検出できず、車間距離が適切に保てなくなる場合があります。周囲の状況に十分注意し、必要に応じてブレーキ操作をしてください。**

  — 先行車や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき

  — ラゲッジルームに極端に重い荷物を積んだとき

  — 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき

- **レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。**

**レーダーセンサーの検知条件と制限**

- **レーダーセンサーは次のような障害物は検知できないことがあります。**

**⚠ 注意**

— 歩行者、自転車、動物など

— 対向車

— 前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両のとき

● **次のような場合は、前方の車両を検知できないことがあります。**

— 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき

— 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき

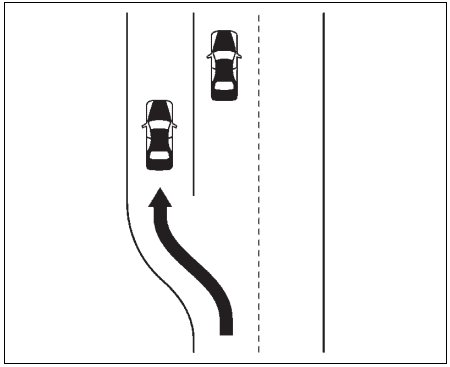
— 雪や水、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき

— 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき

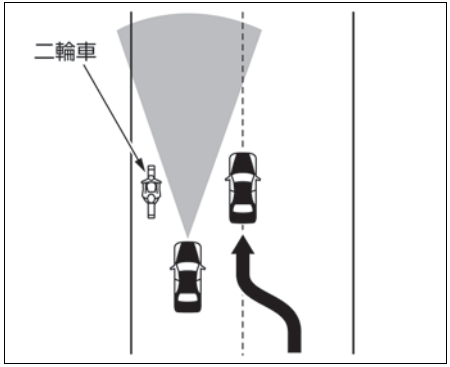
— トンネル内を走行しているとき

— 前方の車両との距離が極端に近いとき

— 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき



●高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき本線上でインテリジェント クルーズコントロールによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車または先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなることによりセット車速まで加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。




●近距離ではセンサーの検出エリアが狭いため、自車線の端を走行する二輪車を検出できなかったり、間近に割り込んでくる先行車の検出が遅れたりして、車間距離が適切に保てない場合があります。

●センサーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、適切な作動ができなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、レーダーセンサーおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。
なお、汚れを判定した場合は、インテリジェント クルーズコントロールは自動的に解除されます。

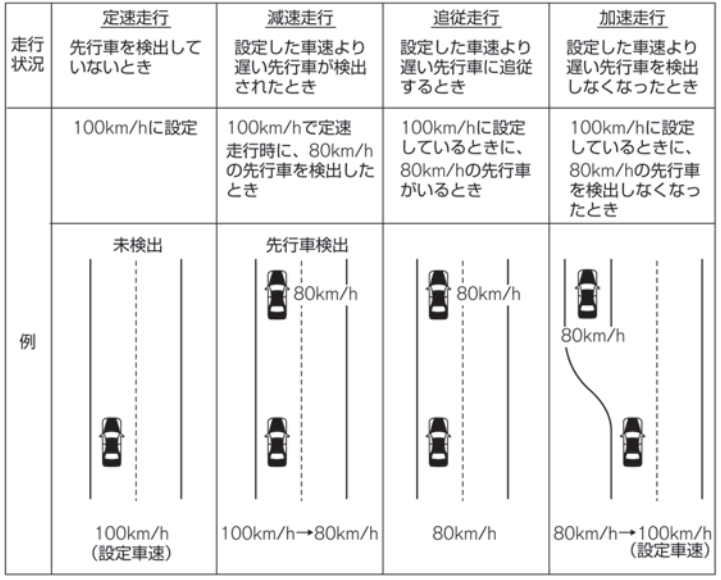
●道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、ワインディング道、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）によっては、一時的に先行車を検出できな

くなり、システムが適正に作動しない可能性があります。先行車の検出は、自車の操作や状況（ハンドル操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっても影響を受ける可能性があり、警報が作動する場合があります。このような場合は、先行車との適切な車間距離を保つため、必要に応じてブレーキ操作をしてください。

- 機能によって制御内容が異なります。インテリジェント クルーズコントロールを使用するときは、どの機能が選択されているかをメーター内のディスプレイで必ず確認してください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ (P.173)

## インテリジェント クルーズコントロールについて




インテリジェント クルーズコントロールには、以下のような機能があります。

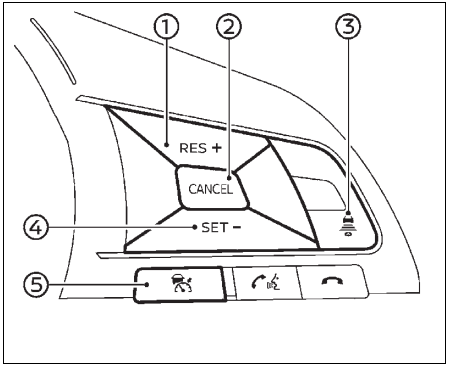
- インテリジェント クルーズコントロール
  - ― 先行車を検出していない場合は、運転者がセットした車速（約30km/h以上）で定速走行します。
  - ― 先行車を検出している場合は、先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行います。
- 定速制御機能
  - ― 運転者がセットした車速（約40km/h以上）で定速走行します。（車間距離の制御は行いません。）

先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として車速に応じた車間距離を保ちながら走行することができます。

- シフトポジションがDのとき、以下の制御を行います。

— 先行車を検出していないときは、運転者がセットした車速（約30km/h以上）で定速走行します。
— 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速を上限として、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。
また、先行車が停止したときには、自車もそれに応じて停止します。
（停止後はシステムが自動的に解除されます。）
— 先行車を検出しなくなったときは、セットした速度までゆっくりと加速し、定速走行を行います。
なお、車速が約25km/hを下回っている場合は、システムが自動的に解除されます。

## ステアリングスイッチ（インテリジェント クルーズコントロール）




① **RES+スイッチ**
インテリジェント クルーズコントロールを解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
設定車速を上げることができます。

② **CANCELスイッチ**
インテリジェント クルーズコントロールの解除ができます。

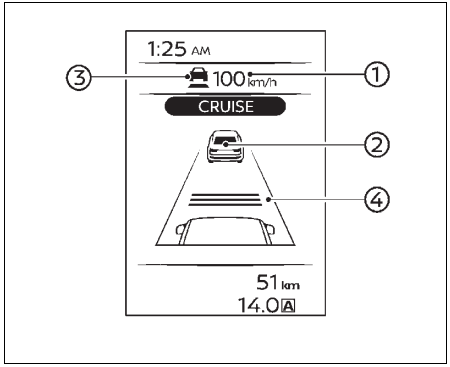
③ **車間設定スイッチ**
車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。

④ **SET-スイッチ**
インテリジェント クルーズコントロールのセットができます。
設定車速を下げることができます。

⑤ **メインスイッチ**
インテリジェント クルーズコントロールのON・OFFができます。

## アドバンスドドライブアシストディスプレイ

アドバンスドドライブアシストディスプレイはメーター内にあります。




① **設定車速表示**
設定した車速を表示します。

② **先行車検出表示**
先行車検出の有無をお知らせします。
先行車検出有り：アイコン表示
先行車検出無し：アイコン非表示

③ **インテリジェント クルーズコントロール表示灯**
システムの作動状態を色で表示します。
白色：メインスイッチを押し、システムがONになると表示します。
緑色：車速を設定すると表示します。
オレンジ色：システムが故障すると表示します。

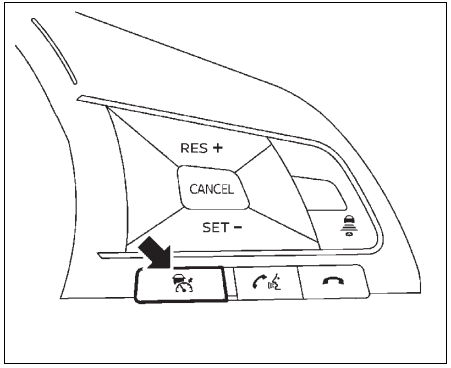
④ **車間設定表示**
車間設定スイッチで設定した車間設定を表示します。

## インテリジェント クルーズコントロールの使いかた

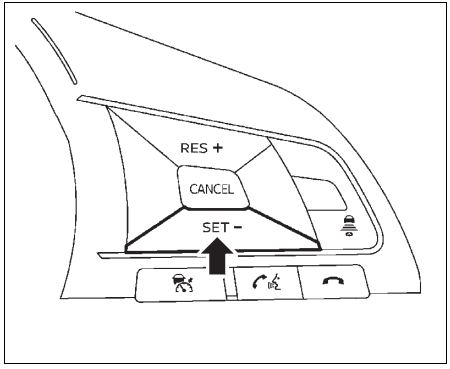
**⚠ 注意**

- **インテリジェント クルーズコントロールを使用しないときは、メインスイッチをOFFにしてください。**

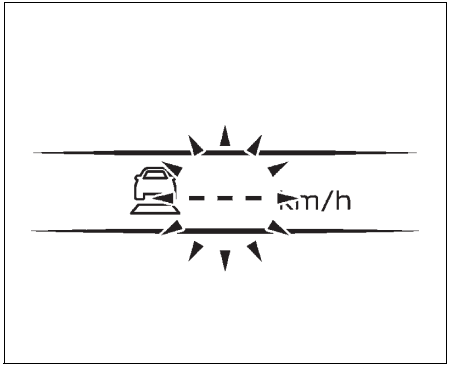
  間違ってスイッチを押してしまった場合、インテリジェント クルーズコントロールがセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。




1. メインスイッチを押してインテリジェント クルーズコントロールをONにします。（1.5秒未満押す）
   （インテリジェント クルーズコントロール表示灯、車間設定表示、設定車速表示が点灯し、セット待機状態になります。）
2. 設定したい車速まで加速または減速します。




3. SET-スイッチを押します。
   スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
   車速が約30km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定車速は30km/hになります。
   （先行車検出の有無を表示、インテリジェント クルーズコントロール表示灯、車間設定、設定車速が緑色で点灯し、セット状態になります。）
4. 制御を開始します。




- 次の場合はメーター内のディスプレイの設定車速表示が約2秒間点滅し、セットすることができません。
  - 車速が約30km/hを下回っていて、先行車を検出していないとき
  - シフトポジションがD以外のとき
  - パーキングブレーキがかかっているとき
  - ブレーキを踏んでいるとき
- 次の場合はメーター内のディスプレイに［作動範囲外のため現在使用できません］と表示され、セットすることができません。
  - VDCをOFFにしているとき

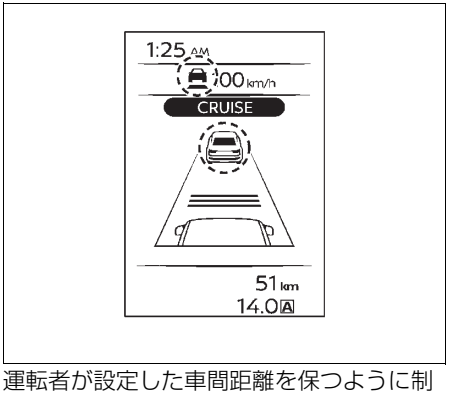
  ➔VDC（ビークルダイナミクスコントロール） (P.167)
- 次の場合はメーター内のディスプレイに［滑りやすい路面のため 現在使用できません］と警告が表示され、セットすることができません。

— ABSまたはVDCが作動しているとき
— タイヤが空転しているとき

- エンジンを停止するとインテリジェント クルーズコントロールは自動的に解除されます。
- 車間設定は、エンジンを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

## インテリジェント クルーズコントロールの作動

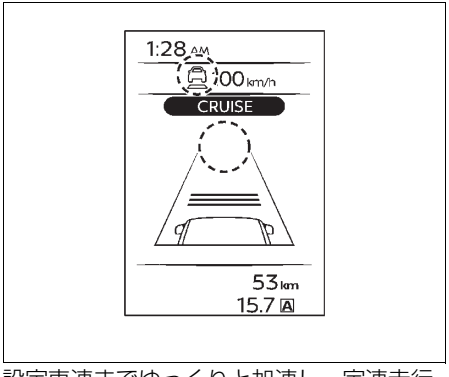
### ■ 先行車を検出しているとき




運転者が設定した車間距離を保つように制御します。（先行車検出表示が点灯）

- 設定車速を上限とする範囲で制御します。
- インテリジェント クルーズコントロールの制御によりブレーキが作動したときは、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。

### ■ 先行車を検出しなくなったとき



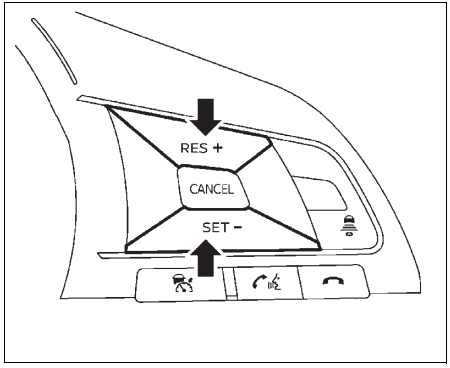

設定車速までゆっくりと加速し、定速走行します。（先行車検出表示が消灯）

- 設定車速までの加速中に先行車を検出すると、再び車間制御を行います。
- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、すばやく加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 車速が約25km/hを下回ったときに、先行車を検出しなくなると自動的に制御を解除します。

## 設定車速の変更のしかた

- 車間制御しているときは先行車に合わせた車速に制御されるため、RES+スイッチを押して設定車速を上げても加速しません。
  このとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出しなくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速はメーター内のディスプレイの設定車速表示を確認しながら変更してください。

### ■ 設定車速を変えたいとき




設定車速が5km/hきざみで変更できます。

- 設定車速を上げたいときは、RES+スイッチを押します。
- 設定車速を下げたいときは、SET-スイッチを押します。



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

■ 一時的に加速、減速をしたいとき

**⚠ 注意**

- **通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて加速、減速を行います。**

  車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

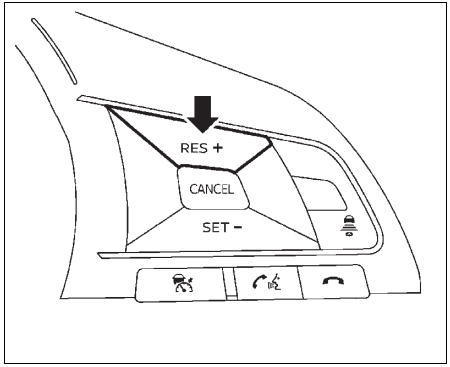
●アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェント クルーズコントロールによるブレーキ操作も警報も行いません。

**加速したいとき**

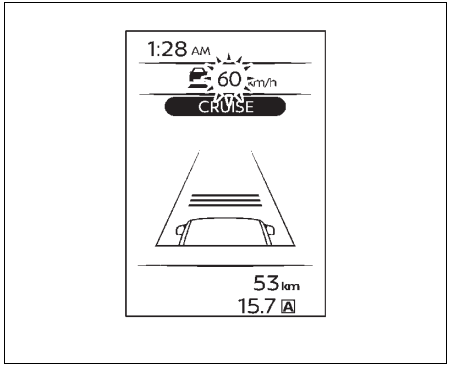
●アクセルペダルを踏むと、加速します。アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

**減速したいとき**

●ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
（設定車速表示の車速値が消灯し、セット待機状態になります。）



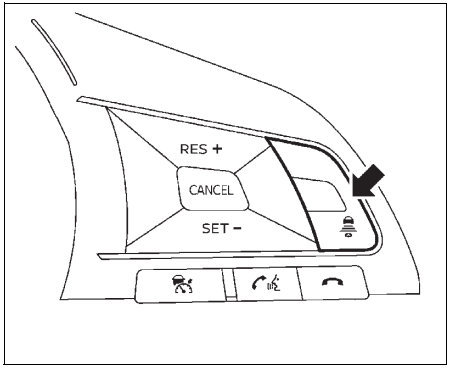

●解除前の設定車速で再びセットしたいときは、RES+スイッチを押します。
（メーター内のディスプレイが再びセット状態の表示になります。）




●アクセルペダルを踏んで加速した場合や、SET-スイッチを押して設定車速より実際の車速の方が高くなったときは、設定車速表示が点滅します。

●アクセルペダルを戻したあとに定速走行し、車速が設定車速となった場合や、車間制御で車速が設定車速以下となったときは、設定車速が点灯状態に戻ります。

## 車間距離設定の変更のしかた




先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。制御中またはセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

| 車間設定 | ディスプレイ |
|---|---|
| 長 |  |
| 中 |  |
| 短 |  |

- 車間設定スイッチを押すと、車間距離を設定できます。車両アイコン下のバーの本数で設定を表示します。
- 車間設定は、エンジンを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。
- 各制御は車速に応じて変わり、車速が高いほど長くなります。
- 車速100km/hで走行しているとき、車間設定での制御車間距離の目安は次のとおりです。

長：約60m

中：約45m

短：約30m

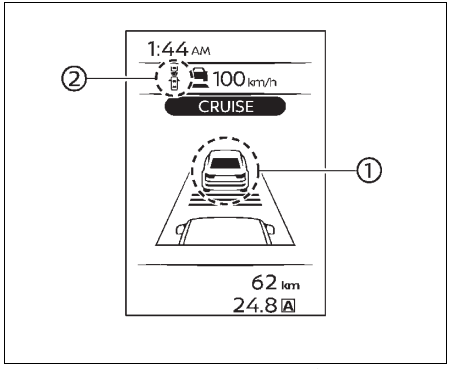
## 接近警報

**⚠ 注意**

- **警報ブザーが頻繁に鳴るような状況では、インテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。**
- **短い車間距離でも、次の場合には警報が作動しないことがあります。**
  - 先行車との相対速度が小さいとき（ほぼ同じ速度で走っているとき）
  - 先行車の方が自車より速いとき（車間距離が次第に離れていくとき）
  - 他車が至近距離に割り込んできたとき
- **料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や、自車速より極端に車速が遅い車両に対しては警報が作動しません。**
- **道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や、自車および周辺車両の状況（ハンドル操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に隣車線の車両や、車道脇に設置されている物体などを検出して、接近警報が作動する場合があります。**

車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーとメーター内のディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。

この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。




- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときはブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴り、メーター内のディスプレイの先行車検出表示①と、接近警報表示②が点滅します。

## 追い越し時加速機能

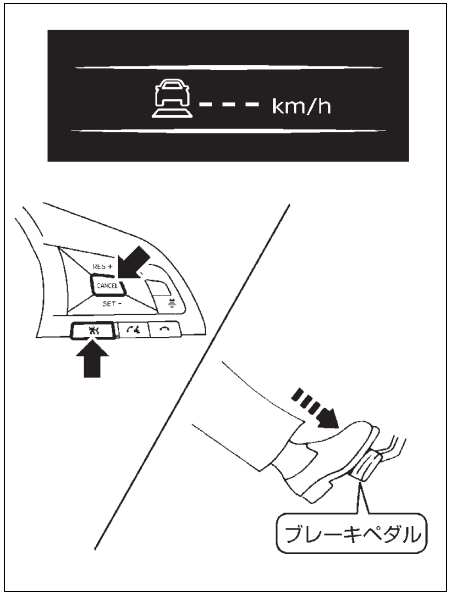
- 設定車速が70km/h以上で車速・車間制御中、先行車が設定車速以下のとき、方向指示器を右折側に操作すると、車両が加速し先行車を追い越す準備を始めます。
- 運転者がハンドルを操作し、追い越すために車線を変更したときに先行車を検出した場合は、運転者が設定した車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車を検出しなかった場合は運転者が設定した車速で定速走行します。



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

●方向指示器を右折側に操作し、車両が加速しているときに先行車との距離が近づきすぎると加速は停止し、設定してある車間距離に戻ります。
●次の場合は追い越し時加速機能が解除されます。
— ブレーキペダルを踏んだとき
— CANCELスイッチを押したとき

## インテリジェント クルーズコントロールの解除のしかた




●次の操作でインテリジェント クルーズコントロールが解除されます。
— CANCELスイッチを押す
— メインスイッチを押す
— ブレーキペダルを踏む
●CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。
●次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動的に解除されます。
— 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき
— インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止したとき
— シフトポジションをD以外にしたとき
— パーキングブレーキをかけたとき
— ABSまたはVDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
— VDCをOFFにしたとき
— センサー部が汚れ、車間距離の測定が困難になったとき
— タイヤが空転したとき

## インテリジェント クルーズコントロールの自動解除

●次の場合は、“ピー”というブザー音とともにメーター内のディスプレイに［作動範囲外のため 現在使用できません］と表示され、インテリジェント クルーズコントロールが自動的に解除されます。
— VDCをOFFにしたとき
●次の場合は、“ピー”というブザー音とともにメーター内のディスプレイに［滑りやすい路面のため 現在使用できません］と表示され、インテリジェント クルーズコントロールが自動的に解除されます。
— VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
— タイヤが空転したとき
システムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、メインスイッチでシステムを一旦OFFにしたあと、再びセット操作を行ってください。
●次の場合は、“ピー”というブザー音とともにメーター内のディスプレイに［フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください］と表示され、自動的に作動が停止します。
— センサー部が汚れ、先行車の検出が困難になったとき
システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止してレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから再始動し、再びシステムをONにしてください。
— 道路形状や周辺の建造物により、レーダーが先行車を正確に検知できないとき（例：長い橋、雪原、長い壁の横など）
システムを再び作動させる場合は、上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。
●次の場合は、“ピー”というブザー音とともに警告灯がオレンジ色に点灯し、メーター内のディスプレイに［システム故障 取扱説明書を見てください］と表示され、自動的に作動が停止します。

— インテリジェント クルーズコントロールシステムに異常があるとき
システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。

**アドバイス**

- システムをONにできない、または警告が表示し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

## 定速制御機能について

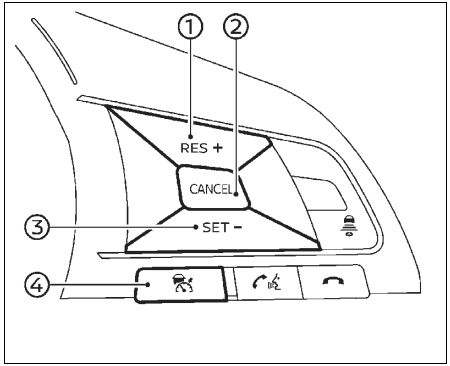
定速制御機能を使用すると、シフトポジションがDのとき、アクセルペダルを踏まなくても一定の速度で走行することができます。
約40km/h以上で任意の速度にセットできます。

## システムに関連する表示

**⚠ 注意**

- **定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。**
  先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。
- **次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、定速制御機能を使わないでください。**
  — 交通量の多い道や急カーブのある道
  交通状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
  — 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
  タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
  — 急な下り坂
  急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ステアリングスイッチ（定速制御機能）



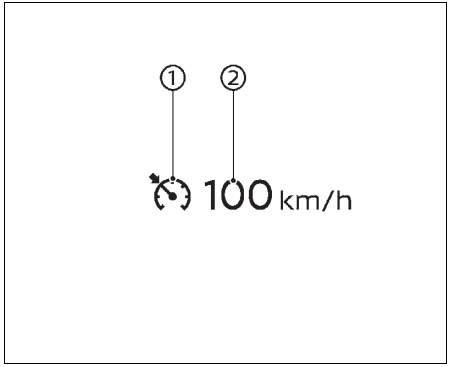

① **RES+スイッチ**
定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
設定車速を上げることができます。

② **CANCELスイッチ**
定速制御機能の解除ができます。

③ **SET−スイッチ**
定速制御機能のセットができます。
設定車速を下げることができます。

④ **メインスイッチ**
定速制御機能のON・OFFができます。

## アドバンスドドライブアシストディスプレイ



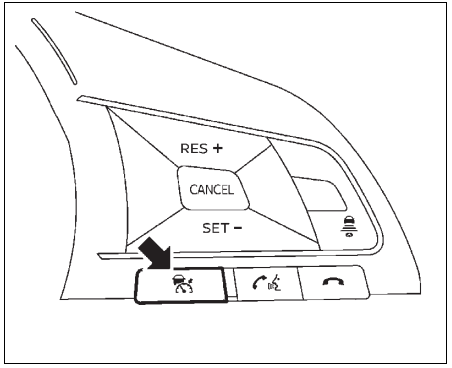

① **クルーズ表示灯**
システムの作動状態を色で表示します。
白色： メインスイッチを1.5秒以上押し、システムがONになると表示します。
緑色：車速を設定すると表示します。
オレンジ色：システムが故障すると表示します。

② **設定車速表示**
設定した車速を表示します。

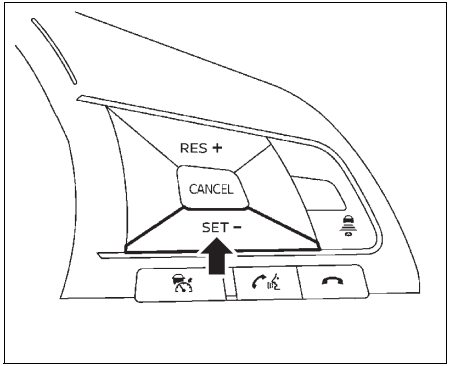
## 定速制御機能の使いかた

**⚠ 注意**

- **定速制御機能を使用しないときは、メインスイッチをOFFにしてください。**
  誤ってスイッチを押してしまった場合、定速制御機能がセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。




1. メインスイッチを1.5秒以上押して定速制御機能をONにします。
   （クルーズ表示灯、設定車速表示が点灯し、セット待機状態になります。）
2. 設定したい車速まで加速または減速します。



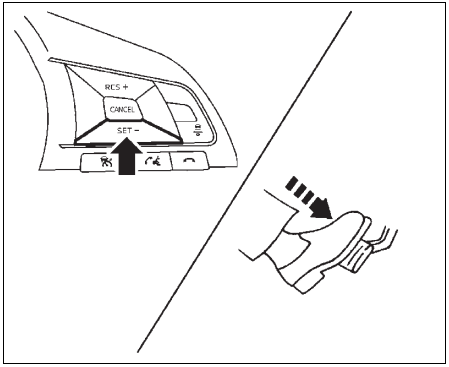

3. SET-スイッチを押します。
   スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
   （クルーズ表示灯、設定車速表示が緑色に点灯し、セット状態になります。）
4. 制御を開始します。

- 定速で走行中、アクセルペダルを踏むと加速しますが、アクセルペダルを戻すとセットした速度で定速走行に戻ります。

## 設定車速の変更のしかた

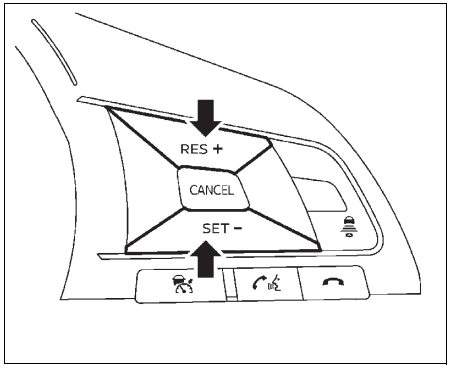
定速走行中に次の操作をします。

### ■ ペダルで変えるとき




① アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏み、速度を変えます。
② 希望の速度になったら、SET-スイッチを押します。

### ■ ステアリングスイッチで変えるとき




設定車速が1km/hきざみで変更できます。

**設定車速を上げたいとき**

① RES+スイッチを押し続けると加速します。
② 希望の速度になったら、手を離します。

**設定車速を下げたいとき**

① SET-スイッチを押し続けると減速します。
② 希望の速度になったら、手を離します。

### ■ 一時的に加速、減速をしたいとき

**加速したいとき**

● アクセルペダルを踏むと、加速します。

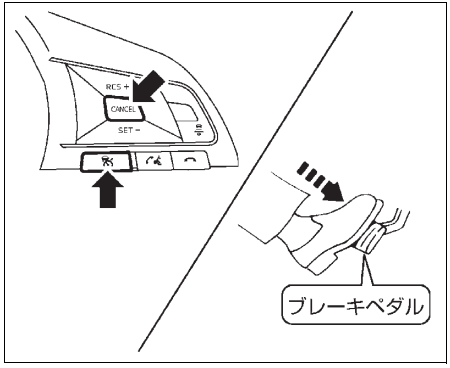
**減速したいとき**

● ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。

### ■ もう一度、定速走行に戻したいとき

解除前の設定車速で再びセットしたいときは、RES+方向に押します。
（車速が約40km/h以上のとき戻せます。）

## 定速走行の解除のしかた




● 次の操作で定速制御機能が解除されます。
  — CANCELスイッチを押す
  — メインスイッチを押す
  — ブレーキペダルを踏む
● CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。
● 次の場合は "ピー" というブザー音とともに制御が自動的に解除されます。
  — 車速が約27km/h以下になったとき
  — 設定車速より約13km/h以上車速が低下したとき
  — シフトポジションがD以外にしたとき

— VDCが作動したとき
— タイヤが空転したとき
— パーキングブレーキをかけたとき

### 定速制御機能の自動解除

●次の場合は、"ピー" というブザー音とともにクルーズ表示灯がオレンジ色に点灯し、自動的に作動が停止します。
— 定速制御機能に異常があるとき
システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。

**アドバイス**

● システムをONにできない、または警告が表示し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

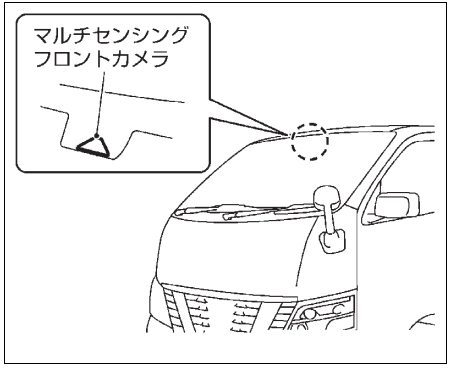
## インテリジェント エマージェンシーブレーキ

インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車と衝突の恐れがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

●インテリジェント エマージェンシーブレーキは車速約10km/h以上で作動します。

●インテリジェント エマージェンシーブレーキは歩行者・人が乗車している自転車には車速約10～60km/hの範囲で作動します。

●フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラおよび車両前部のレーダーセンサーにより前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車を検知します。




**⚠ 警告**

● 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がけてください。インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。

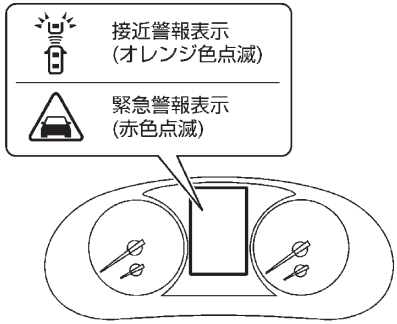
● レーダーやマルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

### 作動について

●システムが衝突するおそれがあると判断すると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯とアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示（接近警報表示）が点滅し、ブザー音で警報します。

●運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突の危険性が高まったときには、アドバンスドドライブアシストディスプレイの接近警報表示が緊急警報表示になり、ブザー音とともに軽いブレーキがかかります。

●さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキがかかります。




### 知識

- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
  - アクセルペダルを強く踏み込んだとき
  - ハンドルを大きく、または素早く切ったとき
  - 前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が遅れたり、作動しない場合があります。
- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
- システムによるブレーキ作動中にブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが異常ではありません。また踏力を加えることで、ブレーキ力を増すことができます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「走行支援」に切り替えると、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。

  詳しくは、画面の切り替えかた(➔P.97)をお読みください。

### ⚠ 注意

- 次のような障害物は検知しません。
  - 子供などの背の低い人、動物
  - 対向車両
  - 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物）
- システムは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しない、もしくは検知できない場合があります。
  - バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
  - 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
  - 前方を横切って通過する車両
  - 斜めもしくは前向きに止まっている車両
- 次のような場合は、前方の車両、歩行者を検知できないことがあります。
  - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
  - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などの付着やワイパーのふき残しがあるとき
  - カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
  - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
  - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
  - 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
  - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき

**⚠ 注意**

- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- カーブを走行しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
- 始動してから約15秒間
- カメラの視界がさえぎられているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
- カメラの向きがずれているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- トンネル内を走行しているとき
- エンジン始動後、走行してからインテリジェント エマージェンシーブレーキが1回も障害物を検知していないとき
- 子供の自転車、大きい荷物を載せた自転車、2人以上乗車している自転車、または特殊な形状の自転車（チャイルドシート装着車・タンデム自転車など）

● 以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。

- 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
- 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
- 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（まわりの風景が水たまりに映りこむなど）
- 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
- 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき

● 以下の対象物にはシステムが作動しない場合があります。

- 歩行者、自転車の移動速度が速いとき
- 対向して接近する歩行者、自転車
- 歩行者の姿勢や手足の状態（手を上げているときなど）により、歩行していると特定できないとき
- 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
- 車高の低い車両
- 最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
- 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- 前方の至近距離に割り込んだ車両
- 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者、自転車
- 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両、歩行者、自転車
- 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
- リヤタイヤから車両後端までが長い車両
- 四輪車以外の車両（二輪車など）
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- ショッピングカートやベビーカー、自転車などを押しているとき

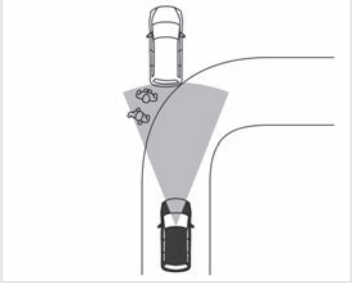
● 以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。

- 複数の対象物同士が近接している場合
- 衝突する恐れのある対象の二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合

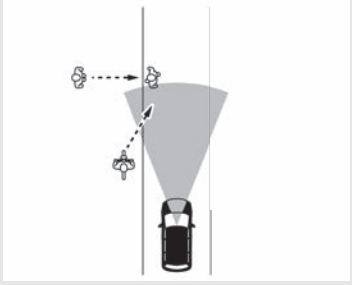
**⚠ 注意**

- 外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。
- 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
  - 滑りやすい路面を走行しているとき
  - 勾配のある路面を走行しているとき
  - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
  - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
  - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
  - 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
  - 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
  - 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
  - 車両が傾いているとき（後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき）

- 路面または壁面の影や模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示、濡れた路面に映り込んだ模様、わだちなどや光の反射を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、カーブミラー、電柱や電線、看板）などで構成される形状が、車両、歩行者、自転車の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。
- 右左折中の前の車両にシステムが作動を継続する場合があります。
- 前の車両に接近し追い越す場合、システムが作動する場合があります。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、ワインディング道、車線規制や工事中など）によっては、一時的に自車正面の対向車にシステムが作動する場合があります。
- 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。
  - 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両、自転車など）



  - 道幅が狭い路地などを走行する際の歩行者・人が乗車している自転車



  - 路肩の障害物を避けるため、一時的に自車前方の走行レーンにはみ出したり、近づいたりする歩行者や人が乗車している自転車
  - 走行車線または隣接する車線の歩行者、車両など

**⚠ 注意**

- ― 走行車線または隣接する車線に近づいてくる歩行者、車両など
- ― 対向して接近する歩行者
- ― 道路上方にあるもの（低い橋、道路標識など）
- ― 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
- ― 駐車場内にある物（梁など）
- ― 走行路にある物（近接する樹木など）

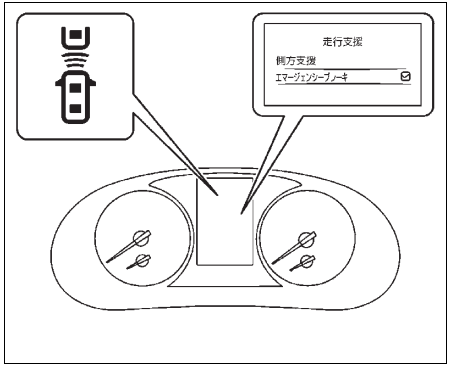
● 緊急走行をしているときは機能をOFFにしてください。（パラメディック（救急車））

## インテリジェント エマージェンシーブレーキの停止のしかた

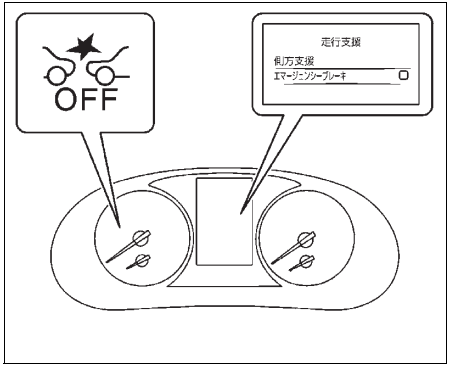
アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「エマージェンシーブレーキ」を選択すると、インテリジェント エマージェンシーブレーキのON・OFFを切り替えることができます。走行中はインテリジェント エマージェンシーブレーキのON・OFFを切り替えることができません。設定の詳細については、ドライブコンピューター（➔P.97）をお読みください。

設定のしかたは、（➔P.108）をお読みください。

●機能をONにすると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が点灯します。




●機能をOFFにすると、システムが停止します。
（アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が消灯し、インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯）




**📖 知識**

- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシスト★も連動してOFFになります。

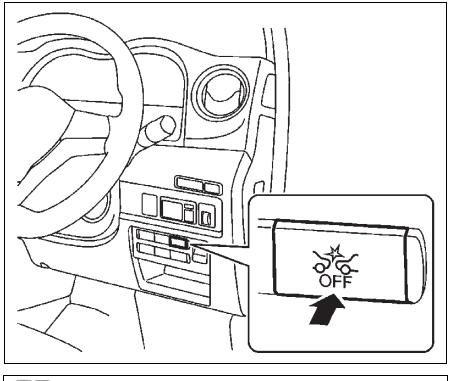
  ➔踏み間違い衝突防止アシスト★(P.189)
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ機能をOFFに設定しても、エンジンを再始動するとONになります。

### ■ パラメディック（救急車）

パラメディック（救急車）は、インテリジェント エマージェンシーブレーキスイッチでもON・OFFの切り替えができます。

走行中はインテリジェント エマージェンシーブレーキのON・OFFを切り替えることができません。

●インテリジェント エマージェンシーブレーキスイッチを長押しすると、インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムが停止します。
●もう一度インテリジェント エマージェンシーブレーキスイッチを短く押すか、エンジンを再始動するとONになります。




**知識**

● エンジンを再始動するとONになります。

**⚠ 注意**

● 緊急走行をしているときは機能をOFFにしてください。

## インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき

インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯とインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯は、メーター内にあります。




インテリジェント エマージェンシーブレーキ OFF 表示灯



インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯

●次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯し、作動が停止します。
— インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
— インテリジェント エマージェンシーブレーキスイッチをOFFにしたとき（パラメディック（救急車））
●次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが一時的に作動しなくなります。
— VDCをOFFにしたとき
●次の場合、システムが一時的に作動しなくなります。
— ABS、またはVDC（トラクションコントロールは含まない）が作動したとき
●システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されシステムが停止します。
●次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが一時的に作動しなくなります。
— フロントガラスの汚れなどにより、カメラの前方視界が遮蔽されていると判断したとき。
— 前方からの強い光により、 カメラが前方を認識できなくなったとき
— 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（車室内の温度が下がると、作動を復帰します）

— 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
— フロントガラスの結露やくもりなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき
— 周辺の電波源の影響を受けているとき、システムが停止したときの状態が改善されると、自動的に作動を再開します。
— 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき
上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れを取り除き、エンジンを再始動してください。
— 道路形状や周辺の建造物（長い橋、雪原、長い壁の横など）により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき
上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。
— 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が継続したとき
— インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったとき
— けん引されているとき

**➡ 対処方法**

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（➔P.188）をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

**📖 知識**

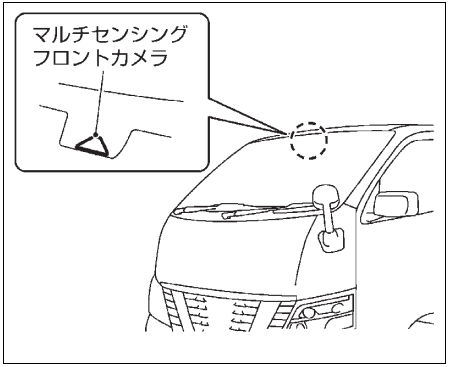
- VDCをOFFにしたときは、メーターの表示と警報音のみ作動します。
- 夜間、ライトをつけずに走行するなどで、カメラの視界が真っ暗な状態になった場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示される場合があります。

➔インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 (P.128)

## マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

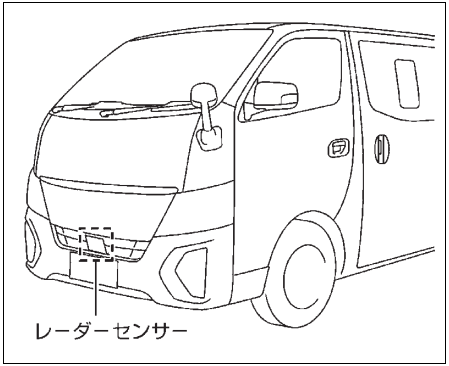
- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- インストルメントパネル上に鏡や白い紙などの光を反射しやすいものを置かないでください。太陽光が反射し、カメラの検知性能に影響がでるおそれがあります。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。
事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- フロントガラスが汚れていたり、マルチセンシングフロントカメラの前が障害物でふさがれていたり、カメラが前方で撮像できないとき、アドバンスドライブアシストディスプレイに警告メッセージ（➔P.106）が表示することがあります。




## レーダーセンサーの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- レーダーセンサー周辺はいつもきれいにしておいてください。強い力で乾ふきしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、センサーから十分に離して使用してください。レーダーセンサーを損傷するおそれがあります。
- レーダーセンサー周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでレーダーセンサー周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- レーダーセンサー周辺にステッカー（透明な物を含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けたり、塗料を塗ったりしないでください。誤作動の原因になります。
- フロントバンパーを改造、脱着したり、塗装しないでください。フロントバンパーを改造したり塗装する場合は、日産販売会社にご相談ください。




### アドバイス

- レーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着している場合は、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯することがあります。

  インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 (P.128)

- レーダーセンサー周辺の遮蔽物を取り除いて走行すると、システムの作動は再開します。再開しない場合は日産販売会社にご連絡ください。

## 踏み間違い衝突防止アシスト★

踏み間違い衝突防止アシストは、進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがいる場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。

さらにエンジン出力やブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

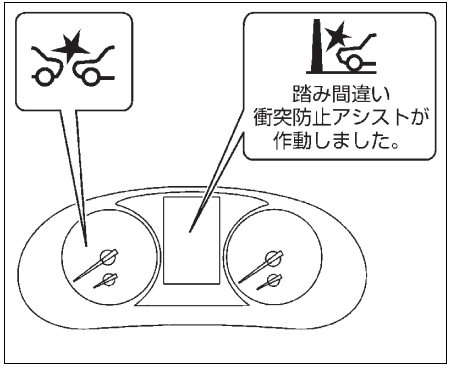
### 作動について

**前進時**

- フロントガラス上部のマルチセンシング フロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- フロントバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。

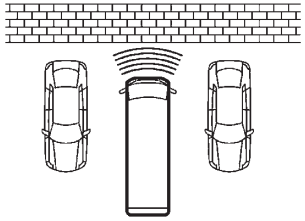
**後退時**

- リヤバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。






☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備



ソナーで進行方向の
障害物を検知

### ■ 低速加速抑制機能

- 前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 車両、歩行者に対しては、車速約0～25km/h の範囲で作動します。
- 壁などの障害物に対しては、車速約0～15km/hの範囲で作動します。
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音（ブザー）と警告灯の点滅、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に警告します。

### ■ 低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、エンジン出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約2～15km/h の範囲で作動します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音（ブザー）と警告灯の点滅によって運転者に警告します。

**⚠ 警告**

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がけてください。踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。
- 故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
  - 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
  - 勾配が急な坂道を走行しているとき
  - 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
  - 滑りやすい路面を走行しているとき
  - ハンドルを大きく切って旋回しているとき
  - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
  - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
  - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
  - 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
  - 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
  - 車両が傾いているとき（後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき）

**⚠ 注意**

- 動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。（前方の車両、歩行者を除く）
- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしてください。
  - けん引するとき
  - トレーラーなどに積載するとき
  - シャシーダイナモを使用するとき
  - 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき（車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります。）
- ソナーは次のような障害物は検知しません。
  - 背の低い障害物
  - 幅の狭い障害物
  - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
  - バンパーに非常に近い障害物
  - 急に進行方向に現れた障害物
- ソナーは次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
  - 地面から高い位置に存在する障害物
  - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しないことがあります。
  - 雨、雪、霧、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
  - 周囲で大きな音が鳴っているとき
  - 周囲に超音波を発するものがあるとき
  - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
- ソナーは次のような場合は検知することがあります。
  - 周囲に草が生い茂っているとき
  - 車両側面の近くに壁があるとき
  - 路面上に段差や突起物があるとき
  - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
  - 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
  - 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発生するものが付近にいたとき
  - 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
  - 背が高く上部が張り出しているものがあるとき
  - 高さのある縁石や車止めがあるとき
- ソナーは障害物から反射する音波を検出することにより車両と障害物の距離を検出するため、ホーンなどの音が鳴ったときや、他車のソナーなどの超音波を発生するものが付近にいたときに障害物から反射する音波を検出する場合があります。
- マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物は検知しません。
  - 子供などの背の低い人、動物、自転車
  - 対向車両
  - 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物）
- マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
  - バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
  - 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
  - 前方を横切って通過する車両
  - 斜めもしくは前向きに止まっている車
- マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者を検知できないことがあります。
  - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき

**⚠ 注意**

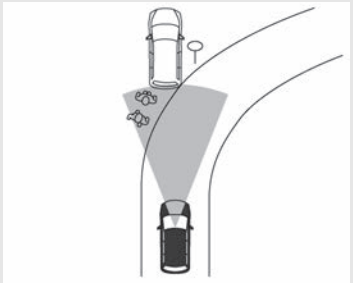
- ― 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- ― カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
- ― カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
- ― 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- ― 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
- ― 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- ― 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
- ― トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- ― カーブを走行しているとき
- ― 勾配の変化があるところを走行しているとき
- ― 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- ― 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- ― 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- ― 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更･右左折、前方車両の右左折･急ハンドル･急加速･急減速など）
- ― 始動してから約15秒間
- ― カメラの視界がさえぎられているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
- ― カメラの向きがずれているとき

- ● マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
  - ― 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
  - ― 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
  - ― 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（まわりの風景が水たまりに映りこむなど）
  - ― 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
  - ― 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- ● 以下の対象物にはマルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
  - ― 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
  - ― 車高の低い車両
  - ― 最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
  - ― 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
  - ― 前方の至近距離に割り込んだ車両
  - ― 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者
  - ― 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
  - ― 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
  - ― 後輪から車両後端までが長い車両
  - ― 四輪車以外の車両（二輪車など）
  - ― 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- ● マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
  - ― 複数の対象物同士が近接している場合
  - ― 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- ● 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

## ⚠ 注意

**低速加速抑制機能について**

- ソナーで検出した壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物は検知しません。
- マルチセンシングフロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- アクセルペダルを踏み続けた場合は、作動を開始してから約6秒後に自動的に解除されます。
- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速制御機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は作動しません。
  - ― 車速が約15km/h以上のとき（前方の車両、歩行者に対しては約25km/h以上）
  - ― ブレーキペダルを踏んでいるとき
  - ― セレクトレバーがD、マニュアルモード、R以外のとき
  - ― トラクションコントロールが作動しているとき
  - ― タイヤが空転しているとき
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。
- 路面または壁面の模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両や人の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っているとシステムが判断した場合、システムが作動する場合があります。
- 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。
  - ― 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両など）



  - ― 道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
  - ― 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
  - ― 駐車場内にある物（梁など）

**低速衝突軽減ブレーキ機能について**

- システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行ってください。車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。
- 自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 自動ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動で解除され、車両が動き出します。
- 次の場合は作動しません。
  - ― 車速が約2km/h未満、または約15km/h以上のとき
  - ― セレクトレバーがD、マニュアルモード、R以外のとき
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。

**⚠ 注意**

- 前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

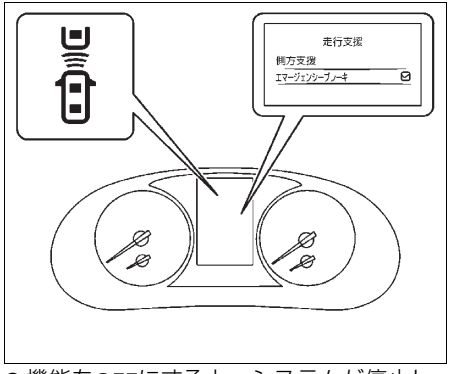
## 踏み間違い衝突防止アシストの停止のしかた

**知識**

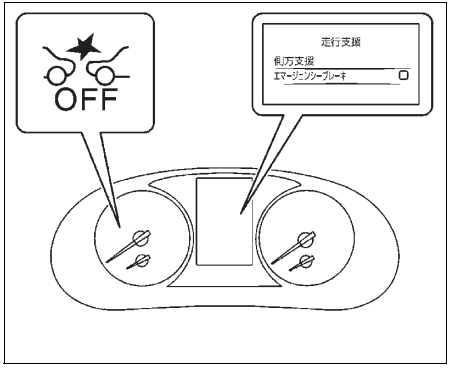
- 踏み間違い衝突防止アシストの設定は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定と連動しています。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイの設定で機能をOFFにしても、エンジンを再始動するとONに切り替わります。

●アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「エマージェンシーブレーキ」を選択すると、踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、ドライブコンピューター（P.97）をお読みください。

●機能をONにすると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が点灯します。




●機能をOFFにすると、システムが停止します。
（アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が消灯し、インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯）




## 低速加速抑制機能

●前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。

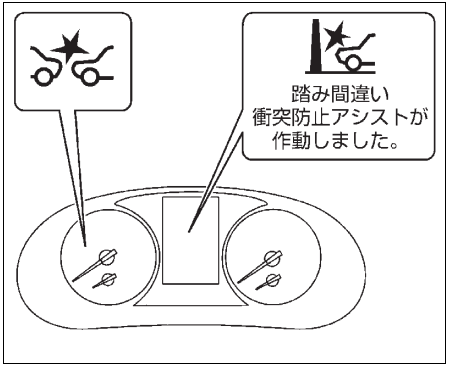
●後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。

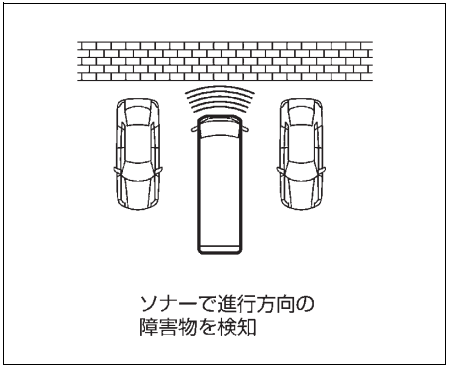
●車両、歩行者に対しては、車速約0～25km/h の範囲で作動します。

●壁などの障害物に対しては、車速約0～15km/hの範囲で作動します。

●低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音（ブザー）と警告灯の点滅、およ

びアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に警告します。



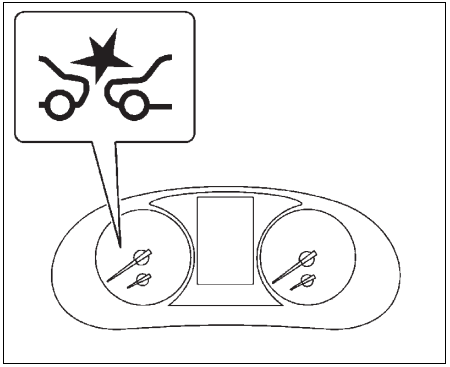

踏み間違い衝突防止アシスト作動警告
（➔P.102）

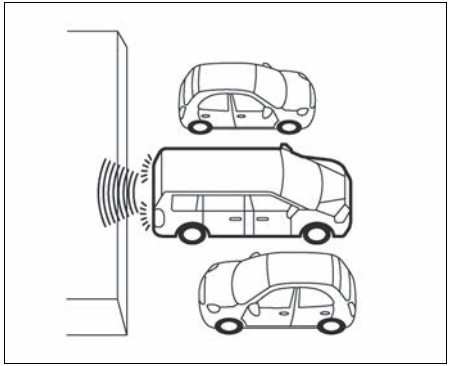
**⚠ 警告**

- 故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、または後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、エンジン出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約2～15km/h の範囲で作動します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音（ブザー）と警告灯の点滅によって運転者に警告します。





➔インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 (P.128)

**📖 知識**

- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

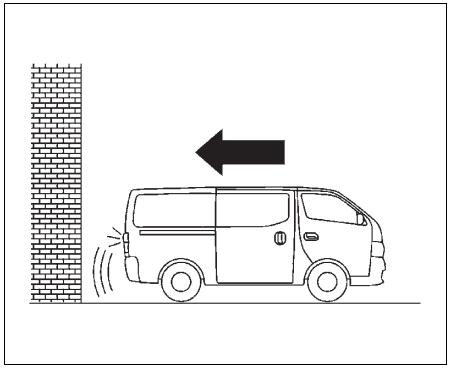
## 低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

**クルマ止めのない駐車場などで、壁などに衝突しそうになったとき**

万一誤って壁に接近してしまったとき、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、ブザー音とメーター表示で警告し、自動的にブレーキをかけて衝突を回避、または軽減します。

- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。

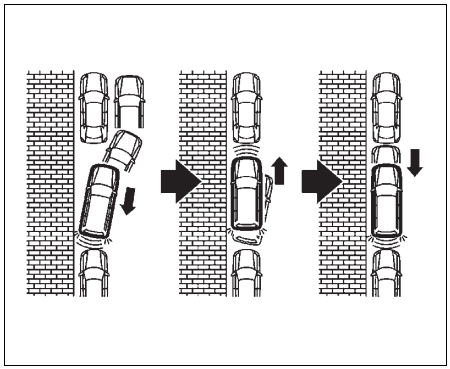
●システムは、ブレーキペダルを踏みながら車両を移動する（駐車場での操作）など低速における支援を目的にしています。アクセルペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。



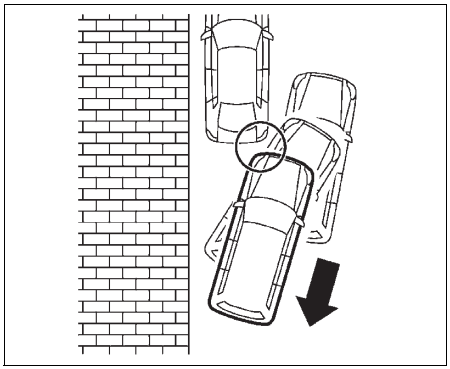
**縦列駐車をするとき**

セレクトレバーを**D**から**R**、または**R**から**D**に切り替えたときは、セレクトレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知してブレーキ制御が作動します。

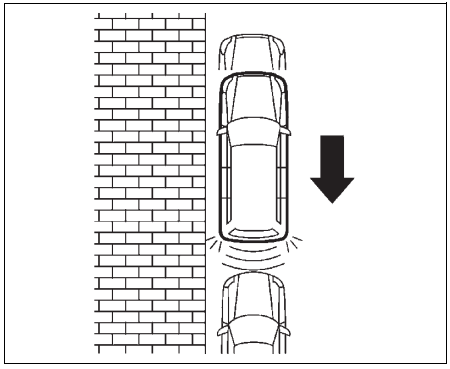
●ブレーキ制御が作動したあと、セレクトレバーを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退した場合、ブレーキ制御は作動しません。



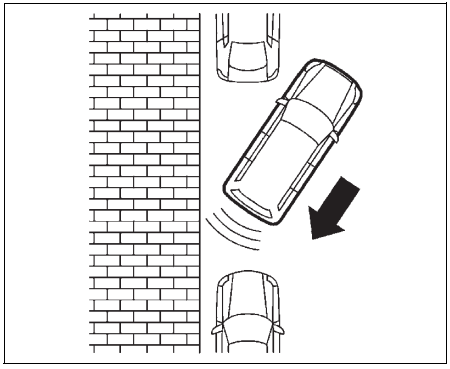
●アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。



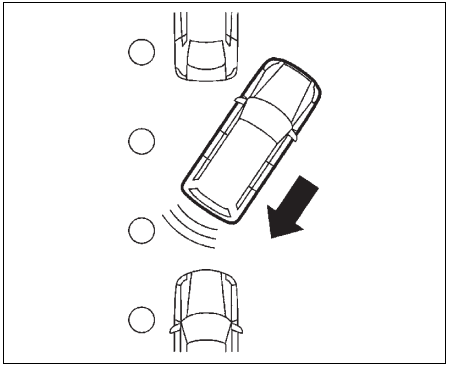
●障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。



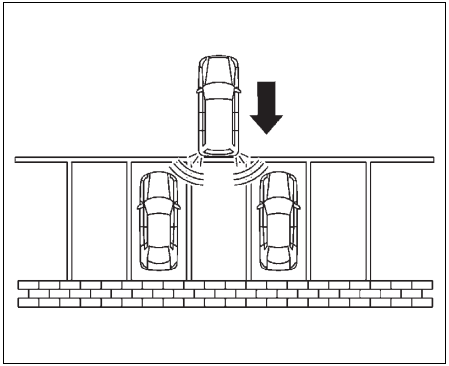
●後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対して作動しません。



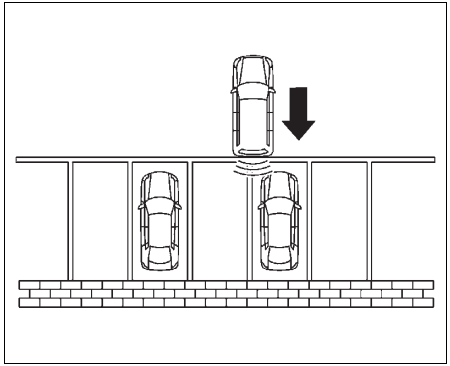
●幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。



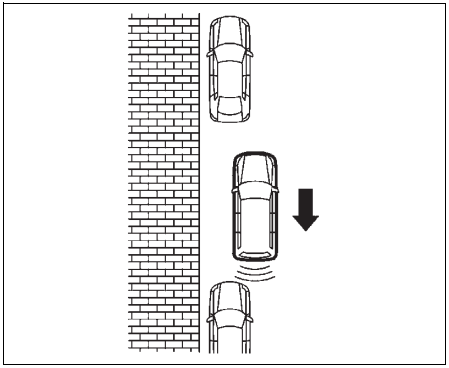
●他車が自車に対して横にずれた位置にあるときは、作動しない、または作動が遅れることがあります。



●他車の角に向かって接近したときは作動しません。

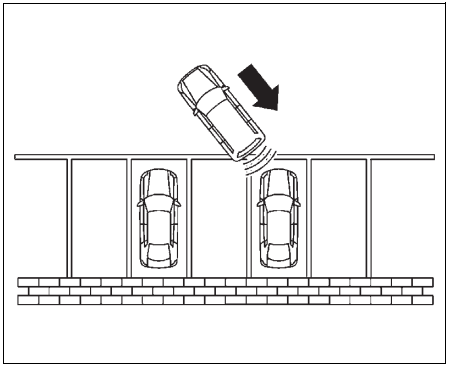


●後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。

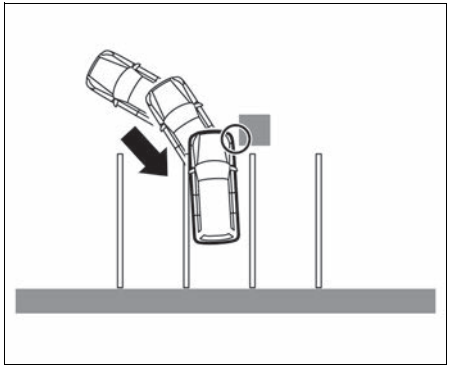


**並列駐車をするとき**

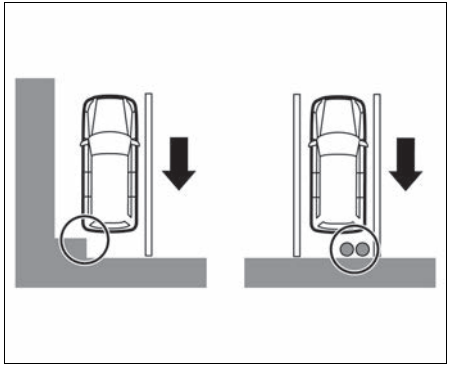
●狭いスペースに進入するときに作動することがあります。



●他車が自車に対して横にずれた位置にあるときは作動しない、または作動が遅れることがあります。



●壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。



## 踏み間違い衝突防止アシストの作動が停止するとき

●次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯し、作動が停止します。
— インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにしたとき
— VDCをOFFにしたとき

●インテリジェント エマージェンシーブレーキが一時的に作動できなくなったときは、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯し、踏み間違い衝突防止アシストも一時的に作動しなくなります。
インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき（P.187）をお読みください。

●システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが自動的に停止します。
システム故障警告（P.103）

### アドバイス

● システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、（P.199）をお読みください。

● 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 (P.128)

●炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。）
カメラ高温警告A（P.103）
カメラ高温警告B（P.106）

●雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき「カメラが認識できないため 現在使用できません」と警告が表示され、システムが自動的に停止します。

●前方から強い光を受けたとき
インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム視界不良警告（P.106）

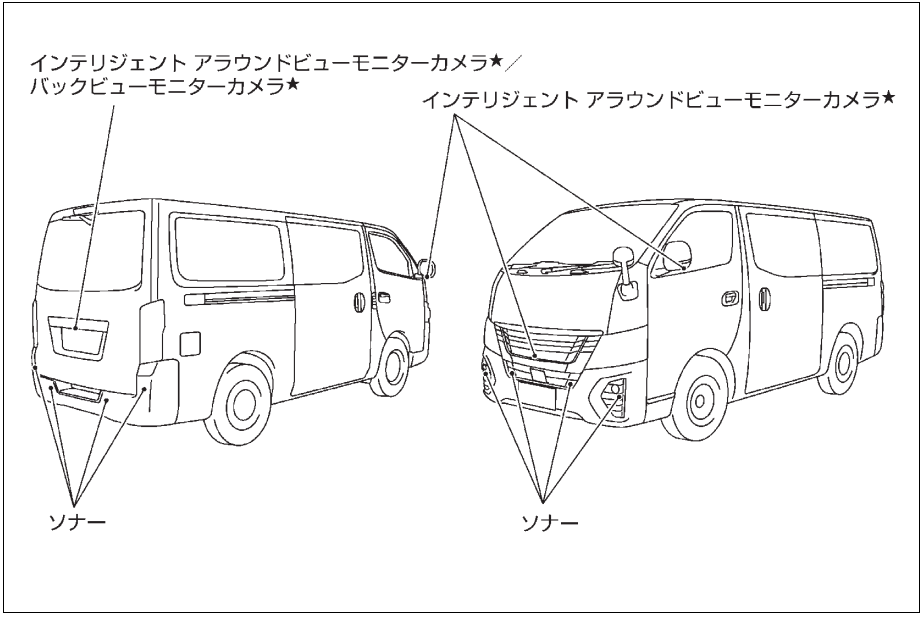
### ■ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

●システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（P.188）をお読みください。

## ソナー、カメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。

- ソナーおよびカメラはいつもきれいにしておいてください。汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- 強い力で乾ふきしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、ソナーおよびカメラから十分に離して使用してください。ソナーを損傷するおそれがあります。
- ソナーおよびカメラ、またはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーおよびカメラの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーおよびカメラの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーおよびカメラ、またはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。

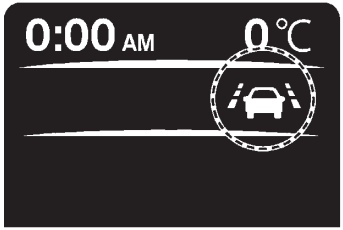



## LDW（車線逸脱警報）

LDW（車線逸脱警報）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。

- LDW（車線逸脱警報）は車速が約60km/h以上で作動します。
- ルームミラー上方に取り付けられたマルチセンシングフロントカメラにより走行している車線のレーンマーカーを検知し、右側もしくは左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、警報音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのLDW（車線逸脱警報）表示がオレンジ色に点滅します。

レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。




**⚠ 警告**

- LDW（車線逸脱警報）は車線からの逸脱を自動的に回避するシステムではありません。また、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、雪、霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転を心がけてください。
- カメラには限界がありますので、機能を過信しないでください。道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

**📖 知識**

- 次の場合は警報を行いません。
  - ― 方向指示器を使用しているとき（方向指示器を解除したあと、約2秒間は警報を行いません）
  - ― 車速が約60km/hを下回っているとき
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「走行支援」に切り替えると、LDW（車線逸脱警報）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイで確認することができます。詳しくは、運転支援システム（➔P.108）をお読みください。

## 作動について

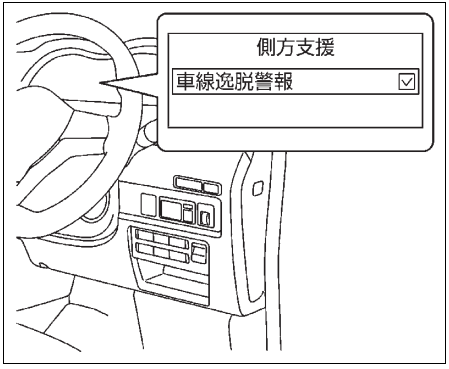
**⚠ 警告**

- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
  - ― 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
  - ― 急なカーブのある道路を走行するとき
  - ― 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
  - ― 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります）
  - ― 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
  - ― 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
  - ― 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲がさえぎられるとき
  - ― 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
  - ― 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
  - ― 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
  - ― 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

## ON・OFFのしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「側方支援」⇒「車線逸脱警報」を選択すると、LDW（車線逸脱警報）のON・OFFを切り替えることができます。
  設定の詳細については、ドライブコンピューター（➔P.97）をお読みください。
  設定のしかたは、（➔P.108）をお読みください。

●機能をOFFにすると、システムが停止します。
（アドバンスドドライブアシストディスプレイのLDW（車線逸脱警報）表示が消灯します。）




## 警告表示

●炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「車線認識カメラ・その周辺が高温のため使用できません」と警告が表示され、一時的に作動が停止します。（室内の温度が下がると、作動を復帰します。）
カメラ高温警告A（P.103）
カメラ高温警告B（P.106）

●システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「システム故障」と警告が表示され、自動的に作動が停止します。
システム故障警告（P.103）

●雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき「カメラが認識できないため 現在使用できません」と警告が表示され、システムが自動的に停止します。

●前方から強い光を受けたとき
インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム視界不良警告
（P.106）

### アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（P.188）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。

  エンジン再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

## インテリジェント DA（ふらつき警報）

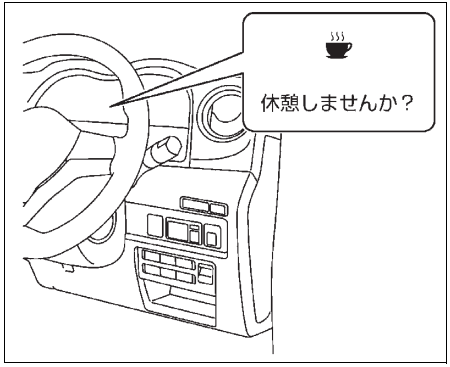
インテリジェントDA（ふらつき警報）は、ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示と音により運転者に休憩を促します。

### ⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がけてください。このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故に至る危険があるため、運転前に十分に休憩をとり、安全運転に努めてください。

## 作動について

●車速約60km/h以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「休憩しませんか？」と警告メッセージを表示します。
警告メッセージ（P.104）



## インテリジェント DA（ふらつき警報）の停止のしかた

●アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「ふらつき警報」を選択すると、インテリジェント DA（ふらつき警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システム（➔P.108）をお読みください。
画面の切り替えかた（➔P.97）

**知識**

- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

## インテリジェント DA（ふらつき警報）の作動が停止するとき

●システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動が停止します。
警告メッセージ（➔P.104）

**アドバイス**

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。
  通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

## 標識検知機能

フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより標識を検知し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

**⚠ 警告**

- 走行中は運転者の責任で実際の標識を確認してください。標識検知機能は、運転者の安全運転をサポートする機能です。標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。
- マルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけて下さい。詳細については、➔作動について (P.182)をお読みください。

## 作動について

●標識検知機能には次の機能があります。

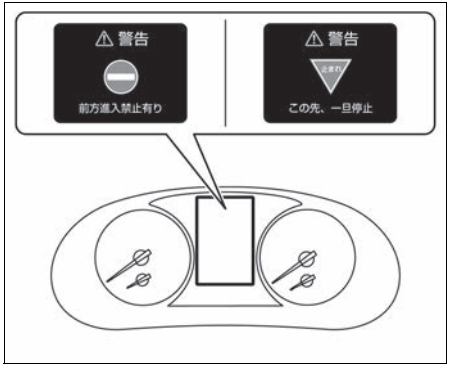
**進入禁止標識検知**

●前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合にはアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告表示します。

●万一、車両進入禁止標識を通過した場合には警告音が鳴ります。

**一時停止標識検知**

●前方の一時停止標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。




**知識**

- 次のような道路標識は検知しません。
  ― 補助標識（時間帯、区間の終わりなど）

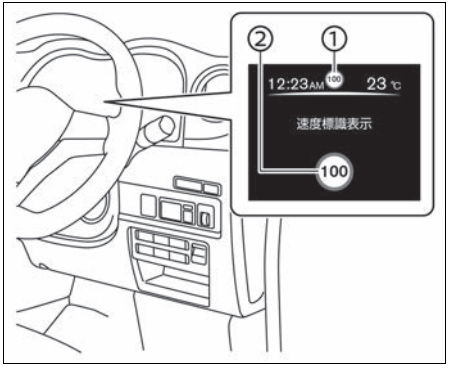
**最高速度標識検知**

●前方の最高速度標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイ①、およびドライブコンピューター②に表示されます。

●次の場合は、最高速度標識の表示が切り替わります。
  ― 表示中の最高速度と異なる最高速度標識を検知したとき

●次の場合は、最高速度標識の表示を終了します。

— 最高速度標識を検知し、車両がその標識を通過してから一定の距離を走行したとき
— 右左折などで走行している路線が変わったとシステムが判断したとき




**⚠ 警告**

- 次のような場合は、標識の検知が遅れたり、検知できないことがあります。
  — 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
  — カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、虫汚れなどが付着しカメラの視界がさえぎられているとき
  — カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
  — 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
  — 前方車両から反射した強い光（太陽光など）を受けているとき
  — トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
  — 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
  — 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  — 勾配の変化があるところを走行しているとき
  — 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
  — 隣を走る車で視界がさえぎられているとき
  — 標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
  — 標識の周辺が煩雑で標識を認識しにくいとき
  — 標識が自車から遠く離れた位置にあるとき
  — 夜間で標識に自車のヘッドランプの光が届きにくい位置にあるとき
  — 標識が色あせたり、折れ曲がっているとき
  — 標識が破損しているなど形状が変わってしまっているとき
  — 標識が泥、雪、または霜などで覆われたとき
  — 標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭なとき
  — 標識に光（街灯など）や影が映り込んでいるとき
  — 標識が大きすぎたり、小さすぎたりするとき
  — 標識が低すぎたり、高すぎたりするとき
  — 標識が明るすぎたり、暗すぎたりしたとき
  — カメラの向きがずれているとき
  — 始動してから約15秒間は標識を検知しません
- 次のような場合は、標識の検知が適正に行えず、実際の規制内容とは異なるものを表示したり、 実際には対象となる標識が無いのに表示したりすることがあります。（最高速度標識においては、実際の最高速度よりも高い数字や、低い数字を表示したりすることがあります）
  — 数字が認識しにくい標識（数字が消えかかっているなど）
  — 検知対象となる標識の色、形に似たものが周辺にある場合（類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物など）

### ⚠ 警告

― 自車の路線に対しての標識ではないが、自車の路線付近にあり、その標識が自車の路線に向いている場合（本線から分岐する側道の一時停止標識や最高速度標識など）




― コントラストが低い電光標識

― 数字が認識しにくい電光標識（遠く離れた位置にある標識、3桁の標識など）

― 標識の近傍に補助標識(区間の始まり、終わり、曜日、時間など)があるとき

― 工事などの通行規制区間に標識があるとき

### ⚠ 注意

● 標識検知機能は、運転者の安全運転をサポートする機能です。標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる表示をしたりする場合があります。運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

● 標識の近傍にある補助標識は検知しないため、実際の規制内容と異なる表示をする場合があります。必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。




● 以下の標識を検知した場合、最高速度表示をやめる場合があります。必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。



### アドバイス

● システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（➔P.188）をお読みください。

### 知識

● 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

### 進入禁止標識／一時停止標識検知の停止のしかた

●アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「道路標識表示」を選択すると、進入禁止標識／一時停止標識検知機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システム（➔P.108）をお読みください。
画面の切り替えかた（➔P.97）

知識

- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

### 最高速度標識検知の停止のしかた

●アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「速度標識表示」を選択すると、最高速度標識検知機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システム（➔P.108）をお読みください。
画面の切り替えかた（➔P.97）

知識

- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

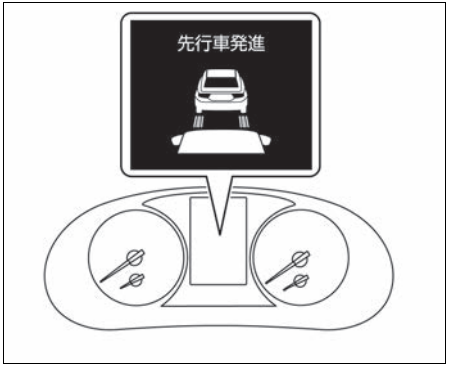
## 先行車発進お知らせ

先行車が発進しても自車が停車し続けた場合に、警報音（ブザー）と表示でお知らせする機能です。

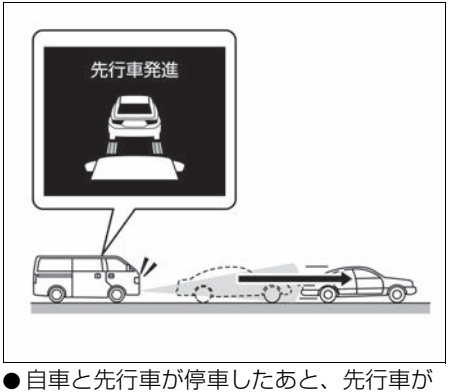
### システムに関連する表示

⚠ 注意

- 先行車との車間距離や周囲の状況を目視で直接確認し、常に安全運転を心がけてください。




### 先行車発進お知らせについて




●自車と先行車が停車したあと、先行車が発進しても自車が停車し続けた場合に、警報音（ブザー）とアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示でお知らせします。

●次のいずれかの条件を満たしているときに作動します。
— シフトポジションがP、R以外でブレーキペダルを踏んで停車している
— シフトポジションがNで停車している

### 先行車発進お知らせの設定のしかた

●アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「先行車発進お知らせ」を選択すると、先行車発進お知らせの設定（Off／標準／早め）を切り替えることができます。

### 先行車発進お知らせに関する注意事項

●次の場合は作動しません。
— インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステム異常などにより、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯しているとき（インテリジェント エマージェンシーブレーキやVDCをOFFにしているときを除く）
— 先行車との車間距離が長いとき

●システムを正しく作動させるために車両前部に取り付けられたレーダーセンサーとその周辺、およびマルチセンシングフロントカメラ前方のフロントガラスのお手入れを行ってください。
➔レーダーセンサーの取り扱い (P.189)
➔マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.188)

●次のような場合は、作動が遅れたり、作動しないことがあります。
- 自車と先行車との間に別の車両や歩行者、自転車などが割り込んだり横切ったとき
- 先行車がオートバイのような幅の狭い車両のとき
- 先行車との車間距離が極端に短いとき
- 先行車が自車に対して左右にずれているとき
- 先行車が右左折、車線変更、急旋回をしたとき
- 先行車が極端に遅い速度で移動しているとき
- 急勾配の坂道、急カーブで停車しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面で停車しているとき
- 車両が傾いているとき（車両後部に極端に重い荷物を積んでいるとき）
- ハンドルが大きく切れているとき
- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）のとき
- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- カメラの視界がさえぎられているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
- カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
- アドバンスドドライブアシストディスプレイにソナー表示されているとき

●道路状況や交通状況などにより不必要な作動をすることがあります。周囲の状況を目視で直接確認してください。

# 室内装備の使いかた


**エアコンの使いかた**

- 内気循環、外気導入について P.209
- 自動温度調節について★ P.209
- 長期間エアコンを使わないとき P.209
- エアコンガスについて P.209
- エアコンのにおいについて P.209
- クリーンフィルターについて P.209

**吹き出し口について**

- 吹き出し口の位置 P.211
- 吹き出し風の調節 P.212
- 吹き出し口の切り替えと使用目的 P.213

**ヒートアップスイッチ（ディーゼル車）**

- ヒートアップスイッチの使いかた P.214

**ラジエーターシャッター★**

- ラジエーターシャッターの使いかた P.215

**マニュアルエアコン★**

- 吹き出し口の切り替えかた P.216
- 内気循環・外気導入の切り替えかた P.216
- 風量の切り替えかた P.216
- 温度調節のしかた P.216
- エアコンの切り替えかた P.216
- 窓ガラスのくもりの取りかた P.217

**オートエアコン★**

- オートで使うとき P.219
- 設定を変えて使うとき P.220

**リヤクーラー★**

- リヤクーラーの使いかた P.222

**リヤヒーター★**

- リヤヒーターの使いかた P.223

**オーディオの使いかた**

- オーディオについて P.224
- ステアリングスイッチ★ P.225

**バックビューモニター★**

- バックビューモニターについて P.227
- バックビューモニターの注意事項 P.228

**インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★**

- インテリジェント アラウンドビューモニターの使いかた P.231
- 画面の見かた P.232
- 画面表示の種類 P.233
- 移動物 検知機能 P.235
- 作動に関する注意事項 P.238
- 映し出す範囲 P.239

映像と実際の路面との誤差 P.240
画面のエラー表示について P.241
カメラ映像が正常に表示されない場合 P.242

**室内装備品の使いかた**

サンバイザー P.243
時計 P.243
室内照明 P.243
カップホルダー P.244
ボトルホルダー P.245
グローブボックス P.246
電源ソケット P.246
マルチセンターコンソール★ P.247
コンビニフック★ P.247
センターシート背面コンソール（前席センターシート付車） P.248
サブコンソールボックス★ P.248
パーテーションパイプ（バン） P.248
ラゲッジユーティリティナット（バン） P.253
床下収納スペース（平床バン） P.254
フロアカーペット★ P.254
消火器（マイクロバス） P.255

## 内気循環、外気導入について

通常は吸い込み口を自動制御、または外気導入で使い、内気循環は必要なときだけ使ってください。

**⚠ 警告**

- 内気循環で長時間使用すると、窓ガラスがくもりやすくなります。視界が損われ危険ですので、一時的に使ってください。

**アドバイス**

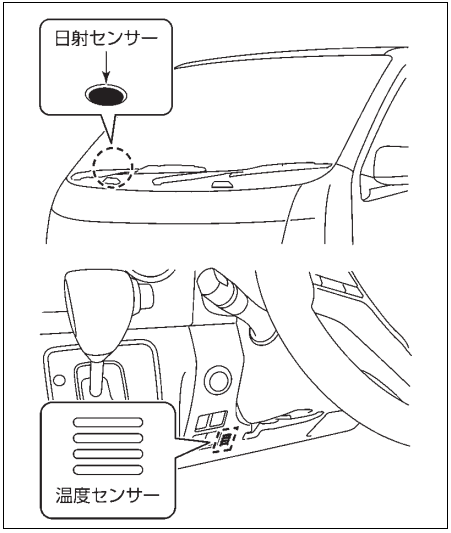
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。

## 自動温度調節について★

自動温度調節は日射センサーと温度センサーで行っています。

**アドバイス**

- センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。




## 長期間エアコンを使わないとき

エアコン装置のオイルの循環を切らさないために、ときどき冷房、または除湿暖房をしてください。

**アドバイス**

- 外気温が0℃近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。

## エアコンガスについて

エアコンガスは必ず指定のものをご使用ください。エアコンガスの詳細については、エンジンルーム内にあるエアコンラベルをご確認ください。

エンジンカバーの開けかたは、（➔P.53）をお読みください。

**アドバイス**

- 地球温暖化防止のため大気放出をしないでください。
- エアコンの冷え具合が悪いときは、日産販売会社にご相談ください。

## エアコンのにおいについて

エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じることがあります。

**知識**

- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

## クリーンフィルターについて

ほこり、花粉、粉じんなどを集じんするためのクリーンフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、メンテナンスは確実に行ってください。

**交換時期：**

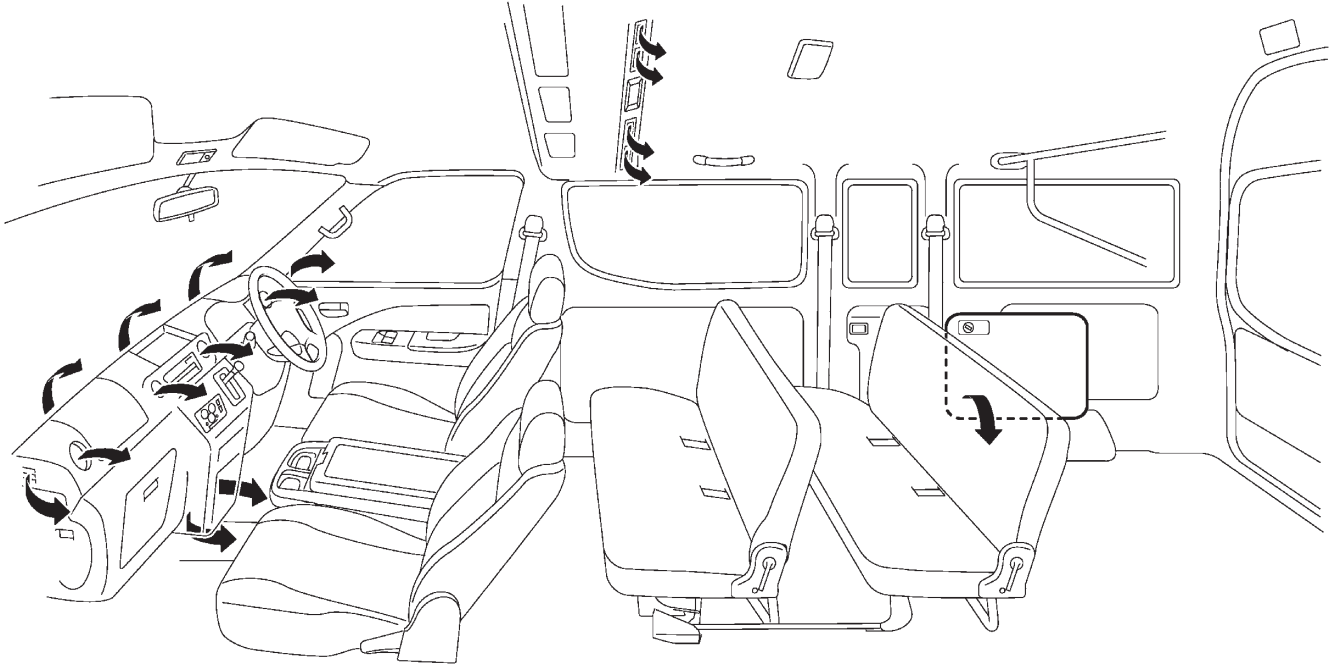
**1年ごとまたは12,000km走行ごと**

アドバイス

- 交換時期に満たない場合でも、エアコンやヒーターの吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。
- クリーンフィルターの取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。

# 吹き出し口について

## 吹き出し口の位置



※車種により吹き出し口の位置や形状が異なります。

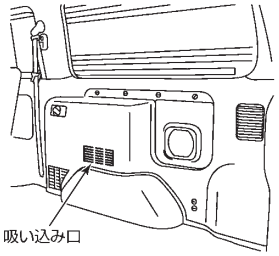
# 吹き出し口について

**⚠ 注意**

- 特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間連続してあたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

**アドバイス**

- ラゲッジルームにある吸い込み口を荷物などでふさがないでください。吹き出し風量が減少するおそれがあります。

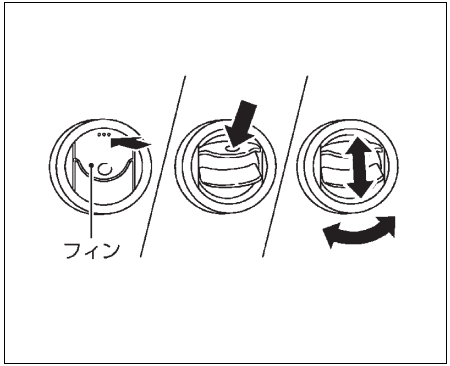



※車種により形状が異なります。

## 吹き出し風の調節

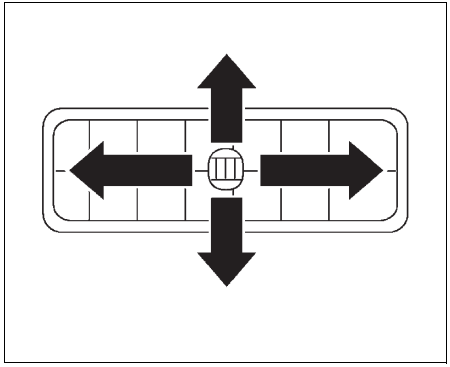
### 前席吹き出し口

- フィン自体を左右に回したり、フィンの角度を変えて方向を調節します。
- フィンを倒すと吹き出し風量を少なくすることができます。



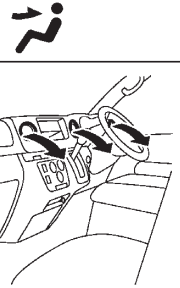
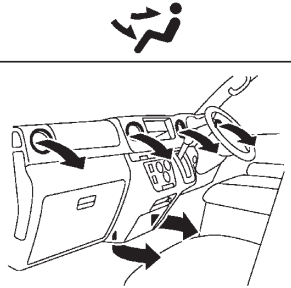
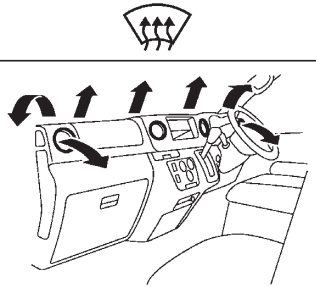
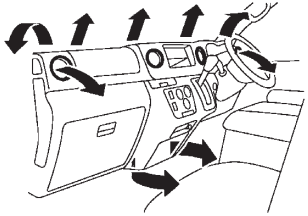
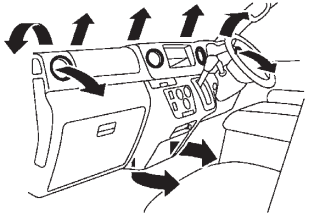

### 後席吹き出し口

- 吹き出し口のつまみを上下、または左右に動かして風向きを調節します。



# 吹き出し口について

## 吹き出し口の切り替えと使用目的

| 上半身に送風したいとき | 上半身、足元に送風したいとき | 前面及び側面ガラスのくもりを取りたいとき |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 足元に送風したいとき※ | 足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき | ※車種により足元のみ送風します |
|  |  | |

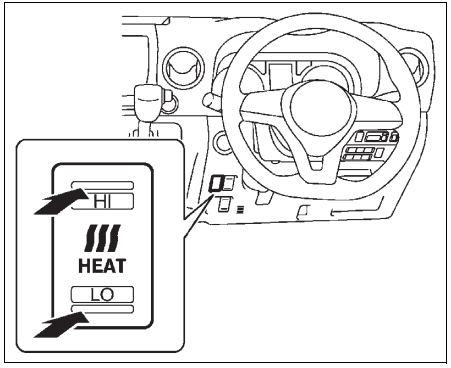
# ヒートアップスイッチ（ディーゼル車）

## ヒートアップスイッチの使いかた

エンジン回転中に作動します。
アイドル回転アップなどによりエンジン冷却水温を上昇させ、暖房効果を高めます。

●スイッチのHI側、またはLO側を押すと、ヒートアップシステムが作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）

| スイッチ位置 | アイドル回転数 |
|---|---|
| HI | 回転数が高い |
| LO | 回転数が低い |




●止めるときは、スイッチを中立位置にします。
（スイッチの表示灯が消灯）

**アドバイス**

● セレクトレバーがP、またはNのとき作動します。（他の位置でもスイッチの表示灯は点灯します。）

# ラジエーターシャッター ★

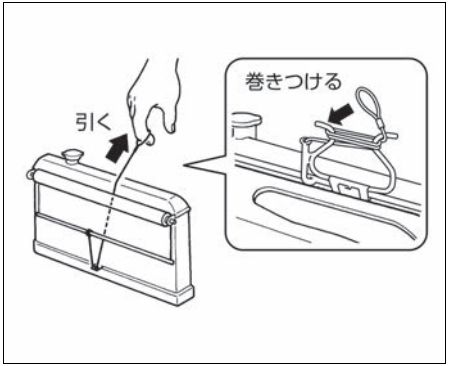
## ラジエーターシャッターの使いかた

**QR25DE 4WDの寒冷地仕様車および4N16 4WDの寒冷地仕様車**

エンジン冷却水温が低くヒーターの効きが悪い場合に、ひもをいっぱいに引くとラジエーターの前面をシャッターが覆い暖房効果を高めます。

●水温に応じてシャッター開閉用のひもを引きフックに固定します。

| | |
|---|---|
| ひもをいっぱいに引いた場合 | 全閉 |
| ひもを元に戻した場合 | 全開 |




シャッター開閉用のひもの位置は、
➔P.333、➔P.334をお読みください。

### ⚠ 注意

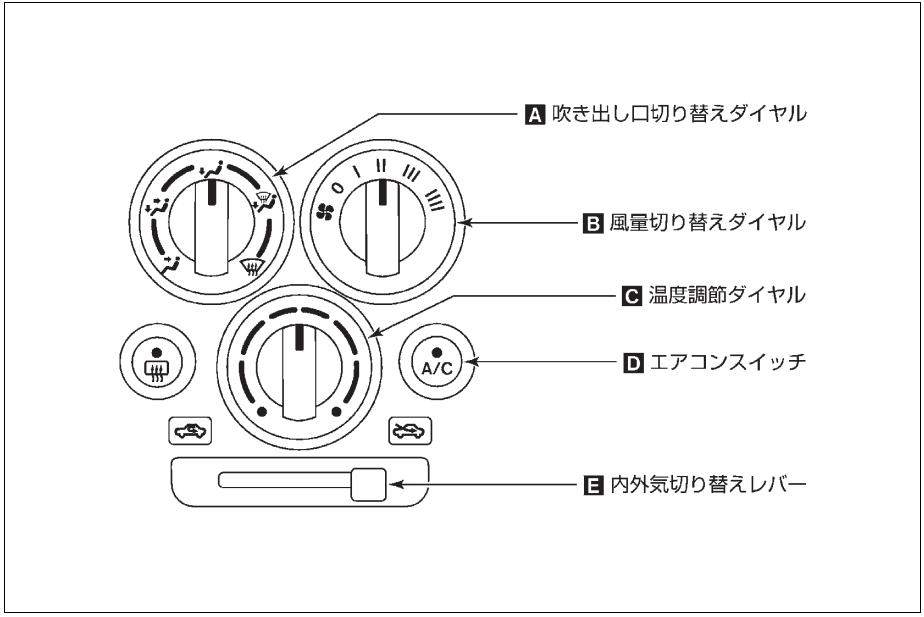
- シャッターの開閉をするときは、必ずエンジンを止めてください。思わぬケガをするおそれがあります。
- エンジンやラジエーターが熱いときにシャッターの開閉をする場合は、十分に注意して行ってください。やけどをするおそれがあります。

### アドバイス

- 長い上り坂や高速走行するときはオーバーヒートのおそれがありますので、安全な場所に停車し、ラジエーターシャッターを全開にしてください。
- 水温計の指針が適温範囲を超えた場合は、すぐにシャッターを全開にしてください。
- 全開使用時は、ひもの長さが筒の出口から以下であることを確認してください。
  - QR25DE：200mm以下
  - 4N16：250mm以下

# マニュアルエアコン★

●エアコンは、エンジンをかけた状態で使ってください。




## 吹き出し口の切り替えかた

●吹き出し口切り替えダイヤルAを回します。
（冷房： 、暖房： ）

## 内気循環・外気導入の切り替えかた

●内外気切り替えレバーEを動かして外気導入と内気循環を切り替えます。

| レバー位置 | 使用目的 |
|---|---|
| 外気導入（右側） | 通常はこの位置で使います。外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいとき。 |
| 内気循環（左側） | トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。 |
| 半内気循環（中央） | 外気温が低いときや、暖房効果を高めたいとき。 |

## 風量の切り替えかた

●風量切り替えダイヤルBを回します。
（左側：風量少ない～右側：風量多い）
●送風を止めるときは、0（OFF）の位置にします。

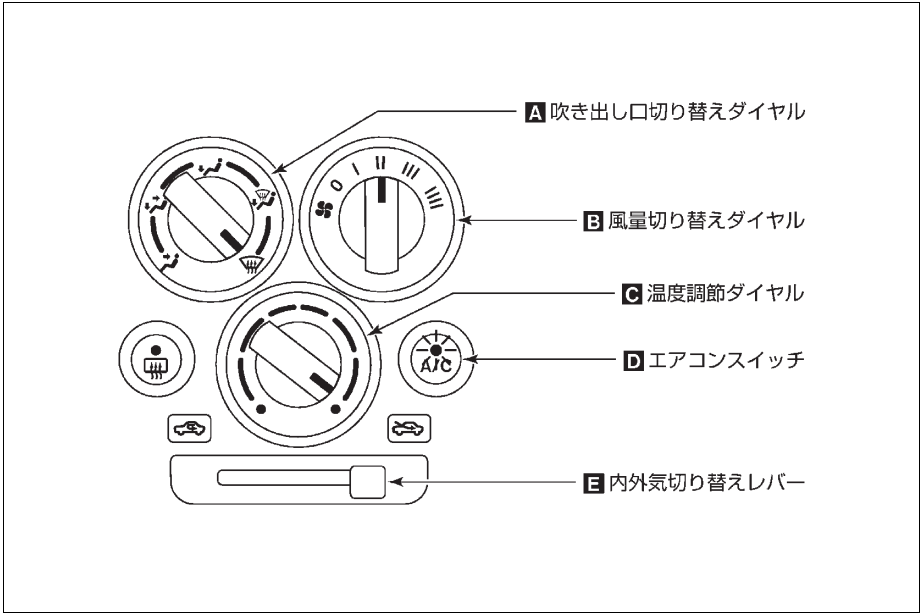
## 温度調節のしかた

●温度調節ダイヤルCを回します。
（左側：低温、右側：高温）

## エアコンの切り替えかた

●エアコンスイッチDを押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動／停止が切り替わります。
作動：スイッチの表示灯が点灯
停止：スイッチの表示灯が消灯
●外気温が0°C近くまで下がると、エアコンスイッチDが点灯していてもエアコン（冷房・除湿機能）が作動しないことがあります。

## 窓ガラスのくもりの取りかた




1. 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にします。
2. 内外気切り替えレバーEを外気導入（右側）にします。
3. 風量切り替えダイヤルBを回して風量を調節します。
   （左側：風量少ない～右側：風量多い）
4. 温度調節ダイヤルCを高温側（右側）に回します。
5. エアコンスイッチDを押してエアコンを作動させます。
   （スイッチの表示灯が点灯）

※止めるときは、風量切り替えダイヤルBを0（OFF）の位置にします。

**⚠ 注意**

- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、エアコンの設定温度を低温にすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

**アドバイス**

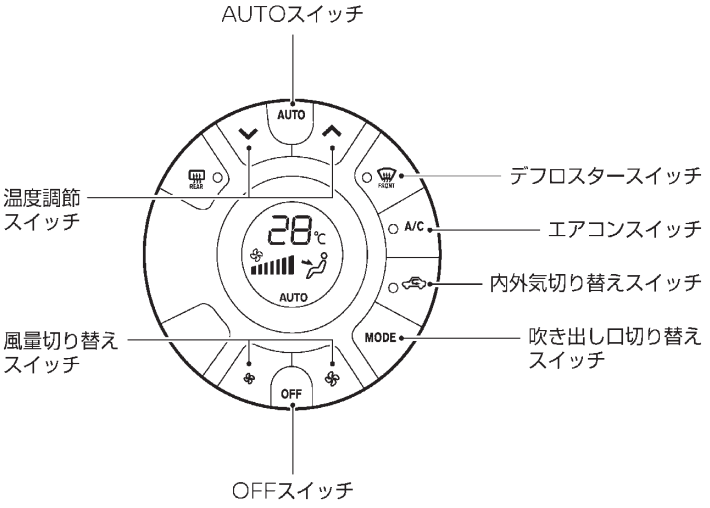
- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
- 早くくもりを取りたいときは、温度を高温にし、風量を多くします。

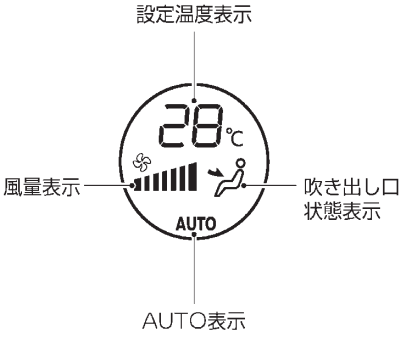
**知識**

- 窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を 位置にします。

# オートエアコン★

●エアコンは、エンジンをかけた状態で使ってください。
●エアコンを操作すると、表示部に作動状態を表示します。



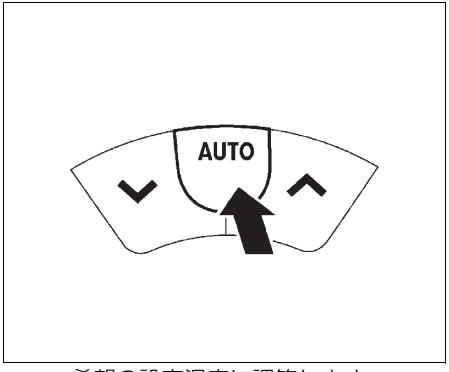
# オートエアコン★

## オートで使うとき

吹き出し温度、吹き出し口、風量を自動で制御し、設定した温度に保ちます。また、内気循環／外気導入を自動制御モードに設定することで自動制御に切り替えます。

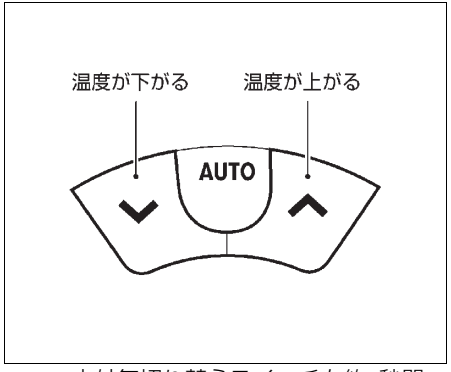
### 作動のさせかた

1. AUTOスイッチを押します。



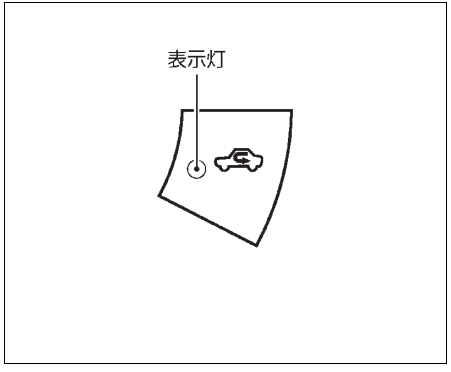

2. 希望の設定温度に調節します。

●温度の調節範囲は18～32℃です。



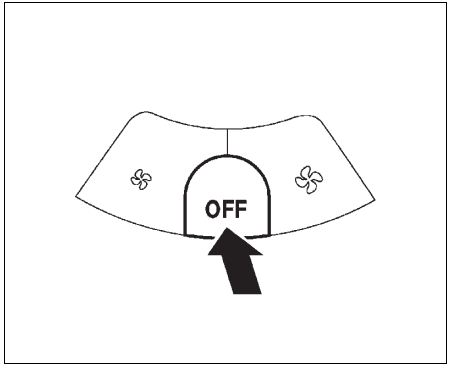

3. 内外気切り替えスイッチを約2秒間押し続けます。

●スイッチの表示灯が2回点滅すると、自動制御モードに切り替わります。




### 止めかた

OFFスイッチを押します。




**知識**

- オートで使用中に風量の調整、または吹き出し口の切り替えを行うと表示部に「MANUAL」と表示されますが、操作した機能以外については引き続き自動制御されます。また、内気循環／外気導入が自動制御モード中に内外気切り替えスイッチを押すと、マニュアルモードに切り替わります。
- 外気温が0°C近くまで下がると、エアコンスイッチが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エンジン始動直後で冷却水温が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。

📖 知識

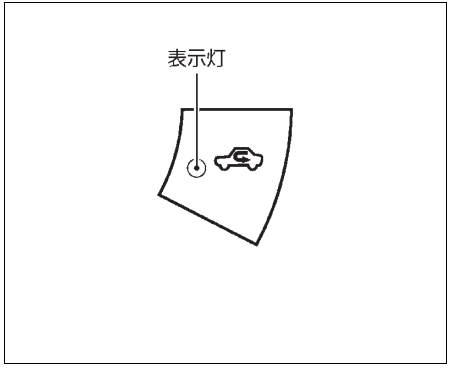
- キースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、再度キースイッチ（電源ポジション）をONにすると、エアコンの条件によっては、内気循環／外気導入が自動制御モードになる場合があります。

## 設定を変えて使うとき

### 内気循環・外気導入の切り替えかた

●内外気切り替えスイッチを押して切り替えます。

●自動制御にするときは、内外気切り替えスイッチを約2秒間押し続けます。表示灯が2回点滅し、自動制御になります。

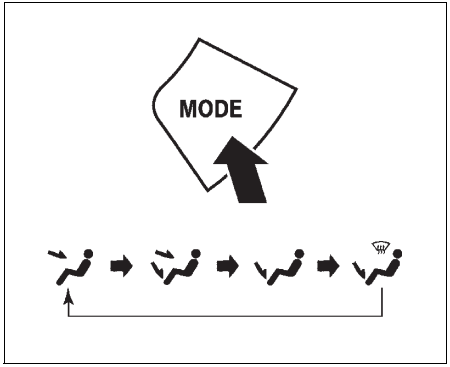



| モード | 表示灯 | 使用目的 |
|---|---|---|
| 内気循環 | | トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。 |
| 外気導入 | | 外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいとき。 |
| 自動制御 | | 車内の温度に応じて、吸い込み口を自動制御させるとき。 |

※自動制御時は、内外気切り替えスイッチの表示灯が制御に合わせて点灯・消灯します。

### 吹き出し口の切り替えかた

●吹き出し口切り替えスイッチを押すごとに切り替わります。

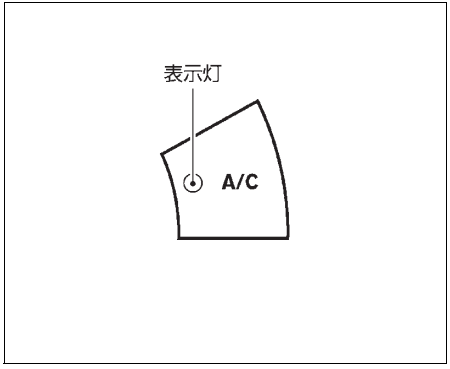



### エアコンの切り替えかた

●エアコンスイッチを押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動／停止が切り替わります。

— 作動：表示灯が点灯

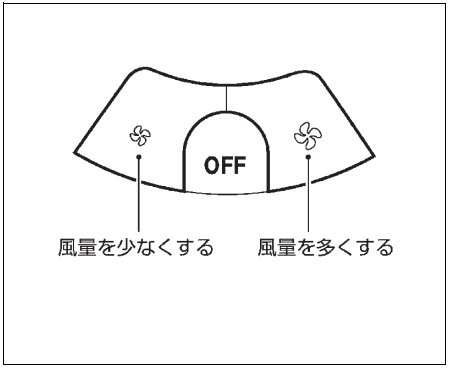
— 停止：表示灯が消灯



●外気温が0°C近くまで下がると、エアコンスイッチが点灯していてもエアコン（冷房・除湿機能）が作動しないことがあります。

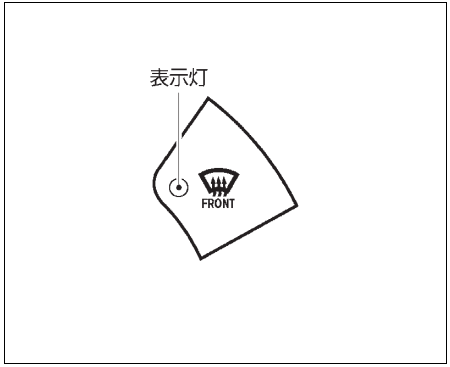
## 風量の切り替えかた

●風量切り替えスイッチを押すごとに切り替わります。




## 窓ガラスのくもりの取りかた

●デフロスタースイッチを押します。（表示灯が点灯）




●デフロスターから風が吹き出し、吸い込み口が外気導入になります。

●止めるときは、もう一度スイッチを押します。（表示灯が消灯）

**⚠ 注意**

● デフロスタースイッチをONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしないでください。フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

**アドバイス**

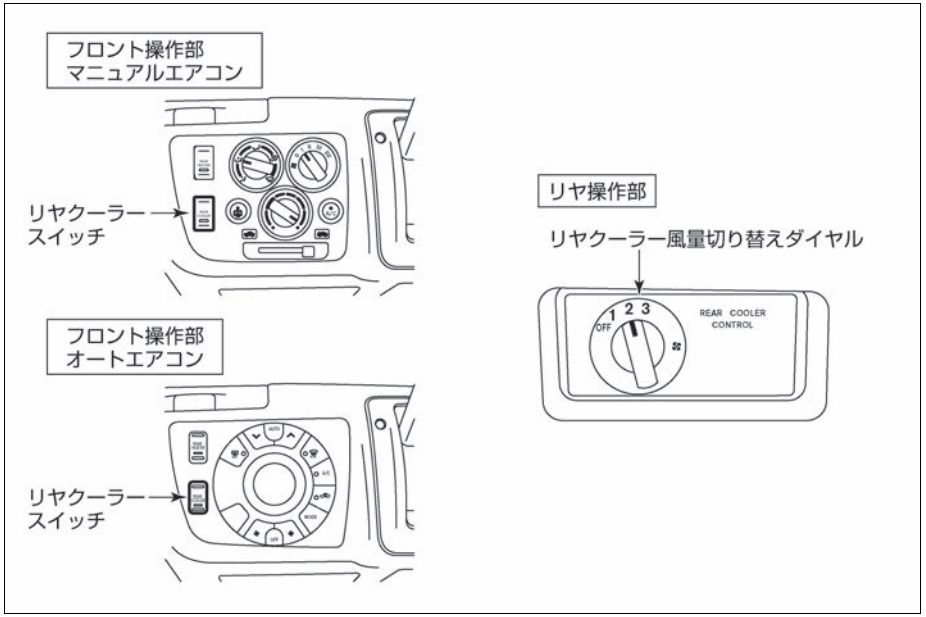
● デフロスタースイッチをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

**知識**

● エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチを押すとエアコンも自動的に作動します。

# リヤクーラー ★

リヤクーラーは、フロントエアコン（冷房・除湿機能）作動時に使えます。




※リヤ操作部は天井吹き出し口の横にあります。

## リヤクーラーの使いかた

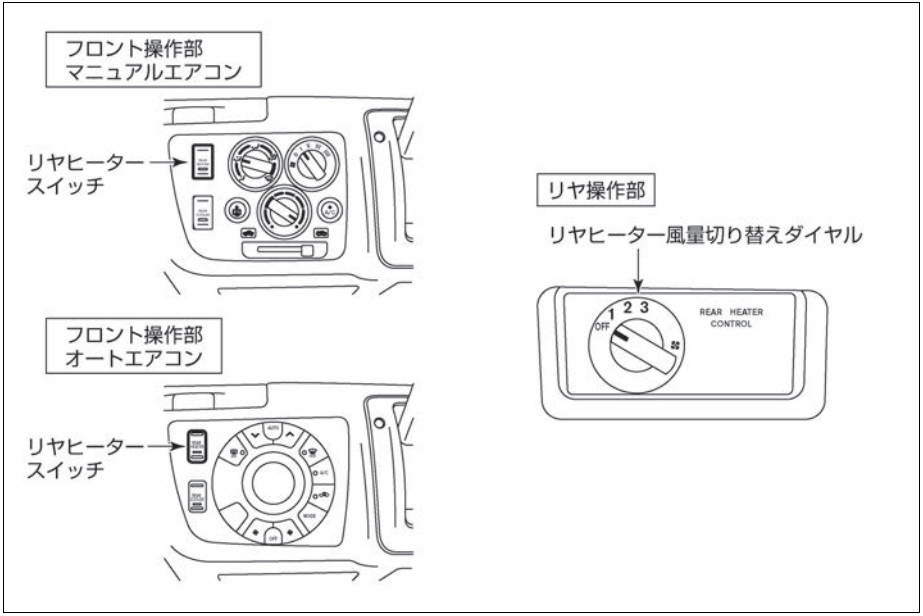
1. フロント操作部のリヤクーラースイッチの下側を押してONにします。
（スイッチの表示灯はリヤクーラー作動時に点灯）
2. リヤクーラー風量切り替えダイヤルを回して風量を調節します。
（1：風量少ない～3：風量多い）

※止めるときは、リヤクーラースイッチをOFFにするか、リヤクーラー風量切り替えダイヤルをOFFにします。

**知識**

- フロントエアコンの作動を停止させると、リヤクーラーの作動も停止します。

# リヤヒーター ★




※リヤ操作部は後席右側にあります。

## リヤヒーターの使いかた

1. フロント操作部のリヤヒースイッチの下側を押してONにします。
（スイッチの表示灯はリヤヒーター作動時に点灯）
2. リヤヒーター風量切り替えダイヤルを回して風量を調節します。
（1：風量少ない～3：風量多い）

※止めるときは、リヤヒータースイッチをOFFにするか、リヤヒーター風量切り替えダイヤルをOFFにします。

## オーディオについて

### 安全運転のために

運転中は、車外の音が聞こえる適度な音量でお聞きください。

**⚠ 警告**

- 音量が大きすぎると車外の状況が判らないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、走行中の操作は前方不注意となるおそれがあります。車を停止させてから操作してください。

### ラジオの受信について

ラジオの受信は、車両移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最適な受信状態を維持できないことがあります。

**📖 知識**

- オーディオを聞いているとき、車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

### CDを上手に使うために

●音楽用CDは、以下のマークが入っているものを使ってください。

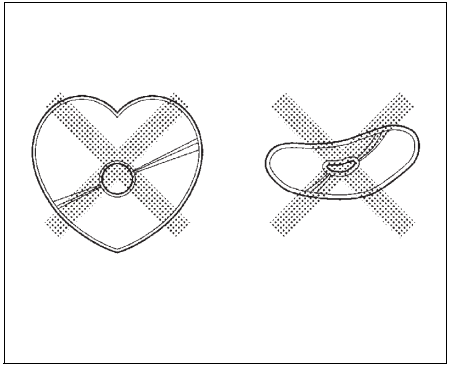



●コピーコントロールCDは規格に準拠していない特殊ディスクのため、再生できないことがあります。

●CD-R（Compact Disc Recordable）、CD-RW（Compact Disc Rewritable）は、再生できないことがあります。

●次のようなCDは、故障の原因となりますので使わないでください。

- ― ハート型や八角形などの特殊な形状のCD
- ― そったり、傷があるCD
- ― 読み取り面が汚れているCD
- ― 内外周が荒く処理されたCD
- ― 個人でシールやラベルを貼ったCD
- ― レーベル面に印刷できるCD



●寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内に露（水滴）が生じ、正常に作動しないことがあります。その場合はCDを取り出し、しばらくの間、除湿や換気をしてから使ってください。

●炎天下に長時間駐車したときなどプレーヤーの温度が高いときは、正常に作動しないことがあります。温度を下げてから使ってください。

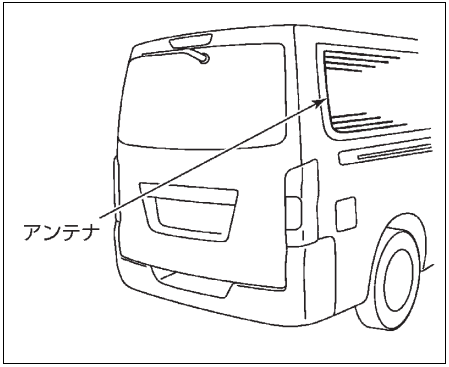
●走行中に振動が激しいと、音とびすることがあります。

●CDは専用ケースに入れ直射日光のあたる場所や高温多湿の場所を避けて保管してください。

### アンテナについて

**■ タイプA**

●アンテナ線はリヤサイドガラスの内側にあります。




### アドバイス

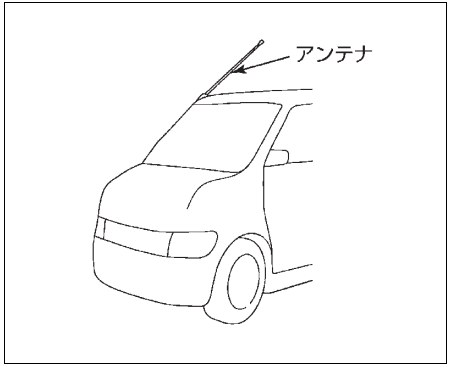
- リヤサイドガラスにミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- リヤサイドガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線にそって軽くふいてください。

➔バックドアガラス、リヤサイドウインドーの清掃 (P.265)

- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

**■ タイプB**

●アンテナはフロントピラーにあります。ラジオを聞くときはいっぱいに伸ばしてください。

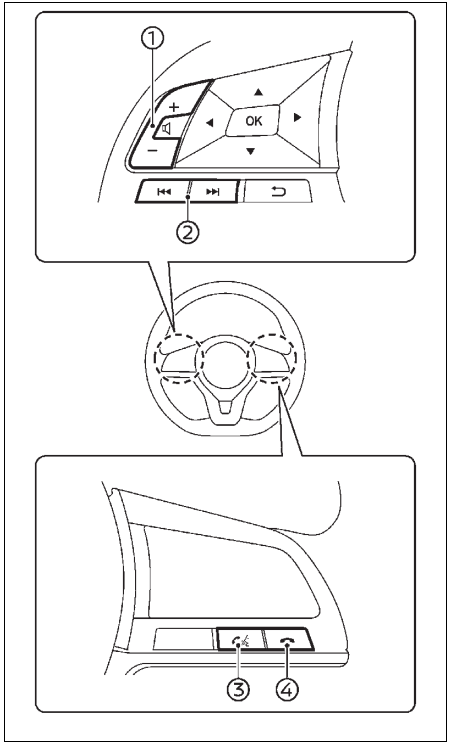



### アドバイス

- アンテナが伸びていないと、ノイズ（雑音）が入ったり感度が悪くなります。
- 次のような場合には、必ずアンテナを格納してください。破損するおそれがあります。
  - ― 自動洗車機を使うとき。
  - ― ボディカバーをかけるとき。
  - ― 降雪時に長時間駐車するとき。

## ステアリングスイッチ★

日産オリジナルナビゲーションシステムを操作することができます。




① **音量調節スイッチ**
音量を調節できます。

② **選曲／選局スイッチ**
曲や放送局などの切り替えができます。

③ **通話開始スイッチ**
着信中に押すと電話を受けます。

④ **通話終了スイッチ**
通話中に押すと電話を切ります。

※車両型式、オプションなどにより、使用できないスイッチもあります。

📖 知識

- 取り扱いについては、日産オリジナルナビゲーションシステム用取扱説明書（別冊）も合わせてお読みください。
- 日産純正品以外のナビゲーションシステムでは作動の保証はいたしません。

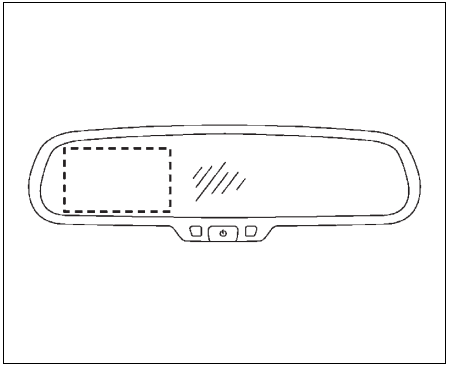
# バックビューモニター ★

## バックビューモニターについて

●バックビューモニターはディスプレイ付自動防眩式ルームミラーに表示されます。

●キースイッチがONのとき、セレクトレバーをRに入れると作動します。車の後方の状況を確認しながら後退させることができます。

●バックビューモニターを表示中にセレクトレバーをRから他の位置にすると、バックビューモニターがOFFになります。

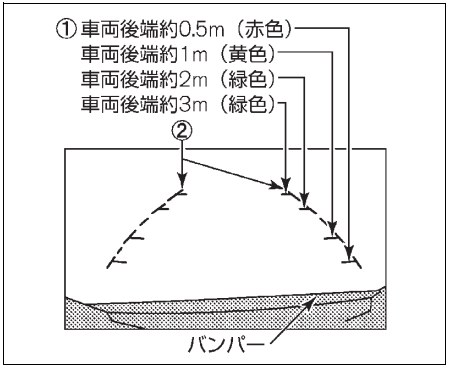


**⚠ 警告**

● バックビューモニターの機能を過信しないでください。バックビューモニターは、後退操作を補助するシステムです。後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら運転してください。

● 実際の距離感を間違えないように注意してください。バックビューモニターの映像はレンズの特性により、画面に映る人や障害物の感覚が実際の位置や距離と異なります。

## 各表示線について




①距離目安ライン

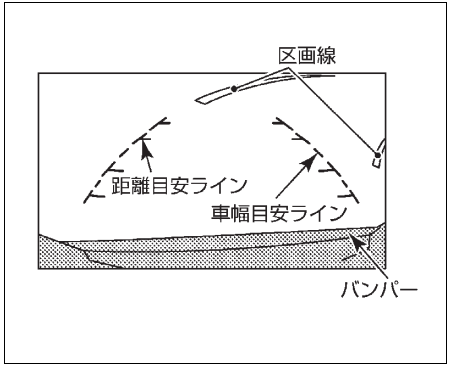
● 車両後方の距離の目安を示します。

②車幅目安ライン

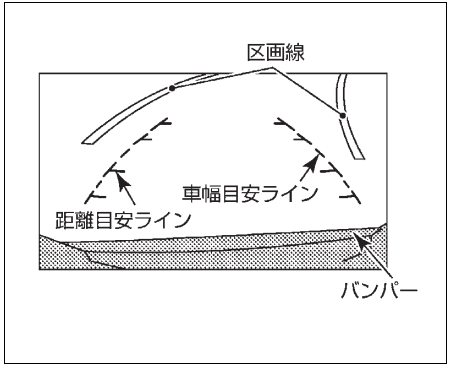
● 後退したときの車幅の目安を示します。

## バックビューの見かた

1. セレクトレバーをRにして、駐車スペースに入るようにゆっくりと後退します。
2. 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅目安ラインと駐車スペースの左右の区画線が平行になるようにハンドルを操作します。




3. 車幅目安ラインと駐車スペースの区画線が平行になったらハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、ゆっくりと後退します。



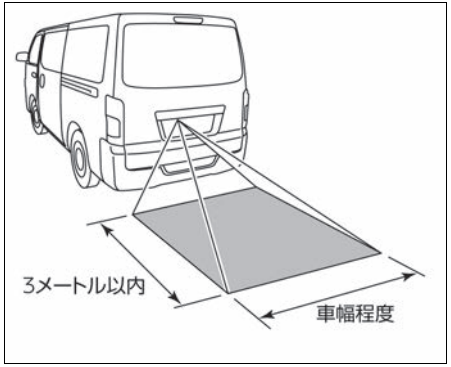
知識

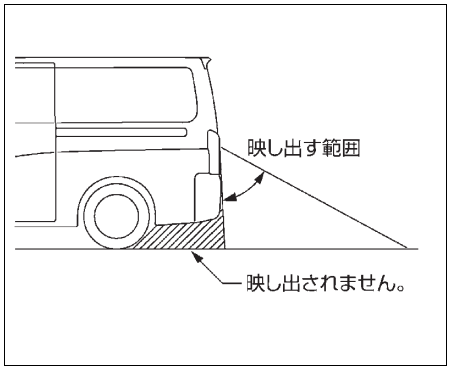
- 画面では車幅目安ラインと駐車スペースの区画線が平行に見えても、実際には平行ではない場合があります。
- 前記と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドルの操作も左右逆になります。

## バックビューモニターの注意事項

### 映し出す範囲

●バンパー後端から車の後方を映します。




注意

- バックビューモニターだけを見ながら後退しないでください。

  絶対に画面の映像だけを見ながら後退しないでください。映像と実際の状況は異なることがあるため、車をぶつけたり、思わぬ事故をおこすおそれがあります。後退するときは、後方や周囲の安全を目視やミラーなどで直接確認してください。

アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲が異なることがあります。
- バックビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた鏡像です。

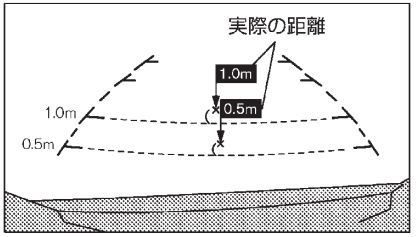
- 画面に表示される距離目安ライン、車幅目安ラインはあくまでも目安です。また、車両の乗車人数、車両姿勢などによって距離目安ライン、車幅目安ラインの位置がずれます。実際のまわりの状況を直接目で確認してご使用ください。

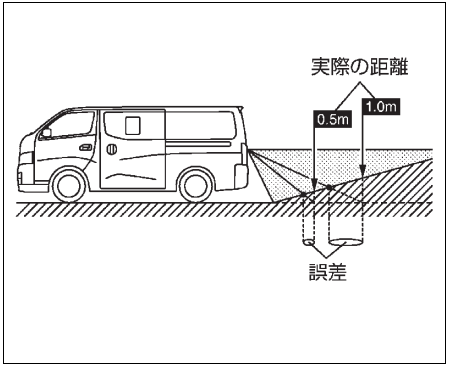
### 映像と実際の路面との誤差

●次のような場合には、画面の映像と実際の路面状況（距離や進路など）に誤差が生じます。

■ 急な上り坂が後方にあるとき

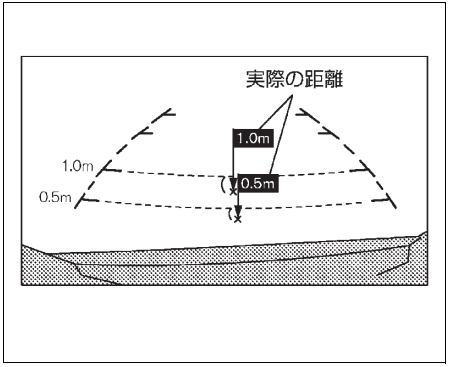
●後方に上り坂がある場合、距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。上り坂に障害物がある場合には障害物が実際よりも遠くにあるように見えます。

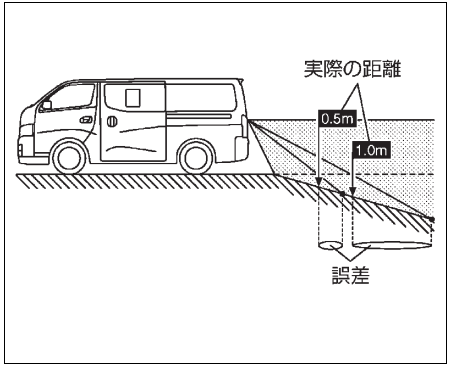





### ■ 急な下り坂が後方にあるとき

●後方に下り坂がある場合、距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。下り坂に障害物がある場合には、障害物が実際よりも近くにあるように感じます。



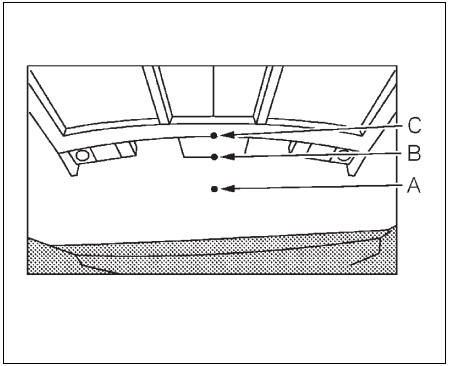



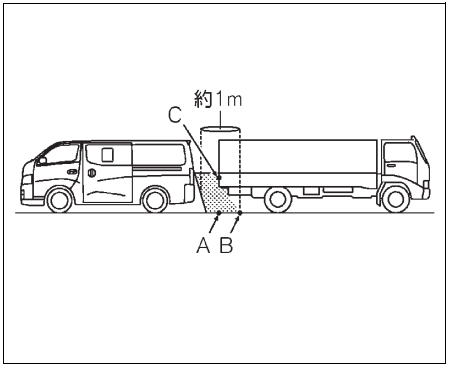

### ■ 立体物が近くにあるとき

●距離目安ライン、車幅目安ラインは平面物（道路など）を対象にしています。そのため、張り出し部分のある立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。

**例**

Cの位置はBの位置よりも遠くにあるように見えますが、実際はAの位置と同じ距離です。Aの距離まで下がるとぶつかることがあります。

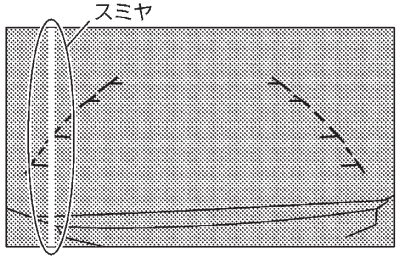


## 故障かなと考える前に

| 故障かな？ | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| 映像の映りが悪い | カメラレンズが汚れていませんか？ | カメラレンズを清掃してください。カメラレンズのお手入れ（➔P.264） |
| | カメラレンズに雨、雪などの水滴が付着していませんか？ | |
| | 太陽光や他車のヘッドランプの光が直接カメラレンズ面に当たっているためで故障ではありません。当たっている光がなくなれば元に戻ります。 | |
| | 温度の急な変化によってカメラレンズ部が結露したためで故障ではありません。しばらく走行すると元に戻ります。 | |
| | 暗いところや夜間時には映りが悪くなることがありますが故障ではありません。 | |
| 映像にちらつきが出る | 蛍光灯などの照明の下にいるためで故障ではありません。 | |
| 実際の色味と異なる | カメラの特性のためで故障ではありません。 | |
| 映像が映らない | セレクトレバーがRになっていますか？ | セレクトレバーをRにしてください。 |
| 映像が正しい方向を向いていない | バックドアが開いていませんか？ | バックドアを閉めてください。 |
| 映像が見づらい | カメラに強い光や反射光が入ったためで故障ではありません。 | |
| 映像にスミヤ（※）が入る | バンパーなどから強い反射光が入ったためで故障ではありません。 | |

※スミヤ：方向指示器の強い光が上下方向に光の帯のように出たもの。




## カメラ映像が正常に表示されない場合

セレクトレバーをRに入れ、バックビューモニターを作動させた状態でも次のような画面表示が続く場合は、カメラシステムの異常が考えられます。通常走行には支障ありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

**カメラECUが作動しない場合**

- バックビューモニター画面がカメラ画面に切り替わらず、ミラー表示し続けているとき

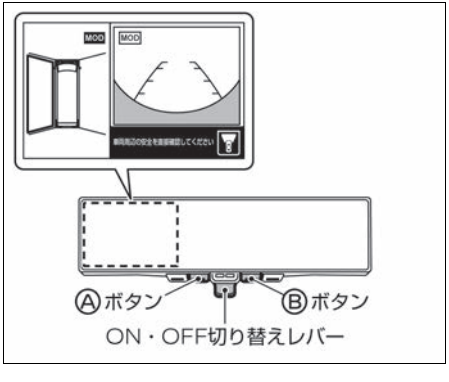
**カメラが作動しない／カメラの故障／カメラECUの故障などにより映像に異常がある場合**

- バックビューモニター画面が黒色／青色／灰色など、異常なカメラ映像が表示されるとき

# インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

インテリジェント アラウンドビューモニターは、自車位置を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

- インテリジェント アラウンドビューモニターはインテリジェント ルームミラーに表示されます。
- キースイッチ（電源ポジション）がONのときに、インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引き、Ⓐボタンを押すか、セレクトレバーを**R**にすると表示します。

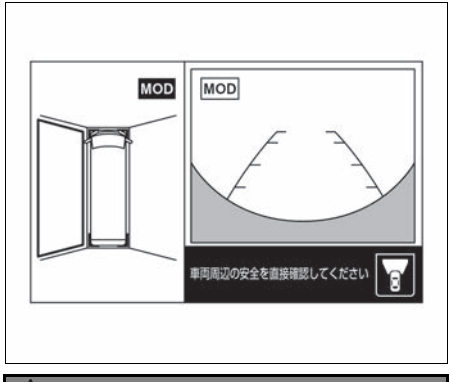



**⚠ 警告**

- インテリジェント アラウンドビューモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リヤビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。
- インテリジェント アラウンドビューモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

## インテリジェント アラウンドビューモニターの使いかた

- セレクトレバーを**R**にするとインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）を表示します。セレクトレバーを**R**から他の位置にすると、インテリジェント アラウンドビューモニターがOFFになります。
- セレクトレバーが**D**またはマニュアルモードのときに、ソナーが障害物を検知したときはインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。障害物の検知がなくなると、インテリジェント アラウンドビューモニターはOFFになります。
- インテリジェント ルームミラーがインテリジェント ルームミラーモードのとき、Ⓐボタンを押すとインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、サイドブラインドビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。
- インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、インテリジェント アラウンドビューモニターがOFFになります。




**⚠ 警告**

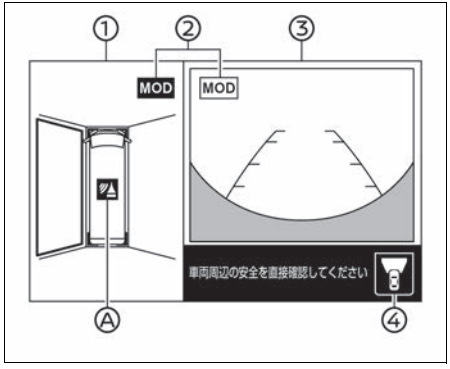
- ドアミラーを格納した状態では使用しないでください。適切な範囲を映すことができません。また使用するときは、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。

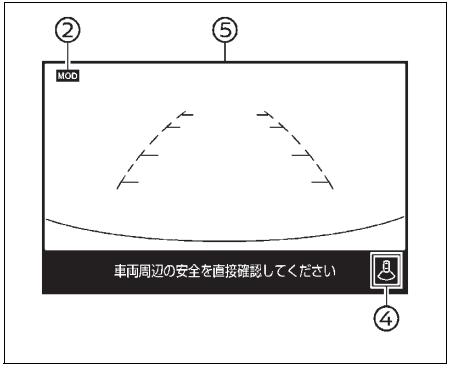
# インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

## 知識

- セレクトレバーがRのとき、Ⓑボタンを押すことで左側画面を切り替えることができます。
  - ― トップビュー（左側画面）/リヤビュー（右側画面）→サイドブラインドビュー（左側画面）/リヤビュー（右側画面）→リヤビュー（全画面）
- セレクトレバーがR以外のとき、Ⓐボタンを押してインテリジェント アラウンドビューモニターが表示されているときにⒷボタンを押すことで左側画面を切り替えることができます。
  - ― サイドブラインドビュー（左側画面）/フロントビュー（右側画面）→トップビュー（左側画面）/フロントビュー（右側画面）→インテリジェント アラウンドビューモニターOFF
- 右側画面にフロントビューが表示されているときにセレクトレバーをRにすると、リヤビューに切り替わります。セレクトレバーをRから他の位置にすると、再度、フロントビューに切り替わります。
- 3分タイマー機能
  - ― Ⓐボタンを押してから約3分後にインテリジェント アラウンドビューモニター表示が消える機能です。セレクトレバーがR以外のときに作動します。（ただし、タイマー作動中にⒷボタンを押したり、ソナーまたは移動物 検知機能が作動したりするとタイマーがリセットされます。）

## 画面の見かた




①左側画面

- トップビュー、またはサイドブラインドビューを表示します。

②移動物 検知機能（P.235）作動状態アイコン

- 移動物 検知機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。

MOD ：移動物 検知機能が作動します

MOD ：移動物 検知機能が作動しません

③右側画面

- セレクトレバーがRのときはリヤビューを、R以外のときはフロントビューを表示します。

④方向指示アイコン

- 右側画面の映している方向を表します。
  - ：リヤビュー表示
  - ：フロントビュー表示

⑤全画面表示リヤビュー画面

●車両の後方の映像を画面幅いっぱいに表示します。

**知識**

- キースイッチ（電源ポジション）をONにしてから初めてインテリジェント アラウンドビューモニターを表示したときに、アイコンⒶの色と点滅（約3秒間）で、ソナーの作動状況を表します。
  - ― 赤色に点滅：ソナーON
  - ― 灰色に点滅：ソナーOFF（ソナーをOFFにした直後も点滅します。）

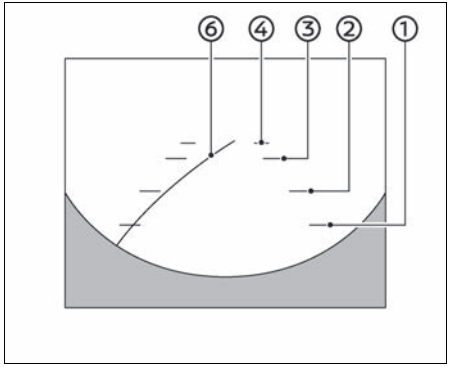
➔ 10.ソナー表示★ (P.122)

- 表示しているビューで映している範囲のみ移動物 検知機能が作動します。例えば、リヤビューで移動物 検知機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

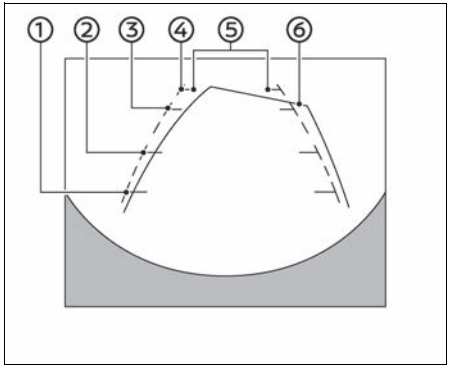
## 画面表示の種類

### フロントビュー／リヤビュー

車両の前方／後方の映像をインテリジェント アラウンドビューモニター右側画面に表示します。




フロントビュー




リヤビュー

**距離目安ライン：**

●車体からの距離の目安を示します。

- ― ①赤色：約0.5 m
- ― ②黄色：約1 m
- ― ③緑色：約2 m
- ― ④緑色：約3 m

**⑤車幅目安ライン：**

●後退時の車幅の目安を示します。

**⑥予想進路線：**

●運転操作時に予想進路を示します。予想進路線は、ハンドルを切ったときに表示されます。予想進路線はハンドルを切った角度に応じて移動し、ハンドルを中立位置にすると表示されなくなります。

●フロントビューは、車速が10km/hを超えると表示されなくなります。

**警告**

- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

**アドバイス**

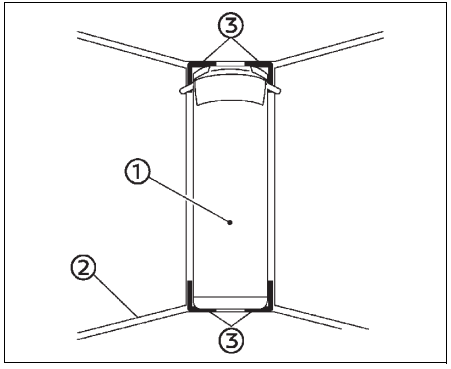
- フロントビューが表示されているときに、中立位置から約90度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約90度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。
- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた映像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。

# インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

**アドバイス**

- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少右にずれて見えます。

## トップビュー



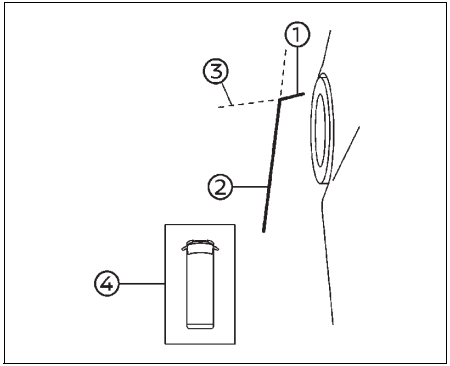

①自車／②トップビュー境目／③コーナー部分

- 自車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像をインテリジェント アラウンドビューモニター左側画面に表示します。
- 車両アイコン①は、自車位置を示しています。トップビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- カメラで撮影できない領域トップビュー境目②は、黒色で表示されます。
- キースイッチ（電源ポジション）をONにし、初めてトップビューを表示すると、トップビュー境目②と撮影されないコーナー部分③は、約4秒間黄色で強調表示されます。ソナーがOFFのとき、撮影されないコーナー部分③は赤色で表示されます。

**⚠ 警告**

- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせて処理した疑似的な映像のため、トップビューは、障害物を実際より遠く映します。
- 囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されないことがあります。
- カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。

## サイドブラインドビュー




①前端目安ライン／②側方目安ライン／③前端目安ラインと側方目安ラインの延長線／④ソナー表示

- 車両の左側前輪付近から前方を、インテリジェント アラウンドビューモニター左側画面に表示します。道路端への幅寄せ駐車などに便利 です。

**目安ライン**

- モニターには車幅と車両の前端を示す目安ラインが表示されます。
  - ①前端目安ラインは、車両前部の位置の目安を示します。
  - ②側方目安ラインは、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
  - ③前端目安ラインと側方目安ラインの延長線は、緑色の破線で表示します。

**ソナー表示**

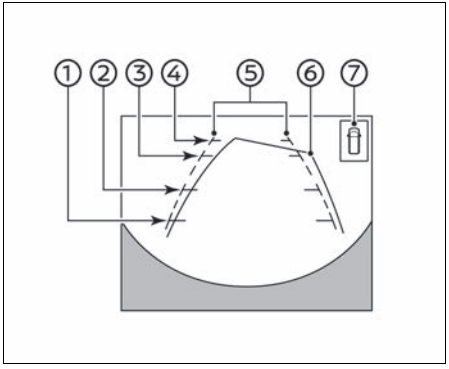
- ④ソナー表示は、ソナーが障害物を検知すると、表示されます。

**アドバイス**

- 方向指示器の光が側方目安ラインと重なる場合がありますが、異常ではありません。

## リヤビュー（全画面表示）

●車両の後方の映像を画面幅いっぱいに表示します。




**距離目安ライン**

●車体からの距離の目安を表示します。

- ①赤色：約0.5m
- ②黄色：約1m
- ③緑色：約2m
- ④緑色：約3m

**⑤車幅目安ライン**

●車幅の目安を示します。

**⑥予想進路線**

●運転操作時に予想進路を示します。予想進路線は、ハンドルを切ったときに表示されます。予想進路線はハンドルを切った角度に応じて移動し、ハンドルを中立位置にすると表示されなくなります。

**⑦ソナー表示**

●ソナーが障害物を検知すると表示します。

**警告**

- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

**アドバイス**

- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた映像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少右にずれて見えます。

## 移動物 検知機能

車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物を運転者にお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。

**注意**

- 車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。

●車両周辺に移動物があるときに、音と黄枠を表示してお知らせします。

●トップビューに MOD 表示がある場合には移動物を検知したエリア（前後左右）に黄枠を表示します。

●移動物 検知機能は以下の条件のとき、MOD が表示されている画面で作動します。

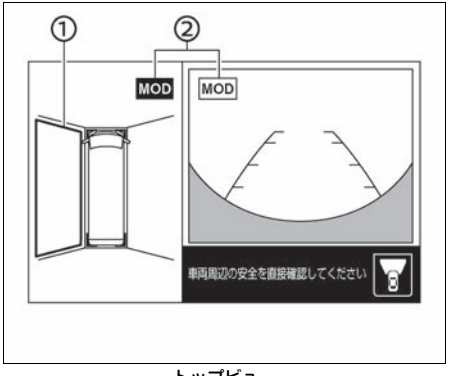
- セレクトレバーがPまたはNで車両が停車しているときに、トップビュー側で作動します。
- セレクトレバーがDで車速約8km/h以下のときに、フロントビューで作動します。
- セレクトレバーがRで車速約8km/h以下のときに、リヤビューで作動します。

**知識**

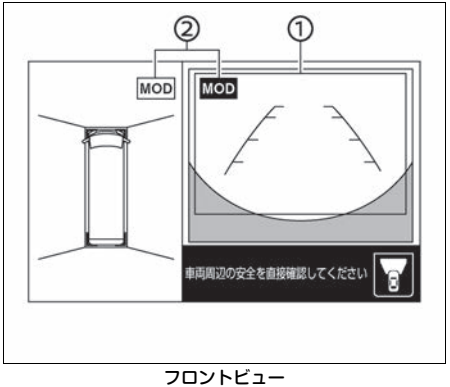
- ソナーブザーが鳴っている場合は移動物 検知機能ブザーは鳴りません。
- サイドブラインドビューには移動物検知機能がないので、MOD アイコンを表示しません。

# インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

## 画面の見かた




トップビュー




フロントビュー

①移動物 検知表示

移動物 検知機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。

②移動物 検知機能作動状態アイコン

移動物 検知機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。

MOD ：移動物 検知機能が作動します

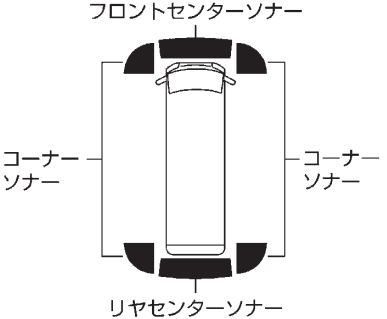
MOD ：移動物 検知機能が作動しません

### 知識

- 以下の場合には移動物 検知機能は作動しません。
  - 車速やセレクトレバーの位置が移動物 検知機能の作動条件から外れている場合
  - トップビューによる移動物 検知機能作動中でいずれかのドアが開いている場合
  - リヤビューによる移動物 検知機能作動中でバックドアが開いている場合
- トップビューによる移動物 検知機能作動中で電動格納ミラーが作動している場合、誤検知する場合があります。
- 移動物 検知機能のON・OFFを切り替えることができます。
  - インテリジェント ルームミラーのⒷボタンを約3秒間押します。
    ➔インテリジェント ルームミラーの使いかた (P.73)
  - 移動物 検知機能をOFFにした場合、MOD 、MOD アイコンが消えます。
  - 設定は、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしても維持されます。

## ソナー機能について

- インテリジェント ルームミラーがインテリジェント ルームミラーモードのとき、車速約10km/h以下で走行中にソナーが障害物を検知した場合は、インテリジェント アラウンドビューモニター画面に切り替わり、ソナー表示とブザーでお知らせします。
- ソナー表示はトップビュー、サイドブラインドビューまたはリヤビュー（全画面表示）画面に表示されます。
- 障害物を検知してから、ソナー表示とブザーが出るまでに多少時間がかかります。



# インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

**⚠ 警告**

- バンパーに凹みなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。
- 純正以外の部品を取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。

**⚠ 注意**

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはソナーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、ソナーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。
- 次のような障害物には作動しません。
  - 背の低い障害物
  - 幅の狭い障害物
  - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
  - ソナーに非常に近い障害物
  - 急に進行方向に現れた障害物
- 次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
  - 地面から高い位置に存在する障害物
  - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。
  - 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
  - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
  - 周囲に草が生い茂っているとき
  - 車両側面の近くに壁があるとき
  - 路面上に段差や突起物があるとき
  - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
  - 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
  - 周囲で大きな音が鳴っているとき
  - 車両感応センサーやホーン、他車のソナー、オートバイの排気音など超音波を発生するものが付近に存在するとき
  - 炎天下や寒冷時
  - 表面が一様でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸に形状を成している場合）
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- ソナー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があってもソナーが検知しないことがあります。

  （氷が解ければ、正常に復帰します）
- ソナーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリーなどを取り付けないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

■ コーナーソナー

| 障害物までの距離(目安) | 60～50cm | 50～30cm | 30cm以下 |
|---|---|---|---|
| 表示色 | 緑 | 黄 | 赤 |
| 表示点滅速度 | 遅い | 早い | 点灯 |
| ブザー音 | ピッ、ピッ、ピッ… | ピピピピピ… | ピー |

■ フロントセンターソナー

| 障害物までの距離(目安) | 100～60cm | 60～50cm | 50～30cm | 30cm以下 |
|---|---|---|---|---|
| 表示色 | 緑 | 緑 | 黄 | 赤 |
| 表示点滅速度 | 遅い | 遅い | 早い | 点灯 |
| ブザー音 | 無し | ピッ、ピッ、ピッ… | ピピピピピ… | ピー |

# インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

## ■ リヤセンターソナー

| 障害物までの距離(目安) | 150～50cm | 50～30cm | 30cm以下 |
|---|---|---|---|
| 表示色 | 緑 | 黄 | 赤 |
| 表示点滅速度 | 遅い | 早い | 点灯 |
| ブザー音 | ピッ、ピッ、ピッ… | ピピピピピ… | ピー |

## ■ ソナー表示色

●ソナー表示の色は、障害物に近づくに従って、緑、黄、赤と変化します。ソナーの表示の色と距離目安線とでは障害物までの距離は異なります。

## ■ ブザー音

●障害物との距離が近づくに従って、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。

●障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。

●フロントソナーが検知したときは低音、リヤソナーが検知したときは高音でお知らせします。

●車速約10km/h以下で走行中にコーナーソナーが検知したときは、障害物との距離が3秒間変わらない場合は断続音は消え、ソナー表示のみとなります。

## ■ ソナー機能OFF

●アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」⇒「ソナー」を選択すると、各ソナー機能のON・OFFを設定できます。

## ■ ソナーによるカメラ画面の自動表示機能

●セレクトレバーがDまたはマニュアルモードで走行中（車速約10km/h以下）でカメラが表示されていない場合に、車両前方の障害物を検知した場合はインテリジェント アラウンドビューモニター画面を自動で表示します。

●障害物がなくなると、自動的にインテリジェント アラウンドビューモニターはOFFになります。

## ■ ソナーシステムの作動が停止するとき

●システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
ソナーシステム異常警告（➔P.104）

## 作動に関する注意事項

**⚠ 警告**

- カメラはフロントグリル中央付近、ドアミラー、リヤナンバープレート上部に装着されています。作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けないでください。字光式ナンバープレートを装着すると、リヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- 距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- 目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。
- サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。
- 上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。

# インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

**⚠ 警告**

- フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。

**アドバイス**

- カメラに汚れ、雨、雪が付着すると、映像の映りが悪くなることがあります。カメラを清掃してください。

  ➔ソナー、カメラの取り扱い (P.199)

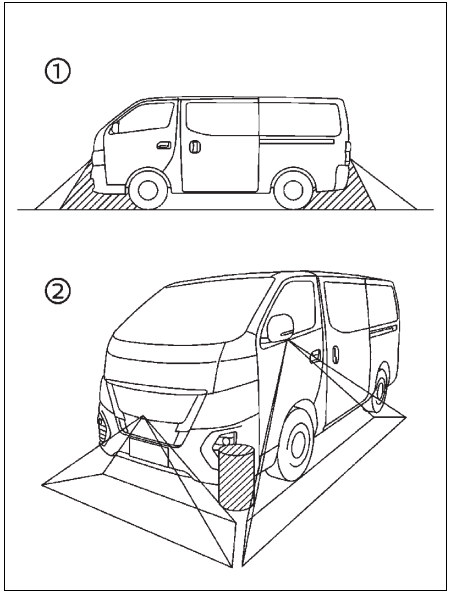
- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて含ませた布でふき取ったあと、乾いた布でふいてください。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。
- カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスをふき取ってください。

**知識**

- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えることがあります。車幅目安ラインと予想進路線は、実際の車幅と進路よりも広くなっています。
- セレクトレバーがR以外のとき、Ⓐボタンを押してインテリジェント アラウンドビューモニターを表示させたあと、ソナーまたは移動物 検知機能が作動しない状態で約3分間操作を行わないでいると、インテリジェント アラウンドビューモニター表示が消えます。（3分タイマー機能）
- 画面の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。インテリジェント アラウンドビューモニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。
- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなることがありますが、異常ではありません。
- カメラに直接強い光をあてると、映像の映りが悪くなることがありますが、異常ではありません。
- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出ることがありますが、異常ではありません。
- インテリジェント アラウンドビューモニター映像の色味は、実際とはわずかに異なって見えることがあります。
- 暗いところや夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見えることがありますが、異常ではありません。
- トップビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じることがあります。
- トップビューの画像は、4つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、次のように表示される場合があります。
  - 立体物が倒れこんで見える
  - 路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
  - 高さのあるものが画像の継ぎ目でずれて表示される
  - 各カメラ画像の明るさが違う

## 映し出す範囲

- 特定の領域は、カメラに映し出されません。フロントビュー、またはリヤビューでは、バンパー下側、または地上面の部分は表示されないことがあります①。トップビューでは、カメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります②。

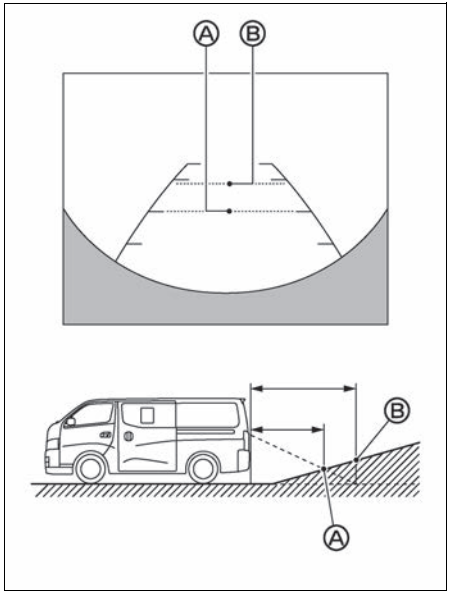



## 映像と実際の路面との誤差

● フロントビューとリヤビューに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

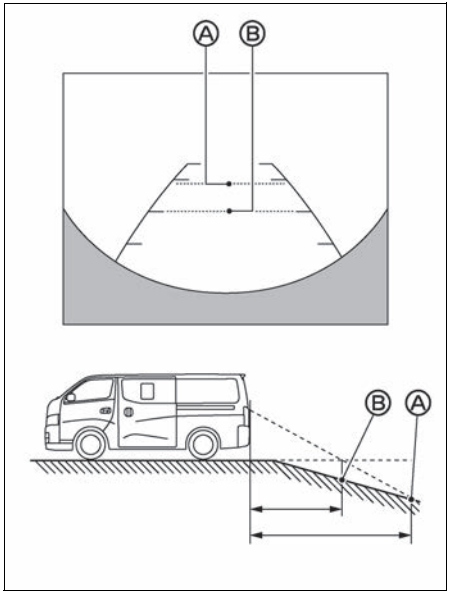
**急な上り坂が後方にあるとき**

● 距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。例えば、位置Ⓐまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Ⓑです。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。




**急な下り坂が後方にあるとき**

● 距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。例えば、位置Ⓐまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Ⓑです。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くにあるように見えます。



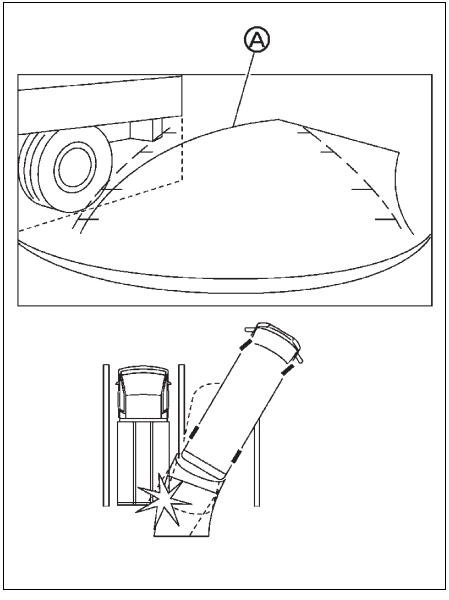
# インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

**立体物が近くにあるとき**

●立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。

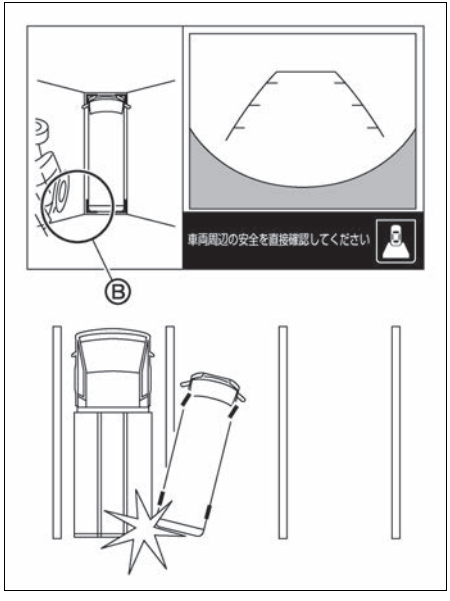
例）1

●予想進路線Ⓐは表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。



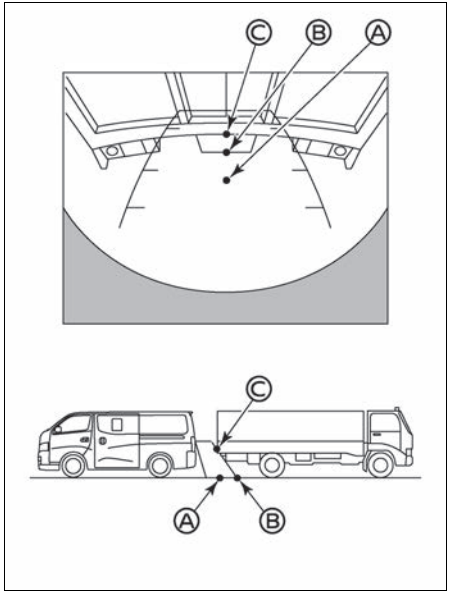

例）2

●表示されているトップビューⒷでは、自車とトラックの車体間にはわずかな距離があるように見えます。しかし、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。




**立体物に接近するとき**

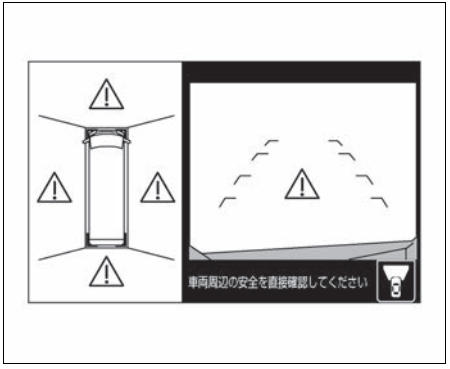
●Ⓒの位置はⒷの位置よりも遠くにあるように見えますが、実際はⒶの位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、Ⓐの位置まで下がるとぶつかることがあります。



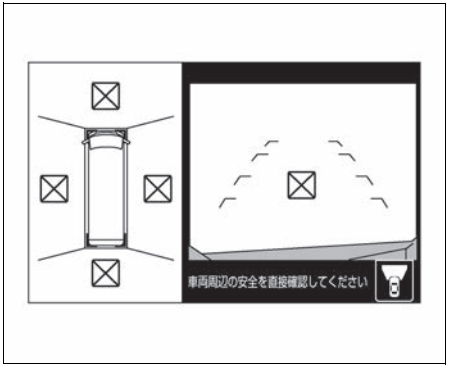

## 画面のエラー表示について

⚠ アイコンが画面内に表示された場合、または映像が画面に表示されない場合はインテリジェント アラウンドビューモニターの異常が考えられます。通常走行には支障

はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。




☒ アイコンが画面内に表示された場合は、カメラ映像が一時的に周囲の電子機器の影響を受けている可能性があります。頻繁に表示される場合は日産販売会社で点検を受けてください。




## カメラ映像が正常に表示されない場合

セレクトレバーをRに入れ、インテリジェント アラウンドビューモニターを作動させた状態でも次のような画面表示が続く場合は、カメラシステムの異常が考えられます。通常走行には支障ありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

**カメラECUが作動しない場合**

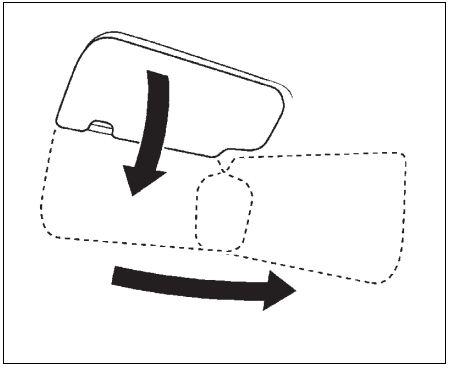
- インテリジェント アラウンドビューモニター画面がカメラ画面に切り替わらず、ミラー表示し続けているとき

**カメラが作動しない／カメラの故障／カメラECUの故障などにより映像に異常がある場合**

- インテリジェント アラウンドビューモニター画面が黒色／青色／灰色など、異常なカメラ映像が表示されるとき

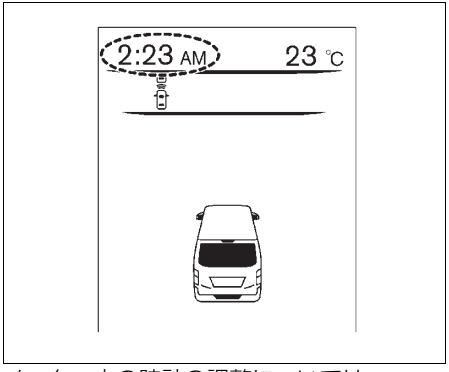
## サンバイザー

●前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
●横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。



## 時計

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、メーター内に表示します。




メーター内の時計の調整については、（➔P.111）をお読みください。

## 室内照明

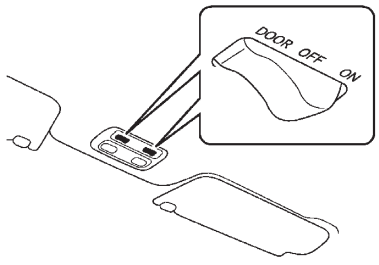
### アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。
- マップランプ★はスイッチがDOOR位置、ルームランプ★はスイッチが中立位置、ラゲッジランプ★はONの位置のとき、ドアを開けたまま約30分以上放置した場合には、バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。

## マップランプ★

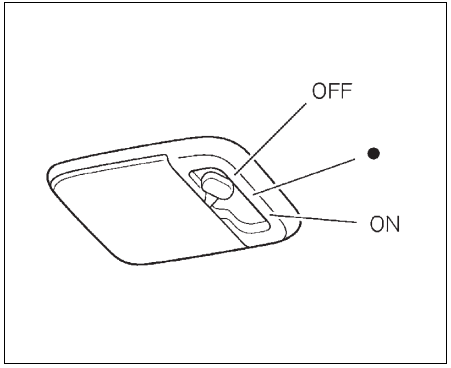
キースイッチ（電源ポジション）の位置に関係なく、次のように点灯・消灯します。

| スイッチ位置 | 点灯・消灯のしかた |
|---|---|
| ON | 常時点灯 |
| OFF（中立） | 消灯 |
| DOOR | ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。（キースイッチにキーが差し込まれていないとき、および電源ポジションがLOCKにあるとき、ドアを閉めてから約15秒間点灯後、消灯します。） |



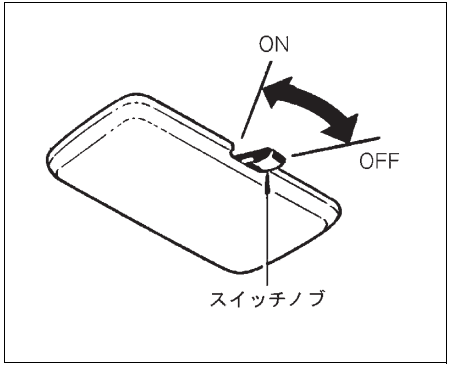
## ルームランプ★

| スイッチ位置 | 点灯・消灯のしかた |
|---|---|
| ON | 常時点灯 |
| ●（中立） | ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。（キースイッチにキーが差し込まれていないとき、および電源ポジションがLOCKにあるとき、ドアを閉めてから約15秒間点灯後、消灯します。） |
| OFF | 消灯 |




## ラゲッジランプ★

| スイッチ位置 | 点灯・消灯のしかた |
|---|---|
| ON | ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。（キースイッチにキーが差し込まれていないとき、および電源ポジションがLOCKにあるとき、ドアを閉めてから約15秒間点灯後、消灯します。） |
| OFF | 消灯 |




## キー連動室内照明システム

ドアの施錠、解錠に連動してマップランプ★、ルームランプ★、ラゲッジランプ★が点灯・消灯します。

マップランプはスイッチがDOOR位置、ルームランプはスイッチが中立位置、ラゲッジランプはON位置のとき作動します。

### ■ 乗車時

- 運転席ドアを解錠すると、ランプが約15秒間点灯後、消灯します。
- ランプ点灯中に、キースイッチ（電源ポジション）をAcc、またはONにするか、運転席ドアを施錠すると消灯します。

### ■ 降車時

- リモートコントロールエントリーシステム付車は、キーをキースイッチから抜き取ると、ランプが約15秒間点灯後、消灯します。
- インテリジェントキー付車は、電源ポジションをOFF、またはLOCKにするとランプが約15秒間点灯後、消灯します。
- ランプ点灯中に運転席ドアを施錠すると消灯します。

## カップホルダー

**⚠ 警告**

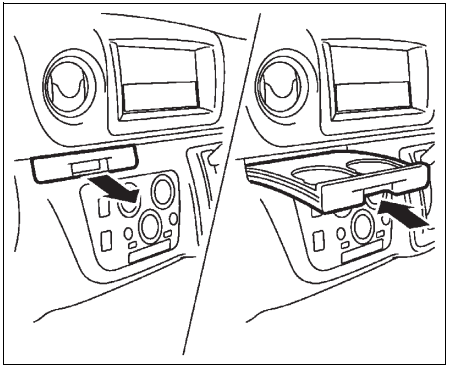
- 飲物の出し入れは、信号待ちなどの停車中に行ってください。走行中の使用は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

- 飲物の容器によっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。

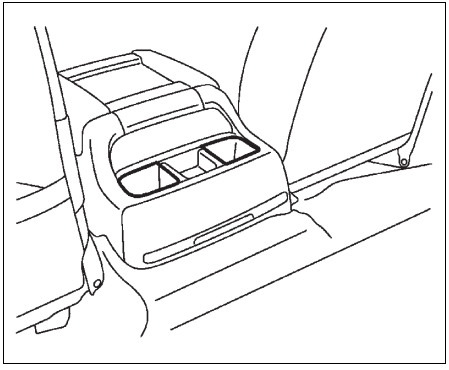
## 前席用カップホルダー

- カップホルダーを引き出します。
- カップホルダーは完全に引き出した状態で使用してください。
- 格納するときは、カップホルダーを押し戻します。

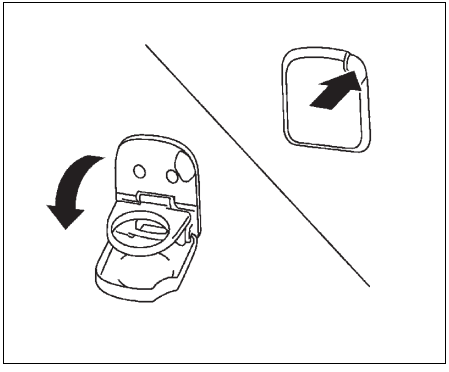


## 後席用カップホルダー★

■ マルチセンターコンソール後部



■ シート背もたれ部



## ボトルホルダー

**⚠ 警告**

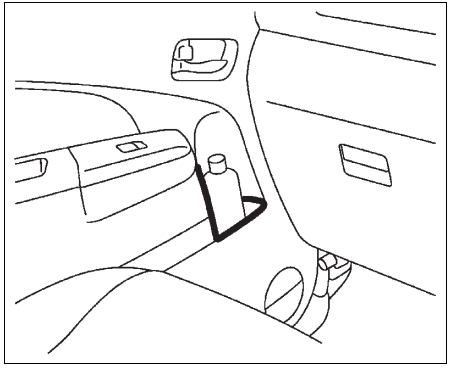
- 運転中は、信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

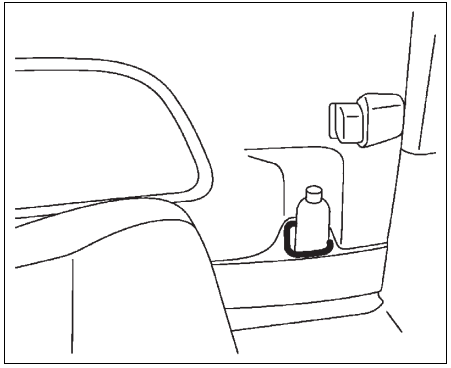
- 飲物の容器によっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。

- ペットボトルのふたを閉めてから収納してください。

## 前席ドア部

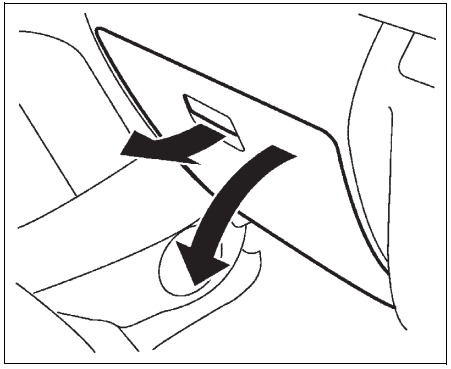


## スライドドア部★



## グローブボックス

●ノブを手前に引いて開けます。
●閉めるときは、前方へ押してロックします。



### ⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出したり、ふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。

## 電源ソケット

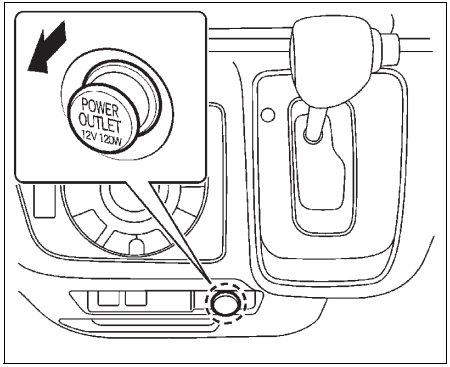
キースイッチ（電源ポジション）がAcc、またはONのとき使えます。

カーアクセサリーの電源をとるときや、市販の車載電話および携帯電話の車載キットの電源をとるときに使います。

### 📖 知識

- 容量は12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。

●キャップを引き抜いて使います。
●使わないときは、キャップをしてください。




### ⚠ 注意

- 2マタソケットなどでタコ足配線をしないでください。
- 安全のため、消費電力120W以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入して使ってください。挿入が不完全になると、異常発熱し、車両のヒューズが切れる場合があります。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源スイッチをOFFにするか、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてください。
- 使用中や使用直後はソケットや相手プラグが熱くなっていることがあるため、注意してください。

**⚠ 注意**

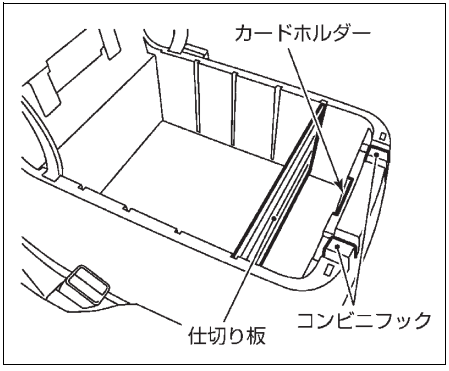
- シガーライターをソケットに差し込まないでください。
- ソケットに水などがかからないようにしてください。
- ソケットには指や金属などを入れないでください。

**アドバイス**

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけて使ってください。また、アイドリング状態で長時間使ったり、エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドーデフォッガーなどを同時に使わないでください。

## マルチセンターコンソール★

●ふたを引き上げて開けます。
●閉めるときは、ふたを押し戻します。



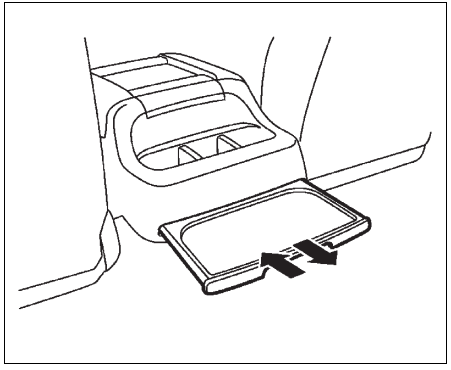

●コンソールの前部はコンビニフック（P.247）、後部にはカップホルダーがあります。また、内側にはカードホルダーと仕切り板があります。
●仕切り板は位置を変えることができます。マルチセンターコンソールの溝に差し込みます。

**⚠ 注意**

- 開けたままにしないでください。開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。

## 格納式後席用テーブル

●引き出して使います。
●使わないときは、押し戻して格納します。



**⚠ 注意**

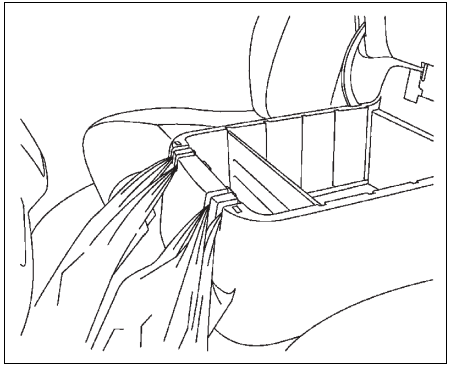
- テーブルに手をついたり、足を乗せたりしないでください。破損したりケガをするおそれがあります。

**アドバイス**

- 2kg以上のものをテーブルの上に載せないでください。テーブルが破損するおそれがあります。
- 走行中にテーブルを使用しないでください。載せているものが落下するおそれがあります。
- 物を載せたままテーブルを格納しないでください。物が挟まり、開閉できなくなるおそれがあります。

## コンビニフック★

マルチセンターコンソールの前部にあります。買い物袋などをかけるときに使います。



**⚠ 注意**

- 3kg以上のものをかけないでください。



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

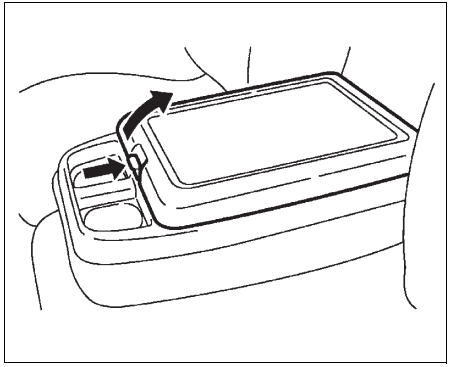
## センターシート背面コンソール（前席センターシート付車）

前席センターシートの背もたれを倒して使います。

前席センターシート★ (P.64)

●ロックノブを押し上げながらふたを開けます。

●閉めるときは、ふたを押してロックさせます。



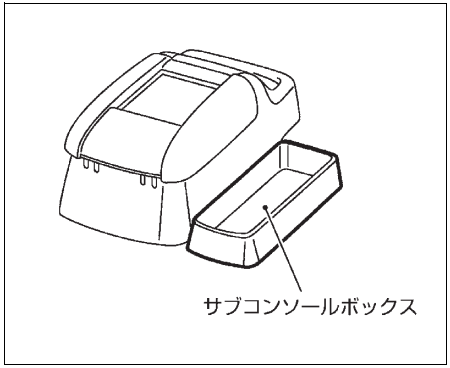
**⚠ 注意**

- 開けたままにしないでください。開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。

## サブコンソールボックス★

**⚠ 注意**

- サブコンソールボックスに飲物や転がりやすい物を置かないでください。ブレーキをかけたときに飲物や収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをするおそれがあります。




## パーテーションパイプ（バン）

●車種によりパイプの取付位置、数、形状が異なります。

**⚠ 警告**

- 2列席に人が乗るときは、パーテーションパイプをつかまないでください。パーテーションパイプは手すり用ではないため、つかまっていると悪路などで外れ、重大な傷害につながるおそれがあります。
- パーテーションパイプを取り付けるときはガタツキがないようにしっかりと固定してください。

**⚠ 注意**

- 走行中はパーテーションパイプの操作を行わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 荷物を積むときは、荷室の範囲に収まるように収納してください。パーテーションパイプの後ろ側が荷室になります。

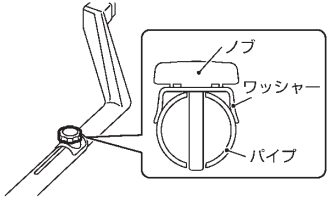
**アドバイス**

- 乗車人数を変更するための各シート操作方法については（P.66）を参照してください。
- 荷室の最前方の位置には、必ずパーテーションパイプを取り付けて使用してください。
- 取り外したまま走行すると違法改造になります。また、装着していないと車検を受けられません。

**知識**

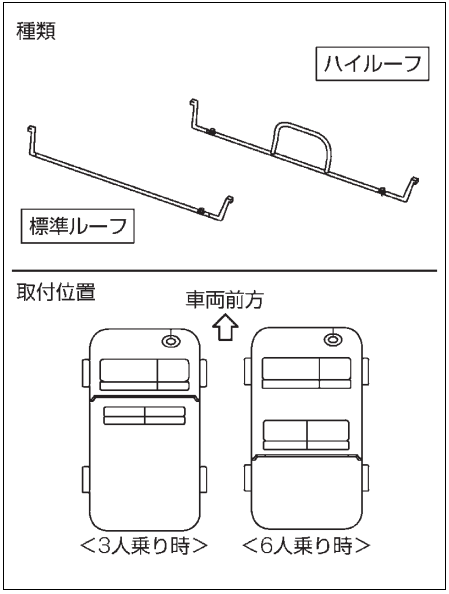
- パーテーションパイプを取り付けるときは、ワッシャーがパイプとノブの間に確実にはまっていることを確認してください。

知識



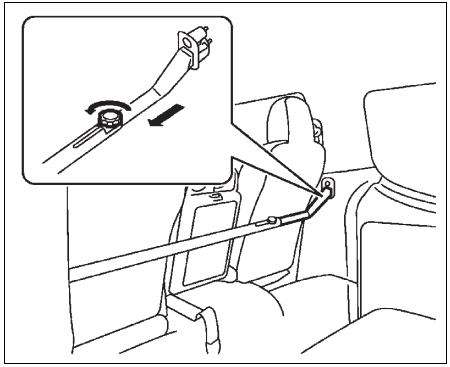

## 3、3/6人乗り

■ パーテーションパイプの種類と取付位置




■ 取り外しかた

● ノブを回して緩め、内側に引きながら外します。



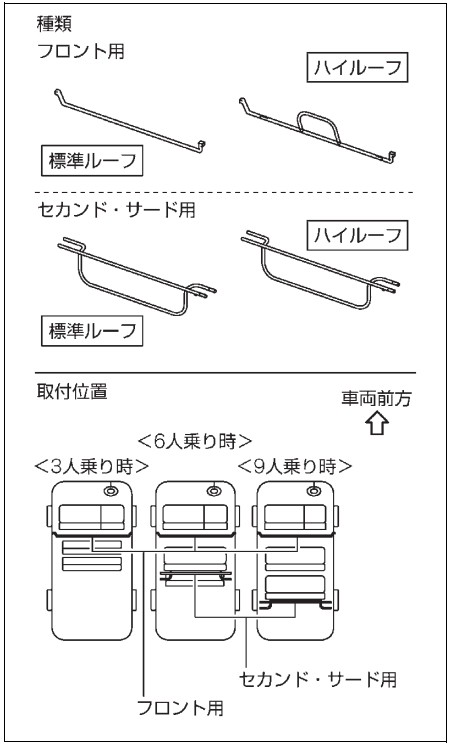
※取り付けるときは、操作した逆の手順で行います。

知識

- フロント用パーテーションパイプの向きは、パイプ部が車両取り付け部より車両前方に来るように取り付けます。
- 3/6人乗りは、2列席の前後2箇所に取付位置があります。荷室の使いかたに合わせてお使いください。

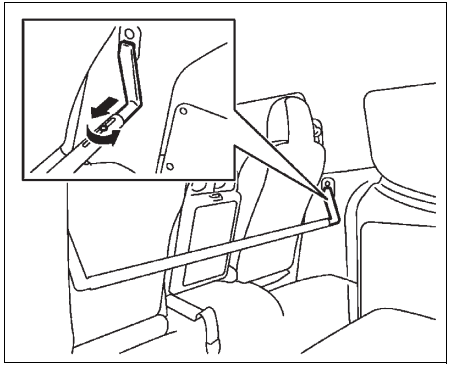
## 3/6/9人乗り

### ■ パーテーションパイプの種類と取付位置




### ■ 取り外しかた

●お手持ちの工具（トルクス）でボルトを回して緩め、内側に引きながら外します。



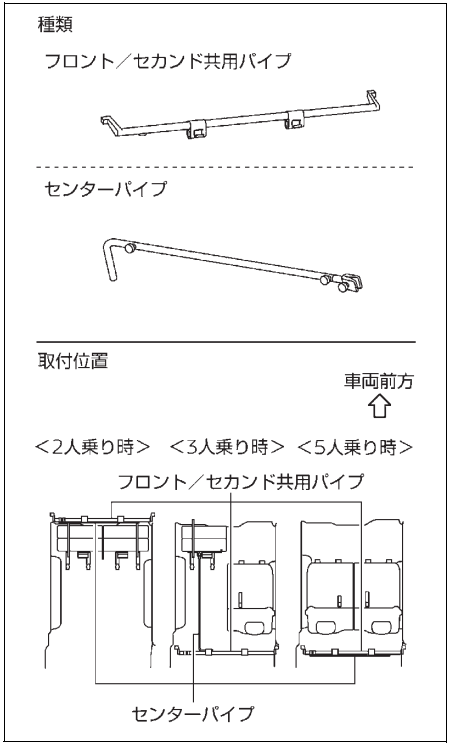
※取り付けるときは、操作した逆の手順で行います。

**知識**

- フロント用にはノブがないため、取り外すときはお手持ちの工具でボルトを緩めてください。
- フロント用パーテーションパイプの向きは、パイプ部が車両取り付け部より車両後方に来るように取り付けます。
- セカンド・サード用パーテーションパイプの向きは、ノブが助手席側に来るように取り付けます。
- 3/6/9人乗りは、3列席の前後に取付位置があります。荷室の使いかたに合わせてお使いください。

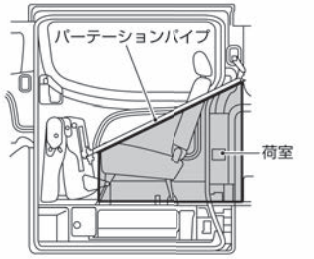
## 2/3/5人乗り

### ■ パーテーションパイプの種類と取付位置



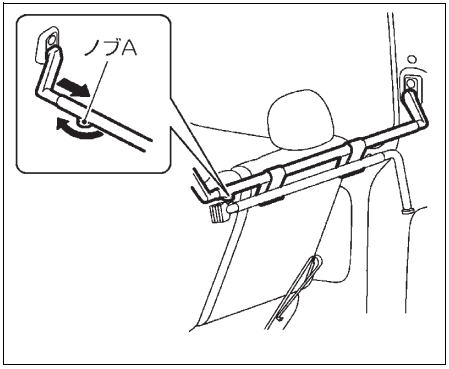
知識

- 3人乗りのときは、パーテーションパイプの下側までが荷室の範囲になります。




### ■ 取り外しかた

- ノブAを回して緩め、内側に引きながら外します。




知識

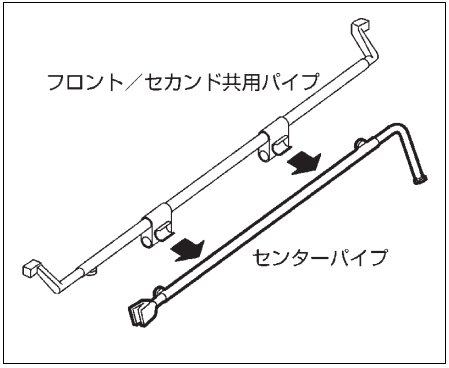
- パーテーションパイプの向きは、リクライニングを確保したい場合は車両取り付け部より車両後方、荷室を確保したい場合は車両取り付け部より車両前方に取り付けます。

### ■ 2/3/5人乗りの3人乗車時の使いかた

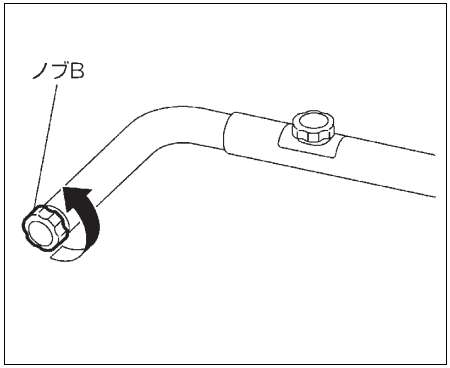
2列席の片側だけを荷室にするときは、次の手順でパーテーションパイプを取り付けます。

- イラストは、助手席側を荷室にするときの向きです。

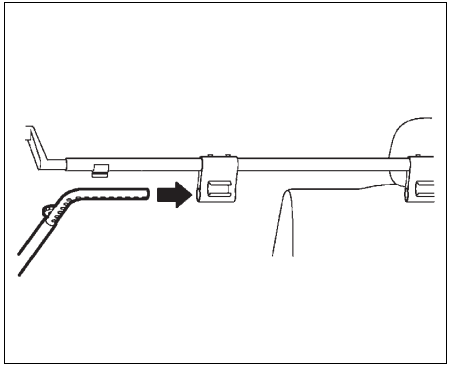
1. フロント/セカンド共用パーテーションパイプを2列席後方に取り付けます。
2. フロント/セカンド共用パーテーションパイプからセンターパイプを取り外します。




3. センターパイプの両端に付いているノブBを取り外します。



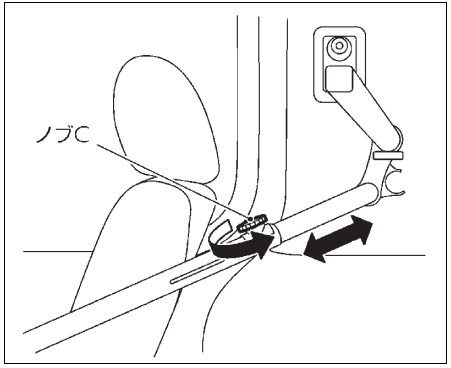

4. フロント/セカンド共用パーテーションパイプのブラケットにセンターパイプを差し込みます。



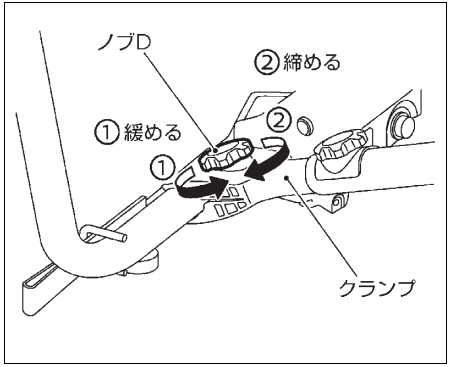
**知識**

- 片側を折りたたんで使用するときは、折りたたんだ2列席のレッグパイプにセンターパイプを取り付けます。

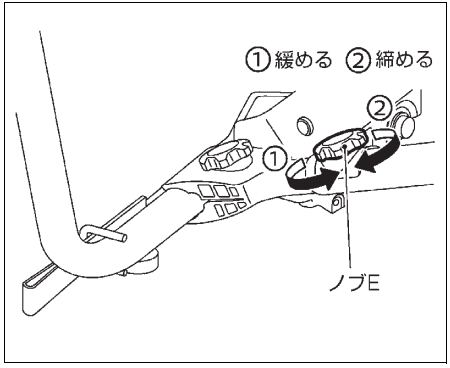
5. 手順4.で差し込んだ側のノブCを緩め、長さを調節できるようにします。



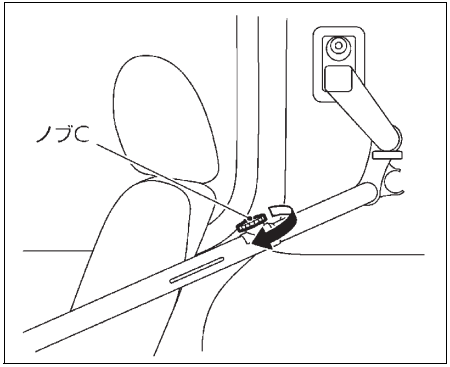

6. センターパイプのクランプ側のノブDを緩めてレッグパイプに取り付けた後、ノブDを締めて固定します。



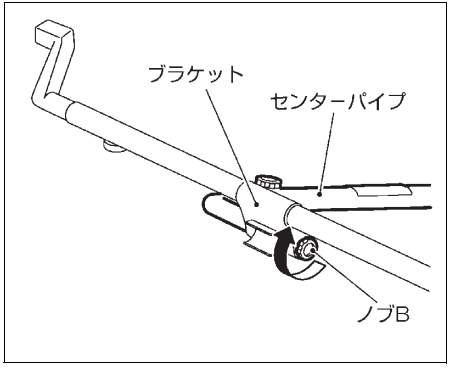

※長さが足りないときは、センターパイプのノブEを緩めて調節した後、締めて固定します。




7. 手順4.で差し込んだ側のノブCを締めてセンターパイプを固定します。



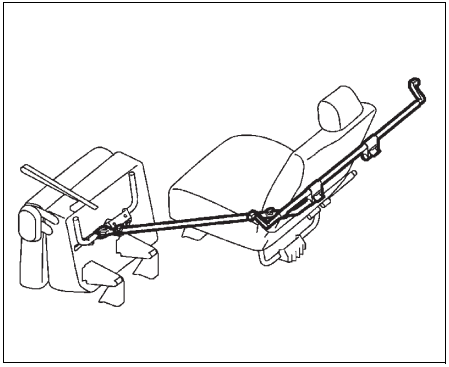

8. 手順3.で取り外したノブBを取り付けて、センターパイプをブラケットに固定します。




**注意**

- 確実に固定するため、すべてのノブを増し締めしてください。

取り付け完成図



※取り外すときは、操作した逆の手順で行います。

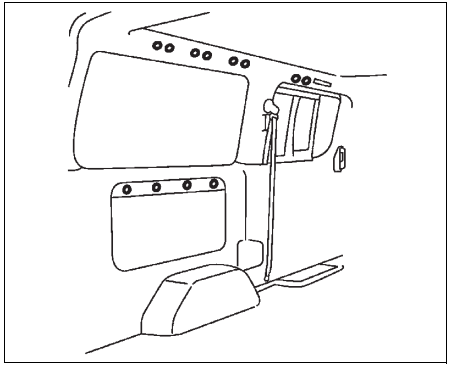
※ガタツキがある場合は、長さを調整してください。長さを調整した後は、増し締めをして確実に固定してください。

## ラゲッジユーティリティナット（バン）

市販のボルトを使用して、荷室の左右に様々な物を取り付けることができます。

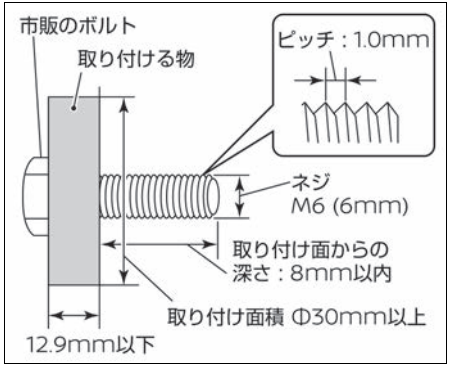
キャップ付は、キャップを外して使います。

ラゲッジユーティリティナットの取り付け位置



※車種により、ラゲッジユーティリティナットの数が異なります。

取り付けるボルトの大きさ



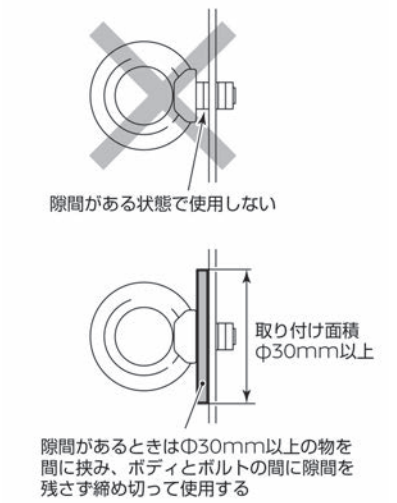

### ⚠ 注意

- 後席に乗車するときは、後席周辺のユーティリティナットに物を取り付けないでください。シートベルトが正しく着用できないおそれがあります。また、衝突したときや急旋回をしたときに、ぶつかってケガをするおそれがあります。

### アドバイス

- ボルトを使う場合、ボルト座面とボディの間にすき間を残さず締めきってください。ボディを破損するおそれがあります。
- イラストではアイボルトの取り付けを例にしていますが、その他のボルトを取り付けるときも、すき間を残さず締めきってください。

アドバイス

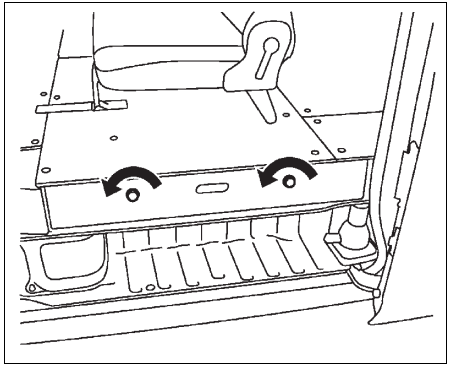



- 窓ガラスの上側には5kg以上、窓ガラスの下側には3kg以上の物を取り付けないでください。破損するおそれがあります。
- 指定されたボルト以外を使用すると、ユーティリティナットやボディを破損するおそれがあります。
- 市販の物を取り付けるときは、サイズや安全性をよく確認してから取り付けてください。
- 取り付けた物が、エンジンカバーなどの開閉を妨げないようにしてください。
- 取りつける物によっては、車検証などの記載事項の変更や構造変更検査が必要になる場合があります。取り付けにご不明な点がある場合は、日産販売会社にご相談ください。

## 床下収納スペース（平床バン）

### スライドドア部

●スライドドアを開け、取付ネジを緩めてふたを外します。

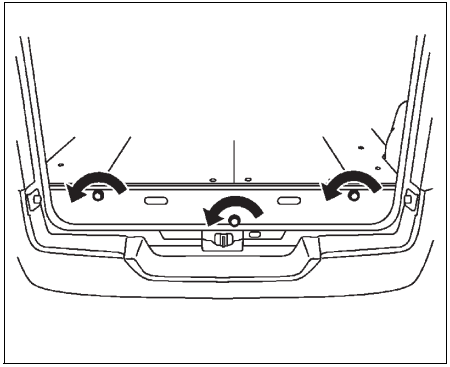


知識

- 約1.4mまでの物を収納することができます。

### バックドア部

●バックドアを開け、取付ネジを緩めてふたを外します。



知識

- ロングボディは約1.8m、スーパーロングボディは約2.2mまでの物を収納することができます。

## フロアカーペット★

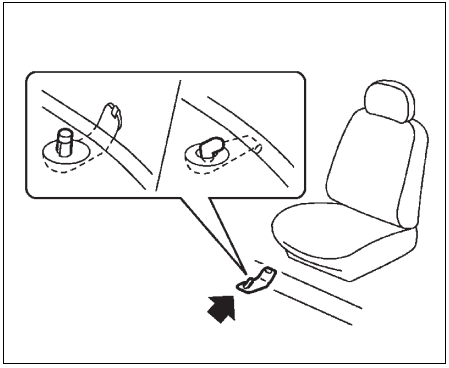
この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

### 固定のしかた

床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。

1. フロアカーペットを床の形状に合わせて敷きます。

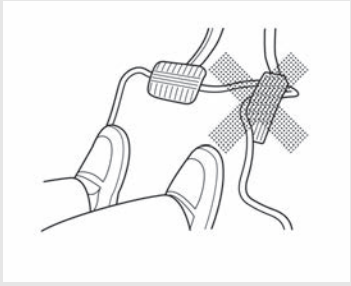
2. フロアカーペットの取付穴に固定クリップのピンを通し、確実に固定します。



※車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。

**⚠ 警告**

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



**運転席にフロアカーペットを敷くときは**

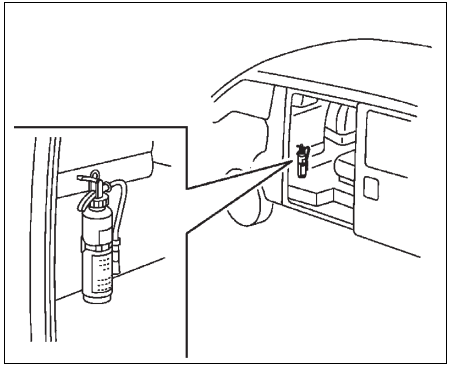
- 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
- フロアカーペットでペダルを覆わない。
- フロアカーペットを重ねて敷かない。
- フロアカーペットがずれないように固定クリップで確実に固定する。
- 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
- フロアカーペットを前後逆さまにしたり、裏返したりして使用しない。

**運転する前に**

- フロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- エンジン停止時およびセレクトレバーがPのときに各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないで運転に支障がないことを確認する。

## 消火器（マイクロバス）

使用方法は消火器のラベルに表示してあります。万一のときに困らないようにあらかじめ確認しておいてください。



**📖 知識**

- 消火器は定期点検が必要です。また有効期限もあります。詳しくは消火器に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。

MEMO

# 車との上手なつきあいかた

## 快適ドライブのために


| | |
|---|---|
| 雨の日の快適ドライブ | P.258 |
| 夏の快適ドライブ | P.258 |
| 寒冷時の取り扱い | P.259 |
| タイヤチェーンについて | P.261 |
| ディーゼル車の燃料補給 | P.261 |


## お手入れのしかた


| | |
|---|---|
| 外装のお手入れ | P.263 |
| 内装のお手入れ | P.264 |
| ウォッシャー液の補給 | P.266 |
| タイヤの交換 | P.266 |
| タイヤ空気圧警報システム★ | P.269 |

## 雨の日の快適ドライブ

### 窓ガラスがくもるとき

■ フロント、サイドウインドーガラス

エアコンで除湿します。

エアコンの吹き出し口を にして、吸い込み口は外気導入にします。

冬でもエアコンを活用してください。

マニュアルエアコン➔P.217

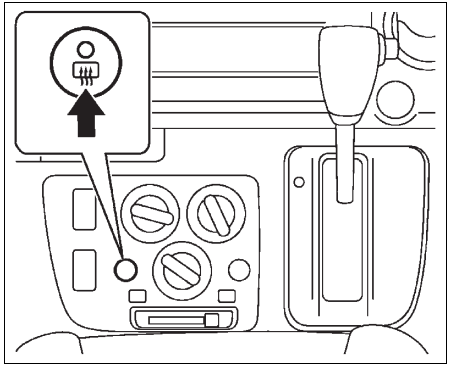
オートエアコン➔P.221

📖 知識

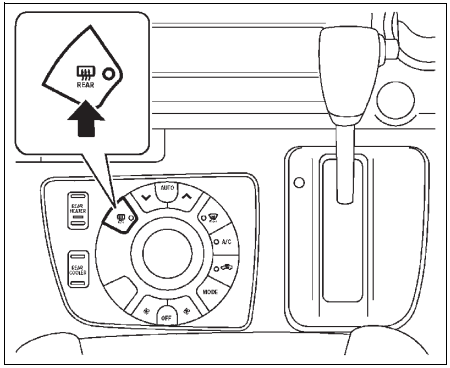
- 早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

■ バックドアガラス

リヤウインドーデフォッガースイッチ（➔P.144） を使い、くもりを取ってください。



マニュアルエアコン




オートエアコン

### ガラスが油膜でギラギラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

🚗 アドバイス

- 油膜があると、雨の夜などは対向車の光が乱反射して見にくくなることがあります。

### ワイパーのふき残しがあるとき

- ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。

➔ワイパーブレードの交換…メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

## 夏の快適ドライブ

### オーバーヒートを防ぐために

日常点検で冷却水の量を点検してください。

水温計がオーバーヒートを示しそうになったら、安全な場所に停車して冷やしてください。

➔オーバーヒートしたときは (P.313)

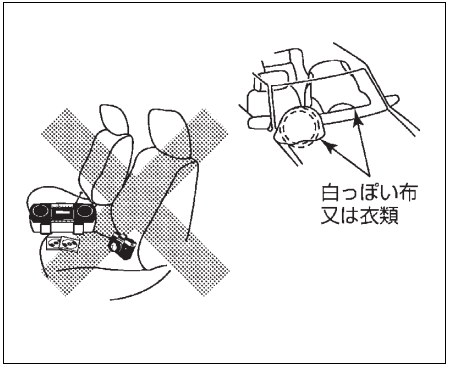
🚗 アドバイス

- 地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなくなるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

### 炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどをかけたり、ボディにカバーなどをか

けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。




**⚠ 警告**

- お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

**⚠ 注意**

- 炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

## 海に出かけたあとは

- 車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- 洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

## 寒冷時の取り扱い

### 車の冬じたく

**■ エンジンオイルの準備**

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

➔エンジンオイル (P.325)

**■ バッテリー液の点検、補給**

➔メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

**■ 冷却水の濃度点検**

冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

| 冷却水の濃度 | 凍結温度 |
|---|---|
| 30% | 約−15℃ |
| 50% | 約−35℃ |

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。

➔冷却水 (P.328)

**アドバイス**

- 寒冷地仕様車は工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

**■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備**

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。（➔P.268）
- タイヤチェーンはお客さまのタイヤサイズに合った日産純正品をおすすめします。（➔P.261）

**■ ウォッシャー液の濃度点検**

ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。

ウォッシャー液の補給 (P.266)

**⚠ 注意**

- 外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

### ■ 寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用のワイパーブレードを装着するときは、お車に合った日産純正部品をおすすめします。

詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

**⚠ 注意**

- 高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。

**アドバイス**

- 降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

ワイパーブレードの交換…メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

## 出発前の準備

### ■ 窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

**⚠ 警告**

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ■ 足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

### ■ 靴の雪を落とす

乗車時は、靴に付いた雪を取り除いてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となったりします。

### ■ 車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

**アドバイス**

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワンタッチオートスライドドア付車は、開閉できるかどうか手動で確認してから、オート作動させてください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因になります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

## 雪道を走行するとき

### ■ 滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて (P.261)

- 雪道を走行するときは、4WDスイッチ（P.156）を4WD側に切り替えます。

### ■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
  効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

## 寒冷時の駐車

### ■ 長時間駐車するとき

- セレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止め★をしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

## 雪道を走行したあとは

- 凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

**アドバイス**

- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

## タイヤチェーンについて

- タイヤチェーンは必ず後2輪に装着してください。4WD車も後2輪に装着してください。
- お客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
  タイヤチェーンはお客さまの車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

## 装着の前に

- 安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（または停止表示灯）を置きます。

## 装着のしかた

- タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

**⚠ 注意**

- 不適正に装着する、またはタイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

**アドバイス**

- タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバーに傷をつけるおそれがあります。ホイールカバーは外してください。（ホイールカバー付車）
- タイヤチェーンを装着したときは、タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。速度を守らないと、安全が損われたり、タイヤチェーンが切れたりします。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早めて寿命が短くなったりします。また、4WD車は機構に無理がかかり故障の原因となります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

## ディーゼル車の燃料補給

軽油は外気温が-10°C以下になると凍結してしまい、燃料配管の詰まりなど故障の原因となります。
寒冷地（スキーなど）へお出かけのときは、現地へ到着するまでに燃料残量が半分（燃料計目盛りの1/2以下）になるようにして、現地でできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

**燃料の使用限度（凍結）温度**

| 燃料の種類 | 使用限界温度 |
|---|---|
| JIS2号軽油 | -10°C |
| JIS3号軽油 | -18°C |
| JIS特3号軽油 | -25°C |

**アドバイス**

- JIS特3号軽油は、夏場には使わないでください。エンジン故障などの原因となることがあります。
- 燃料は、必ず超低硫黄軽油（S10ppm以下）を使用してください。

**知識**

- フェリーなどを利用して寒冷地へ行くときは、寒冷地に到着後すぐに寒冷地用燃料を補給できるように、乗船前に燃料を半分以下にしておいてください。

## 外装のお手入れ

### 塗装面を美しく保つために

**■ 駐車、保管場所に注意**

風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。

**■ 洗車・ワックスがけの実施**

●塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。
- ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき。
- 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。
- ほこり、汚れがひどいとき。

**アドバイス**

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

### 洗車のしかた

**■ 水洗いするとき**

1. 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
2. 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。

●汚れがひどいときは、ボディシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。

3. はん点が残らないように水をふき取ります。

**⚠ 注意**

- 下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。
- 水や洗剤、ワックスなどの製品、もしくはその他シリコンを含む製品を使用する場合は、布に塗布してからエンジンルームをふいてください。

**アドバイス**

- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむおそれがあります。
- 洗車するときは、エンジンルーム内を水で洗ったり、洗剤やワックスなどを直接スプレーしたりしないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。水や洗剤、ワックスなどの製品を使用する場合は、布に塗布してからエンジンルームをふいてください。
- 硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

**■ 洗車機を使うとき**

洗車機で洗車するときは、アンテナ★を格納してください。

➔アンテナについて (P.224)

**自動洗車機**

ドアミラー（➔P.70）を格納してください。

**高圧（コイン）洗車機**

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。

**アドバイス**

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、車両前面の洗浄ブラシを作動させないでください。フロントアンダーミラーを破損するおそれがあります。
- 自動洗車機で洗車すると、リヤワイパーを破損するおそれがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。

アドバイス

- 洗車をするときはエアコンを必ず止めてください。車内に水が入りこむおそれがあります。

## カメラレンズのお手入れ

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。

アドバイス

- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

## ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

### ■ ワックスのかけかた

1. 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
2. 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。
   かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラのレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

### ■ ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

## 軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

## 内装のお手入れ

アドバイス

- 車内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。
- オーディオやスイッチ類などの電装品、ブレーキペダルまわりにシリコーン（シリコン）を含むケミカル用品（スプレー、グリース、オイルなど）を使用しないでください。電装品の故障につながるおそれがあります。
- 消臭剤・芳香剤、化粧品・日焼け止めなどは、容器からこぼしたりしないでください。また、吊り下げタイプの消臭剤・芳香剤などは、内装部品に接触しないようにしてください。含まれる成分によっては、内装部品に付着すると変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあるため、付着した場合は、すみやかに柔らかい布でふき取ってください。

アドバイス

- 塩素系（二酸化塩素や次亜塩素酸）の洗浄液を使用しないでください。塗装はがれやサビなどの原因となるおそれがあります。やむをえず洗浄（除菌）する場合は、エタノール75%以下をご使用ください。エタノールを乾いた布に含ませ、内装部品をふいてください。エタノールがなくなるまでふき取ってください。ふき残しがあると塗装はがれや色落ちなどの原因となるおそれがあります。エタノールは、引火性ですので、火気に注意してください。
- 内装部品を固いもので擦ったり引っかいたりしないでください。傷がつき、破損するおそれがあります。

## カーペットの汚れ取り

電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

フロアカーペット★ (P.254)




## 布、合成皮革の汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。

汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。




## バックドアガラス、リヤサイドウインドーの清掃

- ガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

## メーター表面の汚れ取り

塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。硬いブラシや布、ティッシュで擦ると傷がつくことがあります。

アドバイス

- 乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

## インテリジェント ルームミラーのお手入れ★

- ミラーやカメラ部は常にきれいな状態にしておいてください。汚れなどが付いていると見えにくくなるおそれがあります。
- ミラーやカメラ部を清掃するときは、乾いた柔らかい布などでそっとふいてください。
- 清掃するときはアルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品でミラーやカメラ部をふかないでください。変色、劣化、故障の原因となります。汚れがひどいとき

は、まず濡れた柔らかい布でふいてから乾いた柔らかい布でふいてください。

- カメラ前面のバックドアガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた布でふき取ります。油膜が付いているときは、油膜取りを使用して清掃してください。
- カメラ前面のバックドアガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。

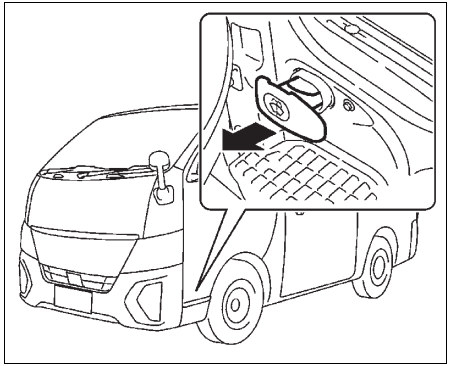
➔イラスト目次（外観） (P.4)

## ウォッシャー液の補給

ウォッシャータンクの容器は助手席ステップ部にあります。

- ウォッシャー液が少なくなると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告表示（➔P.104）します。
  警告が表示されたときは早めに補給してください。
- ウォッシャータンクの容器を引き出し、ウォッシャー液を補給してください。
  ウォッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。
- ウォッシャー液は日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。

➔ウォッシャー液 (P.328)



**⚠ 注意**

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。

**アドバイス**

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。
  塗装面がしみになるおそれがあります。

**知識**

- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。

## タイヤの交換

**⚠ 注意**

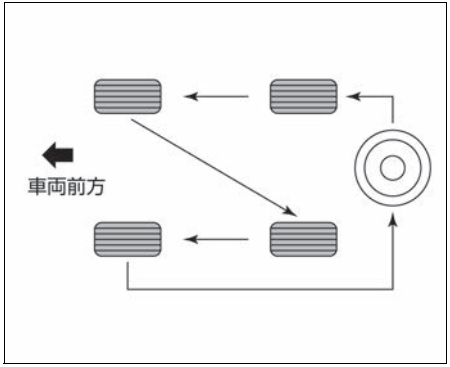
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

## タイヤの位置交換（ローテーション）

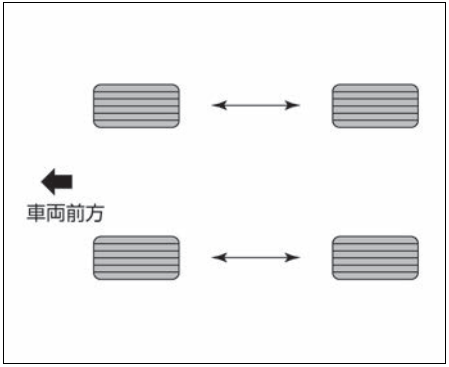
次のイラストのようにタイヤの交換を行ってください。

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000km走行ごとに定期的な位置交換をおすすめします。

➔タイヤ交換のしかた（スペアタイヤ付車） (P.303)




スペアタイヤ付車




スペアタイヤ無車

**⚠ 注意**

- タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性を損ねたり故障の原因になります。

**アドバイス**

- タイヤの位置交換をしたときは、空気圧調整後に必ずタイヤ空気圧警報システム★のリセット操作をしてください。

  ➔タイヤ空気圧警報システムのリセットのしかた (P.270)

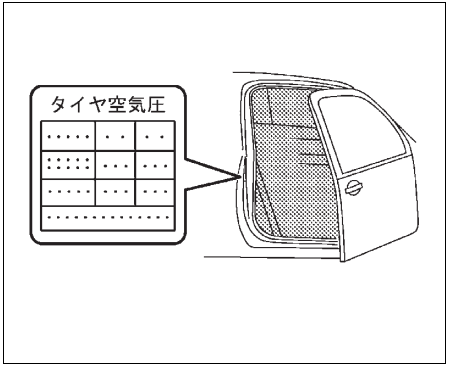
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

**知識**

- 車載のジャッキ★を使って、タイヤの交換を行うときは、スペアタイヤ★を使って1輪ずつ交換してください。

## タイヤ空気圧の点検

- タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。偏平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。
- タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドア開口部に表示、および巻末のサービスデータに記載してあります。



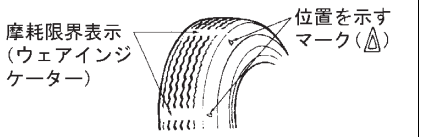

- タイヤ空気圧の調整後は、必ずタイヤ空気圧警報システム★のリセット操作をしてください。リセット操作後、メーター内のタイヤ空気圧警告灯と警告表示が消灯します。➔タイヤ空気圧警報システムについて (P.269)

**⚠ 警告**

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。




## タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤまたはロードホイールを交換したときは、空気圧調整後に必ずタイヤ空気圧警報システム★のリセット操作をしてください。
  タイヤ空気圧警報システムについて (P.269)
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ指定空気圧表示を参照してください。

### ⚠ 注意

- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 特に4WD車は径が異なるタイヤを装着すると、車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。またVDCシステムが正常に作動しないことがあります。

  次のようなタイヤの装着はしないでください。

  — 摩耗差の大きいタイヤの装着

  — 前輪、または後輪だけに冬用タイヤを装着

  — サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- タイヤの交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。
  ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

### アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。

- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。
- ホイールナットの締め付けトルクは、108N・m（11kg・m）です。

**タイヤ空気圧警報システム★について**

- タイヤ空気圧センサーが付いていないロードホイールを装着すると、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅後、点灯します。元のタイヤ空気圧センサーが付いているロードホイールを取り付けたあとは、必ずタイヤ空気圧警報システムのリセット操作をしてください。リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯は消灯します。
- 新しいタイヤ空気圧センサーを取り付けた場合は、専用のIDコードを登録する必要があります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

  タイヤ空気圧警報システム★ (P.269)
- タイヤ空気圧センサーのシールゴム、コア、キャップはセンサーの付け替えと一緒に交換してください。シールゴムが摩擦などで劣化すると、タイヤのエア漏れの原因となります。
- タイヤ空気圧の確認や調整をするときは、バルブを曲げないでください。バルブや空気圧センサーを破損するおそれがあります。

**アドバイス**

- バルブキャップを正しく取り付けてください。バルブキャップがないと、バルブや空気圧センサーを破損するおそれがあります。
- ホイールを保管するときや、ホイールに別のタイヤを取り付けるときは、バルブや空気圧センサーを傷つけないように注意してください。

## タイヤ空気圧警報システム★

タイヤ空気圧警報システムは、タイヤ空気圧が不足していることを知らせるシステムです。

### タイヤ空気圧警報システムについて

**⚠ 警告**

- **タイヤ空気圧警告灯が点灯し、警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、タイヤを確認する。**

  放置して走行し続けると、タイヤがバースト（破裂）したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

- **タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあとに点灯を続けたときは、日産販売会社で点検を受けてください。**
- **パンク修理剤を使用する場合は、日産純正品を使用する。**

●25km/h以上で走行したときに、作動します。

●タイヤ空気圧が低下すると、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点灯し、警告を表示します。

●4輪すべてのタイヤ空気圧を正しく調整したあと、必ずタイヤ空気圧警報システムのリセット操作をしてください。リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯（➔P.129）と警告表示（➔P.100）が消灯します。

●気温や高度の変化により、タイヤの空気圧が減少し、タイヤ空気圧警報システムが作動する場合があります。

●バースト（破裂）や急激な空気圧低下をした場合は、メーター内の警告表示がすぐに作動しないことがあります。

●システムに異常があるときは、タイヤ空気圧警告灯（➔P.129）が約1分間点滅したあとに点灯を続けます。なお適正な空気圧に設定しない限り、その後エンジンを始動するたびにこの動作が繰り返されます。

●走行中にタイヤ空気圧警告灯が点灯した場合は、急ハンドル・急ブレーキを避け、車速を下げて安全な場所に退避し、できるだけすみやかに停車してタイヤを確認してください。

**アドバイス**

- タイヤ空気圧警報システムは、日常点検を補助するものです。必ず日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。

- タイヤ空気圧が不足すると、燃費悪化やタイヤ寿命の低下、ハンドル・ブレーキ性能に悪影響を与えることがあります。
- タイヤ空気圧センサーは、日本の電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
  - 日本国内のみで使用する。
  - 正しい使用方法以外では使用しない。
  - 分解や改造はしない。（分解や改造したものを使用することは法律で禁止されています。）
- タイヤ空気圧センサーにはお客さまの車に適合する固有のIDコードが登録されています。他の車のタイヤ空気圧センサーを使用すると、システムが作動しません。
- タイヤを修理・交換するときはタイヤ空気圧センサーの取り付けやIDコードの登録をする必要があるため、日産販売会社へご相談ください。
- 以下の場合は、タイヤ空気圧警報システムが正常に作動しない場合があります。
  - タイヤ交換後や空気圧調整後に、タイヤ空気圧警報システムのリセットを行っていないとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 日産純正品以外のロードホイールを使用したとき

アドバイス

— 日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用したとき

— 近くに同じような無線周波数を使っている施設や器具があるとき

— 車両、特にロードホイールハウスのまわりに多くの雪や氷などが付いたとき

— 日産純正品以外の修理剤、または液剤を使用したとき

— タイヤ空気圧センサーのIDコードがシステムに登録されていないとき

— この車両の指定の空気圧センサーが取り付けられていないとき

— タイヤ空気圧センサーが装着されていないホイールを装着したとき

— タイヤ空気圧センサーの電池が消耗したとき

— 窓ガラスに金属性の部品を装着しているとき

● タイヤ空気圧センサーには、車両と通信するための電池が内蔵されています。走行中は、常時車両と通信しているため電池を消耗しており、電池が切れると、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅後、点灯します。電池が消耗したときは、日産販売会社にご相談ください。電池単品での交換はできません。

● 凹凸のある道路を走行するときは注意して走行してください。タイヤ空気圧センサーを破損させるおそれがあります。

● 以下の場合は、電波の障害を受けるため正しく作動しない場合があります。

— 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき

— 無線機や携帯電話などの無線通信機器を一緒に携帯しているとき

— 近くで電波式リモートコントロールエントリーを使用しているとき

— 電子機器（パソコンやドライブレコーダーなど）、DC/ACコンバーター、スマートフォン、タブレット、その他の電子機器の充電器が車室内、または車両の近くで使用しているとき

— 近くに本システムと同じような周波数を使っている施設、器具がある場合、または地域にいるとき

— 同じような周波数を使った無線機や器具を使用しているとき

— 電子情報機器を車室内で使用しているとき

●温度による空気圧の変化や自然に空気圧が減少したときにもタイヤ空気圧警告灯が点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。

タイヤ空気圧の点検 (P.267)

●高速走行時はタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。

●走行するとタイヤ空気圧は指定空気圧よりも上昇しますが、運転後にタイヤ空気圧を下げないでください。

●外気温が低いとタイヤ内部の空気温度が低下することで、タイヤの空気圧が指定空気圧よりも低下する可能性があります。

## タイヤ空気圧警報システムのリセットのしかた

アドバイス

● 以下の場合はタイヤ空気圧警報システムのリセット操作が必要となります。

— タイヤ空気圧を調整したとき

— タイヤまたはホイールを交換したとき

● リセット操作後も警告灯が点灯する場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

タイヤ空気圧警告灯（P.129）

1. 安全な場所に停車します。
2. パーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにします。
3. 4輪すべてのタイヤを指定の空気圧に調整し、タイヤエアゲージを使用して確認します。
4. ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押して、電源ポジション

をONにします。エンジンは始動させないでください。

5. アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「タイヤ空気圧」⇒「TPMS Reset」を選択し、ステアリングスイッチのOKスイッチを押すとリセット画面が表示されます。「Start」を選択し、再度ステアリングスイッチのOKスイッチを押すとタイヤ空気圧警報システムのリセットを開始します。
6. リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯と警告表示が消灯します。その後、25km/h以上で走行することでデータが更新されます。

MEMO

**ドアが開かないときは**

リモコン（インテリジェントキー）でドアが開かない P.275

**エンジンが始動しないときは**

インテリジェントキーで始動できない★ P.276

ジャンプスタートのしかた P.276

**ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは**

ハンドルロック（ステアリングロック）の解除のしかた P.279

**各種警告機能について**

警告灯がついたときは P.280

ブザー（警報音）が鳴ったときは（インテリジェントキー付車） P.286

**くもりが取れないときは**

窓ガラスのくもりの取りかた P.288

**動かないときは**

セレクトレバーが動かない P.290

雪道やぬかるみからの脱出のしかた P.290

けん引するときは P.290

**路上で故障したときは**

発炎筒の使いかた P.294

故障したときの対処方法 P.294

**工具・ジャッキ・スペアタイヤ・タイヤ応急修理キットについて**

格納場所 P.296

スペアタイヤ★について P.297

ジャッキアップ★のしかた P.299

**パンクしたときは**

タイヤ交換のしかた（スペアタイヤ付車） P.303

タイヤ応急修理のしかた（タイヤ応急修理キット付車） P.306

**オーバーヒートしたときは**

処置のしかた P.313

**水没したときは**

水没したときの対処のしかた P.314

**ヒューズを点検・交換するときは**

ヒューズボックスの位置 P.315

ヒューズの位置 P.315

ヒューズの交換のしかた P.315

**電球（バルブ）を交換するときは**

外装ランプの位置 P.317

バルブの外しかた P.317

クリップの脱着のしかた P.317

フロントグリルの脱着のしかた P.318

バックドアフィニッシャーインナーの外しかた P.318

バルブ交換のしかた P.319

**事故がおきたときは**

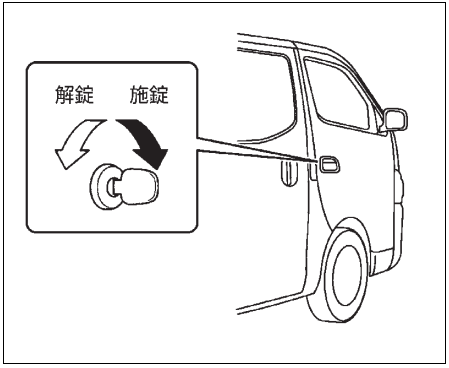
事故がおきたときは P.322

## リモコン（インテリジェントキー）でドアが開かない

### キー（メカニカルキー）によるドアの施錠・解錠

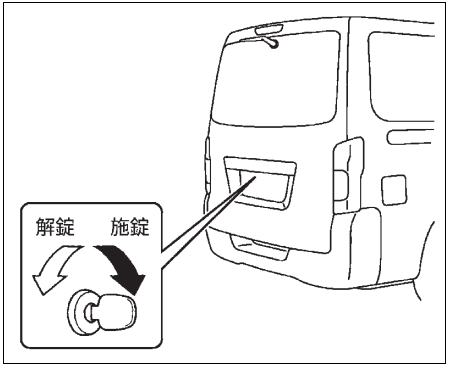
**前席ドア**

車両前方に回すと施錠し、車両後方に回すと解錠します。




**バックドア★**

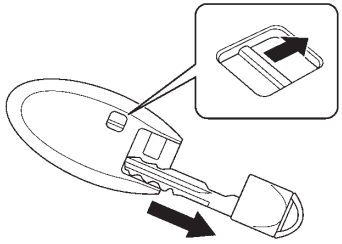
右に回すと施錠し、左に回すと解錠します。




📖 知識

**インテリジェントキー付車**

- メカニカルキーはインテリジェントキーに内蔵されています。



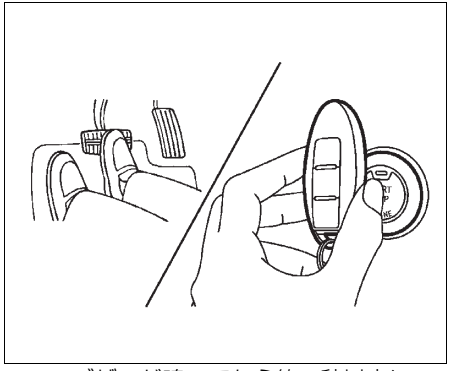
### バックドアを解錠しても開けられないとき

バックドアを解錠しても開けられないとき、または解錠できなくなったときは、➔バックドアが開けられなくなったとき (P.51) をお読みください。

## インテリジェントキーで始動できない★

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境によりインテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないときには、以下の手順でエンジンを始動してください。

1. セレクトレバーがPにあることを確認し、ブレーキペダルを踏みます。
2. インテリジェントキーの裏面を、エンジンスイッチに接触させます。（ブザーが"ピピッ"と鳴ります。）



3. ブザーが鳴ってから約10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。

●ブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押すと、電源が切り替わります。

### アドバイス

- 上記の操作で始動できない場合は、早めに日産販売会社へ連絡してください。

●エンジンを止めるときは、通常のときと同じように、セレクトレバーをPにしてからエンジンスイッチを押してください。

### 知識

- ドアの施錠・解錠は、メカニカルキーを使って行ってください。（➔P.41）
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。（➔P.37）

## ジャンプスタートのしかた

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ●スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからないとき。
- ●ライトがいつもより極端に暗いとき。
- ●ホーンの音が小さい、または鳴らないとき。

### 処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

1. キースイッチ（電源ポジション）をOFF、またはLOCKにします。
2. エンジンカバーを開けます。
   ➔エンジンカバー (P.53)
3. ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

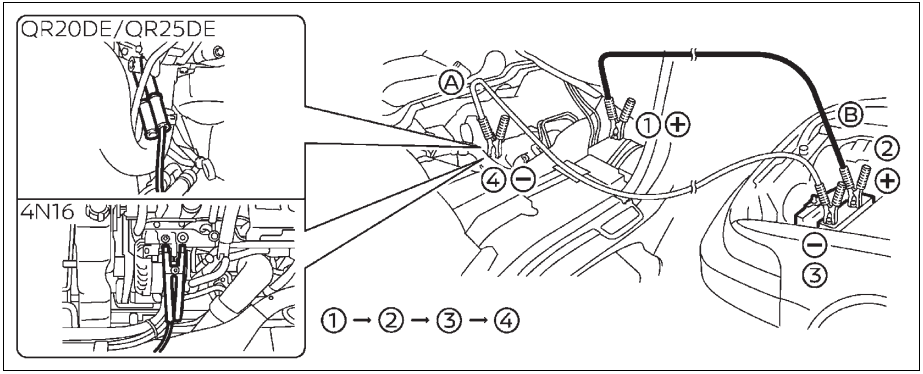
**1本目**

① 自車Ⓐの（あがった）バッテリーの⊕端子
② 救援車Ⓑの（正常な）バッテリーの⊕端子

**2本目**

③ 救援車Ⓑの（正常な）バッテリーの⊖端子
④ 自車Ⓐのエンジン本体（バッテリーから離れたステーなど）

# エンジンが始動しないときは




**⚠ 警告**

- ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ず守ってください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ― ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
  - ― ブースターケーブルを自車Ⓐのバッテリーの⊖端子に直接つながない。
  - ― ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

4. 救援車Ⓑのエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
5. 自車Ⓐのエンジンをかけます。

●エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。

●エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。

**アドバイス**

**インテリジェントキー付車**

- エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。

6. ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
7. エンジンカバーを閉めます。
8. 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

**⚠ 警告**

- バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

**⚠ 注意**

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

**アドバイス**

- 押しがけでの始動はできません。
- バッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

アドバイス

**インテリジェントキー付車**

- バッテリーがあがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

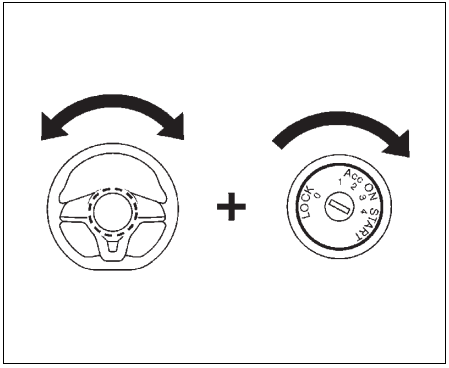
# ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは

ハンドルがロックされているときはキーが回せなかったり（リモートコントロールエントリーシステム付車）、エンジンスイッチを押しても電源ポジションが切り替わらない場合があります。（インテリジェントキー付車）次の手順でハンドルロック（ステアリングロック）を解除してください。

## ハンドルロック（ステアリングロック）の解除のしかた

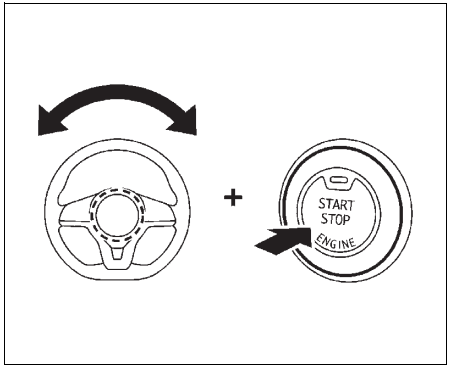
**リモートコントロールエントリーシステム付車**

- ハンドルを左右に回しながらキーを回します。ロックが解除できないときは、繰り返し行ってください。
  エンジンのかけかた（リモートコントロールエントリーシステム付車）(P.145)




**インテリジェントキー付車**

- ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチを押します。ロックが解除できないときは、繰り返し行ってください。
  エンジンのかけかた（インテリジェントキー付車）(P.147)




### アドバイス

- ハンドルがロックされていても、数mm～数cmだけ動かすことができます。その範囲内でハンドルを左右にゆっくり回しながらキーを回す（リモートコントロールエントリーシステム付車）、またはエンジンスイッチを押してください（インテリジェントキー付車）。
- ハンドルがロックされているときはハンドルが重く、力を入れないと回すことができないことがあります。
- インテリジェントキー付車は、バッテリーがあがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

## 警告灯がついたときは

運転中に警告灯・表示灯が点灯、または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。車両故障のおそれがない表示灯については➔表示灯 (P.123)をお読みください。

| 名称 | 点灯・点滅する条件 | 説明・対処方法 |
|---|---|---|
| 油圧警告灯 | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。<br>● エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力低下、もしくは圧力低下を検知するのに必要なセンサー類の故障が発生すると点灯します。 | 点灯したときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、日産販売会社に連絡してください。<br>点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。 |
| 故障警告灯（MIL） | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。<br>● エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯、または点滅します。<br>● エンジン回転中、尿素SCRシステム（ディーゼル車）に異常があると点灯します。 | 点灯、または点滅したときは、ただちに日産販売会社に連絡してください。 |
| 充電警告灯 | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。<br>● エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。 | 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。<br>点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。 |

| 名称 | 点灯・点滅する条件 | 説明・対処方法 |
|---|---|---|
| ブレーキ警告灯 | ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。（パーキングブレーキをかけているとき は消灯しません。） | |
| | ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、次のような場合は点灯し続けます。 | |
| | ・パーキングブレーキをかけているとき。 | 走行中はパーキングブレーキを解除してください。 |
| | ・ブレーキ液が不足しているとき。 | パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 |
| | ・ブレーキシステムに異常があるとき。 | エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。<br>パーキングブレーキを解除しても点灯 し続けるときは、点灯したまま走行し ないでください。また、ブレーキ液が 規定量以下になっていたら走行しない でください。ブレーキの効きが極度に 悪くなり、思わぬ事故につながるおそ れがあります。 |
| ABS警告灯 | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると数秒間点灯後、消灯します。 | キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないとき、またはエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 |
| | ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。 | |
| シートベルト警告灯 | ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。 | 点灯したときはシートベルトを着用してください。<br>走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。 |

# 各種警告機能について

| 名称 | 点灯・点滅する条件 | 説明・対処方法 |
|---|---|---|
| SRSエアバッグ警告灯  | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると約7秒間点灯後、消灯します。<br>● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯を続けます。 | キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないとき、または約7秒間たっても点灯を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。<br>キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないときや、点灯を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。 |
| 4WD警告灯<br>(4WD車)<br>4WD | ● エンジン回転中、4WDシステムに異常があると点灯します。点灯すると車速が50km/h以上出ないように制限されます。<br>● 4WD状態で走行中、前後輪の回転数の差が大きい状態が続き、駆動系部品の油温が異常に高くなると点滅します。点滅状態が続くと車速が50km/h以上出ないように制限される場合があります。 | **点灯したとき**<br>4WDシステムに異常が発生しています。4WDスイッチ（P.156）を2WDに切り替え、高速走行をせず、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。<br>**点滅したとき**<br>すみやかに安全な場所に停車しアイドリング状態にするか、2WDに切り替えて走行してください。しばらくして点滅しなくなると、通常通り走行できます。 |
| DPF警告灯（ディーゼル車）  | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。<br>● エンジン回転中、DPFにPM（粒子状物質）が一定量たい積すると点灯します。<br>● DPF警告灯が点灯したまま走行し続けると、DPF警告灯が点灯から点滅に変わります。 | 燃えやすい物が近くにない安全な場所に停車し、DPF手動再生スイッチを押してPM燃焼（DPF再生）処理を行ってください。<br>DPF警告灯が点滅したときは、日産販売会社で点検を受けてください。 |
| フューエルフィルター水位警告灯（ディーゼル車）  | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。<br>● エンジン回転中、フューエルフィルター内に水がたまると点灯します。 | エンジン回転中に点灯した場合は、日産販売会社にご相談ください。<br>点灯したまま走行しないでください。フューエルポンプが焼きつくおそれがあります。 |

| 名称 | 点灯・点滅する条件 | 説明・対処方法 |
|---|---|---|
| 尿素SCRシステム警告灯（ディーゼル車）<br>  | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると数秒間点灯後、消灯します。<br>● 次の場合に点灯します。<br>— エンジン回転中、尿素水（AdBlue®）の残量が減り、走行可能距離が800 km以下になったとき<br>— 尿素SCRシステムに異常があるとき<br>● 走行可能距離が0kmになると、点灯から点滅に変わります。 | 尿素水残量警告の表示と同時に点灯したときは、すみやかに尿素水（AdBlue®）を補給してください。<br>再始動不可警告（尿素水補給）の表示と同時に点滅したときは、エンジンを切らずに、すみやかに日産販売会社に連絡してください。<br>尿素SCRシステム故障警告の表示と同時に点灯または点滅したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 |
| VDC警告灯<br>  | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると数秒間点灯後、消灯します。<br>● VDC作動中に点滅します。<br>● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、VDCのシステムに異常があると点灯します。 | 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。<br>点灯したときはVDCの作動は停止しますが、VDCのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 |

| 名称 | 点灯・点滅する条件 | 説明・対処方法 |
|---|---|---|
| タイヤ空気圧警告灯★<br> | ● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。<br>● タイヤ空気圧警報システム★に異常があると、約1分間点滅したあと点灯します。<br>● タイヤ空気圧が低下すると点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されます。<br>● バースト（破裂）や急激な空気圧低下をした場合は、メーター内の警告表示がすぐに作動しない場合があります。 | ● 走行中に警告灯が点灯した場合は、急ハンドル・急ブレーキを避け、車速を下げて安全な場所に退避し、できるだけすみやかに停車してタイヤを確認してください。<br>● タイヤ空気圧警報システム★に異常があったときは、日産販売会社で点検を受けてください。<br>● パンクではなく、タイヤ空気圧が低下しているときは、指定の空気圧に調整してください。<br>➔ タイヤ空気圧の点検 (P.267)<br>● タイヤがパンクしたときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。<br>● タイヤ空気圧の調整後は、必ずシステムのリセット操作をしてください。リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯とアドバンスドドライブアシストディスプレイの警告表示が消灯します。<br>➔ タイヤ空気圧警報システム★ (P.269)<br>● 電源ポジションをONにしても警告灯が点灯しない場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。<br>**⚠ 警告**<br>● タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。<br>**知識**<br>● 温度による空気圧の変化や自然に空気圧が減少したときにも点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。<br>● 高速走行時はタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。 |

| 名称 | 点灯・点滅する条件 | 説明・対処方法 |
|---|---|---|
| インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、次のように消灯します。<br>— ガソリン車（バン）は、エンジンがかかると消灯します。<br>— ガソリン車（ワゴン）およびディーゼル車は、数秒間点灯後、消灯します。<br>● 次の場合は点灯します。<br>— インテリジェント エマージェンシーブレーキ、または踏み間違い衝突防止アシスト★のシステムに異常が発生しているとき<br>— フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき<br>— 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき<br>— 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき<br>— フロントガラスの結露やくもりなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき<br>— 周辺の電波源の影響を受けているとき<br>— レーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などの付着により、レーダーセンサーが前方を認識できなくなったとき<br>● 次の場合は点滅します。<br>— インテリジェント エマージェンシーブレーキ、または踏み間違い衝突防止アシスト★が作動したとき | ● エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。各システムについては、インテリジェント エマージェンシーブレーキ（➔P.182）、踏み間違い衝突防止アシスト（➔P.189）をお読みください。<br>● フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。<br>➔マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.188)<br>● フロントガラスに結露やくもりなどがある場合は結露やくもりを除去し、警告灯が消灯したことを確認してください。<br>➔窓ガラスのくもりの取りかた (P.217)<br>● 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると作動を復帰します。<br>● レーダーセンサーが汚れているときは、安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止してレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから再始動し、警告灯が消灯したことを確認してください。<br>➔レーダーセンサーの取り扱い (P.189) |
| マスターウォーニング ⚠ | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると数秒間点灯後、消灯します。<br>● アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されると点灯します。 | 点灯したときはアドバンスドドライブアシストディスプレイの警告表示を確認して、適切な処置をしてください。 |

| 名称 | 点灯・点滅する条件 | 説明・対処方法 |
|---|---|---|
| A/T電子制御システム警告灯<br>AT CHECK | ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると約2秒間点灯後、消灯します。<br>● オートマチックトランスミッションシステムに異常があると点灯します。 | 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 |

## ブザー（警報音）が鳴ったときは（インテリジェントキー付車）

車両盗難などを防ぐため、車外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

| どこで音が鳴りましたか？ | どんな音が鳴りましたか？ | 何をしたときに鳴りましたか？ | 確認すること |
|---|---|---|---|
| 車外 | ピピピピ... | リクエストスイッチを押したとき | 電源ポジションがAcc、またはONのままになっていないか<br>インテリジェントキーを車内（ラゲッジルーム含む）に置き忘れていないか<br>いずれかのドアが半ドアになっていないか<br>ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していないか |
| | | インテリジェントキーの施錠スイッチを押したとき | ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか<br>いずれかのドアが半ドアになっていないか |
| | ピッピッピッ | ドアを閉めたとき | 電源ポジションがAcc、またはONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか |
| | ピー | ドアを閉めたとき | セレクトレバーがPになっているか |

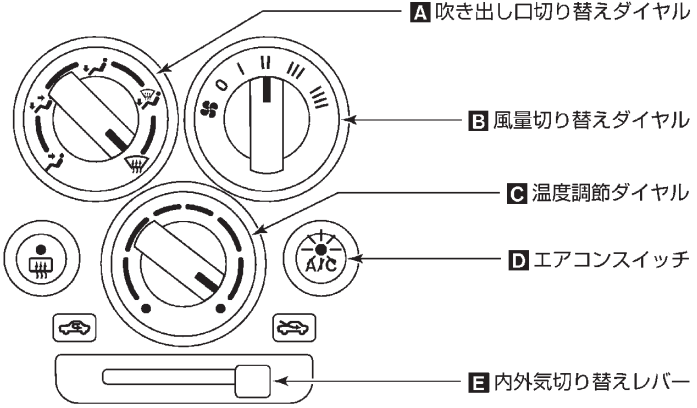
# 各種警告機能について

| どこで音が鳴りましたか？ | どんな音が鳴りましたか？ | 何をしたときに鳴りましたか？ | 確認すること |
|---|---|---|---|
| 車内 | ピピピピッ、ピピピピッ… | 運転席ドアを開けたとき | 電源ポジションがAcc、またはONのままになっていないか |
| | ピピッピピッピピッ | ドアを閉めたとき | 電源ポジションがAcc、またはONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか |
| | | エンジンスイッチを押したとき | インテリジェントキーを携帯しているか |
| | ピピピピピピッ… | エンジンスイッチを押したとき | セレクトレバーがPになっているか |
| | | セレクトレバーをPにしたとき | 電源ポジションがAcc、またはONのままになっていないか |

## 窓ガラスのくもりの取りかた

### フロント、サイドウインドーガラス

マニュアルエアコン付車




1. 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置 にします。
2. 内外気切り替えレバーEを外気導入（右側）にします。
3. 風量切り替えダイヤルBを回して風量を調節します。
（左側：風量少ない～右側：風量多い）
4. 温度調節ダイヤルCを高温側（右側）に回します。
5. エアコンスイッチDを押してエアコンを作動させます。
（スイッチの表示灯が点灯）

※止めるときは、風量切り替えダイヤルBを0（OFF）の位置にします。

**⚠ 注意**

- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、エアコンの設定温度を低温にすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

**アドバイス**

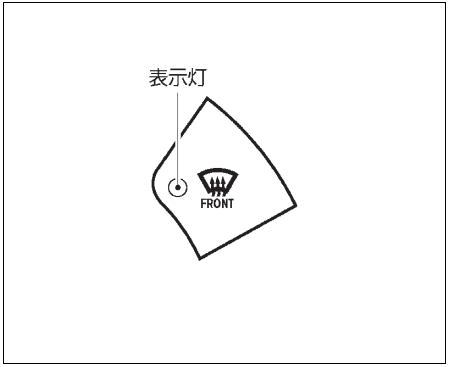
- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
- 早くくもりを取りたいときは、温度を高温にし、風量を多くします。

**知識**

- 窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を 位置にします。

オートエアコン付車

1. デフロスタースイッチを押します。
（表示灯が点灯）




デフロスターから風が吹き出し、吸い込み口が外気導入になります。

- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。（表示灯が消灯）

**⚠ 注意**

- デフロスタースイッチをONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしないでください。フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

**アドバイス**

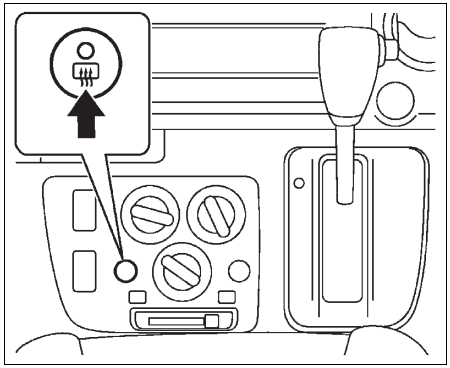
- デフロスタースイッチをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

**知識**

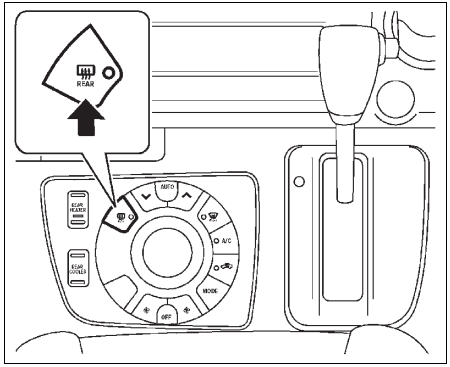
- エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチを押すとエアコンも自動的に作動します。

## リヤウインドーガラス

リヤウインドーデフォッガースイッチ（➔P.144）を使い、くもりを取ってください。



マニュアルエアコン



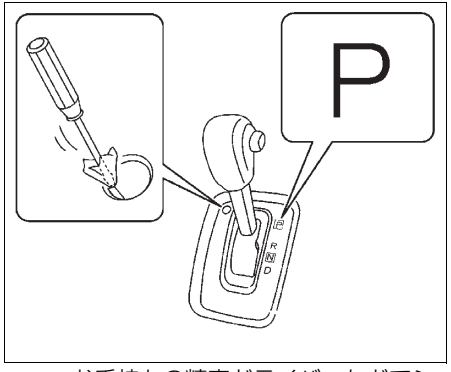

オートエアコン

## セレクトレバーが動かない

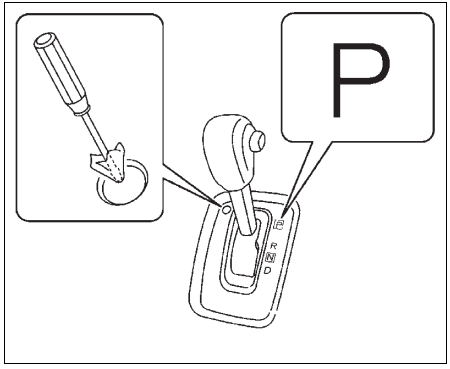
万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーを**P**から動かせないときに使います。

1. 安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. お手持ちの精密ドライバーなどでふたを外します。

●傷つきを防ぐため、ドライバーに布などをあてて外してください。




3. お手持ちの精密ドライバーなどでシフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。




**アドバイス**

- セレクトレバーを**P**から動かせないときは、シフトロックシステム（P.23）などの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

## 雪道やぬかるみからの脱出のしかた

砂地、雪道、ぬかるみなどから抜け出せなくなったときは、次の方法で脱出してください。

1. VDC OFFスイッチを長押して、VDCをOFFにします。
2. 4WD車は、2WD-4WD切り替えスイッチ（P.156）で4WDに切り替えます。
3. 車両の前後に障害物が無いことを確認します。
4. ハンドルを左右に回し、前輪の周囲をならします。
   後輪周辺の雪や土を取り除き、必要に応じてタイヤの下に木材などをそえてください。
5. ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進、または後退します。
   周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

**⚠ 警告**

- 周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方、または後方に飛び出すおそれがあります。
- 必要以上にアクセルペダルを踏み込まないでください。急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

**アドバイス**

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社、またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

## けん引するときは

車が動かない、または異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。

けん引が必要なときは、できるだけ日産販売会社、または専門業者に依頼してください。

JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

## 他車にけん引してもらうとき

### ⚠ 警告

**インテリジェントキー付車**

- 電源ポジションがLOCKでバッテリーがあがると、ハンドルロック（ステアリングロック）の解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをAcc、またはONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをLOCKにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

**リモートコントロールエントリーシステム付車**

- けん引してもらうときは、キースイッチをLOCKにしないでください。ハンドルがロックされ操作ができなくなり危険です。

### ⚠ 注意

- エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- 前輪を上げてけん引するときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにしないでください。VDCが作動しブレーキがかかることがあります。
- 4WD車はけん引してもらう場合、必ず2WDに切り替えてください。4WDのままけん引してもらうと、タイトコーナーブレーキング現象が起きて思わぬ事故につながるおそれがあります。2WDに切り替えることができない場合は、4輪車載をしてください。
- 4WD車はトレーラーに車載するか、4輪接地の状態でけん引してもらってください。2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。

### アドバイス

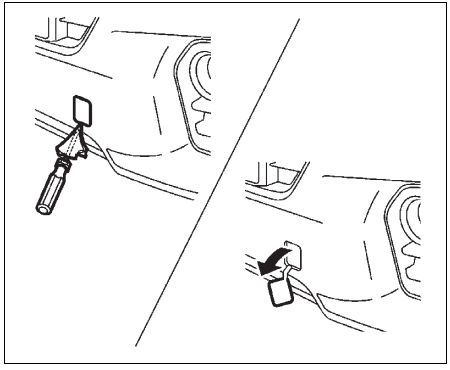
- けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損するおそれがあります。できるだけレッカー車、またはトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

1. 4WD車は2WDに切り替えます。
2WD-4WDの切り替え★ (P.156)

### ⚠ 注意

- 2WDに切り替わらないときは、4輪を持ち上げてけん引するか4輪車載をしてください。

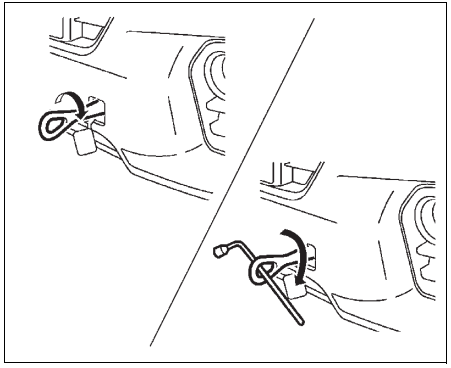
2. フロントバンパー部のカバーの溝に、マイナスドライバーのような先の細いお手持ちの工具を差し込み、カバーを外します。



**アドバイス**

- 工具に布などをあてながら外してください。車体に傷をつけるおそれがあります。

3. ホイールナットレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。
工具・ジャッキ・スペアタイヤ・タイヤ応急修理キットについて (P.296)



4. 自車および他車のけん引フックにロープをかけます。

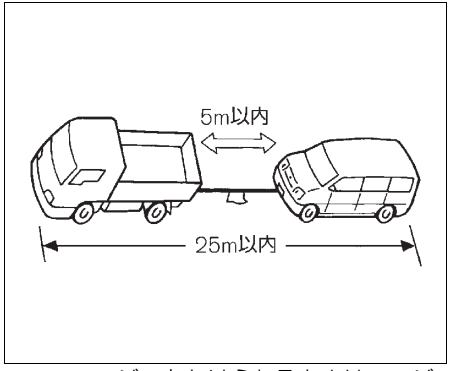
**⚠ 注意**

- 指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

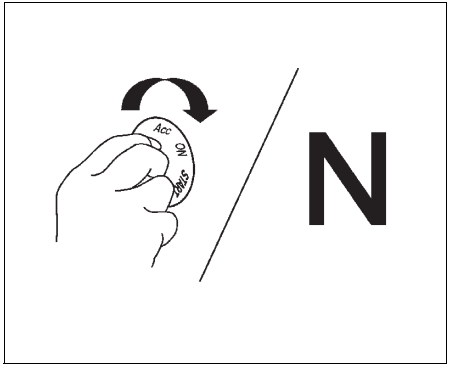
**アドバイス**

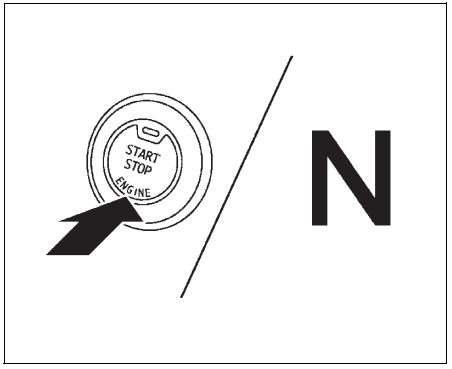
- ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平になるようにかけてください。

5. ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず取り付けます。




6. エンジンをかけられるときはエンジンをかけ、セレクトレバーを**N**にします。



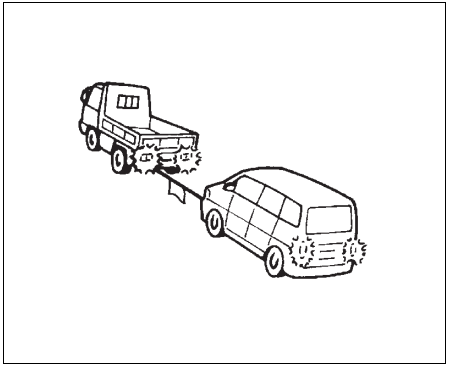




**⚠ 注意**

- エンジンをかけられないときは、キースイッチ（電源ポジション）をAcc、またはONにしてください。

7. パーキングブレーキを解除します。

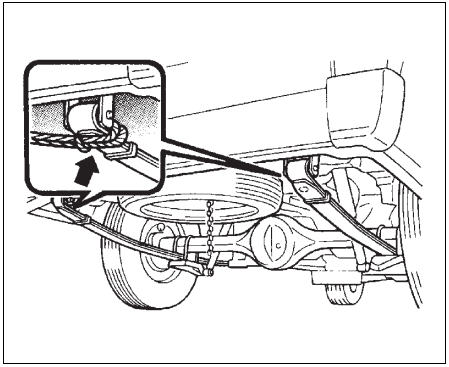
8. けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



●使い終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

## 自車でけん引するとき

緊急時以外は他車をけん引しないでください。リヤバンパーが傷つくおそれがあります。やむをえずけん引するときは、リヤスプリング後端にロープをかけます。



**⚠ 注意**

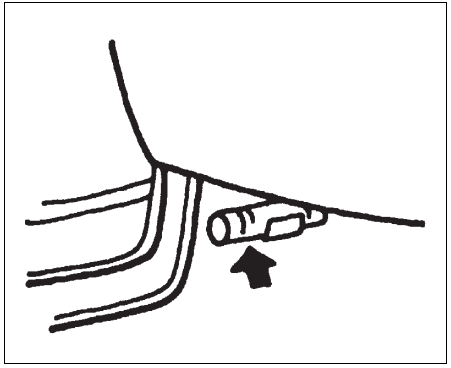
- イラストの場所以外には絶対にロープをかけないでください。また、自車より重い車のけん引は避けてください。スプリング部が破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。車両重量は自動車検査証で確認してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、リヤバンパーに傷をつけないように注意してください。

必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。
安全な場所に退避できないときは、発炎筒で後続車に危険を知らせてください。

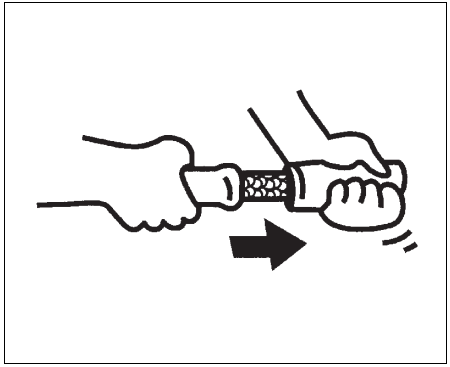
## 発炎筒の使いかた

故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

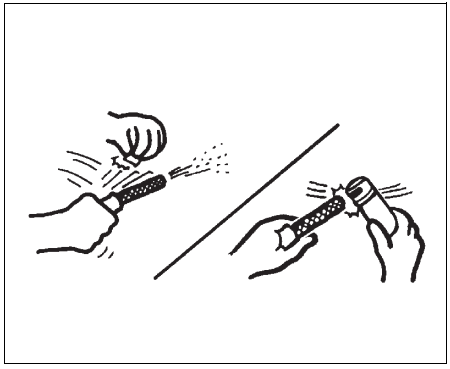
1. 助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



2. 本体を回しながらケースから引き抜きます。



3. 点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



**⚠ 警告**

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

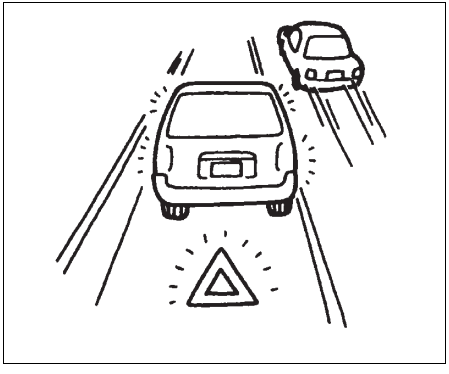
**知識**

- 点火後は約5分間燃え続けます。
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

## 故障したときの対処方法

### 路上で故障したとき

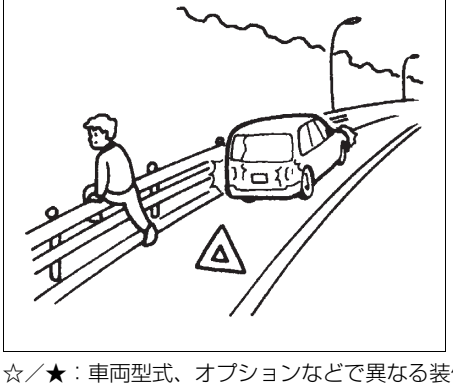
1. 車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。
2. 高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板、または停止表示灯を置きます。



**知識**

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

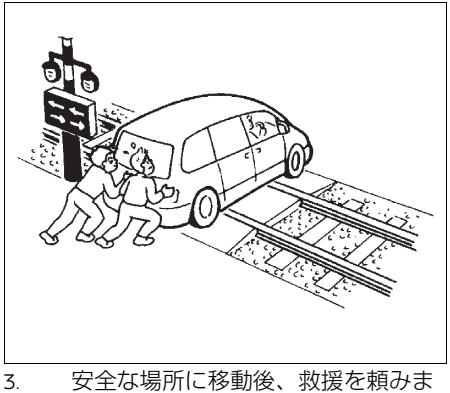
3. 全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。



4. 安全を確保後、救援を頼みます。

## エンストしたとき

1. あわてずエンジンをかけ直してみます。
2. エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押してもらい、安全な場所に移動してください。このときセレクトレバーを**N**にしてください。



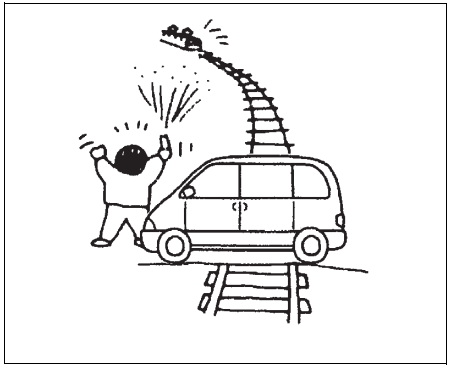
3. 安全な場所に移動後、救援を頼みます。

**⚠ 注意**

- エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。

## 踏み切りで出られないとき

1. ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
2. 発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。



# 工具・ジャッキ・スペアタイヤ・タイヤ応急修理キットについて

## 格納場所

**⚠ 注意**

- 工具、ジャッキ★、スペアタイヤ★を使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

**知識**

- 停止表示板（停止表示灯）は標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください
- 工具の種類やジャッキ★、発炎筒（➔P.294）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

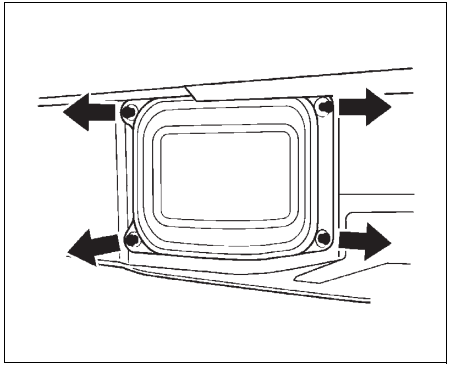
工具、ジャッキ★は、助手席側スライドドアのステップ部に格納されています。

スペアタイヤ★はラゲッジルーム床下に格納されています。

## 工具、ジャッキ★

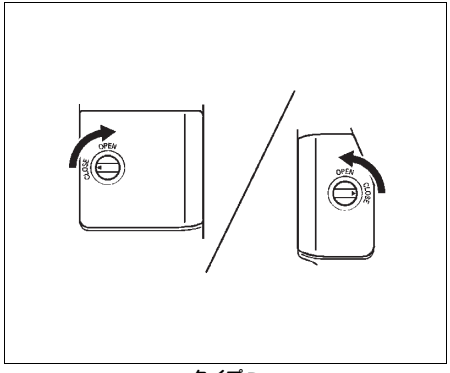
車種により、工具、ジャッキの格納場所や取り出しかたが異なります。

### ■ カバーの取り外しかた



タイプA

●工具、タイヤ応急修理キットを取り出すときは、クリップ（4箇所）を引っ張ってロックを外してカバーを外します。




タイプB

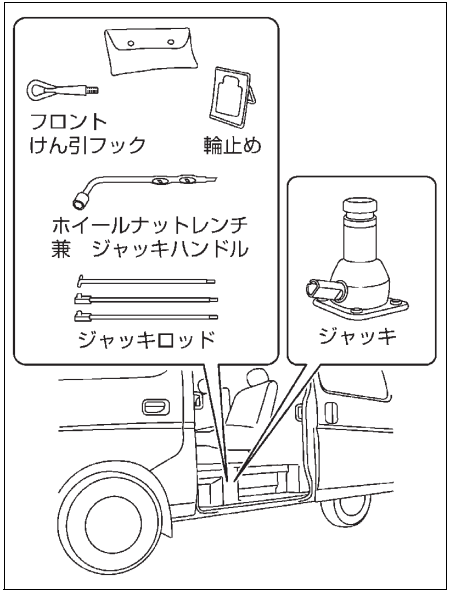
●工具、ジャッキ、タイヤ応急修理キットを取り出すときは、カバーのダイヤルを「OPEN」の位置に合わせ、カバーを外します。

➔ジャッキの取り出しかた (P.300)

➔タイヤ応急修理キットの取り出しかた (P.306)

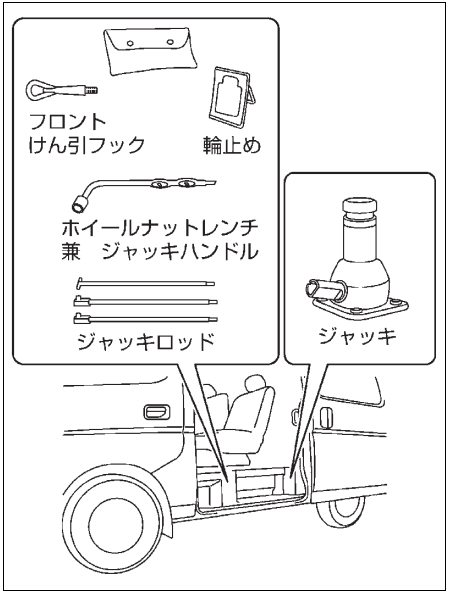
※元に戻すときは、操作した逆の手順で戻します。

### ■ ジャッキ付車



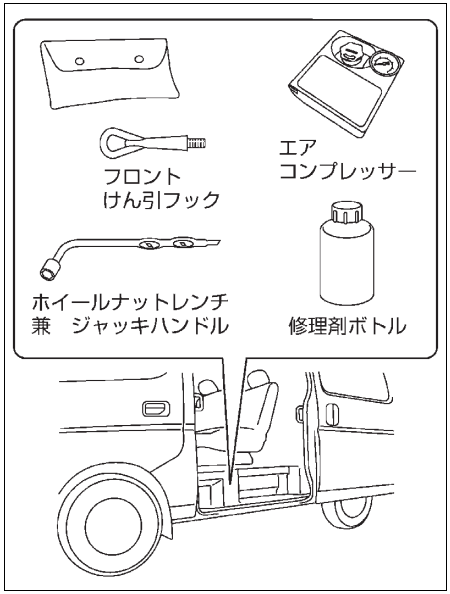

ガソリン車（ワンタッチオートスライドドア付車）、ディーゼル車

# 工具・ジャッキ・スペアタイヤ・タイヤ応急修理キットについて




ガソリン車（ワンタッチオートスライドドア無車）

■ ジャッキ無車

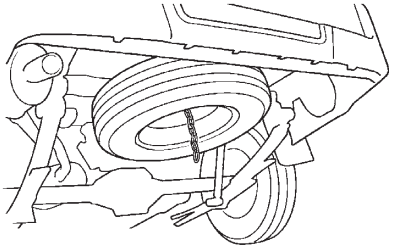



※車種により、エアコンプレッサー、修理剤ボトルの形状が異なります。

**知識**

- 修理剤ボトルには有効期限があります。 期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。 タイヤ応急修理キットの使いかたは、（P.306）をお読みください。
- タイヤ応急修理キットは、指定の格納場所に保管してください。

## スペアタイヤ★



## スペアタイヤ★について

スペアタイヤは車両装着タイヤを搭載してあります。

タイヤ応急修理キット付車にはスペアタイヤは付きません。（P.306）をお読みください。

**⚠ 注意**

- スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

# 工具・ジャッキ・スペアタイヤ・タイヤ応急修理キットについて

## ⚠ 注意

- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社にご相談ください。
- スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。

  空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## アドバイス

- スペアタイヤを使用する場合は、運転席ドア開口部のタイヤ指定空気圧表示を確認し、装着位置の指定空気圧にしてからご使用ください。

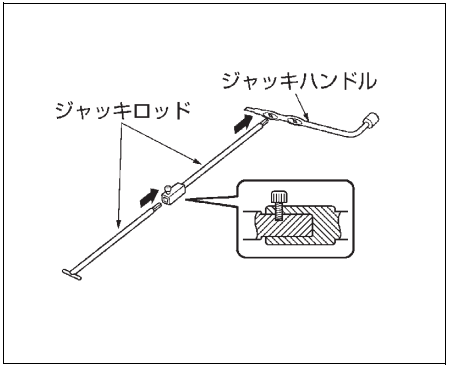
## 知識

- スペアタイヤにはタイヤ空気圧センサーを装着していないため、スペアタイヤを装着するとタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯し続けます。詳細については、タイヤ空気圧警報システム★ (P.269)をお読みください。

## スペアタイヤの取り出しかた

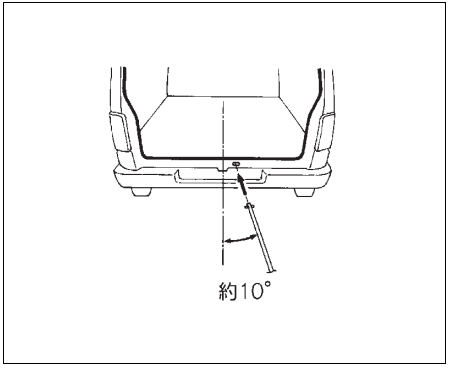
1. 車載工具のジャッキロッドとジャッキハンドルをセットします。

   工具、ジャッキ★ (P.296)




※車種により形状が異なります。

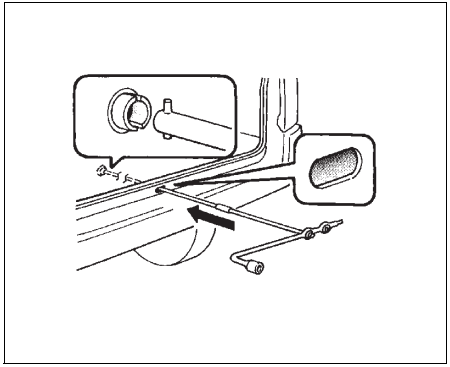
2. バックドアを開け、ジャッキロッドをガイドに沿って入れます。



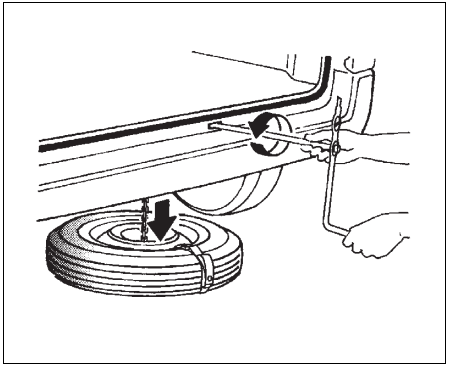

## アドバイス

- ジャッキロッドとバンパーの間に布などを挟んでください。車体を傷つけるおそれがあります。

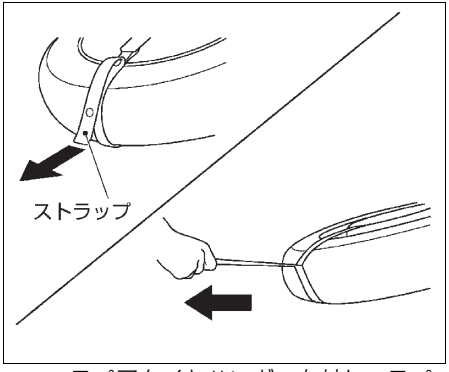
3. ジャッキロッドを奥の溝に差し込みます。



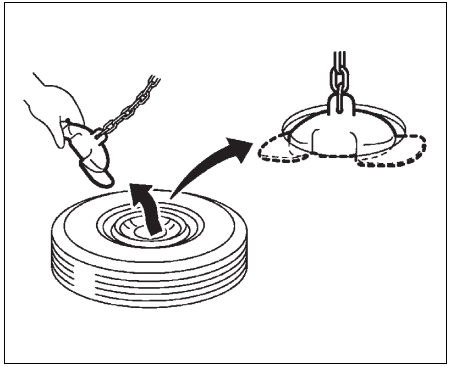
4. ジャッキハンドルを反時計方向に回し、チェーンがたるむまでタイヤを降ろします。



5. タイヤ取り出し用の補助ストラップの先端を引っ張り、ホックを外します。ストラップを車両の外まで引いてスペアタイヤを引き出します。




6. スペアタイヤハンガーを外し、スペアタイヤを取り出します。



7. ストラップをスペアタイヤから取り外します。

**アドバイス**

- ストラップはスペアタイヤの取り出し専用です。他の目的に使用したり、なくしたりしないようにしてください。

※格納するときは、タイヤの外側を上にして取り出したときと逆の手順で行ってください。

**⚠ 注意**

- ハンガーやハンガー取り付け部、ストラップに異常があるときは、日産販売会社で修理してからお使いください。
- ジャッキアップ中は車両の下に身体を入れないように、必ずストラップを使って引き出してください。
- ジャッキアップ中はスペアタイヤの脱着を行わないでください。
- タイヤは重いので、脱着するときは注意して行ってください。
- スペアタイヤを格納するときは、確実に取り付けてください。タイヤが外れるおそれがあります。
- 指定タイヤ以外のタイヤは確実に固定されないため装着しないでください。

**知識**

- タイヤを格納するときは、ストラップの持ち手が車両後方にくるようにしてください。

## ジャッキアップ★のしかた

タイヤ応急修理キット付車はジャッキ、ジャッキロッド、輪止めは搭載されていません。ジャッキアップする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。 詳しくは日産販売会社にご相談ください。

**⚠ 警告**

- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。
  ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

# 工具・ジャッキ・スペアタイヤ・タイヤ応急修理キットについて

## ⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ずお守りください。
  - ― ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使わないでください。
  - ― ジャッキはタイヤ交換、またはタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
  - ― 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
  - ― 使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを**P**にしてください。
  - ― 輪止めなどで車を固定してください。
  - ― ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
  - ― 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

## 工具の取り出しかた

スライドドアのステップ部にあります。

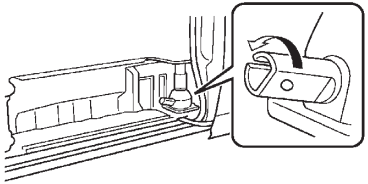
1. カバーを外し、工具を取り出します。
➔格納場所 (P.296)

## ジャッキの取り出しかた

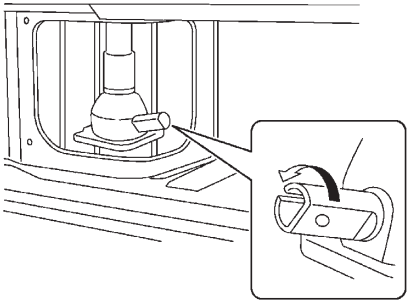
スライドドアのステップ部にあります。

➔格納場所 (P.296)

- 取り出すときは、ジャッキハンドル取り付け部を手で回して緩め、ジャッキホルダーから外します。



ガソリン車（ワンタッチオートスライドドア無車）



ガソリン車（ワンタッチオートスライドドア付車）、ディーゼル車

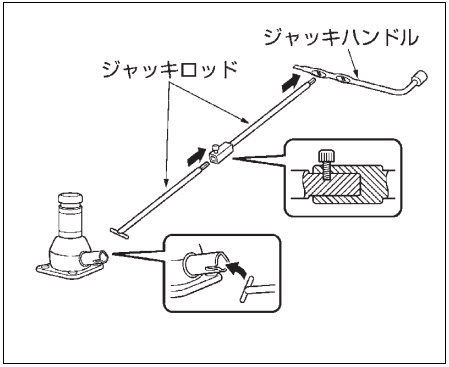
※格納するときは、取り出したときと逆の手順で行い、ガタツキがなくなるまでしっかりと締めます。

### アドバイス

- ジャッキを格納するときは、ドライバーなどで無理に締め付けないでください。ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

## ジャッキハンドルのセットのしかた

- ジャッキにジャッキロッドとジャッキハンドルをセットします。




※車種により形状が異なります。

**⚠ 注意**

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキロッドを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

**アドバイス**

- ジャッキロッドは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

## ジャッキアップのしかた

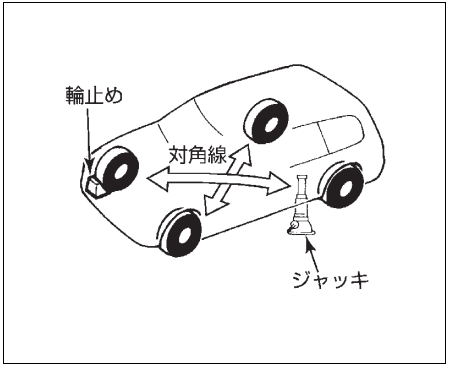
交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

**⚠ 注意**

- 柔らかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

1. パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを**P**にしエンジンを止めます。
2. ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- 輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。




**⚠ 注意**

- やむをえず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

3. ジャッキを手で回し、ジャッキの頭部をジャッキアップポイントまで上げます。

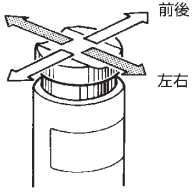
**ジャッキアップポイント**



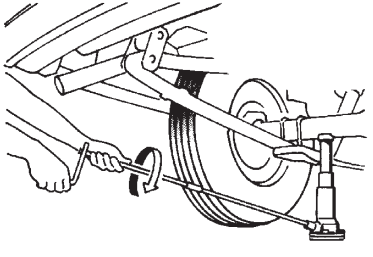

**アドバイス**

- ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。
- ジャッキをセットするときは、ジャッキアップポイントにジャッキ頭部の溝を次のイラストのように合わせて確実にセットしてください。

アドバイス




4. ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキロッドを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

知識

- ジャッキハンドルには、ジャッキロッドを差し込む穴が2箇所あります。状況によりジャッキハンドルが回しづらい場合は、ジャッキロッドを差し込む穴を変えながら作業をしてください。

パンクしたときの応急処置として、スペアタイヤ付車はタイヤをスペアタイヤに交換します。タイヤ応急修理キット付車はパンクしたタイヤを応急修理してください。

➔タイヤ応急修理のしかた（タイヤ応急修理キット付車） (P.306)

## タイヤ交換のしかた（スペアタイヤ付車）

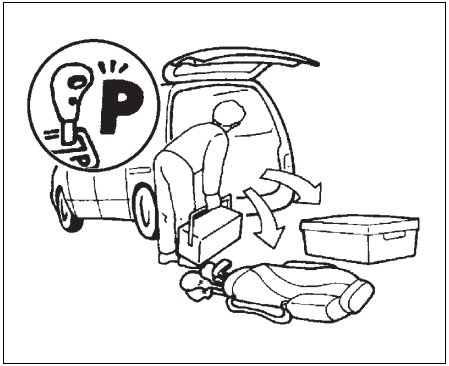
**⚠ 注意**

- タイヤ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

1. 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車します。

- 人や荷物を降ろします。
- 必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（または停止表示灯）を置きます。
- 工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。

➔ジャッキアップ★のしかた (P.299)
➔スペアタイヤの取り出しかた (P.298)

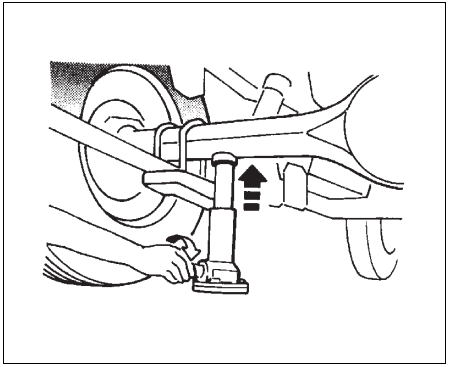


2. ジャッキをセットします。

- ジャッキを手で回し、ジャッキの頭部をジャッキアップポイントまで上げます。

➔ジャッキアップのしかた (P.301)

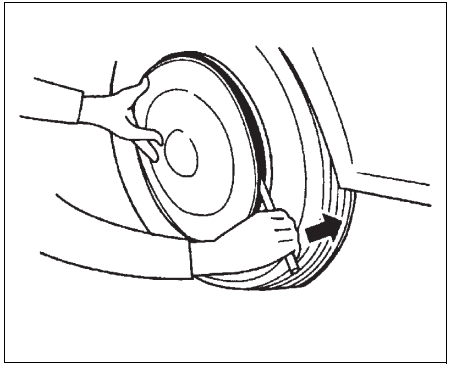
- スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。



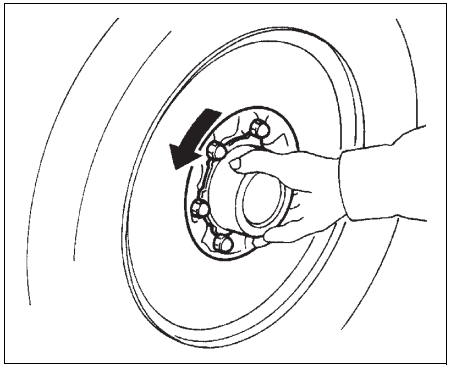
**アドバイス**

- タイヤを置くときは、ホイール表面を上にしてください。

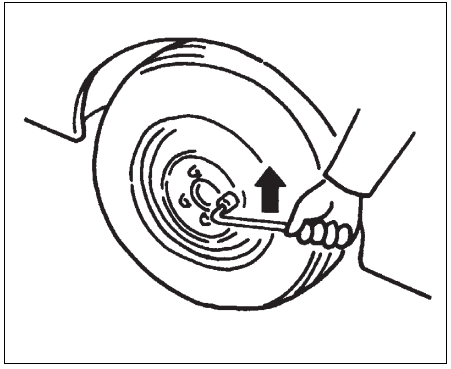
3. **ホイールカバー付車**
工具に布などをあてて、ホイールカバーを傷つけないように外します。



**センターキャップ付車**
センターキャップを外します。



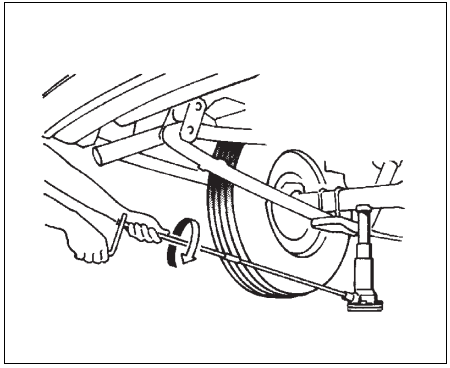
4. ホイールナットレンチで、すべてのナットを反時計回りに約1回転緩めます。



**アドバイス**

- タイヤを接地状態にして行います。

5. ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。



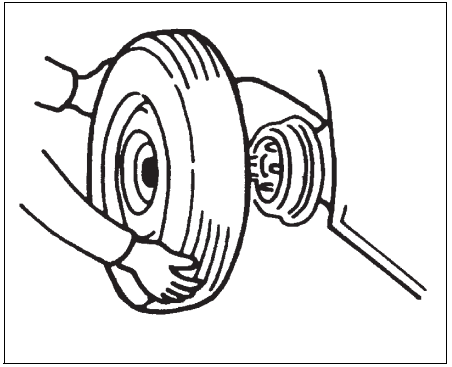
**⚠ 注意**

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキロッドを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

**知識**

- ジャッキハンドルには、ジャッキロッドを差し込む穴が2箇所あります。状況によりジャッキハンドルが回しづらい場合は、ジャッキロッドを差し込む穴を変えながら作業をしてください。

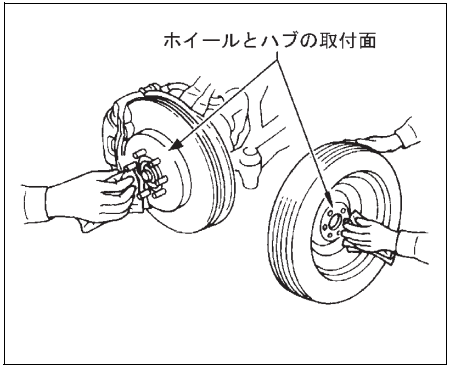
6. ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。



**アドバイス**

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

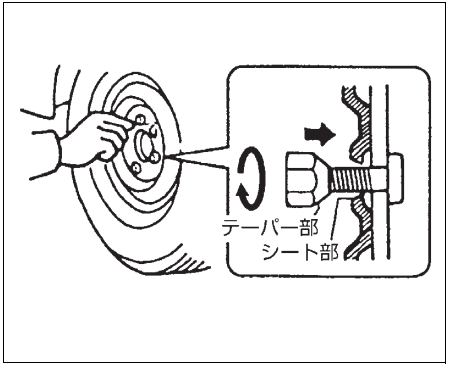
7. ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。



**⚠ 注意**

- 取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。
- 凹んでいる側（裏面）を内側にして取り付けてください。

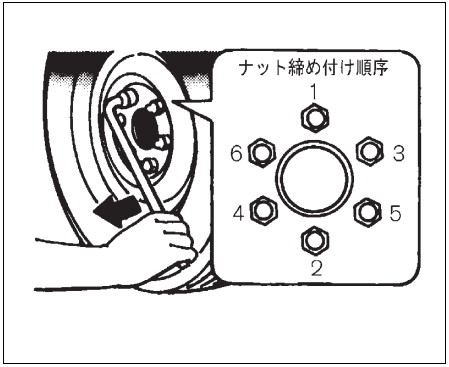
8. ナットのテーパー部が、ホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。




**⚠ 警告**

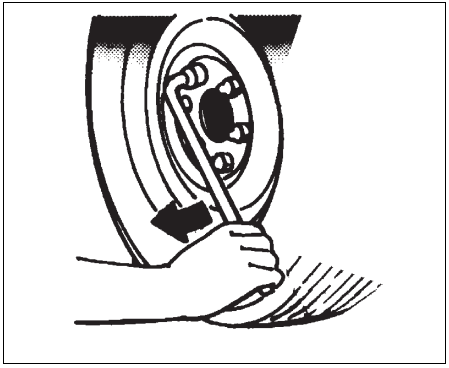
- ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリースなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

9. ナットを、図の順序で2～3回に分けて締め付けます。




10. ジャッキを下げます。
さらにナットを手順9の締め付け順序で十分に締め付けます。

**ホイールナット締め付けトルク**
**108N・m（11kg・m）**



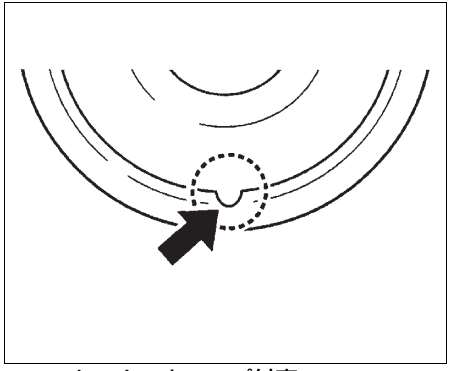
**⚠ 注意**

- ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

**アドバイス**

- ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

11. **ホイールカバー付車**
ホイールカバーを取り付けます。
ホイールカバーはエアバルブの位置を合わせます。



**センターキャップ付車**
センターキャップを取り付けます。

12. パンクしたタイヤや使用した工具、ジャッキなどを元の場所に格納します。
パンクしたタイヤは、スペアタイヤに取り付けられていたストラップを取り付け、スペアタイヤ格納場所に収納します。

**⚠ 注意**

- タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみや車体の振動などの異常がないか確認してください。

**📖 知識**

- パンクしたタイヤは、ストラップの持ち手が車両後方にくるように収納してください。

## タイヤ応急修理のしかた（タイヤ応急修理キット付車）

タイヤトレッド部（接地面）に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
しかし本キットは応急修理を目的としているため、修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理を行ってください。

**📖 知識**

- 次の場合、応急修理はできませんので、日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。
  - 修理剤の有効期限が切れている場合
  - 約6mm以上の切り傷や刺し傷がある場合
  - タイヤサイド部が損傷を受けた場合
  - ほとんど空気の抜けた状態で走行した場合
  - タイヤがリムの外側、または内側へ完全に外れている場合
  - リムが破損している場合
  - タイヤが2本以上パンクしている場合

**⚠ 注意**

**タイヤ応急修理キットについて**

- 応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 応急修理キットは、搭載車両専用です。他の車には使用しないでください。
- 応急修理キットは自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外で使用しないでください。
- 応急修理キットはDC12V専用です。他の電源での使用はできません。
- 水やほこりを避けて使用してください。
- 分解、改造などは絶対にしないでください。
- コンプレッサーに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意してください。

**修理剤について**

- 飲むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一目や皮膚に付着した場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

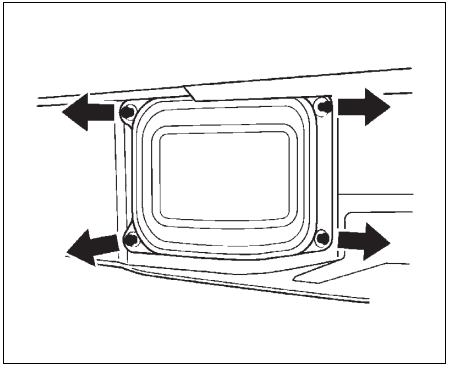
**📖 知識**

- タイヤ応急修理キットの修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。タイヤの交換については専門の修理業者と相談し、損傷が激しい場合は交換、修理可能と判断された場合は修理を実施してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。

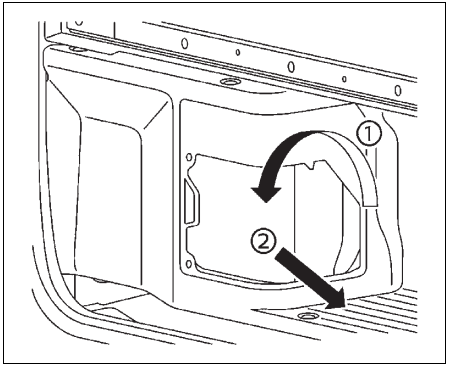
### タイヤ応急修理キットの取り出しかた

**■ タイプA**

1. クリップ（4箇所）を引っ張ってロックを外してカバーを外します。

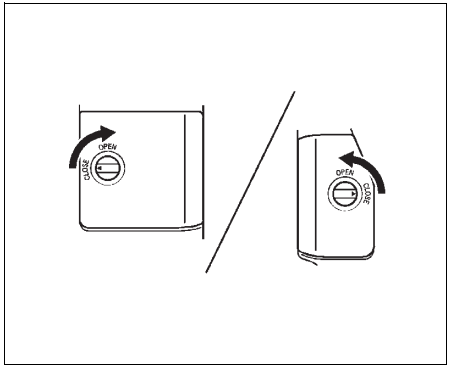


2. バンドを外し、工具を取り出します。
3. タイヤ応急修理キットを車両外側に傾けます。①
4. タイヤ応急修理キットを車両後方へ引き出して取り出します。②

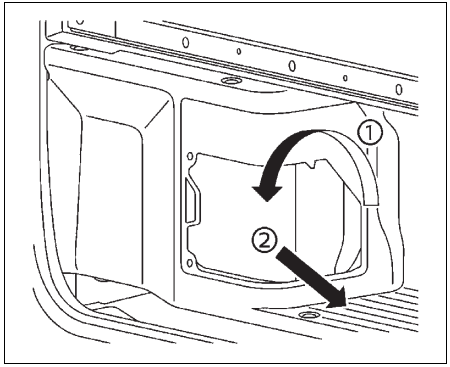



■ タイプB

1. カバーのダイヤルを「OPEN」の位置に合わせ、カバーを外します。




2. 工具を取り出します。
3. タイヤ応急修理キットを車両外側に傾けます。①
4. タイヤ応急修理キットを車両後方へ引き出して取り出します。②




## 応急修理のしかた

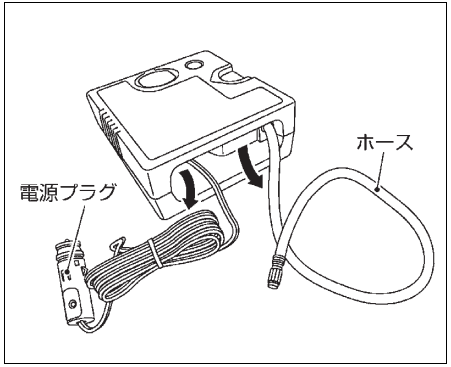
※車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

**アドバイス**

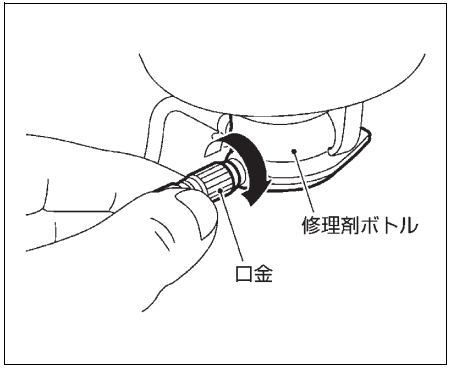
- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにタイヤ応急修理キットで応急修理してください。

■ タイプA

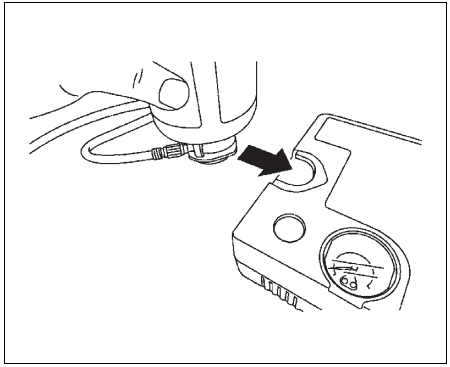
1. コンプレッサーからホースと電源プラグを取り出します。



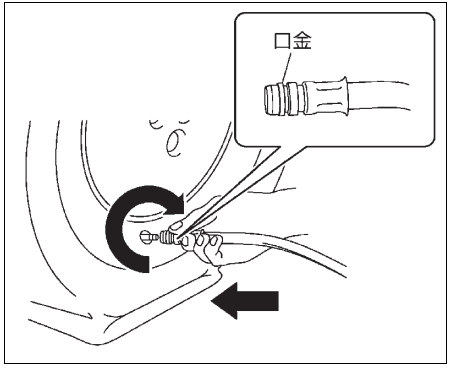

2. コンプレッサーからのホースの口金を修理剤ボトルにしっかりとねじ込みます。



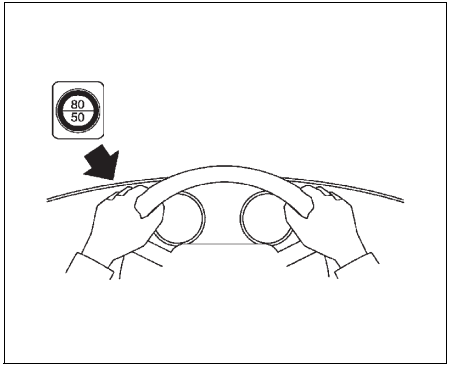

3. コンプレッサーにボトルを固定します。



4. パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。
5. ボトルからのホースの口金をパンクしたタイヤのバルブにしっかりとねじ込みます。



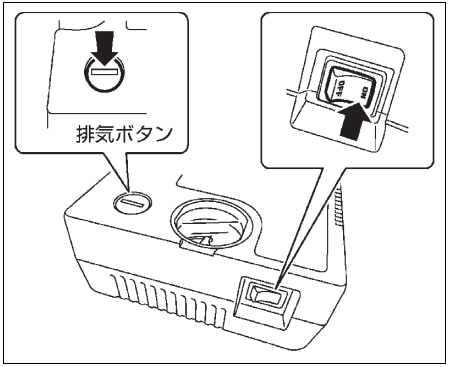

6. 修理剤ボトルの速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。




**⚠ 注意**

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

7. コンプレッサーのスイッチがOFFであることを確認し、電源プラグを車内の電源ソケットに差し込みます。
8. エンジンを始動します。
9. コンプレッサーのスイッチをONにし、タイヤを指定空気圧まで昇圧させます。この際、実際の空気圧が測れるようにコンプレッサーを一時停止して空気圧計で測定してください。空気圧が高すぎる場合は、排気ボタンを押して、空気を抜いてください。




**⚠ 注意**

- ホースとタイヤのバルブの接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛びちるおそれがあります。
- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにコンプレッサーのスイッチをOFFにし、修理を中止してください。
- タイヤのバルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。

※タイヤの指定空気圧は運転席ドア開口部に表示、および巻末のサービスデータに記載してあります。

**アドバイス**

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

**10分以内に260kPa以上まで昇圧できない場合**

- 10分以内に260kPa以上まで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。
- JAFの営業所一覧については別冊のメンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

10. 指定空気圧、または260kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチをOFFにし、電源プラグを電源ソケットから抜きます。
11. ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。

**⚠ 注意**

- 空気を入れたあとは、ホースの口金が熱くなることがあります。やけどしないように注意してください。

12. ただちに走行を始め、3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。
13. 走行後、再度タイヤ空気圧を測定します。コンプレッサーのスイッチがOFFであることを確認します。コンプレッサーからのホースを修理剤ボトルから取り外し、タイヤのバルブに取り付けて空気圧計で測定してください。

**190kPa未満の場合**

- 本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

**190kPa以上指定空気圧未満の場合**

- コンプレッサーのスイッチをONにして指定空気圧まで昇圧し、12、13の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。
- JAFの営業所一覧については別冊のメンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

**指定空気圧の場合**

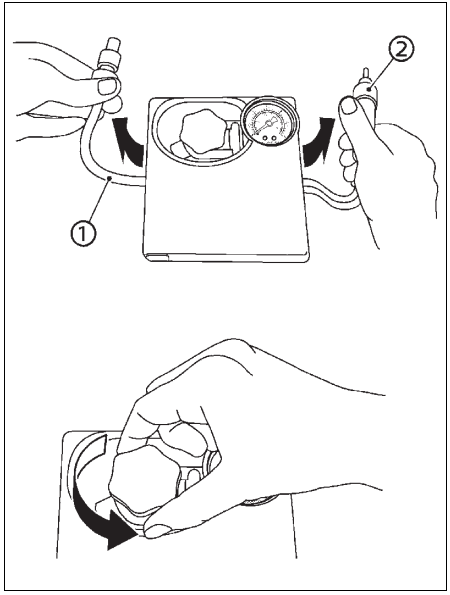
- 応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

**アドバイス**

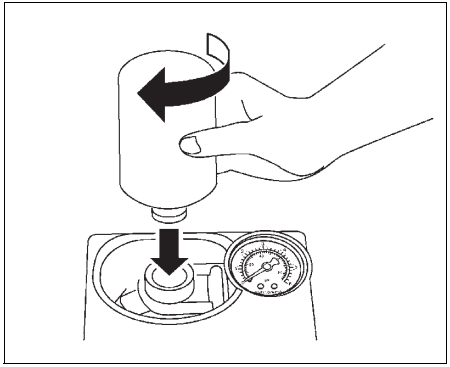
- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理業者で点検を受けてください。
- 修理剤は再使用できません。使用後は新しい修理剤をお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

**■ タイプB**

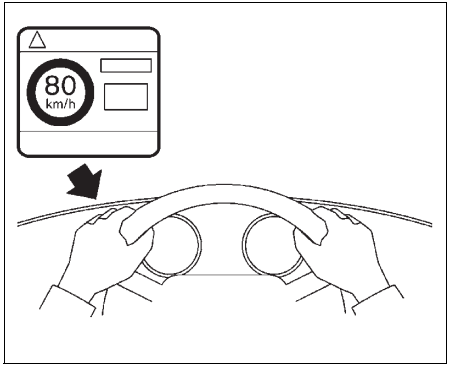
1. タイヤ応急修理キットを取り出します。




2. コンプレッサーからホース①、電源プラグ②を取り出し、コンプレッサーからボトルホルダーのキャップを外します。



3. 修理材ボトルのキャップを外し、内ぶたを付けたままボトルホルダーに取り付けます。
（ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。）




4. コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。

**⚠ 注意**

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。

  SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

5. パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。

**⚠ 注意**

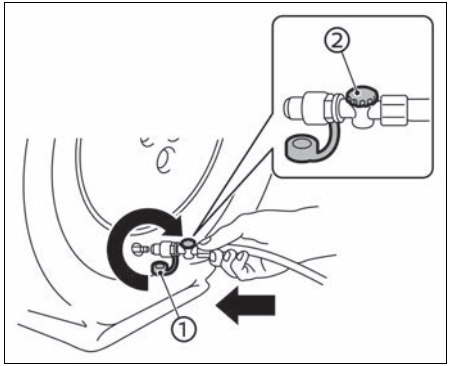
- ホースとタイヤのバルブの接続をしっかりと行う。

  接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散ったりするおそれがあります。

- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れる。
- タイヤに亀裂や変形が生じている場合、ただちにコンプレッサーのスイッチをOFF（「○」の位置）にし、修理を中止する。

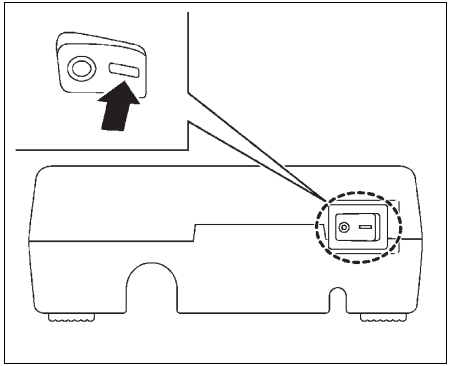
  バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。

- 空気を入れたあとは、ホースの口金が熱くなることがあるため、やけどしないように注意する。




6. ホース先端の保護キャップ①を外し、ホースをパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。

   このとき、排気バルブ②が閉まっていることを確認してください。
7. コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）の状態で、電源プラグを車室内の電源ソケットに差し込みます。
8. エンジンを始動します。



9. コンプレッサーのスイッチをON（「｜」の位置）にし、タイヤを指定空気圧または260kPa以上になるまで空気を充てんします。この際、実際の空気圧が測れるようにコンプレッサーを一時停止して空気圧計で測定してください。

   ※タイヤの指定空気圧は、運転席ドア開口部に表示されています。
10. 指定空気圧または260kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチをOFF（「○」の位置）にし電源プラグを電源ソケットから抜きます。
11. ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。

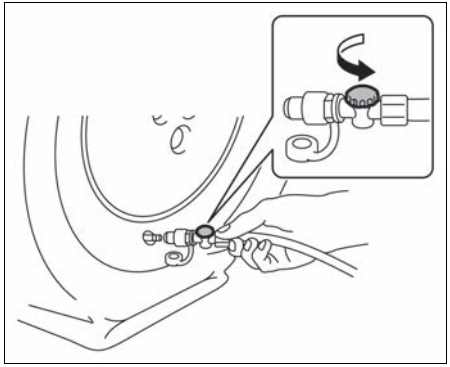
**アドバイス**

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。
- 修理剤ボトルは、コンプレッサーのボトルホルダーから取り外さないでください。取り外すとボトル内に残った液剤がこぼれるおそれがあります。

**10分以内に260kPaまで昇圧できない場合**

10分以内に260kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理をすることはできません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

**空気を入れすぎてしまったとき**



排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。

12. ただちに走行を始め、10分間または3km程度走行してください。
80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

**⚠ 注意**

- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。

13. 走行後、再度タイヤ空気圧を測定します。コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）であることを確認します。コンプレッサーからのホースをタイヤのバルブに取り付け、タイヤ空気圧を確認してください。

**190kPa未満の場合**

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスにご連絡ください。

**190kPa以上指定空気圧未満の場合**

コンプレッサーのスイッチをON（「｜」の位置）にして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスにご連絡ください。

JAFの営業所一覧については別冊のメンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

**指定空気圧の場合**

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

**アドバイス**

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理会社で点検を受けてください。
- 修理剤とホースは再使用できません。使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

# オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計（➔P.94）がオーバーヒートの範囲を示したとき。
- エンジンカバーのすき間から蒸気が出ているとき。

**⚠ 警告**

- エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンカバーを開けるときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

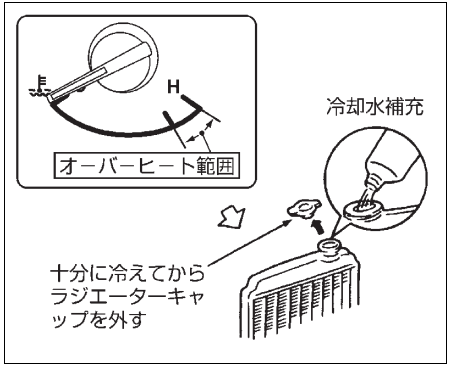
## 処置のしかた

1. ただちに安全な場所に停車します。
2. エンジンをかけたままエンジンカバーを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
   万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。

**⚠ 警告**

- 蒸気が出ているときは、エンジンカバーを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンカバーを開けてください。

3. 水温計がオーバーヒート範囲より下がったら、エンジンを止めしばらく待ちます。
   エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。




4. 冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。

- 補充後は、しっかりキャップを閉めてください。

  ➔エンジンルーム内配置図 (P.333)

  ➔サービスデータ (P.324)

**アドバイス**

- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早く冷却水を交換してください。

5. 走行中、再度水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、1～4の作業を繰り返し行ってください。
6. 早めに日産販売会社で点検を受けてください。



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

# 水没したときは

## 水没したときの対処のしかた

水没したときは、次のような対処方法で車外に脱出してください。

- シートベルトを外して車外に脱出してください。
- ドアが開く水位が低いうちにドアを開けて、車外に脱出してください。
- ドアが開かなかった場合、パワーウインドーのスイッチを押し窓ガラスを開け、窓から車外に脱出してください。
- パワーウインドーのスイッチを押しても窓ガラスが開かない場合、以下の方法で脱出してください。
  - 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がある場合、窓ガラスを割り窓から車外に脱出してください。
  - 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がない場合、または緊急脱出用ハンマーで窓ガラスが割れない場合には、車内外の水位が同じ高さくらいまで浸水するのを待ち、ドアを強く押し開けて車外に脱出してください。（車内外の水圧差がなくなると、ドアを開けることができます。）
  - 浸水・冠水被害に遭われた場合は、車両故障につながるおそれがあるため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

**⚠ 警告**

- 水位が窓ガラスよりも高いとき、緊急脱出用ハンマーを使用した場合、割れたガラスが車内に入り、ケガをするおそれがあります。

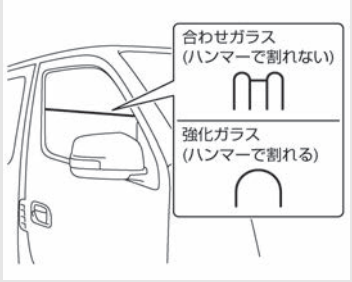
### 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）について

- フロントウインドーガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。フロントウインドーガラス以外を割って脱出してください。

  ※フロントウインドーガラス以外については、車両の仕様変更により合わせガラスの場合があります。合わせ、または強化ガラスの見分け方法については、ガラスの断面、もしくは刻印（マーク）を確認することで見分けることができます。

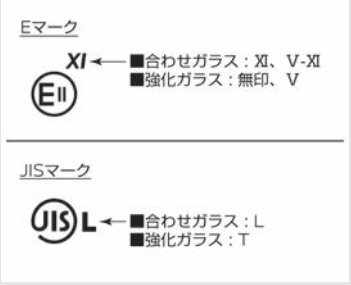
### ガラスの断面で合わせガラスを見分ける方法

- ガラスを半分ほど開け、断面を確認し、2枚のガラスが貼り合わせられている場合は合わせガラスです。




### ガラスにある刻印（マーク）で合わせガラスを見分ける方法

- ガラスには次のような刻印（マーク）が表示されています。この表示によって、合わせガラスかどうかを見分けることができます。




※車両によっては、刻印（マーク）が表示されていない、またはガラスの種類を示す表示の位置が異なる場合があります。

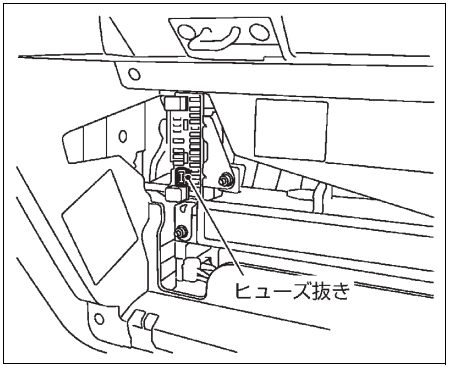
# ヒューズを点検・交換するときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。
故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

## ヒューズボックスの位置

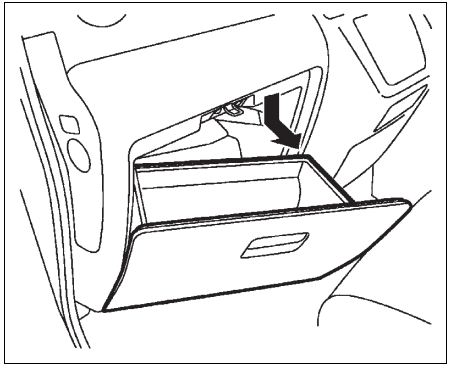
ヒューズボックスはグローブボックスの奥とエンジンルームにあります。

### グローブボックス奥




■ グローブボックスの取り外しかた

1. グローブボックスを開けた状態で上方向に引き、下側のロック部を外します。
2. グローブボックスを傾け、ピンを右側から片方ずつ抜いて取り外します。

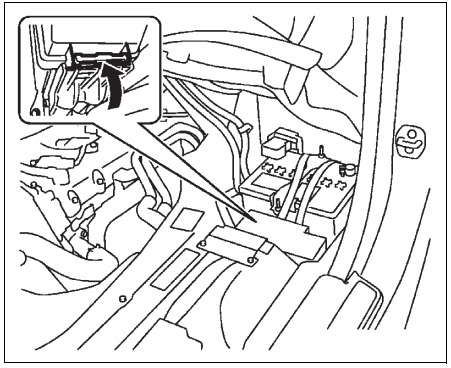


■ 取り付けかた

- 取り外したときと逆の手順で取り付けます。

### エンジンルーム

バッテリーの前側にあります。

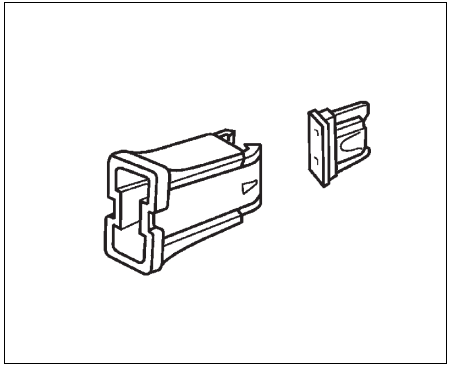


## ヒューズの位置

- グローブボックスの奥、またはヒューズボックスのふたに表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります。

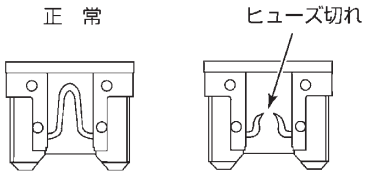
## ヒューズの交換のしかた

1. キースイッチ（電源ポジション）をOFF、またはLOCKにします。
2. ヒューズボックスのふたを開けます。
3. ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



4. ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。

# ヒューズを点検・交換するときは




**⚠ 警告**

- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

**アドバイス**

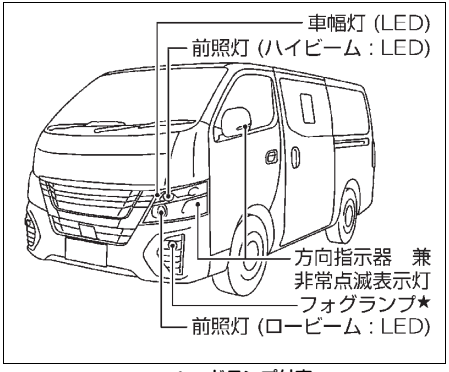
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズ抜きは、ヒューズに対して垂直に差し込み、引き抜いてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

# 電球（バルブ）を交換するときは

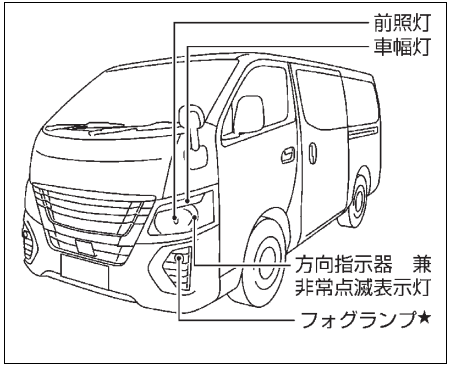
外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

- バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。
- ヘッドランプを外したときは、ヘッドランプの光軸調整が必要です。ヘッドランプの光軸調整は日産販売会社にご相談ください。

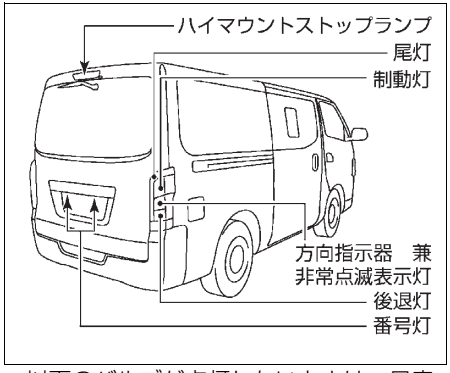
## 外装ランプの位置




**LED ヘッドランプ付車**



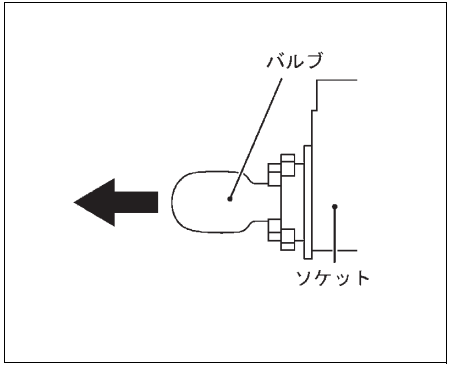

**ハロゲンヘッドランプ付車**




- 以下のバルブが点灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
  - 前照灯（LEDヘッドランプ付車）
  - 車幅灯（LEDヘッドランプ付車）
  - フォグランプ★
  - ハイマウントストップランプ
  - 制動灯／尾灯
  - 方向指示器兼非常点滅表示灯（側面：ドアミラー内蔵タイプ）

## バルブの外しかた

各バルブ（前照灯〔ハロゲンヘッドランプ〕を除く）をソケットから外すときは、バルブを持ち、引き抜きます。

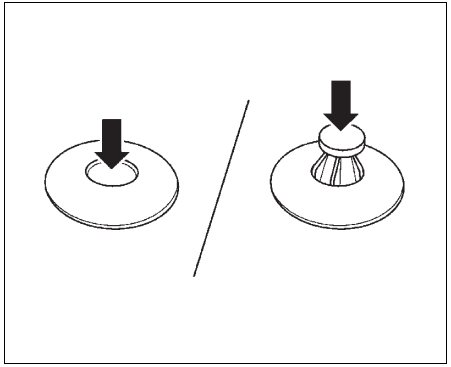



## クリップの脱着のしかた

バルブの交換作業をするときは、クリップを外し、内装などを脱着します。

以下の方法で、各クリップを脱着してください。

- 先の細い工具などでクリップの中央部を押し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- 取り付けるときは、クリップの中央部を下から押し出してから取り付け、指でクリップの中央部を押し込みます。



## フロントグリルの脱着のしかた

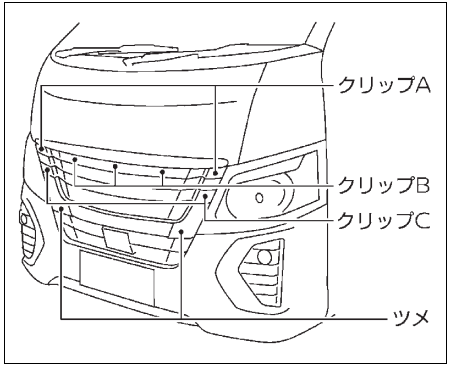
●前照灯（ハロゲンヘッドランプ）、車幅灯（ハロゲンヘッドランプ付車）、方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）のバルブを交換するときは、フロントグリルを外す必要があります。
お手持ちの工具（ドライバーなど）を使い、次の手順で脱着してください。

**アドバイス**

● 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。

### 外しかた

1. フロントグリル上部の両端部にあるクリップAをお手持ちのリムーバーツールなどを使用して取り外します。
2. フロントグリルを車両前方に引いてクリップB（標準幅車：3箇所、ワイド幅車、パラメディック（救急車）：5箇所）、Cの順に取り外します。




3. フロントグリルを車両前方に引き、ヘッドランプとの間にできたすき間に指を入れ、剥ぎ取るようにツメを取り外します。
4. フロントビューカメラのハーネスコネクターを取り外します。

**アドバイス**

● リムーバーツールを布などで覆い、傷をつけないように注意してください。

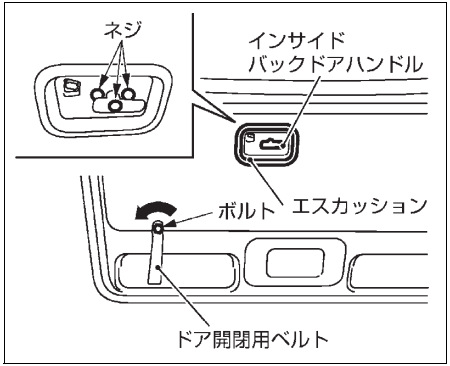
### 取り付けかた

1. フロントビューカメラのハーネスコネクターを取り付けます。
2. 取り外したときと逆の手順で取り付けます。

## バックドアフィニッシャーインナーの外しかた

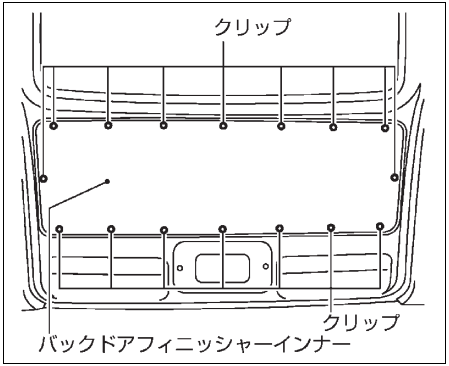
交換するバルブによってはバックドアフィニッシャーインナーを外す必要があります。

1. ドア開閉用ベルトとインサイドバックドアハンドルおよびエスカッションを外します。




●ボルトを外し、ドア開閉用ベルトを外します。
●ネジ（3箇所）を外し、インサイドバックドアハンドルおよびエスカッションを外します。

2. クリップ（16箇所）を外し、バックドアフィニッシャーインナーを外します。




3. 取り外したときと逆の手順で取り付けます。

## バルブ交換のしかた

- 交換をする前にバッテリーの⊖端子を外してください。
- 指定された容量のバルブ（➔P.328）に交換してください。
- 交換したあとは、点灯することを確認してください。
  点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

**⚠ 注意**

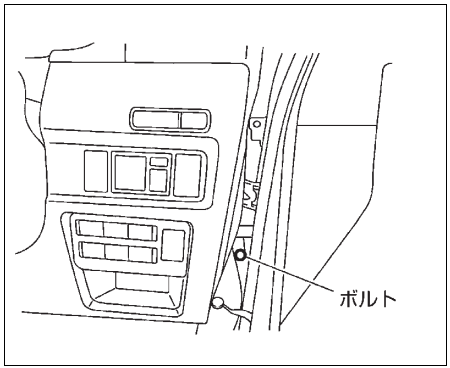
- バルブの交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

**アドバイス**

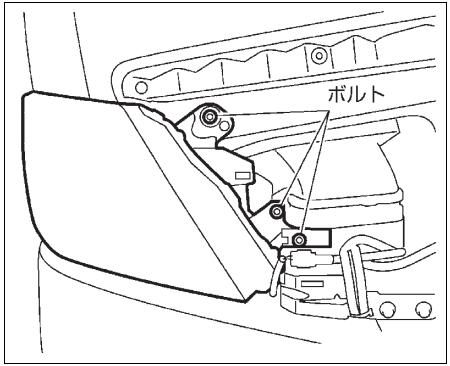
- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。

## 車幅灯（ハロゲンヘッドランプ付車）

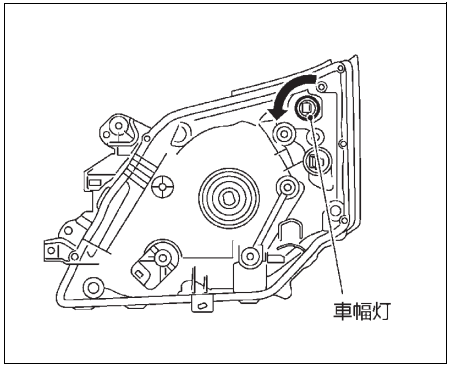
1. フロントグリルを外します。
   ➔フロントグリルの脱着のしかた (P.318)
2. 前席ドアを開け、ボルトを外します。




3. ボルト3本を外し、ランプを車両前方に引いて取り外します。




4. ソケットを反時計回りに回して外し、バルブを引き抜いて交換します。



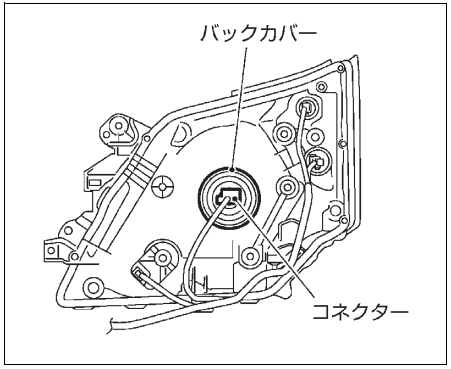

5. 取り外したときと逆の手順で取り付けます。



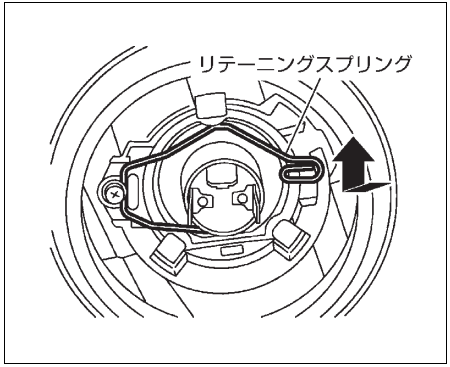
☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

## 前照灯（ハロゲンヘッドランプ）

1. ランプを外します。
   車幅灯（ハロゲンヘッドランプ付車） (P.319)の手順1～3をお読みください。
2. コネクターとバックカバーを外します。




3. リテーニングスプリングを内側に押しながら外し、バルブを交換します。




4. 取り外したときと逆の手順でリテーニングスプリングとバックカバーを取り付けます。

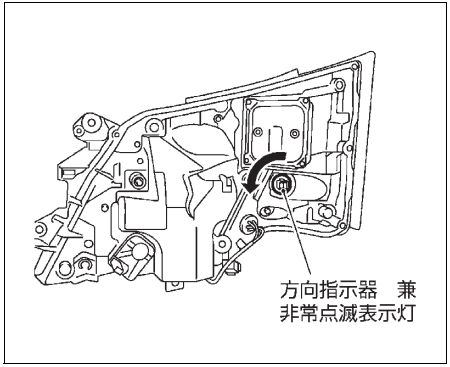
**アドバイス**

- リテーニングスプリングが必ず固定されたことを確認してください。
- バックカバーは確実にはめ込まれていることを確認してください。ヘッドランプ内に水が入るおそれがあります。

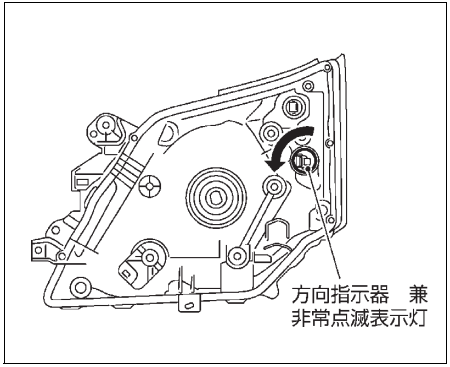
5. コネクターを"カチッ"と音がするまで押し込みます。

## 方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）

1. ランプを外します。
   車幅灯（ハロゲンヘッドランプ付車） (P.319)の手順1～3をお読みください。
2. ソケットを反時計回りに回して外し、バルブを引き抜いて交換します。




**LED ヘッドランプ付車**



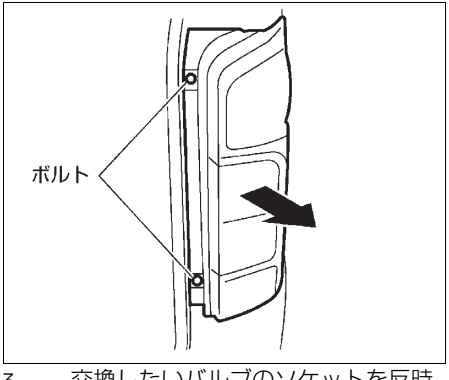

**ハロゲンヘッドランプ付車**

3. 取り外したときと逆の手順で取り付けます。

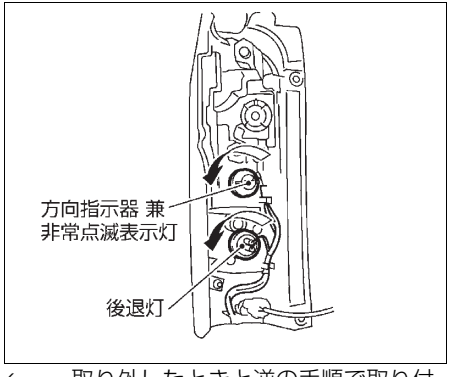
# 電球（バルブ）を交換するときは

## 方向指示器兼非常点滅表示灯（後面）、後退灯

1. バックドアを開けます。
2. お手持ちの工具を使ってボルトを外し、ランプを車両後方に引いて外します。



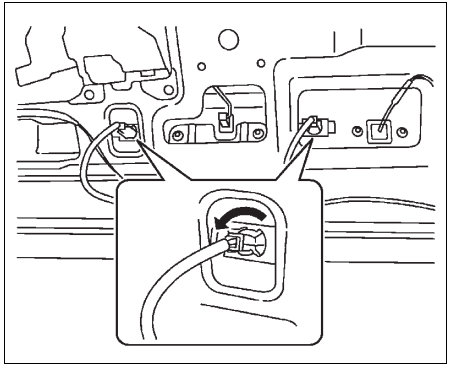

3. 交換したいバルブのソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。




4. 取り外したときと逆の手順で取り付けます。

## 番号灯

1. バックドアフィニッシャーインナーを外します。（P.318）
2. ソケットを反時計回りに回して外し、バルブを引き抜いて交換します。



3. 取り外したときと逆の手順で取り付けます。

## 事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。

同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。

## サービスデータ


| | |
|---|---|
| 点検・整備について | P.324 |
| 点検値 | P.324 |
| 交換油脂類 | P.325 |
| 電球（バルブ）の容量 | P.328 |
| タイヤ・ロードホイールサイズ | P.329 |
| タイヤ空気圧 | P.329 |
| 点検整備箇所 | P.331 |
| エンジンルーム内配置図 | P.333 |

## 点検・整備について

メンテナンスノートに、点検・整備および保証の内容について記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

- 点検・整備の実施、記録、保存は法律で義務づけられています。
- 点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

## 点検値

| 項目 | | 適用 | | 点検値 |
|---|---|---|---|---|
| オルタネーター・クーリングファン・ウオーターポンプ・エアコンコンプレッサー・パワーステアリングポンプベルト | | 全車 | | ※ |
| ブレーキペダル | 遊び | 全車 | | 3～11mm |
| | 床板とのすき間約490N（約50kg）で踏んだとき | QR20DE<br>QR25DE<br>（パラメディック（救急車）以外） | | 105mm以上 |
| | | QR25DE<br>（パラメディック（救急車）） | | 100mm以上 |
| | | 4N16 | | 95mm以上 |
| パーキングブレーキ | 踏みしろ約196N（約20kg）で操作したとき | QR20DE<br>QR25DE | 標準幅車 | 8～9ノッチ |
| | | | ワイド幅車 | 6～7ノッチ |
| | | 4N16 | 全車 | 5～6ノッチ |

※ ベルトの張力は自動で調整されるため、手動で調整できません。なお、使用限度を超えているものは交換が必要になります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

## 交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。
記載の規定量はおおよその規定量で、実際の量とは異なることがあります。交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。

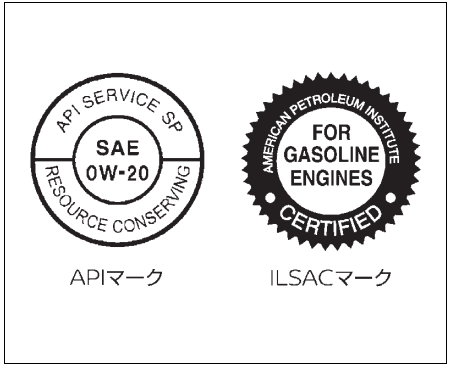
### エンジンオイル

| 適用 | 規定量（ℓ） | | 指定銘柄 |
|---|---|---|---|
| | オイルのみ交換 | オイルとオイルフィルター交換 | |
| QR20DE（ターボ無車） | 4.9 | 5.2 | 日産純正SNストロングセーブ・X 0W－20<br>（API：SN、SAE：0W－20） |
| QR25DE（ターボ無車） | 4.2 | 4.5 | 日産純正SPストロングセーブ・X 0W－20※<br>（API：SP、SAE：0W－20） |
| 4N16（ターボ付車） | 7.0 | 7.5 | 日産純正ディーゼルオイル E26 スペシャル 0W-30<br>（SAE : 0W-30） |

※：工場充填油

**<指定銘柄以外のエンジンオイルについて>**
指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。

| エンジン | 粘度※1 | グレード |
|---|---|---|
| QR20DE（ターボ無車）<br>QR25DE（ターボ無車） | 0W-20 | API規格SN、SPをお使いください。<br>ILSACマークのついたものをおすすめします。 |
| 4N16（ターボ付車） | 0W-30 | JASO規格DL-2をお使いください。 |
| | 5W-30 | ACEA規格C3をお使いください。※2 |




APIマーク　ILSACマーク

**API マーク、ILSAC マーク**




JASOマーク

**JASO マーク**

※1： SAE規格をお使いください。
※2： ACEA規格にはマークがありません。

## 尿素水

| 適用 | 規定量（ℓ） | 指定銘柄 |
|---|---|---|
| 4N16 （ターボ付車） | 11.4 | AdBlue® |

## オートマチックトランスミッションフルード

| 適用 | 規定量（ℓ） | 指定銘柄 |
|---|---|---|
| QR20DE （ターボ無車） | 10.3 | 日産純正マチックフルードS ※ |
| QR25DE （ターボ無車）（パラメディック（救急車）以外） | 10.7 | |
| QR25DE （ターボ無車）（パラメディック（救急車）） | 11.0 | |
| 4N16 （ターボ付車） | 11.4 | |

※：オートマチックトランスミッションフルードは、指定のマチックフルードを必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、オートマチックトランスミッションが破損するおそれがあります。

## フロントデファレンシャルオイル

| 適用 | 規定量（ℓ） | 指定銘柄 |
|---|---|---|
| 4WD | 1.3 | 日産純正デフオイルハイポイドスーパー（API：GL－5、SAE：80W－90） |

## リヤデファレンシャルオイル

| 項目 | 適用 | 規定量（ℓ） | 指定銘柄 |
|---|---|---|---|
| QR20DE（ターボ無車） | 2WD | 1.6 | 日産純正デフオイルハイポイドスーパーS（API：GL－5、SAE：75W－90） |
| QR25DE（ターボ無車） | 4WD | | |
| 4N16（ターボ付車） | | | |
| QR25DE（ターボ無車） | 2WD | | 日産純正ハイポイドフルードS1（API：GL－5、SAE：75W－80） |
| 4N16（ターボ付車） | | | |

## トランスファーオイル

| 適用 | 規定量（ℓ） | 指定銘柄 |
|---|---|---|
| 4WD | 1.3 | 日産純正マチックフルードC |

## パワーステアリングフルード

| 適用 | 規定量（ℓ） | 指定銘柄 |
|---|---|---|
| 全 車 | 1.0 | 日産純正パワーステアリングフルード |



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

## ブレーキフルード

| 適用 | 規定量（ℓ） | 指定銘柄 |
|---|---|---|
| 全 車 | — | 日産純正ブレーキフルード No.2500（DOT3） |

## 冷却水

| 適用 | | 規定量（ℓ） | 指定銘柄 |
|---|---|---|---|
| 標準幅車 | QR20DE<br>QR25DE | 8.3(9.3) ※ | 日産純正スーパーロングライフクーラント |
| | 4N16 | 10.5(11.5)※ | |
| ワイド幅車 | QR25DE | 8.7(9.9) ※ | |
| パラメディック（救急車） | | 9.6 ※ | |

※：リザーバータンクの容量を含みます。（ ）内はリヤヒーター付車の容量です。

## ウォッシャー液

| 適用 | 規定量（ℓ） | 指定銘柄 |
|---|---|---|
| 全車 | 3.5 | 日産純正ウインドウォッシャー液 ※ |

※ 外気温に応じて濃度を調節してください。

## 電球（バルブ）の容量

| 電球（バルブ） | | 容量（V－W） | バルブタイプ |
|---|---|---|---|
| 前照灯（ヘッドランプ） | LEDヘッドランプ付車 | LED ※ | — |
| | ハロゲンヘッドランプ付車 | 12－60／55 | H4 |
| 前部霧灯（フォグランプ） | | LED ※ | — |
| 車幅灯 | LEDヘッドランプ付車 | LED ※ | — |
| | ハロゲンヘッドランプ付車 | 12－5 | W5W |
| 番号灯 | | 12－5 | W5W |

| 電球（バルブ） | | 容量（V－W） | バルブタイプ |
|---|---|---|---|
| 制動灯／尾灯 | | LED ※ | － |
| ハイマウントストップランプ | | LED ※ | － |
| 後退灯 | | 12－16 | W16W |
| 方向指示器兼非常点滅表示灯 | 前面、後面 | 12－21（アンバー） | WY21W |
| | 側面 | LED ※ | － |

※：電球（バルブ）単体の交換はできません。

## タイヤ・ロードホイールサイズ

| タイヤサイズ | ロードホイールサイズ | | |
|---|---|---|---|
| | リムサイズ | P.C.D. | インセット |
| 185/75R15 106/104Q LT | 15×5 1/2 JJ | 139.7mm（6穴） | 45mm |
| 195/80R15 107/105Q LT | | | |

## タイヤ空気圧

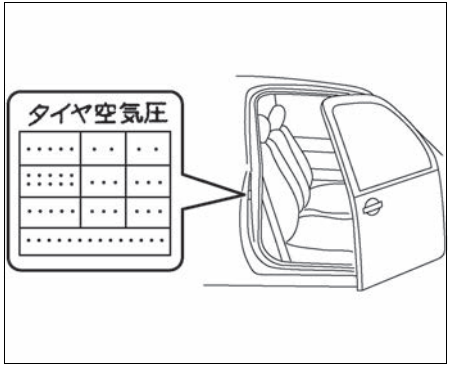
| 適用車種 | タイヤサイズ | 空気圧（kPa（kgf/cm²）） | |
|---|---|---|---|
| | | 前輪 | 後輪 |
| 低床バン2WD（QR20DE） | 195/80R15 107/105Q LT | 325（3.25）[450（4.5）] | 300（3.0）[450（4.5）] |
| 低床バン2WD（QR25DE） | 195/80R15 107/105Q LT | 350（3.5）[450（4.5）] | 300（3.0）[450（4.5）] |
| 低床バン4WD（QR25DE） | 195/80R15 107/105Q LT | 375（3.75）[450（4.5）] | 300（3.0）[450（4.5）] |
| 低床バン（4N16、ロングボディ車） | 195/80R15 107/105Q LT | 375（3.75）[450（4.5）] | 300（3.0）[450（4.5）] |
| 低床バン（4N16、スーパーロングボディ車） | 195/80R15 107/105Q LT | 425（4.25）[450（4.5）] | 300（3.0）[450（4.5）] |

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

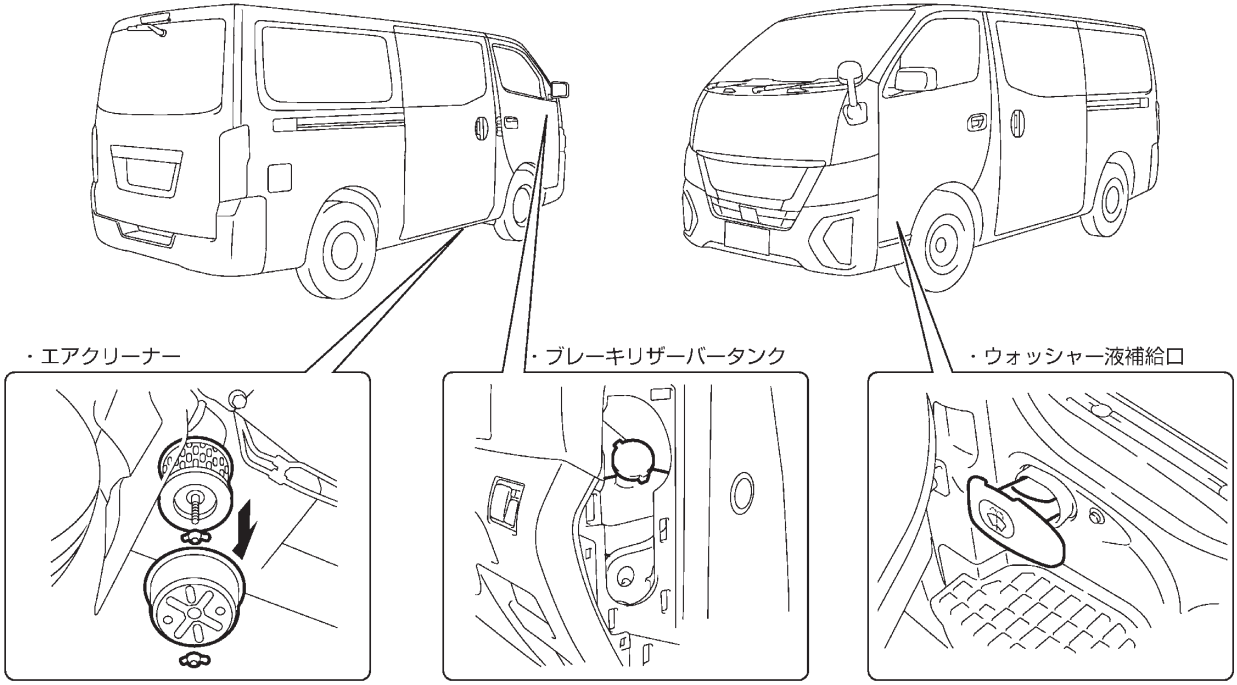
# サービスデータ

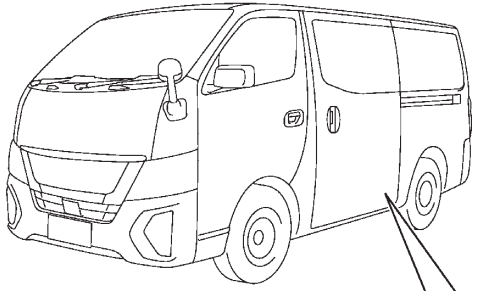
| 適用車種 | タイヤサイズ | 空気圧（kPa（kgf/cm²））<br>前輪 | 空気圧（kPa（kgf/cm²））<br>後輪 |
|---|---|---|---|
| 平床バン（QR20DE） | 185/75R15 106/104Q LT | 400（4.0）<br>[425（4.25）] | 400（4.0）<br>[600（6.0）] |
| 平床バン（QR25DE） | 185/75R15 106/104Q LT | 425（4.25）<br>[475（4.75）] | 400（4.0）<br>[600（6.0）] |
| 平床バン（4N16、ロングボディ車） | 185/75R15 106/104Q LT | 450（4.5）<br>[500（5.0）] | 400（4.0）<br>[600（6.0）] |
| 平床バン（4N16、スーパーロングボディ車） | 185/75R15 106/104Q LT | 500（5.0）<br>[550（5.5）] | 400（4.0）<br>[600（6.0）] |
| ワゴン | 195/80R15 107/105Q LT | 300（3.0） | 260（2.6） |
| バン（ワイド幅車） | 195/80R15 107/105Q LT | 350（3.5）<br>[450（4.5）] | 300（3.0）<br>[450（4.5）] |
| マイクロバス（QR25DE） | 195/80R15 107/105Q LT | 350（3.5） | 425（4.25） |
| パラメディック（救急車） | 195/80R15 107/105Q LT | 450（4.5） | 450（4.5） |

※タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。
[ ]内は、最大積載量の約半分以上積載したときの空気圧です。

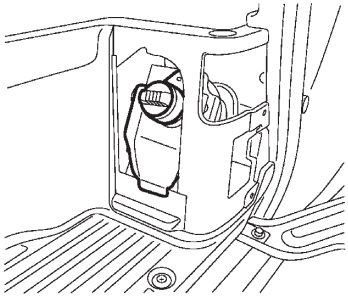


## 点検整備箇所

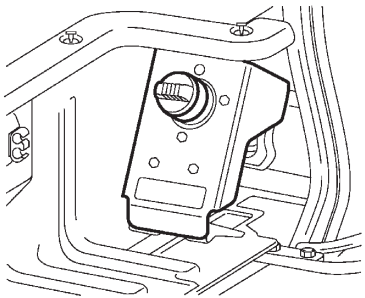




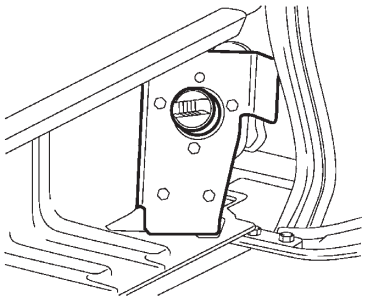
・尿素水補給口



カバー付車



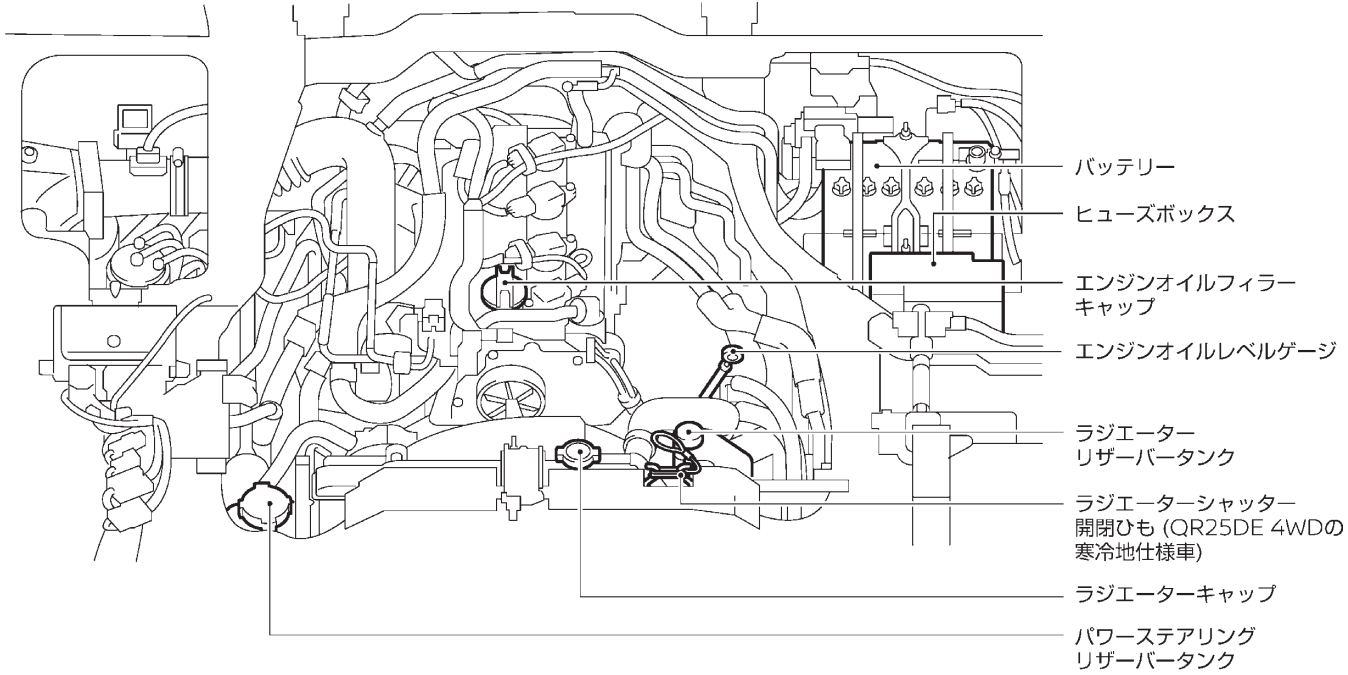
カバー無車



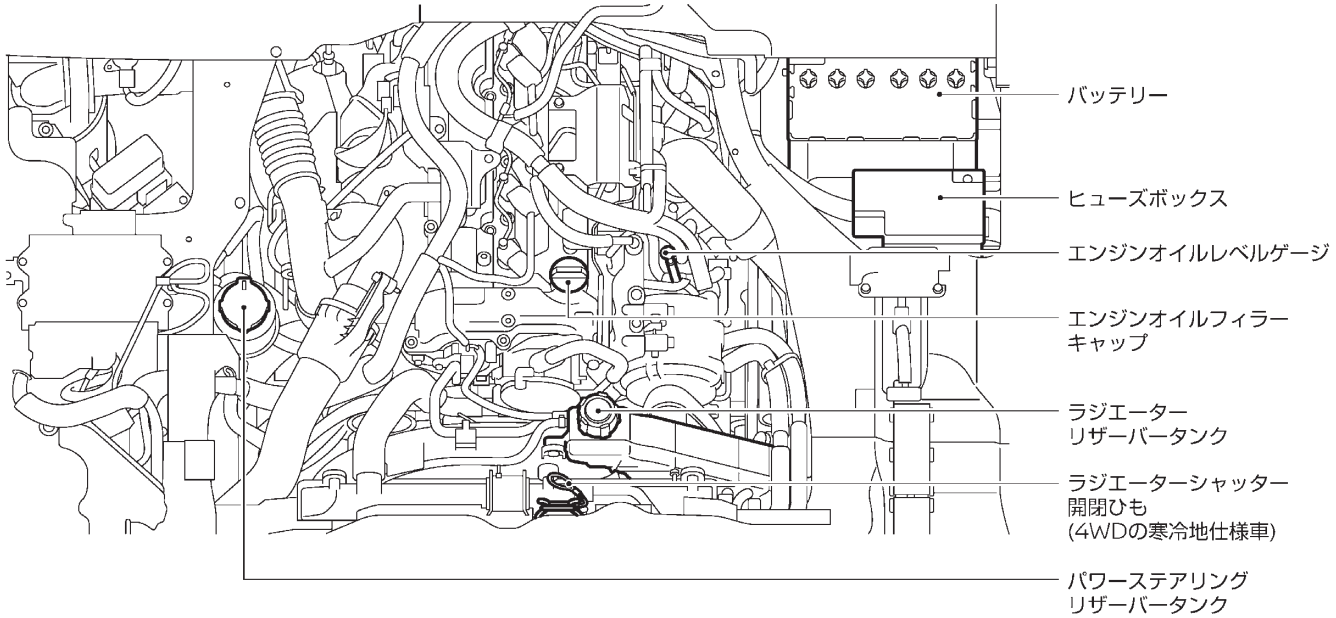
ステップボード付車

## エンジンルーム内配置図

### QR20DE（ターボ無車）、QR25DE（ターボ無車）



## 4N16（ターボ付車）


バッテリー
ヒューズボックス
エンジンオイルレベルゲージ
エンジンオイルフィラー
キャップ
ラジエーター
リザーバータンク
ラジエーターシャッター
開閉ひも
(4WDの寒冷地仕様車)
パワーステアリング
リザーバータンク

## A


A/C（エアコン） P.209
A/T車の運転のしかた P.153
A/Tセレクトレバー P.150
A/T電子制御システム警告灯 P.128
ABS P.166
ABS警告灯 P.126
AdBlue®
AdBlue®（規定量） P.326
AdBlue残量 P.98
尿素SCRシステム P.161
尿素水（AdBlue®）の残量がなくなったとき P.166
尿素水（AdBlue®）の補給 P.59
AV機器 P.224


## C


CD P.224


## D


DPF P.158
DPF警告灯 P.129
DPFの取り扱い P.27


## E


ELR（緊急固定）付3点式シートベルト P.79


## I


INT（ワイパー） P.142


## L


LDW（車線逸脱警報）
LDW（車線逸脱警報） P.199
LDW（車線逸脱警報）表示 P.199
LLC（冷却水）
寒冷時の取り扱い P.259
タンク容量、濃度 P.328


## M


MIL（故障）警告灯 P.125
MIST（ワイパー） P.142


## O


ODOメーター P.94


## S


SRSエアバッグ P.89
SRSエアバッグ警告灯 P.127


## T


TRIP（トリップメーター） P.95


## V


VDC
VDC P.167
VDC OFFスイッチの使いかた P.168
VDC OFF表示灯 P.124
VDC警告灯 P.127


## W


W数（電球の容量） P.328


## ア


アウターミラー（ドアミラー） P.70
アダプティブシフトコントロール P.151
アドバンスドドライブアシストディスプレイ P.95
AdBlue®
AdBlue®（規定量） P.326
AdBlue残量 P.98
尿素SCRシステム P.161
尿素水（AdBlue®）の残量がなくなったとき P.166
尿素水（AdBlue®）の補給 P.59
アラーム
インテリジェントキー P.286
アラーム（インテリジェントキー） P.133
アラーム（警報装置） P.132
アンダーミラー P.72
アンチロックブレーキシステム P.166
アンテナ P.224


## イ


一時停止標識検知 P.202
イベントデータレコーダ P.30
イモビライザー P.32
イルミネーションコントロール P.96
インテリジェント DA（ふらつき警報） P.201

# さくいん


インテリジェント アラウンドビュー
モニター ..... P.231
インテリジェント アラウンドビュー
モニター
　ソナー機能について ..... P.236
インテリジェント アラウンドビュー
モニターカメラ
　インテリジェント アラウンドビュー
　モニターカメラの取り扱い ..... P.199
インテリジェント エマージェンシー
ブレーキ ..... P.182
インテリジェント エマージェンシー
ブレーキOFF表示灯 ..... P.124
インテリジェント エマージェンシー
ブレーキ警告灯 ..... P.128
インテリジェント オートライトシステム
（フロントワイパー連動、薄暮れ感知
「おもいやりライト」機能付） ..... P.137
インテリジェント クルーズコントロール
　インテリジェント クルーズコント
　ロール ..... P.169
　インテリジェント クルーズコント
　ロールの解除の仕方 ..... P.178
　ステアリングスイッチ ..... P.173
インテリジェント ルームミラー
　インテリジェント ルームミラー ..... P.73
　インテリジェント ルームミラーの
　お手入れ ..... P.265
インテリジェントキー ..... P.35
インテリジェントキー
　キー ..... P.32, P.36
　ドアの施錠・解錠 ..... P.41
　メカニカルキー機能 ..... P.41
　リモートコントロールエントリー機能 ..... P.40
インテリジェントキー［警報が鳴った
とき］ ..... P.286
インテリジェントキー[警報が鳴ったとき] ..... P.133


## ウ


ウインカー
　スイッチ ..... P.141
　電球（バルブ）の交換 ..... P.317
　電球（バルブ）の容量 ..... P.328
　方向指示表示灯 ..... P.123
ウインドーガラス（パワーウインドー） ..... P.56
ウォーニング（警告灯） ..... P.125
ウォッシャー
　ウォッシャー液（規定量） ..... P.328
　ウォッシャー液の補給 ..... P.266
　寒冷時の取り扱い ..... P.259
　スイッチ ..... P.143
動けなくなったときは ..... P.294
運転のしかた ..... P.145


## エ


エアコン
　リヤヒーター ..... P.223
エアコン ..... P.209, P.216, P.222
エアバッグ
　SRSエアバッグ ..... P.89
　SRSエアバッグ警告灯 ..... P.127
エンジン
　エンジンが始動しないときは ..... P.276
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）
　エンジンイモビライザー ..... P.32
　表示灯（セキュリティーインジ
　ケーター） ..... P.124
エンジンオイル
　寒冷時の取り扱い ..... P.259
　規定量 ..... P.325
エンジンカバー ..... P.53
エンジンのかけかた（インテリジェント
キー付車） ..... P.147
エンジンのかけかた（リモートコント
ロールエントリーシステム付車） ..... P.145
エンジンの始動・停止のしかた ..... P.148
エンジンルームから蒸気が出ているとき ..... P.313
エンストして始動ができなくなったとき ..... P.294


## オ


オイル ..... P.325
応急用タイヤ
　格納場所 ..... P.296
　空気圧 ..... P.329
　サイズ ..... P.329
　スペアタイヤについて ..... P.297
オーディオについて ..... P.224
オートエアコン ..... P.218
オートクロージャー ..... P.45
オートマチック車の運転のしかた ..... P.153
オートレベライザー（ヘッドランプ） ..... P.136
オートロック機能 ..... P.38
オーバーヒートしたときは ..... P.313
オドメーター ..... P.94


## カ


外気温度計 ..... P.95
外装のお手入れ ..... P.263
カギ ..... P.32, P.36
ガソリン（使用燃料、燃料補給口、
タンク容量） ..... P.58
カップホルダー ..... P.244
カメラ
　マルチセンシングフロントカメラ ..... P.188
ガラスのお手入れ（バックドアガラス） ..... P.265
寒冷時の取り扱い ..... P.259
寒冷地用ワイパーブレードの装着 ..... P.259


## キ


キー ..... P.32, P.36

# さくいん


キー抜き忘れ警報 P.132
キー連動室内照明システム P.244
キックダウン P.23

## ク

空気圧（タイヤ） P.329
くもり取り
　リヤウインドーデフォッガースイッチ P.144
クラクション（ホーンスイッチ） P.144
クリアランスランプ
　電球（バルブ）の交換 P.317
　電球（バルブ）の容量 P.328
クリープ現象 P.23
クリーンフィルター P.209
車のお手入れ P.263
グローブボックス P.246

## ケ

警告確認 P.100
警告灯 P.125
警報装置 P.132
警報ブザー音別一覧表（インテリジェントキー） P.135, P.286
けん引するときは P.290

## コ

工具（格納場所） P.296
後席シート P.65, P.68
航続可能距離 P.98
後退灯
　電球（バルブ）の交換 P.317
　電球（バルブ）の容量 P.328
故障警告灯（MIL） P.125
故障したときは P.294
コンビニフック P.247

## サ

サービスデータ P.324
最高速度標識検知 P.96, P.202
最大積載量（バン） P.70
サイドミラー（ドアミラー） P.70
サブコンソールボックス P.248
サンバイザー P.243

## シ

シート
　お手入れ P.264
　後席シート P.65, P.68
　前席シート P.63
　チャイルドシート P.82
　ヒーターシート P.64
シートベルト
　シートベルト警告灯 P.126
　シートベルトの着用のしかた P.78
　シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー） P.132
　前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト P.81
事故がおきたときは P.322
室内照明 P.243
シフトロック解除ボタン P.152
シフトロックシステム P.23
車載工具 P.296
車線逸脱警報(LDW) P.199
ジャッキ
　格納場所 P.296
　ジャッキアップのしかた P.299
車幅灯
　電球（バルブ）の交換 P.317
　電球（バルブ）の容量 P.328
ジャンプスタートのしかた P.276
充電警告灯 P.126
消火器 P.255
進入禁止標識検知 P.202

## ス

水温
　水温計 P.94
水温計がオーバーヒートの範囲を示したとき P.313
スイッチの操作
　ヒーターシートスイッチ P.64
スイッチの使いかた P.136
水没したときは P.314
ステアリング（ハンドル） P.63
ステアリングスイッチ
　インテリジェント クルーズコントロール P.173
ステアリングスイッチ P.97, P.225
ステアリングロック（ハンドルロック）
　ハンドルがロックしエンジンの始動ができないときは P.279
スピードメーター P.94
スペアタイヤ
　格納場所 P.296
　空気圧 P.329
　サイズ P.329
　スペアタイヤについて P.297
スモールランプ
　電球（バルブ）の交換 P.317
　電球（バルブ）の容量 P.328

# さくいん


スライド（シート前後位置調節）.....P.63
スライドサイドウインドー.....P.58
スライドドア.....P.43

## セ

制動灯
　電球（バルブ）の交換.....P.317
　電球（バルブ）の容量.....P.328
セキュリティーインジケーター.....P.124
設定.....P.108
セレクトレバー
　アダプティブシフトコントロール.....P.151
　マニュアルモード.....P.151
セレクトレバー（A/T車）
　セレクトレバーの使いかた.....P.150
先行車発進お知らせ.....P.205
洗車のしかた.....P.263
前照灯
　オートレベライザー.....P.136
　電球（バルブ）の交換.....P.317
　電球（バルブ）の容量.....P.328
　ヘッドランプ上向き表示灯.....P.124
　ヘッドランプ消し忘れ警報.....P.132
　ライトスイッチ.....P.136
前照灯.....P.136
前席シート.....P.63
前席ロードリミッター付プリテンショナー
シートベルト.....P.81
センターコンソールボックス.....P.247
センターシート背面コンソール.....P.248

## ソ

走行支援.....P.99
走行するとブザーが鳴る
　シートベルト非着用警報.....P.132
　パーキングブレーキ戻し忘れ警報.....P.132
走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音
がする（ブレーキパッド摩耗警報）.....P.132
走行中にブレーキを踏んだとき、ペダルが
振動する（ABS）.....P.166
速度計（スピードメーター）.....P.94
速度標識表示.....P.98
ソナー
　ソナーの取り扱い.....P.199

## タ

ターボ車の扱いかた.....P.157
ターンシグナル
　スイッチ.....P.141
　電球（バルブ）の交換.....P.317
　電球（バルブ）の容量.....P.328
　方向指示表示灯.....P.123
タイヤ
　TPMS設定.....P.270
　空気圧.....P.329
　空気圧の点検.....P.267
　スペアタイヤ（応急用タイヤ）.....P.297
　タイヤ・ロードホイールサイズ.....P.329
　タイヤ・ロードホイールを交換する
　とき.....P.268
　タイヤ空気圧警報システム.....P.269
　タイヤチェーンについて.....P.261
　タイヤについて.....P.156
　タイヤの位置交換（ローテーション）.....P.266
タイヤ応急修理のしかた.....P.306
タイヤ交換のしかた（パンクしたとき）.....P.303
タコメーター.....P.94

## チ

チャージランプ（充電警告灯）.....P.126
チャイルドシート.....P.82
チャイルドシート適合表.....P.83
チャイルドセーフティドアロック.....P.44

## テ

ディーゼル車の燃料補給.....P.261
DPF.....P.158
DPFの取り扱い.....P.27
ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー.....P.72
低速加速抑制機能.....P.189
低速衝突軽減ブレーキ機能.....P.189
定速制御機能.....P.179
テールランプ
　電球（バルブ）の交換.....P.317
　電球（バルブ）の容量.....P.328
テールランプ表示灯.....P.124
電球（バルブ）の容量.....P.328
電球（バルブ）を交換するときは.....P.317
点検・整備について.....P.324
電源ソケット.....P.246
電池の交換
　インテリジェントキー.....P.37
　リモートコントロールエントリー
　システム.....P.33
電動格納式ドアミラー.....P.70

## ト

ドア
　スライドドア.....P.43
ドア.....P.41
ドアミラー.....P.70
ドアロック連動格納機能.....P.71
ドアを室内から開けられないとき
（チャイルドセーフティドアロック）.....P.44
盗難防止装置.....P.32
時計.....P.96, P.243
ドライブコンピューター表示.....P.97
ドライブ情報.....P.98

# さくいん


トリップメーター ..... P.95

## ナ

内装のお手入れ ..... P.264
ナンバー灯
　電球（バルブ）の交換 ..... P.317
　電球（バルブ）の容量 ..... P.328

## ニ

2WD-4WDの切り替え ..... P.156
尿素SCRシステム
　尿素水タンク容量 ..... P.59
　尿素水補給口 ..... P.59
尿素SCRシステム ..... P.161
尿素SCRシステム警告灯 ..... P.129
尿素SCRシステムの取り扱い ..... P.28
尿素水（AdBlue®）
　尿素水（AdBlue®）（規定量） ..... P.326
尿素水（AdBlue®）の残量がなくなったとき ..... P.166

## ネ

燃費情報 ..... P.98
燃料
　燃料 ..... P.58
　燃料計 ..... P.94
　燃料タンク容量 ..... P.59
　燃料補給口 ..... P.58
燃料噴射量学習機能 ..... P.29

## ハ

パーキング（駐車）ブレーキ ..... P.149
パーキングブレーキ戻し忘れ警報 ..... P.132
パーテーションパイプ ..... P.248
ハイビームアシスト ..... P.139
ハイビームアシスト表示灯 ..... P.124
ハイマウントストップランプ
　電球（バルブ）の容量 ..... P.328
ハザード
　スイッチ ..... P.141
　電球（バルブ）の交換 ..... P.317
　電球（バルブ）の容量 ..... P.328
挟み込み防止機構
　パワーウインドー ..... P.57
発炎筒の使いかた ..... P.294
バックドア ..... P.48
バックビューモニター ..... P.227
バックミラー（ルームミラー） ..... P.72
バックランプ
　電球（バルブ）の交換 ..... P.317
　電球（バルブ）の容量 ..... P.328
バッテリーがあがったときは ..... P.276
バッテリーセーバー
　室内照明 ..... P.243
　ヘッドランプ ..... P.136
パッド摩耗警報 ..... P.132, P.286
バルブを交換するときは ..... P.317
パワーウインドー ..... P.56
パワーウインドー[正常に作動しないとき] ..... P.58
パンクしたときは ..... P.303
番号灯
　電球（バルブ）の交換 ..... P.317
　電球（バルブ）の容量 ..... P.328
ハンドル
　ハンドルがロックしエンジンの始動ができないときは ..... P.279
ハンドル（ステアリング） ..... P.63
ハンドルロック（ステアリングロック） ..... P.279
ハンドルロック（ステアリングロック）
　ハンドルがロックしエンジンの始動ができないときは ..... P.279

## ヒ

ヒーターシート ..... P.64
ヒーター付ドアミラー ..... P.70
ヒートアップスイッチ ..... P.214
非常点滅表示灯
　スイッチ ..... P.141
　電球（バルブ）の交換 ..... P.317
　電球（バルブ）の容量 ..... P.328
尾灯（テールランプ）
　電球（バルブ）の交換 ..... P.317
　電球（バルブ）の容量 ..... P.328
ヒューズを点検・交換するときは ..... P.315
標識検知機能
　一時停止標識検知 ..... P.202
　最高速度標識検知 ..... P.202
　進入禁止標識検知 ..... P.202
表示灯 ..... P.123
ヒルスタートアシスト ..... P.169

## フ

VDC ..... P.167
ブースターケーブルのつなぎかた ..... P.276
フォグランプ
　スイッチ ..... P.140
フォグランプ表示灯 ..... P.124
ブザー
　インテリジェントキー関連 ..... P.133
　シートベルト非着用警報 ..... P.132
　尿素SCRシステム警報 ..... P.133
　尿素水（AdBlue®）残量警告ブザー ..... P.133

# さくいん


パーキングブレーキ戻し忘れ警報 P.132
ブザー（警報音）が鳴ったときは P.286
踏み間違い衝突防止アシスト
低速加速抑制機能 P.189
低速衝突軽減ブレーキ機能 P.189
踏み間違い衝突防止アシスト P.189
フューエルフィラーリッド（燃料補給口） P.58
フューエルフィルター水位警告灯 P.129
フューエルメーター（燃料計） P.94
ブレーキ警告灯 P.126
ブレーキパッド摩耗警報 P.132, P.286
ブレーキペダルを踏むと音がする P.26
ブレーキランプ
電球（バルブ）の交換 P.317
電球（バルブ）の容量 P.328
フロアカーペット P.254
フロントシート P.63

## へ

平均車速 P.98
ヘッドランプ
オートレベライザー P.136
ヘッドランプ上向き表示灯 P.124
ライトスイッチ P.136
ヘッドランプ P.136
ヘッドランプ
自動点灯ランプの消灯のしかた P.138
電球（バルブ）の交換 P.317
電球（バルブ）の容量 P.328
ヘッドランプ消し忘れ警報 P.132
ヘッドランプレベライザースイッチ P.141
ヘッドレスト
後席シート P.69
前席シート P.63

## ホ

ホイールサイズ P.329
ホイールナットレンチ P.296
方向指示器
スイッチ P.141
電球（バルブ）の交換 P.317
電球（バルブ）の容量 P.328
方向指示表示灯 P.123
防犯装置
エンジンイモビライザー（盗難防止装置） P.32
セキュリティーインジケーター P.124
ホーンスイッチ P.144
ポジションインジケーター P.123
ポジションランプ
電球（バルブ）の交換 P.317
電球（バルブ）の容量 P.328
ボトルホルダー P.245

## マ

マスターウォーニング P.128
マップランプ P.243
マニュアルエアコン P.216
マニュアルモード P.151
マルチセンシングフロントカメラ P.188

## ミ

ミラー
アンダーミラー P.72
インテリジェント ルームミラー P.73
ドアミラー P.70

## メ

メーター P.94
メンテナンスデータ（サービスデータ） P.324

## ユ

油圧警告灯 P.125
床下収納スペース P.254
雪道やぬかるみからの脱出のしかた P.290
雪道を走行するとき P.260

## ヨ

予熱表示灯 P.124
4WD（4輪駆動）車の扱いかた P.156
4WD警告灯 P.127
4WDスイッチ P.156
4WD表示灯 P.124

## ラ

ライトスイッチ P.136
ライト類が点灯しないとき（バルブの交換） P.317
ラゲッジユーティリティナット P.253
ラジエーターシャッター P.215
ランプ（室内照明）
マップランプ P.243
ラゲッジランプ P.244
ルームランプ P.244
ランプのレンズ内面がくもる P.26

## リ

リクエストスイッチ
ドア P.42
リクライニング（背もたれの角度調節） P.63, P.65
リバースブザー P.132
リモートコントロールエントリーシステム P.32

# さくいん


リモコン
　リモートコントロールエントリーシステム ..... P.32
リヤウインドーデフォッガースイッチ（リヤガラスのくもり取り） ..... P.144
リヤクーラー ..... P.222
リヤコンビランプ
　電球（バルブ）の交換 ..... P.317
　電球（バルブ）の容量 ..... P.328
リヤシート ..... P.65, P.68
リヤヒーター ..... P.223
リヤワイパー ..... P.143


## ル


ルームランプ ..... P.244
ルームランプ（室内照明） ..... P.243


## レ


冷却水
　寒冷時の取り扱い ..... P.259
　冷却水（規定量） ..... P.328
レバー（セレクトレバー） ..... P.150


## ロ


ロードホイールサイズ ..... P.329
ロードホイールを交換するとき ..... P.268
ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト ..... P.81
路上で故障したときは ..... P.294


## ワ


ワイパー
　寒冷時の取り扱い ..... P.259
　スイッチ ..... P.142
ワックスをかけるとき ..... P.264
ワンタッチオートスライドドア ..... P.45

MEMO

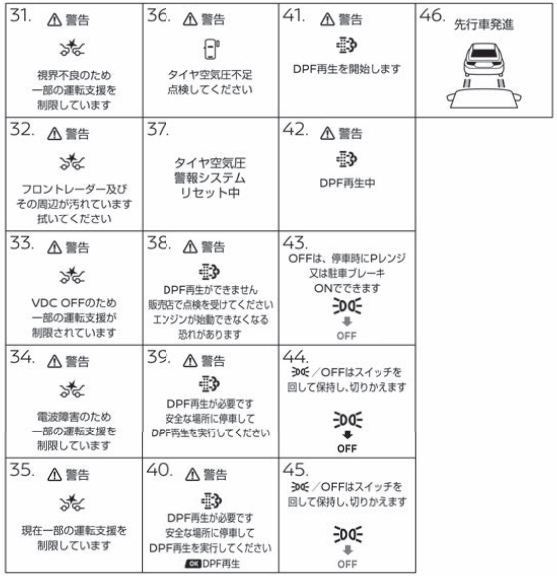
警告灯、または警告表示が出たら、すみやかに適切な処置をしてください。
下記は警告灯および警告表示のみ記載しています。
その他の表示については表示灯（➔P.123）、アドバンスドドライブアシストディスプレイ（➔P.95）をお読みください。

| メーター内警告灯 | | | |
|---|---|---|---|
|  | 油圧警告灯<br>➔P.125 |  | 故障警告灯（MIL）<br>➔P.125 |
|  | 充電警告灯<br>➔P.126 |  | ブレーキ警告灯<br>➔P.126 |
|  | ABS警告灯<br>➔P.126 |  | シートベルト警告灯<br>➔P.126 |
|  | SRSエアバッグ警告灯<br>➔P.127 | 4WD | 4WD警告灯<br>➔P.127 |
|  | VDC警告灯<br>➔P.127 |  | インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯<br>➔P.128 |
|  | マスターウォーニング<br>➔P.128 | AT CHECK | A/T電子制御システム警告灯<br>➔P.128 |
|  | DPF警告灯<br>➔P.129 |  | フューエルフィルター水位警告灯<br>➔P.129 |
|  | 尿素SCRシステム警告灯<br>➔P.129 |  | タイヤ空気圧警告灯<br>➔P.129 |

## メーター内アドバンスドドライブアシストディスプレイ



## メーター内アドバンスドドライブアシストディスプレイ




| | | | |
|---|---|---|---|
| 1. | インテリジェントキー持ち出し警告（➔P.101） | 2. | ドア開き警告（➔P.102） |
| 3. | パーキングブレーキ戻し忘れ警告（➔P.102） | 4. | 燃料残量警告（➔P.102） |
| 5. | 踏み間違い衝突防止アシスト作動警告（➔P.102） | 6. | 油圧警告（➔P.102） |
| 7. | キーシステム警告（➔P.102） | 8. | キーID警告（➔P.102） |
| 9. | キー抜き忘れ警告（➔P.103） | 10. | ヘッドランプ警告（➔P.103） |
| 11. | システム故障警告（➔P.103） | 12. | カメラ高温警告A（➔P.103） |

| メーター内アドバンスドドライブアシストディスプレイ | | | |
|---|---|---|---|
| 13. | フロントレーダーシステム停止警告A（➔P.103） | 14. | 進入禁止標識検知表示（➔P.103） |
| 15. | 一時停止標識検知表示（➔P.103） | 16. | 最高速度標識検知表示（➔P.103） |
| 17. | ソナーシステム異常警告（➔P.104） | 18. | インテリジェント DA（ふらつき警報）システム異常警告（➔P.104） |
| 19. | インテリジェント DA（ふらつき警報）表示（➔P.104） | 20. | ウォッシャー液面警告（➔P.104） |
| 21. | 尿素水残量警告（➔P.104） | 22. | 再始動不可警告（尿素水補給）（➔P.104） |
| 23. | 尿素SCRシステム故障警告（➔P.105） | 24. | 再始動不可警告（尿素SCRシステム故障）（➔P.105） |
| 25. | スリップ警告（➔P.105） | 26. | 作動範囲外警告（➔P.105） |
| 27. | 走行支援ステータス表示（➔P.105） | 28. | インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム警告（➔P.105） |
| 29. | カメラ高温警告B（➔P.106） | 30. | インテリジェント エマージェンシーブレーキシステムカメラ汚れ警告（➔P.106） |
| 31. | インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム視界不良警告（➔P.106） | 32. | フロントレーダーシステム停止警告B（➔P.106） |
| 33. | VDC OFF警告（➔P.106） | 34. | インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム電波障害警告（➔P.106） |
| 35. | インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム作動制限警告（➔P.107） | 36. | タイヤ空気圧不足警告（➔P.107） |
| 37. | タイヤ空気圧警報システムリセット表示（➔P.107） | 38. | DPF再生不可警告（➔P.107） |
| 39. | DPF再生警告A（➔P.107） | 40. | DPF再生警告B（➔P.107） |
| 41. | DPF再生開始表示（➔P.107） | 42. | DPF再生中表示（➔P.107） |
| 43. | オートライト設定ガイダンス表示A（➔P.108） | 44. | オートライト設定ガイダンス表示B（➔P.108） |

| メーター内アドバンスドドライブアシストディスプレイ | | | |
|---|---|---|---|
| 45. | オートライト設定ガイダンス表示C（➔P.108） | 46. | 先行車発進お知らせ表示（➔P.108） |

MEMO